別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基　本　計　画		
事　項	記　入　欄	備　考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更	
フリガナ 設置者	ｶﾞｯｺｳﾎｳｼﾞﾝ　ﾑｻｼﾉﾀﾞｲｶﾞｸ 学校法人 武蔵野大学	
フリガナ 大学の名称	ﾑｻｼﾉﾀﾞｲｶﾞｸ 武 蔵 野 大 学 (MUSASHINO UNIVERSITY)	
大学本部の位置	東京都江東区有明三丁目3番3号	
大学の目的	本学は、教育基本法及び学校教育法に準拠し、かつ、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を育成するとともに、学問の研究を深め、世界の平和と人類の幸福に寄与することをもって目的とする。	
新設学部等の目的	これまで本学では、本学通信教育部の学生や、留学生を中心とした編入学希望者を受け入れてきた実績がある。加えて、留年や退学などにあたって生じる欠員の範囲内でも編入学を実施し、学生の学びにおけるニーズに柔軟に対応してきた。今回はこうした編入学の現状に鑑み、定員として設定することでより適正な定員管理を行うことを目的として、編入学定員の変更を行う。 現在、大学全体で３３人の編入学定員を設定している。そのうち、法学部法律学科、法学部政治学科、経済学部経済学科、経営学部経営学科の２年次編入学定員を５人から３人に減員し、併せて人間科学部人間科学科の２年次編入学定員を４人から２人に減員する。留学生の志願者が多いグローバル学部には新たに編入学定員を設定し、グローバル学部グローバルコミュニケーション学科の３年次編入学定員を３人、グローバル学部日本語コミュニケーション学科の３年次編入学定員を５人、グローバル学部グローバルビジネス学科の３年次編入学定員を７人とする。これにより、グローバル化する社会のニーズに応えるとともに、多様化する教育研究の要請に対応していく。 なお、編入学定員を含む大学全体の収容定員の総数及び特定地域内に所在する学部の収容定員に変更は生じないため、これまでどおり適正な定員管理を行っていく予定である。	

新設学部等の概要

新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	年	人	年次 人	人		年　月 第　年次	
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	165	3年次 3 (0)	666 (660)	学士（グローバルコミュニケーション） 【Bachelor of Global Communication】	令和2年4月 第3年次	東京都江東区有明三丁目3番3号
日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	80	3年次 5 (0)	330 (320)	学士（日本語コミュニケーション） 【Bachelor of Japanese Communication】	令和2年4月 第3年次	同上
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	4	55	3年次 7 (0)	234 (220)	学士（グローバルビジネス） 【Bachelor of Global Business】	令和2年4月 第3年次	同上
法学部 法律学科	4	190	2年次 3 (5)	769 (775)	学士 (法律学) 【Bachelor of Arts in Law】	令和2年4月 第2年次	同上
政治学科	4	100	2年次 3 (5)	409 (415)	学士 (政治学) 【Bachelor of Arts in Political Science】	令和2年4月 第2年次	同上

新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	経済学部 経済学科	4	175	2年次 3 (5)	709 (715)	学士 (経済学) 【Bachelor of Arts in Economics】	令和2年4月 第2年次	同上
	経営学部 経営学科	4	220	2年次 3 (5)	889 (895)	学士 (経営学) 【Bachelor of Business Administration】	令和2年4月 第2年次	同上
	人間科学部 人間科学科	4	215	2年次 2 (4)	866 (872)	学士 (人間学) 【Bachelor of Arts in Human Sciences】	令和2年4月 第2年次	同上

同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	令和2年4月名称変更予定 教育学部 こども発達学科　→　幼児教育学科（令和元年6月届出予定）

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数
		講義	演習	実験・実習	計	
		科目	科目	科目	科目	単位

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等 教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等
			人	人	人	人	人	人	人
	新設分	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	8 (8)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	247 (247)
		日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4 (4)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	260 (260)
		ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	9 (9)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	209 (209)
		法学部 法律学科	10 (10)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	295 (295)
		政治学科	6 (6)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	292 (292)
		経済学部 経済学科	8 (8)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	272 (272)
		経営学部 経営学科	8 (8)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	254 (254)
		人間科学部 人間科学科	10 (10)	3 (3)	1 (1)	4 (4)	18 (18)	0 (0)	300 (300)
		計	63 (63)	25 (25)	9 (9)	4 (4)	101 (101)	0 (0)	— (—)

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等 教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等	
	既設分	文学部 日本文学文化学科	11 (11)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	457 (457)	
		経営学部 会計ガバナンス学科	4 (4)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	8 (8)	0 (0)	259 (259)	
		データサイエンス学部 データサイエンス学科	7 (4)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	15 (12)	0 (0)	244 (244)	
		人間科学部 社会福祉学科	12 (12)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	318 (318)	
		工学部 環境システム学科	4 (4)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	399 (399)	
		数理工学科	7 (7)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	13 (13)	0 (0)	349 (349)	
		建築デザイン学科	5 (5)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	283 (283)	
		教育学部 教育学科	15 (15)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	469 (469)	
		幼児教育学科	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	315 (315)	※令和元年6月名称変更届出（予定）
		薬学部 薬学科	18 (18)	1 (1)	24 (24)	14 (14)	57 (57)	2 (2)	131 (131)	
		看護学部 看護学科	9 (9)	8 (8)	9 (9)	6 (6)	32 (32)	6 (6)	239 (239)	
		通信教育部 人間科学部人間科学科	3 (3)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	8 (8)	0 (0)	111 (111)	
		通信教育部 教育学部教育学科	11 (11)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	57 (57)	※通学課程を兼ねる
		計	101 (98)	38 (38)	51 (51)	26 (26)	216 (213)	8 (8)	－ (－)	
	合計		164 (161)	63 (63)	60 (60)	30 (30)	317 (314)	8 (8)	－ (－)	

教員以外の職員の概要	職種	専任	兼任	計	
	事務職員	209人 (209)	32人 (32)	241人 (241)	
	技術職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	図書館専門職員	2 (2)	27 (27)	29 (29)	
	その他の職員	11 (11)	0 (0)	11 (11)	
	計	222 (222)	59 (59)	281 (281)	

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	82,698.59 ㎡	1,352.00 ㎡	17,435.45 ㎡	101,486.04 ㎡	武蔵野大学高等学校 （収容定員1,200人、運動場必要面積8,400㎡、校地必要面積は基準なし） 武蔵野大学中学校 （収容定員750人、運動場必要面積8,400㎡、校地必要面積は基準なし） 千代田インターナショナルスクール東京 （収容定員480人、運動場必要面積・校地必要面積は基準なし）
	運動場用地	22,313.76 ㎡	0.00 ㎡	12,828.25 ㎡	35,142.01 ㎡	
	小計	105,012.35 ㎡	1,352.00 ㎡	30,263.70 ㎡	136,628.05 ㎡	
	その他	3,228.91 ㎡	1,708.09 ㎡	545.84 ㎡	5,482.84 ㎡	
	合計	108,241.26 ㎡	3,060.09 ㎡	30,809.54 ㎡	142,110.89 ㎡	

	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
校舎	90,037.12 ㎡ (81,637.12㎡)	624.78 ㎡ (624.78㎡)	21,306.50 ㎡ (21,306.50㎡)	111,968.40 ㎡ (103,568.40㎡)	武蔵野大学高等学校 （収容定員1,200人、校舎必要面積6,240㎡） 武蔵野大学中学校 （収容定員750人、校舎必要面積4,320㎡） ・借用面積有明4号館 4,735.40㎡ 借用期間：20年6カ月

教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	室	室	室	室 （補助職員　人）	室 （補助職員　人）	

専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
		室	

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
		〔　〕 （〔　〕）	〔　〕 （〔　〕）	〔　〕 （〔　〕）	（　）	（　）	（　）	
	計	〔　〕 （〔　〕）	〔　〕 （〔　〕）	〔　〕 （〔　〕）	（　）	（　）	（　）	

図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	㎡			

体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	㎡		

経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り	区分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
	教員１人当り研究費等		462千円	462千円	462千円	462千円	－ 千円	－ 千円	大学全体
	共同研究費等		21,320千円	21,320千円	21,320千円	21,320千円	－ 千円	－ 千円	
	図書購入費	150,476千円	150,476千円	150,476千円	150,476千円	150,476千円	－ 千円	－ 千円	
	設備購入費	40,840千円	40,840千円	40,840千円	40,840千円	40,840千円	－ 千円	－ 千円	

学生１人当り納付金		第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
	文学部	1,128千円	1,048千円	1,048千円	1,048千円	－ 千円	－ 千円	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部	1,200千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	－ 千円	－ 千円	
	法学部	1,128千円	1,048千円	1,048千円	1,048千円	－ 千円	－ 千円	
	経済学部	1,128千円	1,048千円	1,048千円	1,048千円	－ 千円	－ 千円	
	経営学部	1,128千円	1,048千円	1,048千円	1,048千円	－ 千円	－ 千円	
	ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部	1,480千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	－ 千円	－ 千円	
	人間科学部	1,128千円	1,048千円	1,048千円	1,048千円	－ 千円	－ 千円	
	工学部（環境ｼｽﾃﾑ学科・数理工学科）	1,355千円	1,175千円	1,175千円	1,175千円	－ 千円	－ 千円	
	工学部（建築ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科）	1,500千円	1,370千円	1,440千円	1,440千円	－ 千円	－ 千円	
	教育学部	1,172千円	1,082千円	1,082千円	1,082千円	－ 千円	－ 千円	
	薬学部	1,980千円	1,895千円	1,896千円	1,900千円	1,960千円	1,900千円	
	看護学部	1,760千円	1,720千円	1,740千円	1,740千円	－ 千円	－ 千円	
	通信教育部	200千円	170千円	170千円	170千円	－ 千円	－ 千円	

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、手数料収入　等

	大学の名称	武蔵野大学								備考
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次 人	人		倍			
既設大学等の状況	文学部						0.97			
	日本文学文化学科	4	220	2年次 5	829	学士(文学)	0.97	平成23年度	東京都江東区有明三丁目３番３号	※平成29年度入学定員増（18人） ※平成30年度入学定員増（19人） ※平成31年度2年次編入学定員（5人）
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部						0.98		東京都西東京市新町一丁目１番２０号	
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	165	－	660	学士(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ)	0.92	平成28年度		
	日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	80	－	320	学士(日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ)	1.04	平成28年度		
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	4	55	－	220	学士(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ)	1.07	平成28年度		
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学部						－			
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	平成23年度		※平成28年度より学生募集停止(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科)
	法学部						0.98			
	法律学科	4	190	2年次 5	695	学士（法律学）	0.96	平成26年度		※平成30年度入学定員増（50人） ※平成31年度2年次編入学定員（5人） ※平成31年度入学定員減（△10人）
	政治学科	4	100	2年次 5	425	学士（政治学）	1.01	平成26年度		※平成30年度入学定員増（20人） ※平成31年度2年次編入学定員（5人） ※平成31年度入学定員減（△20人）
	経済学部						1.02			
	経済学科	4	175	2年次 5	565	学士（経済学）	1.01	平成26年度		※平成30年度入学定員増（85人） ※平成31年度2年次編入学定員（5人） ※平成31年度入学定員減（△10人）
	経営学科	4	－	－	－	学士（経営学）	－	平成26年度		※平成31年度より学生募集停止（経営学科）
	会計ガバナンス学科	4	－	－	－	学士（会計学）	－	平成30年度		※平成31年度より学生募集停止（会計ガバナンス学科）
	経営学部						0.97			
	経営学科	4	220	2年次 5	220	学士（経営学）	0.96	平成31年度		
	会計ガバナンス学科	4	90	－	90	学士（会計学）	0.98	平成31年度		
	政治経済学部						－			
	政治経済学科	4	－	－	－	学士（政治経済学）	－	平成10年度		※平成26年度より学生募集停止（政治経済学科）
	経営学科	4	－	－	－	学士（経営学）	－	平成24年度		※平成26年度より学生募集停止（経営学科）
	データサイエンス学部						1.01			
	データサイエンス学科	4	70	－	70	学士（ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学）	1.01	平成31年度		
	人間科学部						0.98			
	人間科学科	4	215	2年次 4	840	学士(人間学)	1.00	平成11年度		※平成29年度入学定員増（18人） ※平成30年度入学定員増（37人） ※平成31年度入学定員減(△20人)
	社会福祉学科	4	157	2年次 4	599	学士(社会福祉学)	0.96	平成20年度		※平成29年度入学定員増（13人） ※平成30年度入学定員増（14人）
	工学部						0.99			
	環境システム学科	4	70	－	280	学士(環境システム学)	1.00	平成27年度		
	数理工学科	4	60	－	240	学士（工学）	0.94	平成27年度		
	建築デザイン学科	4	70	－	280	学士（工学）	1.02	平成27年度		
	環境学部						－			
	環境学科	4	－	－	－	学士(環境学)	－	平成21年度		※平成27年度より学生募集停止（環境学科）
	教育学部						0.99			
	教育学科	4	120	－	660	学士（教育学）	1.00	平成23年度		※平成29年度入学定員増（20人） ※平成30年度入学定員減（△100人）
	こども発達学科	4	100	－	200	学士（教育学）	0.95	平成30年度		
	薬学部						0.97			
	薬学科	6	160	－	900	学士(薬学)	0.97	平成16年度		※平成30年度入学定員増（15人）
	看護学部						0.95			
	看護学科	4	145	－	530	学士(看護学)	0.95	平成18年度		※平成30年度入学定員増（25人）
	通信教育部									
	人間科学部			3年次			0.69			
	人間科学科	4	250	700	2,450	学士（人間学）	0.69	平成14年度		※平成29年度入学定員減（△50人）
	教育学部			3年次			0.81			
	教育学科	4	17	85	271	学士（教育学）	0.81	平成25年度		※平成29年度入学定員減（△33人） ※平成29年度編入学定員減（△65人）

	大学の名称	武蔵野大学大学院								備考
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	文学研究科									
	日本文学専攻	2	7	－	14	修士（文学）	0.78	平成26年度	東京都江東区有明三丁目３番３号	
	日本文学専攻	3	2	－	6	博士（文学）	0.16	平成29年度		
	言語文化研究科									
	言語文化専攻	2	55	－	110	修士（文学、日本語）	0.77	平成22年度	東京都西東京市新町一丁目１番２０号	
	言語文化専攻	3	2	－	6	博士（文学）	0.66	平成29年度		
	法学研究科									
	ビジネス法務専攻	2	10	－	20	修士（法学）	0.20	平成30年度		
	政治経済学研究科									
	政治経済学専攻	2	10	－	25	修士（政治経済学）	0.33	平成22年度		※平成31年度入学定員減（△5人）
	政治経済学専攻	3	3	－	9	博士（政治学、経済学）	0.00	平成25年度		
	経営学研究科									
	会計学専攻	2	10	－	10	修士（会計学）	0.70	平成31年度		
	人間社会研究科									
	人間学専攻	2	30	－	60	修士（臨床心理学、人間行動学、言語聴覚学）	0.49	平成11年度		
	人間学専攻	3	3	－	9	博士（人間学）	0.22	平成14年度		
	実践福祉学専攻	2	7	－	14	修士（社会福祉学）	0.14	平成24年度		
	仏教学研究科									
	仏教学専攻	2	5	－	10	修士（仏教学）	0.50	平成28年度		
	仏教学専攻	3	2	－	6	博士（仏教学）	0.50	平成25年度		
	環境学研究科									
	環境マネジメント専攻	2	10	－	20	修士（環境学）	0.65	平成22年度		
	環境システム専攻	3	2	－	4	博士（環境学）	0.25	平成30年度		
	工学研究科									
	数理工学専攻	2	15	－	15	修士（工学）	0.86	平成31年度		
	建築デザイン専攻	2	15	－	15	修士（工学）	0.20	平成31年度		
	教育学研究科									
	教育学専攻	2	10	－	20	修士（教育学）	0.25	平成26年度		
	薬科学研究科									
	薬科学専攻	2	5	－	10	修士（薬科学）	0.20	平成24年度		
	薬科学専攻	3	5	－	15	博士（薬科学）	0.86	平成21年度		
	看護学研究科									
	看護学専攻	2	10	－	20	修士（看護学）	0.55	平成22年度		
	看護学専攻	3	3	－	9	博士（看護学）	0.66	平成25年度		
	通信教育部									
	人間社会研究科									
	人間学専攻	2	60	－	120	修士（人間学）	1.03	平成21年度		
	実践福祉学専攻	2	10	－	20	修士（社会福祉学）	1.05	平成30年度		
	仏教学専攻	2	－	－	－	修士（仏教学）	－	平成24年度		※平成28年度より学生募集停止（仏教学専攻）
	仏教学研究科									
	仏教学専攻	2	20	－	40	修士（仏教学）	0.80	平成28年度		
	環境学研究科									
	環境マネジメント専攻	2	10	－	20	修士（環境学）	0.80	平成26年度		
附属施設の概要	名　　称：薬用植物園 目　　的：薬学に関する教育研究 所 在 地：東京都西東京市新町一丁目1番20号 設置年月：平成16年4月 規 模 等：土地873㎡、保有植物は64科170種									

学校法人武蔵野大学　設置認可等に関わる組織の移行表

令和元年度	入学定員	編入学定員		収容定員
武蔵野大学				
文学部				
日本文学文化学科	220	2年次	5	895
グローバル学部				
グローバルコミュニケーション学科	165		－	660
日本語コミュニケーション学科	80		－	320
グローバルビジネス学科	55		－	220
法学部				
法律学科	190	2年次	5	775
政治学科	100	2年次	5	415
経済学部				
経済学科	175	2年次	5	715
経営学部				
経営学科	220	2年次	5	895
会計ガバナンス学科	90		－	360
データサイエンス学部				
データサイエンス学科	70		－	280
人間科学部				
人間科学科	215	2年次	4	872
社会福祉学科	157	2年次	4	640
工学部				
環境システム学科	70		－	280
数理工学科	60		－	240
建築デザイン学科	70		－	280
教育学部				
教育学科	120		－	480
こども発達学科	100		－	400
薬学部				
薬学科	160		－	960
看護学部				
看護学科	145		－	580
通信教育部				
人間科学部				
人間科学科	250	3年次	700	2,400
教育学部				
教育学科	17	3年次	85	238
計	2,729	2年次 3年次	33 785	12,905

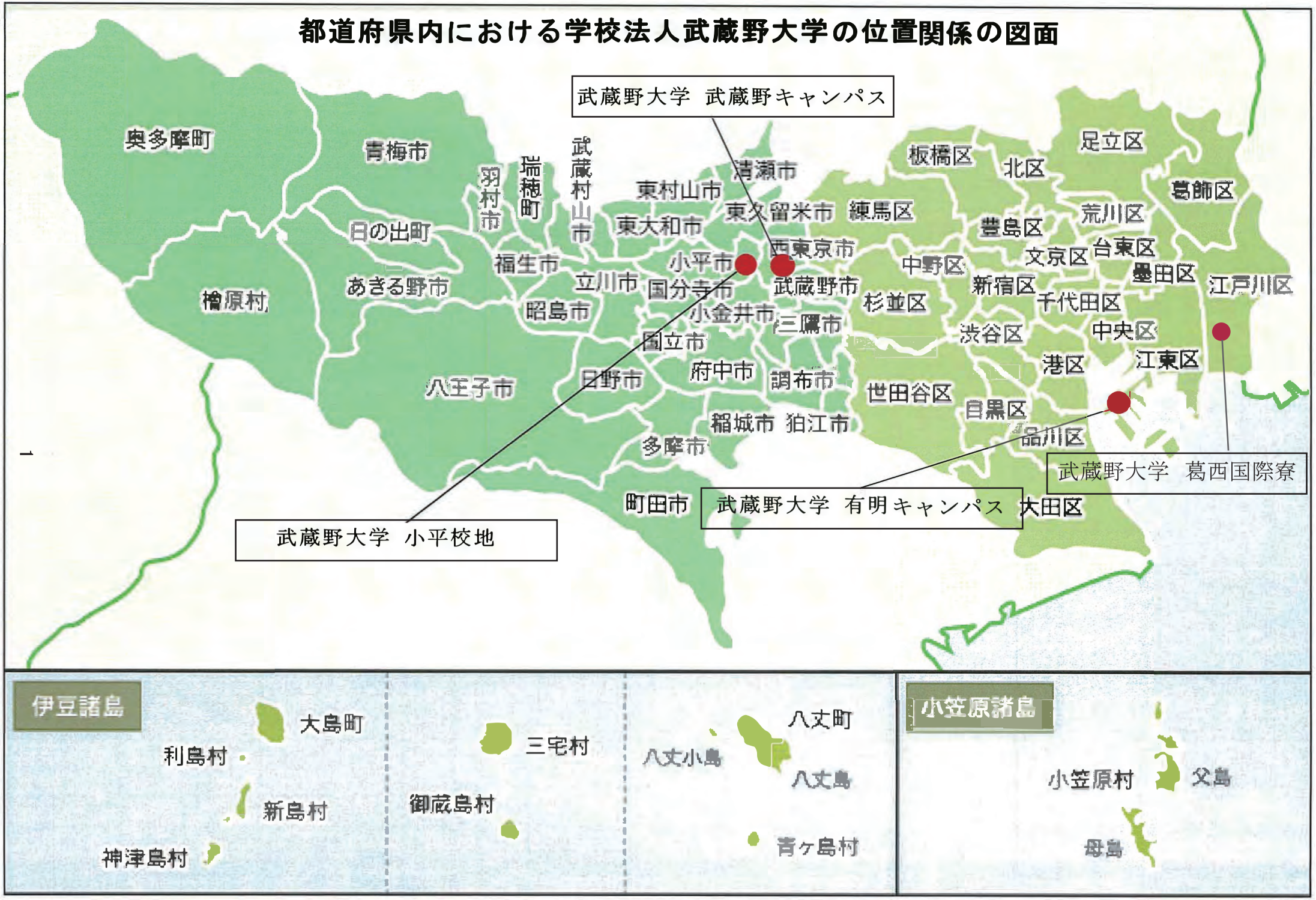
令和2年度	入学定員	編入学定員		収容定員	変更の事由
武蔵野大学					
文学部					
日本文学文化学科	220	2年次	5	895	
グローバル学部					
グローバルコミュニケーション学科	165	3年次	3	666	編入学定員変更(3)
日本語コミュニケーション学科	80	3年次	5	330	編入学定員変更(5)
グローバルビジネス学科	55	3年次	7	234	編入学定員変更(7)
法学部					
法律学科	190	2年次	3	769	編入学定員変更(△2)
政治学科	100	2年次	3	409	編入学定員変更(△2)
経済学部					
経済学科	175	2年次	3	709	編入学定員変更(△2)
経営学部					
経営学科	220	2年次	3	889	編入学定員変更(△2)
会計ガバナンス学科	90		－	360	
データサイエンス学部					
データサイエンス学科	70		－	280	
人間科学部					
人間科学科	215	2年次	2	866	編入学定員変更(△2)
社会福祉学科	157	2年次	4	640	
工学部					
環境システム学科	70		－	280	
数理工学科	60		－	240	
建築デザイン学科	70		－	280	
教育学部					
教育学科	120		－	480	
幼児教育学科	100		－	400	名称変更
薬学部					
薬学科	160		－	960	
看護学部					
看護学科	145		－	580	
通信教育部					
人間科学部					
人間科学科	250	3年次	700	2,400	
教育学部					
教育学科	17	3年次	85	238	
計	2,729	2年次 3年次	23 800	12,905	

※編入学定員を含む大学全体の収容定員の総数及び特定地域内に所在する学部の収容定員に変更は生じない

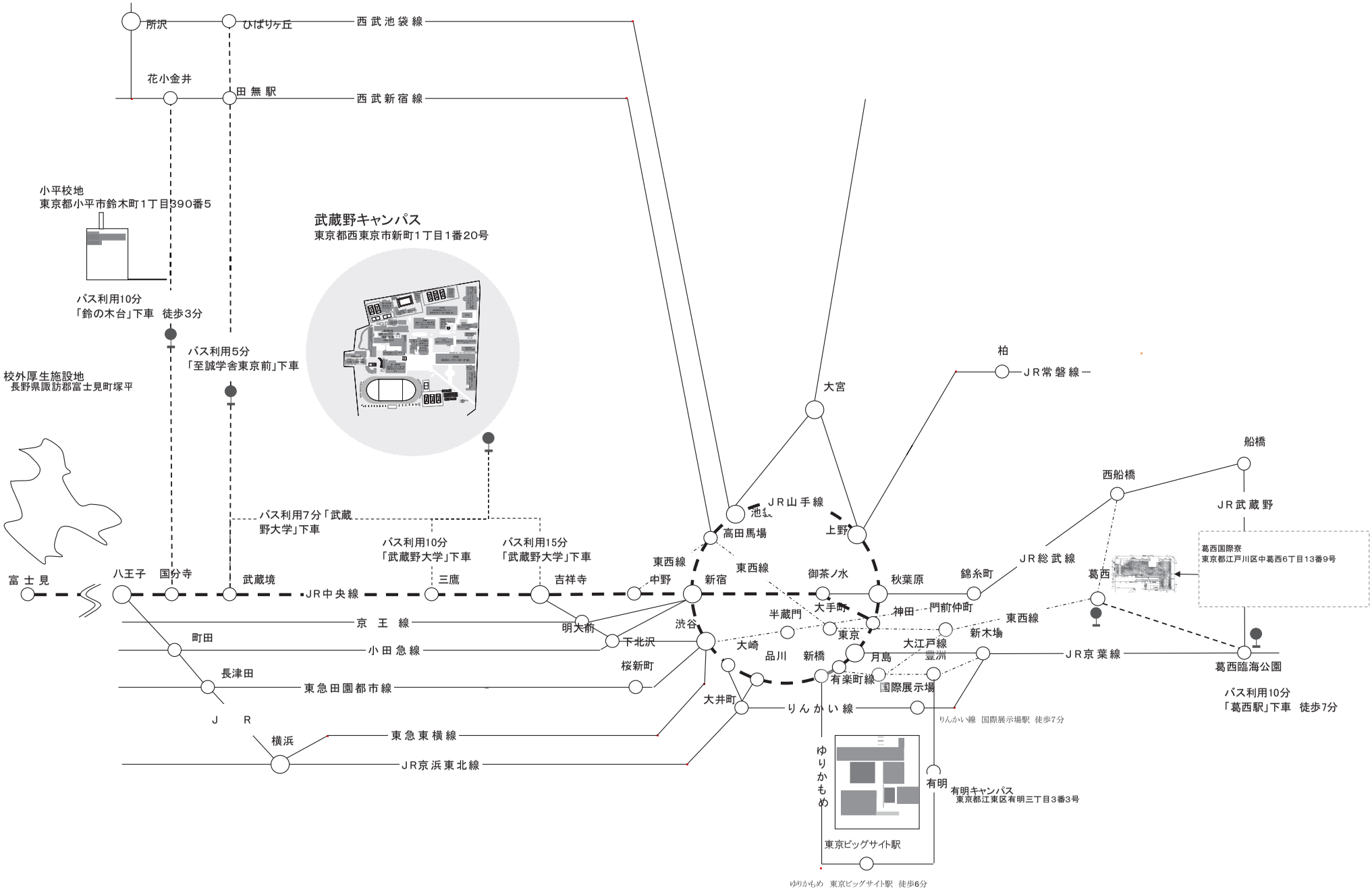
令和元年度	入学定員	編入学定員	収容定員
武蔵野大学大学院			
文学研究科			
日本文学専攻（修士課程）	7	－	14
日本文学専攻（博士後期課程）	2	－	6
言語文化研究科			
言語文化専攻（修士課程）	55	－	110
言語文化専攻（博士後期課程）	2	－	6
法学研究科			
ビジネス法務専攻（修士課程）	10	－	20
政治経済学研究科			
政治経済学専攻（修士課程）	10	－	20
政治経済学専攻（博士後期課程）	3	－	9
経営学研究科			
会計学専攻（修士課程）	10	－	20
人間社会研究科			
人間学専攻（修士課程）	30	－	60
人間学専攻（博士後期課程）	3	－	9
実践福祉学専攻（修士課程）	7	－	14
仏教学研究科			
仏教学専攻（修士課程）	5	－	10
仏教学専攻（博士後期課程）	2	－	6
環境学研究科			
環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻（修士課程）	10	－	20
環境ｼｽﾃﾑ専攻（博士後期課程）	2	－	6
工学研究科			
数理工学専攻（修士課程）	15	－	30
建築ﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻（修士課程）	15	－	30
教育学研究科			
教育学専攻（修士課程）	10	－	20
薬科学研究科			
薬科学専攻（修士課程）	5	－	10
薬科学専攻（博士後期課程）	5	－	15
看護学研究科			
看護学専攻（修士課程）	10	－	20
看護学専攻（博士後期課程）	3	－	9
通信教育部			
人間社会研究科			
人間学専攻（修士課程）	60	－	120
実践福祉学専攻（修士課程）	10	－	20
仏教学研究科			
仏教学専攻（修士課程）	20	－	40
環境学研究科			
環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻（修士課程）	10	－	20
計	321		664

令和2年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
武蔵野大学大学院				
文学研究科				
日本文学専攻（修士課程）	7	－	14	
日本文学専攻（博士後期課程）	2	－	6	
言語文化研究科				
言語文化専攻（修士課程）	55	－	110	
言語文化専攻（博士後期課程）	2	－	6	
法学研究科				
ビジネス法務専攻（修士課程）	10	－	20	
政治経済学研究科				
政治経済学専攻（修士課程）	10	－	20	
政治経済学専攻（博士後期課程）	3	－	9	
経営学研究科				
会計学専攻（修士課程）	10	－	20	
人間社会研究科				
人間学専攻（修士課程）	30	－	60	
人間学専攻（博士後期課程）	3	－	9	
実践福祉学専攻（修士課程）	7	－	14	
仏教学研究科				
仏教学専攻（修士課程）	5	－	10	
仏教学専攻（博士後期課程）	2	－	6	
環境学研究科				
環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻（修士課程）	10	－	20	
環境ｼｽﾃﾑ専攻（博士後期課程）	2	－	6	
工学研究科				
数理工学専攻（修士課程）	15	－	30	
建築ﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻（修士課程）	15	－	30	
教育学研究科				
教育学専攻（修士課程）	10	－	20	
薬科学研究科				
薬科学専攻（修士課程）	5	－	10	
薬科学専攻（博士後期課程）	5	－	15	
看護学研究科				
看護学専攻（修士課程）	10	－	20	
看護学専攻（博士後期課程）	3	－	9	
通信教育部				
人間社会研究科				
人間学専攻（修士課程）	60	－	120	
実践福祉学専攻（修士課程）	10	－	20	
仏教学研究科				
仏教学専攻（修士課程）	20	－	40	
環境学研究科				
環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻（修士課程）	10	－	20	
計	321		664	

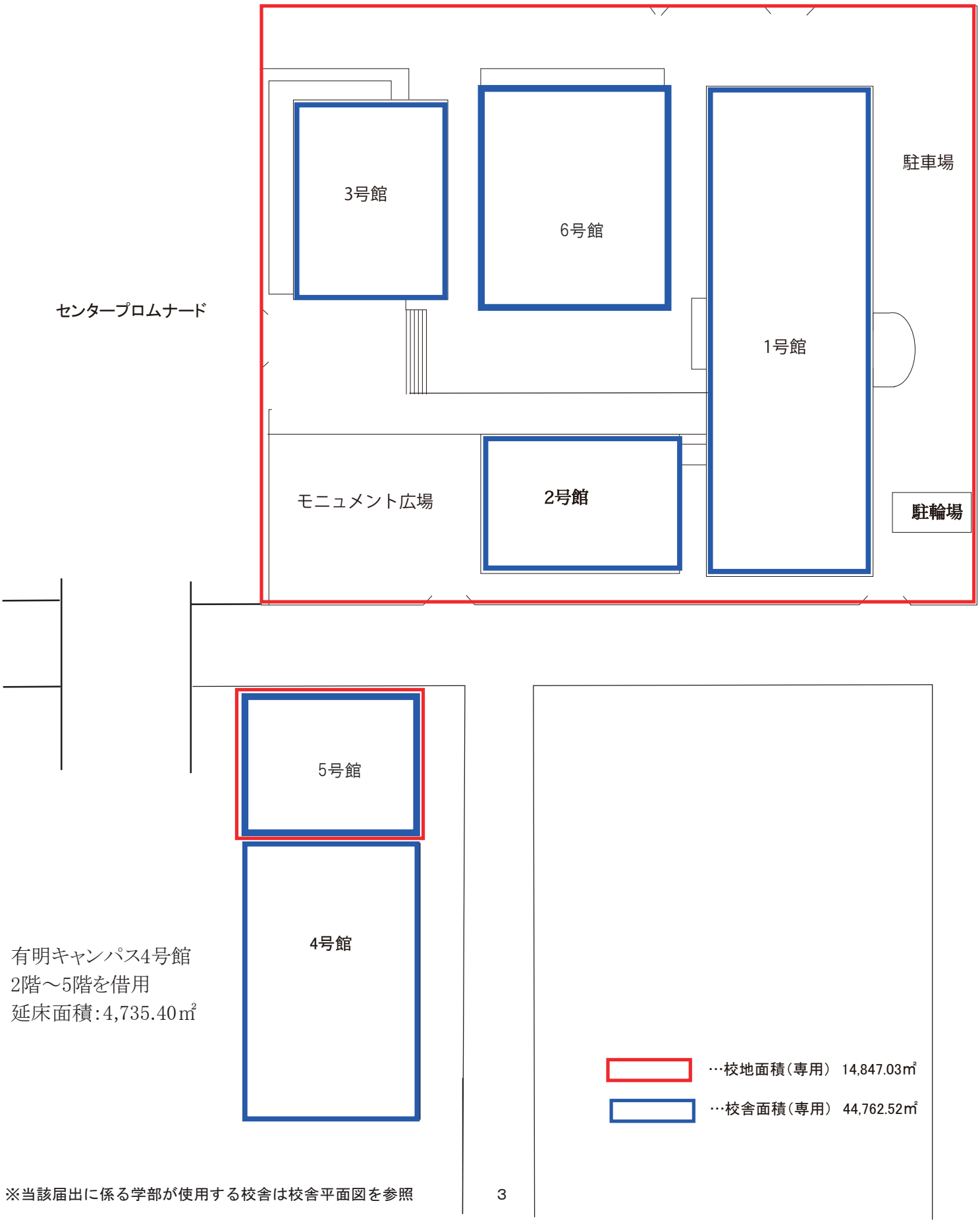
都道府県内における学校法人武蔵野大学の位置関係の図面



最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面



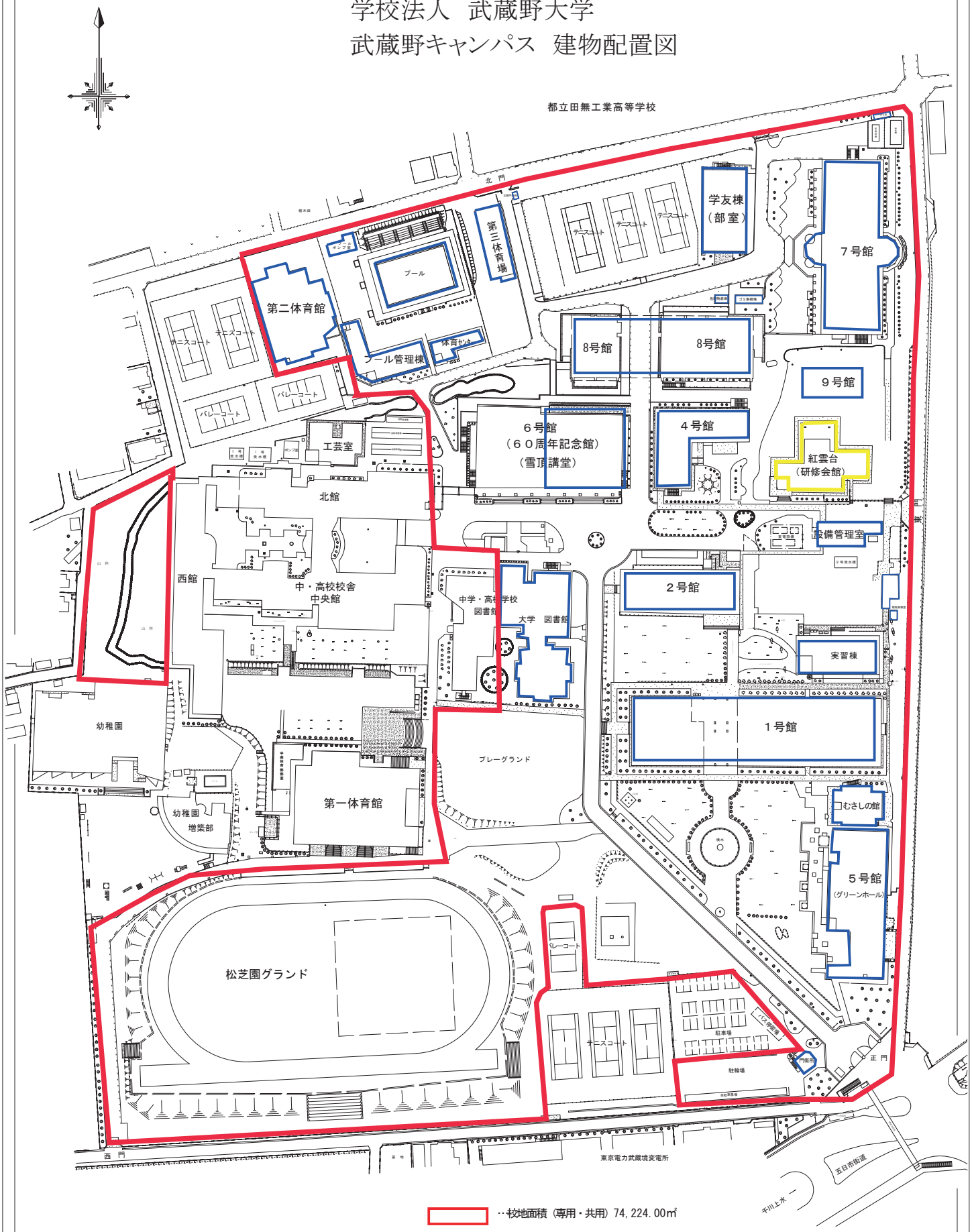
学校法人　武蔵野大学
有明キャンパス　建物配置図



有明キャンパス4号館
2階～5階を借用
延床面積：4,735.40㎡

※当該届出に係る学部が使用する校舎は校舎平面図を参照

学校法人　武蔵野大学
武蔵野キャンパス　建物配置図



…校地面積（専用・共用）74,224.00㎡

…校舎面積（専用）45,274.60㎡

…校舎面積（共用）624.78㎡

平成１５年９月一部修正
平成１６年１２月一部修正　（８号館新築）
平成１８年５月一部修正　　（学友棟新築）
平成２６年２月一部修正

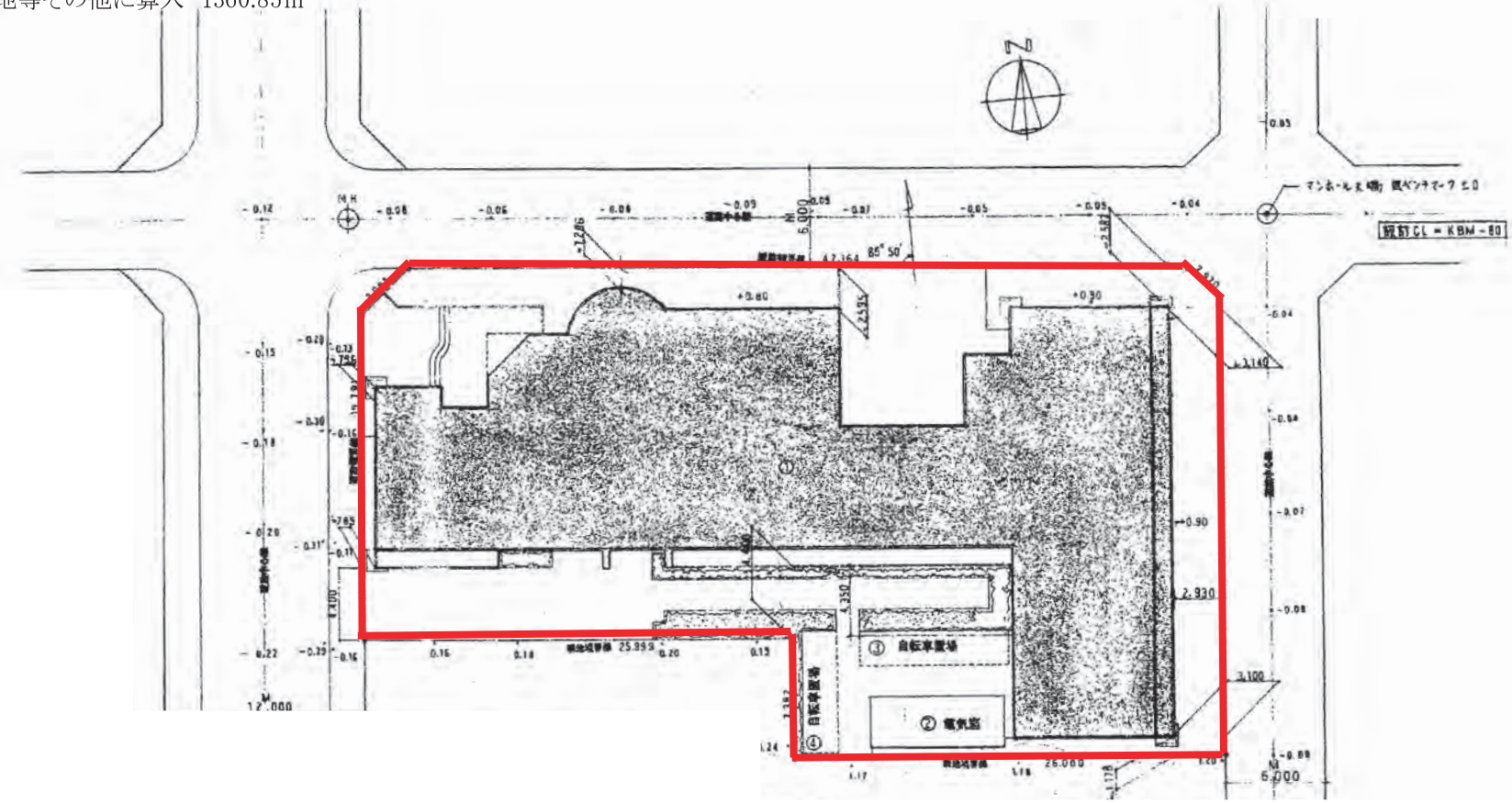
0m　10m　20m　30m　40m　50m

（この現況図は、１／２５０の縮少図である）

※当該届出に係る学部が使用する校舎は校舎平面図を参照

学校法人　武蔵野大学
葛西国際寮　敷地図

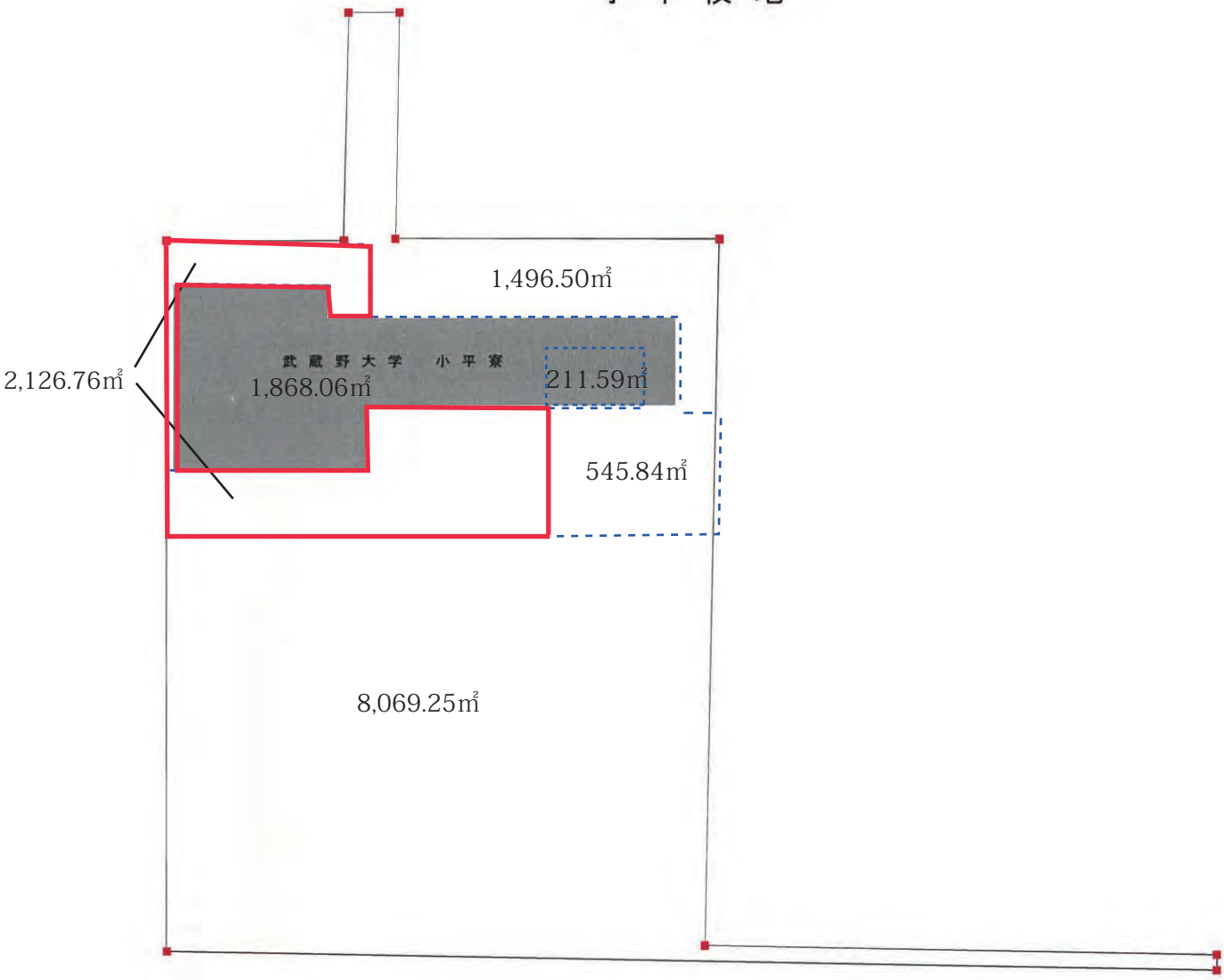
校地等その他に算入　1360.85㎡



学校法人　武蔵野大学
小平運動場・学生寮
敷地図

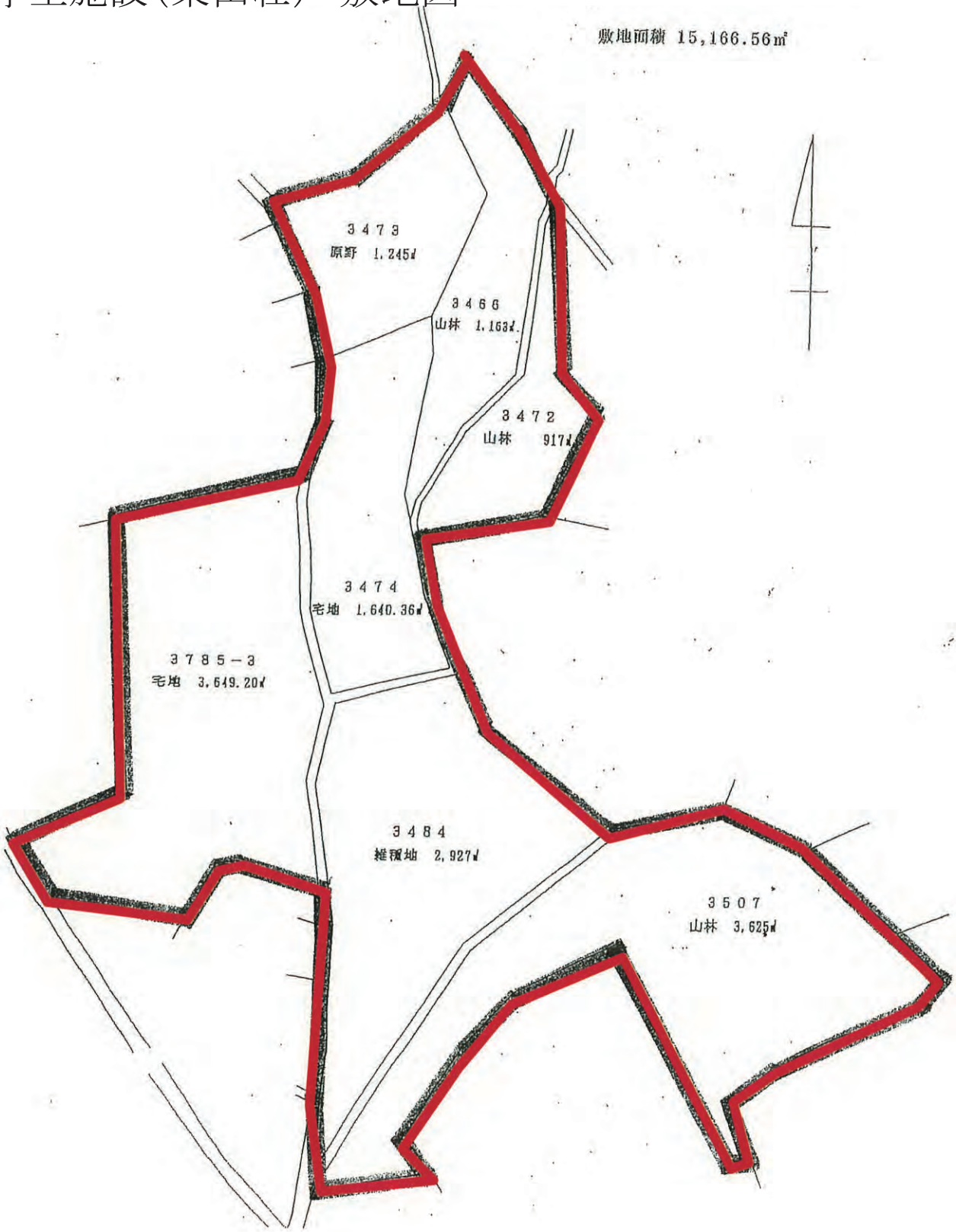
学校法人 武蔵野大学　建物配置図

小 平 校 地



1,868.06㎡…大学専用・その他に算入
211.59㎡…共用・その他に算入
1,496.50㎡…共用・その他に算入
2,126.76㎡…大学専用・運動場用地に算入
545.84㎡…共有する他の学校等の専用・その他に算入
8,069.25㎡…共有する他の学校等の専用・運動場用地に算入
――――――――――――――――――――――――――――――
14,318.00㎡

学校法人　武蔵野大学
校外厚生施設（楽山荘）　敷地図



…校地面積（専用）15,166.56㎡

○武蔵野大学学則

（昭和４０年　１月２５日）

改正	昭和４２年　１月２８日	昭和４４年　４月　１日
	昭和４５年　４月１０日	昭和４６年　４月　１日
	昭和４７年　４月　１日	昭和４８年　４月　１日
	昭和４９年　４月　１日	昭和５０年　４月　１日
	昭和５１年　４月　１日	昭和５２年　４月　１日
	昭和５３年　４月　１日	昭和５４年　４月　１日
	昭和５５年　４月　１日	昭和５６年　４月　１日
	昭和５７年　４月　１日	昭和５８年　４月　１日
	昭和５９年　４月　１日	昭和６０年　４月　１日
	昭和６１年　４月　１日	昭和６２年　４月　１日
	昭和６３年　４月　１日	平成　元年　４月　１日
	平成　２年　４月　１日	平成　３年　４月　１日
	平成　３年　７月　１日	平成　３年１０月　１日
	平成　４年　４月　１日	平成　５年　４月　１日
	平成　６年　４月　１日	平成　７年　４月　１日
	平成　８年　４月　１日	平成　９年　４月　１日
	平成１０年　４月　１日	平成１１年　４月　１日
	平成１２年　４月　１日	平成１３年　４月　１日
	平成１４年　４月　１日	平成１５年　４月　１日
	平成１６年　４月　１日	平成１７年　４月　１日
	平成１８年　４月　１日	平成１９年　４月　１日
	平成２０年　４月　１日	平成２１年　４月　１日
	平成２２年　４月　１日	平成２３年　４月　１日
	平成２４年　４月　１日	平成２５年　４月　１日
	平成２６年　４月　１日	平成２７年　４月　１日
	平成２８年　４月　１日	平成２９年　４月　１日
	平成３０年　４月　１日	平成３１年　４月　１日
	令和　２年　４月　１日	

第１章　総則

（名称）

第１条　本学は、武蔵野大学（以下「本学」という。）と称する。

（目的）

第２条　本学は、教育基本法及び学校教育法に準拠し、かつ、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を育成するとともに、学問の研究を深め、世界の平和と人類の幸福に寄与することをもって目的とする。

２　各学部･学科の教育目的は次のとおりとする。

（１）　文学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、文学を学び、文化を理解し、社会で活躍できる表現・伝達能力を身につけた人材の育成を目的とする。

＜日本文学文化学科＞

日本文学及び日本文化を学ぶことを通じて豊かな感性を養い、読解力・表現力・創造力・批評力を身につけ、新しい文化を創造することのできる人材の育成を目的とする。

（２）　グローバル学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、複数の言語を駆使し、多様な学生や多文化との関わりの中で、広い視野をもってグローバルな視点から問題発見・課題解決ができる人材の育成を目的とする。

＜グローバルコミュニケーション学科＞

英語、中国語、日本語のうち、母語以外の２言語を駆使し、言語文化を中心とする知識を有し、グローバルな環境で活躍することのできる人材を育成する。

＜日本語コミュニケーション学科＞

日本語の高度なコミュニケーション能力と課題解決能力を有し、国際社会に日本語と日本文化を発信するなど、グローバルに活躍できる人材を育成する。

＜グローバルビジネス学科＞

英語を含む複数の言語を駆使し、ビジネス社会でグローバルに活躍できる人材を育成する。

（３）　法学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、法律学又は政治学の専門的な知識を養い、普遍的なものの見方、考え方を身につけ、 共生の視点を持って課題発見・解決のできる人材の育成を目的とする。

＜法律学科＞

幸福な生活の実現に役立つ実用的な法律知識と考え方を身につけることによって、共生の視点を持って持続可能な社会の形成に貢献できる人材を育成する。

＜政治学科＞

自分を取り巻く社会環境を理解し、公共精神と共生の視点をもった市民としての能力・技能を身につけることによって、持続可能な社会の形成に貢献できる人材を育成する。

（４）　経済学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、経済学の専門的な知識を養い、普遍的・科学的なものの見方、考え方を身につけ、共生の視点を持って課題発見・解決のできる人材の育成を目的とする。

＜経済学科＞

国際化した社会の中で、高い倫理観と共生の視点を持ち、社会貢献と自己実現を目指して、経済学の方法と知見によって普遍的・科学的なものの見方・考え方を修得することで、問題発見・解決ができ、国内外の企業や官公庁など幅広い分野での活躍ができる人材を育成する。

（５）　経営学部

仏教精神を根幹として、世界の幸せの実現に向け高い倫理観と共生の視点を育成するとともに、経営学及び会計学における専門知識と技能を修得し、多様で複雑化するビジネス分野及び非営利・公共分野等において、多様な諸問題を発見・解決できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。

＜経営学科＞

変転著しい国際社会の中で、世界の幸せの実現に向け、高い倫理観と共生の視点を持ち、経営学を中心とした社会科学の知識と技能を修得し、組織人として、あるいは個人で、ビジネス分野を中心とした領域及びその他の様々な領域において、多様な諸問題を発見・解決できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。

＜会計ガバナンス学科＞

国際化した社会の中で、高い倫理観と共生の視点を持ち、社会貢献と自己実現を目指して、会計言語を駆使し、営利組織・非営利組織を問わず、組織を批判的見地で分析できる知識を養い、国内外の企業等のビジネス分野及び非営利・公共分野等で活躍できる有為な人材、中小企業の事業承継者や経営幹部、並びに公認会計士、税理士等の専門人材を育成する。

（６）　データサイエンス学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、データ、メディアコンテンツ及びそれらの分析・統合による「知の創造」を対象とする新しい学術を志向し、多くの応用の発展を実現できる人材を養成する。

＜データサイエンス学科＞

ビッグデータ、人工知能・機械学習等の新領域の経済的、技術的基礎と応用を学習し、データ、メディアコンテンツの分析・統合により、ビッグデータの戦略的活用と意思決定が行える人材を養成する。

（７）　人間科学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、人間が直面する歴史的・社会的諸課題を、心理、生命、社会、福祉などの側面から科学的に理解し、実践的に解決できる人材の育成を目的とする。

＜人間科学科＞

人間の心理、生命、社会行動を科学的方法論に基づいて研究し、人間が直面する諸課題を人間尊重の立場にたって実践的に解決できる人材の育成を目的とする。

＜社会福祉学科＞

人と社会の共生を実現しようとする人格を育成するとともに、社会福祉又はこれに関連する実践的で専門的な知識と技術を持つ人材の育成を目的とする。

（８）　工学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、専門的な知識を養い、持続可能な社会構築に向けて主体的に参画し、工学的手法により課題解決のできる人材を養成する。

＜環境システム学科＞

持続可能な社会構築に向けて、環境科学の専門能力、幅広い環境関連分野の知識を身につけ、システム的思考をもって主体的に社会参画し、一般社会を啓発できる人材を育成する。

＜数理工学科＞

自然現象や社会現象をモデル化して理解し、システム設計に応用することができる人材や、大規模データから問題の本質を見抜くデータサイエンティスト等、数理工学の専門能力を身につけ、持続可能な社会構築に向けて主体的に参画する人材を育成する。

＜建築デザイン学科＞

建築の分野を中心に、持続可能な社会構築に向けてデザインできる専門的能力を活用して現代社会が直面する多様な課題を解決できる人材を育成する。

（９）　教育学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、幅広い視野を持って教育及び教育支援に携わることのできる人材の育成を目的とする。

＜教育学科＞

児童生徒の成長・発達に関する知識を学習し、児童生徒を健やかに育むための技術と実践力を身につけ、教育とその支援活動を行える、高い人格と専門的な実践力・企画力をもった教育者の育成を目的とする。

＜幼児教育学科＞

人格教育に重きを置き、乳幼児期から児童期・青年期に至る発達全体を見通しながら、特に乳幼児期の子供の成長発達に関しての専門性の高い幼児教育者・保育者の育成を目的とする。

（１０）　薬学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、慈悲の心を持ち、多様な薬学関連分野で人々に貢献できる人材の育成を目的とする。

＜薬学科＞

６年一貫教育の趣旨を生かし、教養教育から基礎薬学教育、医療薬学教育へと系統的な教育を行うことで、医療人として高い倫理観と高度な専門知識を兼ね備えた実践力のある薬剤師の育成を目的とする。

（１１）　看護学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、人の「生老病死」と看護は密接に関係することを認識し、人々の健康及び福祉の向上に貢献できる人材の育成を目的とする。

＜看護学科＞

深い人間理解を基盤に、高い倫理観と看護の専門的な知識及び技術を有する看護職の育成を目的とする。

（学長）

第２条の２　学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

２　教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるものについては、別に定める。

（自己点検・評価）

第３条　本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検し、評価を行う。

２　点検、評価に関しての事項・体制については、別に定める。

（学部・学科及び学生定員）

第４条　本学に次の学部、学科及び専修を置き、定員は次のとおりとする。人間科学科における精神保健福祉士の定員は（　　）内のとおり定める。

<table>
<tr><th rowspan="2">学部</th><th rowspan="2" colspan="2">学　科　・　専　攻</th><th rowspan="2">入学定員</th><th colspan="2">編入学定員</th><th rowspan="2">収容定員</th></tr>
<tr><th>２年次</th><th>３年次</th></tr>
<tr><td>文学部</td><td colspan="2">日本文学文化学科</td><td>２２０名</td><td>５名</td><td>－</td><td>８９５名</td></tr>
<tr><td rowspan="3">グローバル学部</td><td colspan="2">グローバルコミュニケーション学科</td><td>１６５名</td><td>－</td><td>３名</td><td>６６６名</td></tr>
<tr><td colspan="2">日本語コミュニケーション学科</td><td>８０名</td><td>－</td><td>５名</td><td>３３０名</td></tr>
<tr><td colspan="2">グローバルビジネス学科</td><td>５５名</td><td>－</td><td>７名</td><td>２３４名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">法学部</td><td colspan="2">法律学科</td><td>１９０名</td><td>３名</td><td>－</td><td>７６９名</td></tr>
<tr><td colspan="2">政治学科</td><td>１００名</td><td>３名</td><td>－</td><td>４０９名</td></tr>
<tr><td>経済学部</td><td colspan="2">経済学科</td><td>１７５名</td><td>３名</td><td>－</td><td>７０９名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">経営学部</td><td colspan="2">経営学科</td><td>２２０名</td><td>３名</td><td>－</td><td>８８９名</td></tr>
<tr><td colspan="2">会計ガバナンス学科</td><td>９０名</td><td>－</td><td>－</td><td>３６０名</td></tr>
<tr><td>データサイエンス学部</td><td colspan="2">データサイエンス学科</td><td>７０名</td><td>－</td><td>－</td><td>２８０名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人間科学部</td><td colspan="2">人間科学科</td><td>２１５名
（２０名）</td><td>２名</td><td>－</td><td>８６６名
（８０名）</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会福祉学科</td><td>１５７名</td><td>４名</td><td>－</td><td>６４０名</td></tr>
<tr><td rowspan="3">工学部</td><td colspan="2">環境システム学科</td><td>７０名</td><td>－</td><td>－</td><td>２８０名</td></tr>
<tr><td colspan="2">数理工学科</td><td>６０名</td><td>－</td><td>－</td><td>２４０名</td></tr>
<tr><td colspan="2">建築デザイン学科</td><td>７０名</td><td>－</td><td>－</td><td>２８０名</td></tr>
<tr><td rowspan="5">教育学部</td><td rowspan="4">教育学科</td><td>学校教育専修　初等コース</td><td rowspan="4">１２０名</td><td rowspan="4">－</td><td>－</td><td rowspan="4">４８０名</td></tr>
<tr><td>学校教育専修　国語コース</td><td>－</td></tr>
<tr><td>学校教育専修　英語コース</td><td>－</td></tr>
<tr><td>学校教育専修　理科コース</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">幼児教育学科</td><td>１００名</td><td>－</td><td>－</td><td>４００名</td></tr>
<tr><td>薬学部</td><td colspan="2">薬学科</td><td>１６０名</td><td>－</td><td>－</td><td>９６０名</td></tr>
<tr><td>看護学部</td><td colspan="2">看護学科</td><td>１４５名</td><td>－</td><td>－</td><td>５８０名</td></tr>
</table>

（大学院）

第４条の２　本学に大学院を置く。

２　大学院に関する事項は、武蔵野大学大学院学則に定める。

（通信教育課程）

第４条の３　本学に通信教育部を置く。
２　通信教育部に関する事項は、武蔵野大学通信教育部学則及び武蔵野大学大学院通信教育部学則に定める。
（別科）
第４条の４　本学に別科（日本語教育課程）を置く。
２　別科に関する規程は、別に定める。
（専攻科）
第４条の５　本学に専攻科（言語聴覚士養成課程）を置く。
２　専攻科に関する規程は、別に定める。
第５条　（削除）
（修業年限及び在学期間）
第６条　各学科の修業年限は４年とし、在学期間は８年を超えることができない。ただし、薬学部薬学科においては、修業年限は６年とし、在学期間は１２年を超えることができない。

第２章　学年、学期及び休業日

（学年）
第７条　学年は、４月１日に始まり翌年３月３１日に終る。
（学期）
第８条　学年を次の２学期又は４学期に分ける。

前後期制

学　期	期　間
前期	４月１日から９月３０日まで
後期	１０月１日から翌年３月３１日まで

４学期制

学　期	期　間
１学期	４月１日から９月３０日までの間で別に定める。
２学期	
３学期	１０月１日から翌年３月３１日までの間で別に定める。
４学期	

２　年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、３５週にわたることを原則とする。
（休業日）
第９条　休業日は、次のとおりとする。
（１）　日曜日
（２）　国民の祝日に関する法律に定めた日
（３）　本学創立記念日（５月２１日）
（４）　夏季休業、冬季休業、春季休業に関しては別に定める。
（５）　その他学長が必要と認めたときは、臨時に休業し、又は休業日に授業を行うことがある。

第３章　授業科目及び単位算定基準

（授業科目）
第１０条　本学には、次の授業科目を置く。
共通科目・学科科目
２　前項に定めるもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を開設することができる。
３　前各項により開講する授業科目の種類及び単位数は、別表（１）、別表（１）－２及び教育学部教育学科履修内規のとおりとする。

（資格課程の授業科目）
第１１条　前条に定めるほか、教職、司書、司書教諭、日本語教員養成、建築士、保育士、社会福祉士及び精神保健福祉士に関する授業科目を置く。
２　前項により開講する授業科目の種類及び単位数は、別表（２）～（４）、（６）及び（８）（９）（１０）（１１）のとおりとする。
（単位）
第１２条　各授業科目の単位数は、４５時間の学修を必要とする内容をもって１単位とすることを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。
（１）　講義及び演習については、１５時間から３０時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって１単位とする。
（２）　実験、実習及び実技については、３０時間から４５時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって１単位とする。
（３）　前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することができる。
２　学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が履修すべき単位数について、１年間に履修科目として登録できる単位数の上限を定める。
３　前項に定める単位数の上限は、別表（１）－３に定める。
４　所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。
（メディアを利用して行う授業）
第１２条の２　本学において教育上有益と認めるときは、前条の授業を、多様なメディアを高度に利用して、教室等以外の場所で履修させることができる。
２　前項の授業の方法により修得する単位数は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち６０単位を超えないものとする。
３　メディアを利用して行う授業科目及び授業方法については別に定める。

第４章　試験及び単位の認定

（単位の認定）
第１３条　１つの授業科目を履修した者に対しては、試験の上単位を与える。
２　各授業科目について授業時数の３分の１以上欠席した者は、その授業科目の単位の認定を受けることができない。
（追、再試験）
第１３条の２　病気その他やむを得ない事情により定期試験に欠席した者に対しては、追試験を行うことがある。
２　不合格の科目については、再試験を行うことがある。
３　追試験及び再試験の実施については別に定める。
（成績評価）
第１４条　試験の成績評価は、次のとおりとする。
Ｓ（１００点～９０点）、Ａ（８９点～８０点）、Ｂ（７９点～７０点）、
Ｃ（６９点～６０点）、Ｄ（５９点～０点）。
Ｃ以上を合格とし、Ｄは不合格とする。
第１５条　（削除）
第１６条　（削除）
第１７条　（削除）
第１８条　（削除）
（他大学等における学修）
第１９条　本学において教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。
２　前項の規定により履修した授業科目については、合計６０単位を超えない範囲で卒業要件の

単位として認めることができる。
３　前２項は、国内外の大学等へ留学した場合にも適用する。
（大学以外の教育施設における学修）
第１９条の２　本学において教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を認めることができる。
２　前項により認めることができる単位数は、前条により本学において修得したものと認める単位数と合わせて６０単位を超えないものとする。
（入学前の既修得単位の認定）
第２０条　本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したとみなし単位を認めることができる。
２　前項により修得したものとみなして認めることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第１９条及び前条による単位数と合わせて６０単位を超えないものとする。
３　前２項の単位認定の取り扱いについては、別に定める。
（外国人留学生の単位の読み替え）
第２１条　外国人留学生が第１０条第２項に定める授業科目の単位を修得したとき、文学部、法学部、経済学部、経営学部、データサイエンス学部、人間科学部、工学部、教育学部は共通科目の単位に替えることができる。

第５章　卒業・学位授与及び資格の取得

（卒業の要件）
第２２条　卒業の要件は、文学部並びにグローバル学部、法学部、経済学部、経営学部、データサイエンス学部、人間科学部、工学部、教育学部、看護学部は合計１２４単位以上、薬学部は合計２３５単位以上を修得していることとする。
（１）　文学部日本文学文化学科
共通科目は、必修１４単位を含めて２６単位。学科科目は、必修４６単位を含めて７６単位。自由選択単位は、２２単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、教職課程科目等の資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。
（２）　グローバル学部グローバルコミュニケーション学科、日本語コミュニケーション学科、グローバルビジネス学科
グローバルコミュニケーション学科の共通科目は、必修１４単位を含めて１８単位。学科科目は、必修２４単位及び選択必修単位を含めて７５単位。自由選択単位は、３１単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。
日本語コミュニケーション学科の共通科目は、必修１４単位を含めて１８単位。ただし、学科の定める基準により、必修１４単位中最大６単位までを、学科科目の履修をもって代えることができる。学科科目は、必修１９単位及び選択必修単位を含めて７５単位。自由選択単位は、３１単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。
グローバルビジネス学科の共通科目は、必修１４単位を含めて１８単位。学科科目は、必修２７単位及び選択必修単位を含めて９１単位。自由選択単位は、１５単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。
（３）　法学部法律学科、政治学科
法律学科の共通科目は、必修２２単位を含めて２６単位。学科科目は、必修３０単位を含めて８２単位。自由選択単位は、１６単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目

から所要単位以上に取得した単位、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。なお、育成プログラムについては別に定める。

政治学科の共通科目は、必修２４単位を含めて２８単位。学科科目は、必修２９単位を含めて８２単位。自由選択単位は、１４単位以上。ただし、卒業論文を履修しない者は、うち６単位は隣接科目群を除く学科科目とする。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。なお、育成プログラムについては別に定める。

（４）　経済学部経済学科

経済学科の共通科目は、必修２２単位を含めて２６単位。学科科目は、８４単位。自由選択単位は、１４単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。なお、育成プログラムについては別に定める。

（５）　経営学部経営学科、会計ガバナンス学科

経営学科の共通科目は、必修２２単位を含めて２６単位。学科科目は、必修２２単位を含めて７２単位。自由選択科目は、２６単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。

会計ガバナンス学科の共通科目は、必修２２単位を含めて２６単位。学科科目は、必修２０単位を含めて７２単位。自由選択単位は、２６単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。なお、育成プログラムについては別に定める。

（６）　データサイエンス学部データサイエンス学科

データサイエンス学科の共通科目は、必修２４単位を含めて２８単位。学科科目は必修５４単位を含めて８７単位。自由選択単位は９単位以上の合計１２４単位以上修得する。自由選択単位は、共通科目、学科科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。多様なメディアを利用して行うデータサイエンス社会実践学修は（短期）１単位、（中期）２単位、（長期）３単位、（海外）４単位とし、データサイエンス学部学科科目の選択科目として履修することができる。

（７）　人間科学部人間科学科、社会福祉学科

人間科学科の共通科目は、必修１４単位を含めて２６単位。学科科目は、必修４０単位を含めて８６単位。自由選択単位は、１２単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。

社会福祉学科の共通科目は、必修１４単位を含めて２６単位。学科科目は必修６８単位を含めて８９単位。自由選択単位は、９単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科、日本事情に関する科目の学科科目の単位をあてることができる。

（８）　工学部 環境システム学科、数理工学科、建築デザイン学科

環境システム学科の共通科目は、必修１４単位を含めて２６単位。学科科目は、必修３２単位を含めて７２単位。自由選択単位は２６単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、教職課程科目等の資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位、学校教育法施行規則第１４３条の２に定める教育関係共同利用拠点として認定された他大学の公開授業をあてることができる。

数理工学科の共通科目は、必修１４単位を含めて２６単位。学科科目は、必修４０単位を含めて７８単位。自由選択単位は、２０単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、教職課程科目等の資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。

建築デザイン学科の共通科目は、必修１４単位を含めて２６単位。学科科目は、必修４６単位を含めて７８単位。自由選択単位は、２０単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単

位をあてることができる。

（９）　教育学部教育学科、幼児教育学科

教育学科の共通科目は、必修１４単位を含めて２６単位。ただし、学校教育専修理科コースの共通科目は、必修１５単位を含めて２９単位。学科科目は、学校教育専修初等コースが必修５４単位を含めて７８単位、学校教育専修国語コースが必修７０単位を含めて８４単位、学校教育専修英語コースが必修６０単位を含めて７７単位、学校教育専修理科コースが必修７０単位を含めて９２単位。自由選択単位は、学校教育専修初等コースが２０単位以上、学校教育専修国語コースが１４単位以上、学校教育専修英語コースが２１単位以上、学校教育専修理科コースが３単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。

幼児教育学科の共通科目は、必修１４単位を含めて２６単位。学科科目は、必修６１単位を含めて８４単位。自由選択単位は、１４単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。

（１０）　薬学部薬学科

共通科目は、必修３９単位を含めて４７単位、学科科目は、必修１７１単位。自由選択単位は１７単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

（１１）　看護学部看護学科

共通科目は、必修２０単位を含めて２２単位、学科科目は、必修９１単位。自由選択単位は１１単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、教職課程科目、他学部・他学科履修許可科目の単位をあてることができる。

２　（削除）

３　（削除）

４　（削除）

５　第１項の規定にかかわらず、成果に基づき単位認定する科目の単位を卒業要件に含むことができる。これについては別に定める。

（学位）

第２２条の２　本学に４年以上（薬学部薬学科は６年以上）在学し（ただし、全ての学年で１年以上在籍すること）、前条第１項各号に定める単位を修得した者には、学長が教授会の意見を聴き、学長が卒業を認定し、次の学位を授与する。

文学部	日本文学文化学科	学士（文学）
グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科	学士（グローバルコミュニケーション）
グローバル学部	日本語コミュニケーション学科	学士（日本語コミュニケーション）
グローバル学部	グローバルビジネス学科	学士（グローバルビジネス）
法学部	法律学科	学士（法律学）
法学部	政治学科	学士（政治学）
経済学部	経済学科	学士（経済学）
経営学部	経営学科	学士（経営学）
経営学部	会計ガバナンス学科	学士（会計学）
データサイエンス学部	データサイエンス学科	学士（データサイエンス学）
人間科学部	人間科学科	学士（人間学）
人間科学部	社会福祉学科	学士（社会福祉学）
工学部	環境システム学科	学士（環境システム学）
工学部	数理工学科	学士（工学）
工学部	建築デザイン学科	学士（工学）

教育学部	教育学科	学士（教育学）
教育学部	幼児教育学科	学士（幼児教育学）
薬学部	薬学科	学士（薬学）
看護学部	看護学科	学士（看護学）

２　前項の定めにかかわらず、３年以上在学し、卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認める場合（薬学部薬学科を除く）には、前項を準用し、卒業させることができる。

（教員免許状の取得）

第２２条の３　教員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に基づく本学所定の別表（２）の単位を修得しなければならない。ただし、教育学科及び幼児教育学科において教員免許状取得に要する単位の修得については、別表（１）の中に定める。

２　取得できる教員免許状の種類は、次のとおりとする。

文学部	日本文学文化学科	高等学校教諭１種免許状（国語・書道）
		中学校教諭１種免許状（国語）
工学部	環境システム学科	高等学校教諭１種免許状（理科）
		中学校教諭１種免許状（理科）
	数理工学科	高等学校教諭１種免許状（数学）
		中学校教諭１種免許状（数学）
教育学部	教育学科	高等学校教諭１種免許状（国語・書道）
		高等学校教諭１種免許状（英語）
		高等学校教諭１種免許状（理科）
		中学校教諭１種免許状（国語）
		中学校教諭１種免許状（英語）
		中学校教諭１種免許状（理科）
		小学校教諭１種免許状
	幼児教育学科	幼稚園教諭１種免許状
看護学部	看護学科	養護教諭１種免許状

（司書資格）

第２２条の４　司書の資格を得ようとする者は、図書館法施行規則に基づく本学所定の別表（３）の単位を修得しなければならない。

（司書教諭資格）

第２２条の５　司書教諭の資格を得ようとする者は、学校図書館司書教諭講習規程に基づく本学所定の別表（４）の単位を修得しなければならない。

（社会教育主事課程）

第２２条の６　（削除）

（日本語教員養成課程）

第２２条の７　日本語教員養成のための、課程の修了の認定を受けようとする者は、本学所定の別表（６）の単位を修得しなければならない。

（一級建築士並びに二級建築士及び木造建築士）

第２２条の８　一級建築士並びに二級建築士及び木造建築士の受験資格を得ようとする者は、建築士法に基づく本学所定の別表（８）建築デザイン学科の単位を修得しなければならない。

（保育士）

第２２条の９　保育士の資格を得ようとする者は、児童福祉法施行規則に基づく本学所定の別表（９）の単位を修得し、幼児教育学科を卒業しなければならない。ただし、幼児教育学科卒業までの間に別表（９）の単位を修得できなかった者は、幼児教育学科卒業後、科目等履修生として単位を修得すれば、保育士資格を取得することができる。

（社会福祉士）

第２２条の１０　社会福祉士の受験資格を得ようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法に基づく本学所定の別表（１０）の単位を修得しなければならない。

（精神保健福祉士）
第２２条の１１　精神保健福祉士の受験資格を得ようとする者は、精神保健福祉士法に基づく本学所定の別表（１１）の単位を修得しなければならない。

第６章　入学、転入学、編入学、復学、再入学・復籍、休学、転部・転科・転専攻、留学、転学・退学及び除籍

（入学の時期）
第２３条　入学は原則として毎年１回、時期は学年の始めとする。ただし、必要とされる場合には、年に２回とし、時期は別に定める。

（入学資格）
第２４条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。
（１）　高等学校又は中等教育学校を卒業した者
（２）　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
（３）　外国において学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
（４）　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
（５）　文部科学大臣の指定した者
（６）　文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
（７）　本大学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達した者

（出願）
第２５条　入学志願者は、本学所定の入学願書その他の書類に入学検定料を添えて、指定の期日までに提出しなければならない。

（選考）
第２６条　入学志願者に対して選考を行う。選考の方法等については、別に定める。

（手続き）
第２７条　合格した者は、本学所定の書類に学費を添えて指定の期日までに入学の手続きをしなければならない。
２　正当な理由なく前項の手続きをしない者は、合格を取り消すことがある。

（許可）
第２８条　合格した者のうちから、前条の手続きを行った者について学長が教授会の意見を聴き、入学を許可する。
２　（削除）

（保証人・緊急対応者）
第２９条　保証人は、父母又はこれにかわる者とし、他に１名緊急時に対応できる者（以下「緊急対応者」という。）を必要とする。
２　保証人は、その学生の在学中に生じた事項について責任を負うものとする。
３　緊急対応者は、原則として東京都及びその近県に在住する者とし、緊急時に対応できる者とする。

（氏名・住所等の変更）
第３０条　学生、保証人、緊急対応者の氏名、住所等連絡先が変更になったときは、その旨を速やかに届け出なければならない。

（保証人・緊急連絡先の変更）
第３１条　保証人、緊急対応者が変更になったときは、速やかに新たな保証人、緊急対応者を届け出なければならない。

（転入学）
第３１条の２　本学への転入学又は編入学を希望する者については、選考の上、学長が教授会の意見を聴き、これを許可することがある。

２　転入学に関する規程は、別に定める。
（編入学）
第３１条の３　編入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。
（１）　短期大学を卒業した者
（２）　大学の課程１年（３１単位以上）若しくは２年（６２単位以上）を修了した者
（３）　学士の学位を有する者
（４）　大学入学有資格者で、文部科学大臣の定めた基準（修業年限２年以上の課程修了に必要な総時間数 1700 時間以上）を満たす専修学校の専門課程を修了した者
（５）　旧専門学校（３年制）を卒業した者
（６）　高等専門学校（５年制）を卒業した者
（７）　国立大学養護教諭養成所（３年制課程）国立工業教員養成所を卒業した者
（８）　短期大学の課程１年（３１単位以上）を修了した者
（９）　３年以上の社会経験を有する者
（１０）　本学別科(日本語教育課程)において、科目等履修生として、所定の３５単位を修得し、かつ一定の成績を修めた者
（１１）　高等学校専攻科（修業年限２年以上で、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす）を修了した者
２　編入学に関する規程は別に定める。
（復学）
第３１条の４　休学期間が満了した場合は、復学となる。ただし、病気によって休学の許可を受けた者は、医師の診断書を添えて所定の「復学願」を提出しなければならない。
２　復学の時期は、原則として学年始めとする。ただし、修業にさしつかえない場合は、他の時期でも許可することがある。
３　休学期間中に休学の事由がやみ、復学しようとする者は所定の「復学願」を提出しなければならない。
（再入学・復籍）
第３１条の５　退学又は除籍した者が３年以内に保証人連署にて再入学又は復籍を願い出たときは、選考の上、学長が教授会の意見を聴き、これを許可することがある。この場合において退学又は除籍以前の在学期間及び修得単位は所定の在学年限及び卒業所要単位に算入する。
２　再入学及び復籍の時期は、原則として学年始めとする。ただし、修業にさしつかえない場合は、他の時期でも許可することがある。
３　再入学及び復籍に関する規程は別に定める。
（休学）
第３２条　病気又はやむを得ない理由により２カ月以上修学できない者は、医師の診断書又は詳細な理由を記載した保証人連署の休学願を提出し、学長の許可を得て休学することができる。
２　学長は病気等のため、修学が困難と認められる場合休学を命ずることができる。
（休学期間）
第３３条　休学期間は、原則として当該年度内とする。ただし、やむを得ない場合には、その期間を６カ月ごとに延長することができる。
２　休学の期間は、通算して３年を超えることができない。
３　休学期間は、在学年限に算入しない。
（転部・転科・転専攻）
第３３条の２　本学の学生が、大学の学部間への転部・転科・転専攻を願い出た場合において、それが教育上有益と認められるときは、学長がこれを許可することがある。
２　転部・転科・転専攻に関する規程は別に定める。
（留学）
第３３条の３　本学の学生が、国内外の大学、又はこれに相当する高等教育機関への留学を願い出た場合において、それが教育上有益と認められるときは、学長がこれを許可することがある。
２　留学に関する規程は、別に定める。
第３４条　（削除）

（退学・転学）
第３５条　退学又は転学を希望する者は、保証人連署の上、その理由を記載した願いを提出して学長の許可を受けなければならない。
第３６条　（削除）
第３７条　（削除）
（除籍）
第３８条　次の各号の一に該当する者は、除籍する。
（１）　在学期間が所定の年数を超えた者
（２）　第３３条第２項に定める年数を超えた者
（３）　授業料その他学費を滞納し催告してもなお納付しない者
（４）　薬学部及び看護学部においては、卒業年次を除く同一学年に２年在籍し、なお進級できない者。ただし、休学期間を除く。
（５）　死亡の届け出があった者
（６）　外国人留学生で、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格を喪失した者
第３９条　（削除）
第４０条　（削除）

第７章　学費

（納入方法及び時期）
第４１条　本学の学費は、別表（７）のとおりとする。
特別な事由のある場合は、別に定めるところにより学費の減免を行うことができる。
学費の納入時期及び納入期限、延納については、別に定める。
第４２条　（削除）
（納入金の返還）
第４３条　既納の学費は、原則として返還しない。ただし、入学手続完了後、定められた期日までに入学辞退を申し出た者に対しては、入学金以外の納入金を返還することがある。
（休学中の学費）
第４４条　休学中の学費については、別に定める。
（留学中の学費）
第４５条　第３３条の３における留学中の学費は別に定める。
（学期途中の退学・転学の学費）
第４６条　学期の途中において退学又は転学をしようとする者は、その期の学費を納入しなければならない。
第４７条　（削除）
（転入学・編入学・再入学の学費）
第４８条　転入学、編入学又は再入学の場合の学費については別に定める。

第８章　教職員組織

（教職員組織）
第４９条　本学に次の教職員を置く。
（１）　学長
（２）　副学長
（３）　教授
（４）　准教授
（５）　講師
（６）　助教
（７）　助手
（８）　事務職員
（９）　技術職員
（１０）　労務職員

（名誉教授）
第４９条の２　本学に名誉教授の称号を設ける。
２　名誉教授に関する規程は別に定める。
（職務）
第５０条　教職員の職務は、学校教育法及び本学で定める規程による。

第９章　教授会及び委員会

（教授会の設置及び構成）
第５１条　学部に教授会を置く。教授会は教授をもって構成する。ただし、学部長が必要と認めたときは構成員以外の教職員の出席をもとめることができる。
（招集及び議長）
第５２条　教授会は、原則としてあらかじめ議案を通知して学部長がこれを招集し、その議長となる。学部長に事故があるときはあらかじめ学部長の指名した者が代行する。
（審議事項）
第５３条　教授会は、次に掲げる事項を審議する。
（１）　学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
（２）　学位の授与に関する事項
（３）　前２号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
（４）　教育及び研究にかかわる規則及び組織に関する事項
（５）　教育課程及び履修方法に関する事項
（６）　学生の試験に関する事項
（７）　学生の休学、転学、退学に関する事項
（８）　学生の賞罰に関する事項
（９）　学生の厚生補導に関する事項
（１０）　その他教育及び研究に関する重要事項
（１１）　上記各号に関する諸規程の制定・改廃に関する事項
（１２）　学部運営上学部長が必要と認めた事項
２　前項第１号から第３号については、学長に意見を述べることとし、第４号以降については、学長の求めに応じ学長に意見を述べることができる。
３　教授会運営内規は別に定める。
（委員会）
第５４条　本学又は学部に教育、厚生補導、図書施設等に関して委員会を設けることができる。
２　委員会に関する規程は別に定める。

第１０章　付属施設

（付属施設）
第５５条　本学に付属の図書館を置く。
２　本学には、前項に定めるほか、付属の研究所、センター、その他必要な教育研究施設を置くことができる。
３　付属施設に関する規則は、別に定める。

第１１章　厚生、保健施設

（厚生・保健施設）
第５６条　本学の教職員、学生の保健医療及び厚生のため、医務室、休養室その他を設ける。

第１２章　学生寮

（学生寮）
第５７条　本学に学生寮を設ける。
２　学生寮に関する規程は別に定める。

第１３章　賞罰

（表彰）

第５８条　次の各号の一に該当する者に対し、学長は、これを賞することができる。

（１）　成績特に優秀なる者

（２）　品行方正にして他学生の模範となる者

２　前項以外にも、学長が特別に優秀と認めた者については、これを賞することができる。

（懲戒）

第５９条　本学の学則に背き又は本学の秩序を乱し、学生としての本分に反した行為のあるときは、学長はこれを懲戒する。懲戒は、譴責、停学及び退学とする。

２　前項の退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。

（１）　性行不良で改善の見込みがないと認められた者

（２）　学業を怠り成績不良で成業の見込みがないと認められた者

（３）　正当な理由なくして出席が常でない者

（４）　著しく学生の本分に反し、本学の秩序を乱した者

３　第１項の懲戒が正式に決定するまでの期間、学長は当該学生に対し、自宅謹慎を命じることができる。なお、停学の懲戒を受けた場合、自宅謹慎期間を停学期間に含めることができる。

４　懲戒に関しては、別に定める。

第６０条　（削除）

第１４章　公開講座、研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生

（公開講座）

第６１条　本学は、社会人の教養と文化の向上に資するため、公開講座を開催することができる。

（研究生）

第６２条　本学において特定の専門事項に関する研究に従事することを願い出た者には、選考の上、研究生として受入れを許可することがある。

２　研究生に関する規程は、別に定める。

３　研究生の研究料は別に定める。

（科目等履修生）

第６３条　授業科目の履修を願い出た者には、本学の教育に支障のない限りにおいて科目等履修生として受入れを許可することがある。

２　科目等履修生が履修した授業科目については、第１３条及び第１４条の規定により所定の単位を与えることができる。

３　科目等履修生に関する規程は、別に定める。

４　科目等履修生の履修料は別に定める。

（特別聴講学生）

第６４条　他の大学又は短期大学の学生で、本学において授業科目の履修を願い出た者には、当該他大学又は短期大学との協議に基づき、特別聴講学生として受入れを許可することがある。

２　特別聴講学生に関する規程は、別に定める。

３　特別聴講学生の受講料は別に定める。

（外国人留学生）

第６５条　外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

２　外国人留学生に関する規程は、別に定める。

（学則の準用）

第６６条　研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生には、別に規定するほか、本学則を準用する。ただし、研究生、科目等履修生及び特別聴講学生については、第６条、第２２条の２条第１項及び第２項を準用しない。

２　（削除）

３　（削除）

第１５章　育英奨学制度

（育英資金等）

第６７条　学業人格とも優秀で経済力に乏しい学生については選考の上、授業料免除及び本派本願寺育英資金制度その他の方法を講ずることがある。

附　則

昭和４０年１月２５日

昭和４２年１月２８日改正

昭和４４年４月　１日改正

昭和４５年４月１０日改正

昭和４６年４月１日改正。ただし、昭和４６年３月３１日以前から在学している者には、第１１条及び第３７条については、なお従前の例による。

昭和４７年４月１日改正。ただし、昭和４７年３月３１日以前から在学している者には、第３７条については、なお従前の例による。

昭和４８年４月１日改正。ただし、昭和４８年３月３１日以前から在学している者には、第３７条並びに第３８条については、なお従前の例による。

昭和４９年４月１日改正。ただし、昭和４９年３月３１日以前から在学している者には、第３７条並びに第３８条については、なお従前の例による。また、入学考査料については入学志願時から適用する。

昭和５０年４月１日改正。ただし、昭和５０年３月３１日以前から在学している者には、第３７条並びに第３８条については、なお従前の例による。

昭和５１年４月１日改正。ただし、昭和５１年３月３１日以前から在学している者には、第３７条並びに第３８条については、なお従前の例による。

昭和５２年４月１日改正。ただし、昭和５２年３月３１日以前から在学している者には、第３７条並びに第３８条については、なお従前の例による。

昭和５３年４月１日改正。ただし、昭和５３年３月３１日以前から在学している者には、第３７条並びに第３８条については、なお従前の例による。

昭和５４年４月１日改正。ただし、昭和５４年３月３１日以前から在学している者には、第３６条並びに第３７条については、なお従前の例による。

昭和５５年４月１日改正。ただし、昭和５５年３月３１日以前から在学している者には、第３６条並びに第３７条については、なお従前の例による。

昭和５６年４月１日改正。ただし、昭和５６年３月３１日以前から在学している者には、第３６条並びに第３７条については、なお従前の例による。

昭和５７年４月１日改正。ただし、昭和５７年３月３１日以前から在学している者には、第３６条並びに第３７条については、なお従前の例による。

昭和５８年４月１日改正。ただし、昭和５８年３月３１日以前から在学している者には、第３６条並びに第３７条については、なお従前の例による。

附　則（第９条第２項、第１８条、第１９条、第３１条第２項追加、第５１条改正、第９条第３項、第３１条一部改正）

この学則は、昭和５９年４月１日から施行する。

昭和５９年３月３１日以前から在学している者には、第３８条並びに第３９条については、なお従前の例による。

附　則（第３８条別表５一部改正）

この学則は、昭和６０年４月１日から施行する。

昭和６０年３月３１日以前から在学している者には、第３８条並びに第３９条については、なお従前の例による。

附　則（第９条第３項別表(1)、別表(2)、第３８条別表(5)一部改正）

この学則は、昭和６１年４月１日から施行する。

昭和６１年３月３１日以前から在学している者には、第３８条並びに第３９条については、

なお従前の例による。

附　則（第９条第３項別表(1) 、第３８条別表(5) 一部改正）

この学則は、昭和６２年４月１日から施行する。

昭和６２年３月３１日以前から在学している者には、第３８条並びに第３９条については、なお従前の例による。

附　則（第１８条、第５９条、第６３条第３項追加、第６３条第３項一部追加、第９条第３項別表(1) 、別表(2) 、第２１条第１項第２号、第４号、第３９条別表(5) 第６３条第１項一部改正）

この学則は、昭和６３年４月１日から施行する。

昭和６３年３月３１日以前から在学している者には、第３９条並びに第４０条については、なお従前の例による。

附　則（第８条、第９条第２項、第９条第３項別表(1) 及び別表(1)-2 、第１３条、第２０条、第３９条別表 (5)一部改正）

この学則は、平成元年４月１日から施行する。

平成元年３月３１日以前から在学している者には、第１３条、第３９条並びに第４０条については、なお従前の例による。

第３９条並びに第４０条別表 (5)のうち、平成元年３月３１日までに入学を許可された者に係る入学金については、なお従前の例による。

附　則（第２１条の２第２項一部改正）

この学則は、平成２年４月１日から施行する。ただし、平成２年３月３１日以前から在学している者には、第１３条、第２１条の２第２項、第３９条並びに第４０条については、なお従前の例による。

附　則（第９条第３項別表(1) 、第３９条別表(5) 一部改正）

この学則は、平成３年４月１日から施行する。ただし、平成３年３月３１日以前から在学している者には、第１３条、第２１条の２第２項、第３９条並びに第４０条については、なお従前の例による。

附　則（第２１条第３項一部改正）

この学則は、平成３年７月１日から施行する。ただし、平成３年３月３１日以前から在学している者には、第１３条、第２１条の２第２項、第３９条並びに第４０条については、なお従前の例による。

附　則（第３９条・第４０条別表(5) 一部改正）

この学則は、平成３年１０月１日から施行する。ただし、平成３年９月３０日までに納付する入学金、施設設備資金については、なお従前の例による。また、平成３年３月３１日以前から在学している者には、第１３条、第２１条の２第２項についてはなお従前の例による。

附　則（第４条、第３９条・第４０条別表(5) 一部改正、第４１条）

この学則は、平成４年４月１日から施行する。

第４条の規定にかかわらず平成４年度から平成１１年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学　　部	学　　科	入　学　定　員
文　学　部	日　本　文　学　科	２００名
	英　米　文　学　科	２００名

平成４年３月３１日以前から在学している者には、第１３条、第３９条、第４０条第４１条については、なお従前の例による。

附　則（第３条追加、第５条、第８条第２項、第２４条、第４０条・第４１条別表(5)、第５９条、第６０条、第６１条、第６２条、第６３条、第６４条一部改正、第３９条・第４０条別表(5) 一部改正、第４１条）

この学則は、平成５年４月１日から施行する。平成５年３月３１日以前から在学している者には、第４０条、第４１条については、なお従前の例による。

附　則（第４０条・第４１条別表(5) 改正）

この学則は、平成６年４月１日から施行する。平成６年３月３１日以前から在学している者

には、第４０条、第４１条については、なお従前の例による。

附　則（第４条、第５条、第１０条第３項別表(1)及び別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4) 、第１９条第３項追加、第２０条、第２１条、第２２条、第４０条・第４１条別表(5)改正）

この学則は、平成７年４月１日から施行する。

第５条の規定にかかわらず平成７年度から平成１１年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学　　部	学　　科	入　学　定　員
文　学　部	日　本　文　学　科	１５０名
	英　米　文　学　科	１５０名

また、平成７年３月３１日以前から在学している者には、第１０条第３項別表(1) 及び別表(1)-2 、第１１条第２項別表(2)(3)(4) 、第２０条、第２１条、第２２条については、なお従前の例による。

附　則（第１０条・第２２条の２別表(2) 一部追加、並びに第２項一部追加及び第２２条の５追加）

この学則は、平成８年４月１日から施行する。ただし、平成８年３月３１日以前から在学している者には、第４１条、第４２条については、なお従前の例による。

附　則(第１０条第３項別表(1)、第１１条、第２２条の２別表(2)、第２２条の３別表(3) 、第２２条の４別表(4) 、第２２条の５別表(5) 、第４１・第４２条別表(7) 、第５１条、第５２条、第５４条一部改正、第２２条の６及び別表(6)追加）

この学則は平成９年４月１日から施行する。ただし、平成９年３月３１日以前から在学している者には、第４１条、第４２条については、なお従前の例による。

附　則（第４条一部追加、第５条削除、第１０条第１項、第１０条第３項別表(1)及び別表(1)-2 一部追加、第１２条改正、第２０条第２項、第２１条、第２２条第１及び３項、第２２条の２第２項、第４１条別表(7)、第５１条一部追加）

この学則は、平成１０年４月１日から施行する。ただし、平成１０年３月３１日以前から在学している者には、第４１条、第４２条については、なお従前の例による。

附　則（第４条、第１０条第１項及び第３項別表(1)-2 備考、第２０条第２項、第２１条、第２２条第１項及び第３項、第２２条の２別表(2)及び第２項、第２２条の４別表(4)、第２２条の６別表(6)、第４１条別表(7)、第５１条一部改正）

この学則は、平成１１年４月１日から施行する。ただし、平成１１年３月３１日以前から在学している者には、第４１条、第４２条については、なお従前の例による。

附　則（第４条、第１０条第１項及び第３項別表(1)、第２０条第２項、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２第２項一部改正）

この学則は、平成１２年４月１日から施行する。ただし、平成１２年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条、第４２条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　第４条の規定にかかわらず、平成１５年度までの入学定員は次のとおりとする。

年度等／学科	平成１２年度	平成１３年度	平成１４年度	平成１５年度
	入 学 定 員	入 学 定 員	入 学 定 員	入 学 定 員
日本語･日本文学科	２５５名	２３５名	２１５名	１９５名
英語･英米文学科	２６０名	２４５名	２３０名	２１５名

３　第２０条第２項については平成１２年度入学生から適用する。平成１２年３月３１日以前から在学している者については、なお従前の例による。

附　則（第１０条第３項別表 (1)、第１１条第２項別表 (2)、第２２条第４項、第２２条の２第２項一部改正）

この学則は、平成１３年４月１日から施行する。ただし、平成１３年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条、第４２条の規定にかかわらず、なお従前の例による。第２２条第３項については、平成１３年度入学生から適用し、平成１３年３月３１日以前から在学

している者については、なお従前の例による。

附　則（第３章 授業科目及び履修方法並びに単位算定基準、 第１０条第３項別表(1)、第７章 学費 、第４１条別表(7)一部改正及び各条文を整理し、簡潔な「項目」の追加 ）

この学則は、平成１４年４月１日から施行する。ただし、平成１４年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第１章第１条、第２条、第４条、第４条の２、第４条の３、第３章第１０条第３項別表(1)、第１１条、第１１条第２項、第５章第２２条、第２２条第(1)(2)(3)号、第２２条の２、第２２条の３、第２２条の３第２項一部改正、第２２条の８、第２２条の９追加　改正）

１　この学則は、平成１５年４月１日から施行する。ただし、平成１５年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　武蔵野女子大学は、平成１５年３月３１日現在、同大学（通信教育部を除く）に在学する者が、在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

３　前項の期間、武蔵野大学の学長、その他の教職員は武蔵野女子大学の学長その他の教職員を兼ねるものとする。

４　第４条の規定にかかわらず、平成１６年度までの入学定員は次のとおりとする。

学 科・専 攻		平成１５年度	平成１６年度
環境学科	環境アメニティ専攻	６０名	６０名
	住環境専攻	６０名	６０名

附　則（第１章第４条、第３章第１０条第３項別表(1)、第５章第２２条、第２２条第(4)号、第２２条の２、第７章第４１条別表(7)一部追加、第６章第２４条一部改正）

この学則は、平成１６年４月１日から施行する。ただし、平成１６年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条規定にかかわらず、なお従前の例による

附　則（第１章第４条、第３章第１０条第３項別表(1)、別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)～(6)及び(8)(9)、第１２条第２・３項別表(1)-3、別表(7)備考、第４章第２１条別表(1)-2 備考、第５章２２条、２２条第(1)(2)(3)(4)号、第２２条の２、第７章第４１条別表(7)、第９章第５３条一部追加及び改正）

この学則は、平成１６年４月１日から施行する。ただし、平成１６年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第１章第４条、第５章第２２条第(1)・(2)・(3)・(4)号、第６章第２４条一部改正）

この学則は、平成１７年４月１日から施行する。ただし、平成１７年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第４条、第６条、第１０条第３項別表(1)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条、第２２条第(4)号、第２２条の２、第２２条の３　一部改正、　第２２条第(5)号、第４１条別表(7)一部追加）

１　この学則は、平成１８年４月１日から施行する。ただし、平成１８年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　薬学部薬学科において、平成１８年３月３１日以前から在学している者は、第６条、第１０条第３項別表(1)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条、第２２条第(4)号については、なお従前の例による。

附　則（第４条、第９条、第１０条第３項別表(1)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条、第２２条第(3)号、第２２条の２、第２２条の３別表(2)、及び第２項、第２２条の９、及び別表(9)、第４１条別表(7)、第４９条、第５１条 一部改正、第３８条第(4)号追加）

１　この学則は、平成１９年４月１日から施行する。ただし、平成１９年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　第４９条第７号の助手の取扱については、当分の間(平成 22 年 3 月 31 日まで)従前の例による。

附　則（第２条第２項追加、第４条、第１０条第３項別表(1)・別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)(8)(9)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条、第２２条の２、第

２２条の３別表（2)、第２２条の３第２項、第２２条の４別表（3)、第２２条の５別表（4)、第２２条の７別表(6)、第２２条の８別表(8)、第２２条の９別表(9) 、第４１条別表(7) 一部改正）

１　この学則は、平成２０年４月１日から施行する。ただし、平成２０年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　平成２０年３月３１日以前から、現代社会学部現代社会学科に在学している者については、第４条、第１０条第３項別表(1)及び別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条、第２２条第(2)号、第２２条の２、第２２条の３別表(2)、第２２条の３第２項、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。ただし、第２条第２項の学科の教育目的については、次のとおりとする。

〈現代社会学科〉

さまざまな課題をかかえる現代社会で、社会科学の専門的な知識を理解するとともに、他の分野との関わり合いを総合的に学び、自己の確立をめざし、多様な課題発見・解決できる人材の育成を目的とする。

附　則（第２条の２、第４条、第１０条第３項別表(1)及び別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6) (9) (10)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条、第２２条の２、第２２条の３別表(2)、第２２条の３第２項、第２２条の４別表（3)、第２２条の５別表（4)、第２２条の７別表（6)、第２２条の８別表（8)、第２２条の９別表（9)、第３１条の３、第３１条の４、第４１条別表(7)一部改正、第２２条の１０別表(10)、第３１条の５追加）

１　この学則は、平成２１年４月１日から施行する。ただし、平成２１年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　第１２条（単位）人間関係学部児童学科については、講義１５時間、演習３０時間、学内実習３０時間、配属実習及び実技４５時間をもってそれぞれ１単位とする。

附　則（第２条第２項第（5）号、第４条、第１０条第３項別表(1)、別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6) (8)(9)(10)、第１２条第３項別表１－（3)、第２２条、第２２条の３別表(2)、第２２条の４別表(3)、第２２条の５別表(4)、第２２条の７別表(6)、第２２条の８別表(8)、第２２条の９別表(9)、第２２条の１０別表(10)、第４１条別表(7)、第５９条第３項一部改正）

１　この学則は、平成２２年４月１日から施行する。ただし、平成２２年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　平成２２年３月３１日以前から､環境学部環境学科住環境専攻に在学している者については、第２条第２項第（5）号、第４条、第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)、第１２条第３項別表１－（3)、第２２条、第２２条の３別表(2)、第２２条の 8、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第４条の４　条文追加、第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)、別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)(8)(9)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条、第２２条の２、第２２条の３別表(2)、第２項、第２２条の４別表(3)、第２２条の５別表(4)、第２２条の７別表(6)、第２２条の８別表(8)、第２２条の９別表(9)、第４１条別表(7)一部改正）

この学則は、平成２３年４月１日から施行する。ただし、平成２３年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第１条、第２条第２項、第４条、第４条の３第２項、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第１項、第２項別表(2)(3)(4)(6)(5)(8)(11)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第２２条の４別表(3)、第２２条の８別表(8)、第２９条、第３０条、第３１条、第３１条の３第１０号、第４１条別表(7)　一部変更、第２２条の１１追加）

この学則は、平成２４年４月１日から施行する。ただし、平成２４年３月３１日以前から在学している者については、第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第１項、第２項別表(2)(3)(4) (5)(6)(8)(11)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第２２条の４別表(3)、第２２条の８別表(8)、第３１条の３第１項第１０号、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第４条、第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(11)、第４１条別表(7)一部変更）

この学則は、平成２５年４月１日から施行する。ただし、平成２５年３月３１日以前から在学している者については、第４条、第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(11)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第４条、第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(11)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条第１項、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第４１条別表(7)　一部変更、第５８条第２項　追加）

１　この学則は、平成２５年４月１日から施行する。ただし、平成２５年３月３１日以前から在学している者については、第４条、第１１条第２項別表(11)、第２２条の３第２項、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

２　薬学部の「一般用医薬品学実習」「生薬療法学実習」「病理学」「レギュラトリーサイエンス概論」「卒業研究１」「卒業研究２」「卒業研究３」「卒業研究４」を除き、平成２５年３月３１日以前から在学している者の授業科目については、第１０条第３項別表(1)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

３　平成２５年３月３１日以前から在学している者の卒業の要件については、第２２条第１項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。ただし、薬学部については、下表のとおりとする。

入学年度(平成)	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
卒業所要単位数	204.5	238	238	237	235

附　則（第２条第２項、第４条、第４条の５、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第４１条別表(7)　一部変更、第４条の５　追加）

１　この学則は、平成２６年４月１日から施行する。ただし、平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

２　政治経済学部政治経済学科及び政治経済学部経営学科は平成２６年度より募集を停止する。ただし、同学科は同学科の学生が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附　則（第４条、第１０条第３項別表(1)、(1)-2、第１１条第２項別表(2)(6)(8)(9)(10)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条第１項、第２２条の３第１項別表(2)　一部変更）

この学則は、平成２６年４月１日から施行する。ただし、平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第４条、第１０条第３項別表(1)、(1)-2、第１１条第２項別表(2)(6)(8)(9)(10)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条第１項、第２２条の３第１項別表(2)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第１０条第３項別表(1)　一部変更）

この学則は、平成２６年４月１日から施行する。ただし、平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第２条、第４条、第１０条第３項別表(1)、(1)-2、第１２条第３項別表(1)―3、第２２条第１項、第２２条の３第２項、第４４条　一部変更）

１　この学則は、平成２６年４月１日から施行する。ただし、平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第２条、第４条、第１０条第３項別表(1)-2、第１２条第３項別表(1)―3、第２２条第１項、第２２条の３第２項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

２　薬学部の「卒業研究１」「卒業研究２」「卒業研究３」「卒業研究４」を除き、平成２６年３月３１日以前から在学している者の授業科目については、第１０条第３項別表(1)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第２項別表

(2)(3)(4)(6)(8)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第２２条の８、第４１条別表(7)　一部変更)

1　この学則は、平成２７年４月１日から施行する。ただし、平成２７年３月３１日以前から在学している者については、第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)(8)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第２２条の８、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

2　環境学部環境学科は平成２７年度より募集を停止する。ただし、同学科は同学科の学生が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第２２条第１項　一部変更)

1　この学則は、平成２７年４月１日から施行する。ただし、薬学部薬学科において、平成２７年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)、第２２条第１項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

2　グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科、法学部法律学科、政治学科、経済学部経済学科、経営学科、人間科学部人間科学科において、平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第２条の２、第８条、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第２項別表(2)(6)(8)(10)、第２２条、第２２条の２、第２８条、第３１条の２、第３１条の５、第３２条、第３３条、第３３条の２、第３３条の３、第４１条別表(7)、第５３条、第５８条、第５９条　一部変更)

1　この学則は、平成２７年４月１日から施行する。ただし、平成２７年３月３１日以前から在学している者については、第１１条第２項別表(2)(8)(10)、第４１条別表(7)（科目等履修生の４学期制の取扱いを除く）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

2　平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)-2、第１１条第２項別表(6)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

3　文学部日本文学文化学科、法学部法律学科、政治学科、経済学部経済学科、経営学科、人間科学部人間科学科、社会福祉学科、教育学部児童教育学科、薬学部薬学科において、平成２７年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)（共通科目の「オリンピック文化論」を除く）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

4　グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科において、平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)（共通科目の「オリンピック文化論」を除く）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

5　看護学部看護学科において、平成２７年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)、第２２条第１項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。また、第２２条第５項は適用しないものとする。

6　文学部日本文学文化学科、グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科、法学部法律学科、政治学科、人間科学部人間科学科、社会福祉学科、教育学部児童教育学科、薬学部薬学科において、平成２７年３月３１日以前から在学している者については第２２条第１項（成果に基づき単位認定する科目の取扱いを除く）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

7　経済学部経済学科、経営学科において、平成２７年３月３１日以前から在学している者については第２２条第１項（自由選択科目の他学部・他学科の学科科目の取扱い及び成果に基づき単位認定する科目の取扱いを除く）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第１項、第２項別表(2)(3)(4)(5)(6)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第２２条の６、第３８条、第４１条別表(7)　一部変更

1　この学則は、平成２８年４月１日から施行する。ただし、平成２８年３月３１日以前から在学している者については、第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)-2、第１１条第２

項別表(3)(4)（教育学部を除く）(6)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)（「教職特殊研究Ａ」「教職特殊研究Ｂ」を除く)、第２項、第３８条、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

２　グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科は平成２８年度より募集を停止する。ただし、同学科は同学科の学生が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

３　グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科、経済学部経営学科、教育学部児童教育学科において、平成２８年３月３１日以前から在籍している者については、第１０条第３項別表(1)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

４　薬学部薬学科において、平成２７年４月１日以降に入学した者については、第１０条第３項別表(1)（学科科目の「微生物医薬品学２」を除く）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第２条第１項、第２項、第４条、第１０条第２項、第３項別表(1)、(1)-2、第１１条第２項別表(6)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条第１項第２号、第５号、第６号、第７号、第２２条の２第１項、第２項、第２３条、第３１条の４第１項、第４１条別表(7)、第６３条第２項　一部変更、第１２条第４項、第３１条の４第３項　追加）

１　この学則は、平成２８年４月１日から施行する。ただし、平成２８年３月３１日以前から在籍している者については、第２条第２項、第４条、第１１条第２項別表(6)、第１２条第３項、第２２条第１項第５号､第２３条､第４１条別表(7)の規定にかかわらず､なお従前の例による。

２　教育学部児童教育学科において､平成２７年３月３１日以前から在籍している者については、第２２条第１項第７号の学校教育専修理科コース及び学校教育専修保健体育コースの必修単位数の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　平成２８年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)の適用については別に定める。

附　則（第４条、第１０条第３項別表(1)、第４１条別表(7)　一部変更）

この学則は、平成２９年４月１日から施行する。ただし、平成２９年３月３１日以前から在学している者については、第４条、第１０条第３項別表(1)、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表（9)、第２２条第１項第１号、第３号、第４号、第５号、第６号、第７号、第８号、第９号　一部変更）

１　この学則は、平成２９年４月１日から施行する。ただし、平成２９年３月３１日以前から在籍している者については、第１１条第２項別表（9)、第２２条第１項第１号、第３号、第４号、第５号、第６号、第７号、第８号、第９号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　平成２９年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)の適用については別に定める。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(9)、第１２条第３項別表(1)－３、第２２条第１項第５号、第７号　一部変更）

１　この学則は、平成２９年４月１日から施行する。ただし、平成２９年３月３１日以前から在籍している者については、第１１条第２項別表(9)、第１２条第３項別表(1)－３、第２２条第１項第５号、第７号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　平成２９年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)の適用については別に定める。

附　則（第２条第２項、第４条の３第２項、第８条第１項、第１０条第３項別表(1)、(1)―２、第１１条第２項別表(2)、(3)、(4)、(6)、(8)、(9)、(10)、(11)、第２２条第１項、第５項、第２２条の２第１項、第２２条の９、第２４条、第２５条、第２７条第１項、第２９条第１項、第３１条の２第１項、第３１条の３第１項、第３２条第１項、第３３条第１項、第３５条、第５５条第２項　一部変更）

１　この学則は、平成２９年４月１日から施行する。ただし、平成２９年３月３１日以前から在籍している者については、第１１条別表(4)、第２２条第１項、第２２条の７、第２２条の９、第２２条の１０、第２２条の１１の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　平成２９年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)の適用については別に定める。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第４１条別表(7)　一部変更）

この学則は、平成３０年４月１日から施行する。ただし、平成３０年３月３１日以前から在籍している者については、第１０条第３項別表(1)、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(3)、第１２条第３項別表(1)―３、第２２条第１項、第２２条の２第１項、第４１条別表(7)

この学則は、平成３０年４月１日から施行する。ただし、平成３０年３月３１日以前から在籍している者については、第２条第２項、第４条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)、(1)－２、第１１条第２項別表(9)、第１２条第３項別表(1)－３、第２２条第１項、第２２条の２第１項、第２２条の３、第２２条の９、第４１条別表(7)　一部改正）

１　この学則は、平成３０年４月１日から施行する。ただし、平成３０年３月３１日以前から在籍している者については第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)－２、第１１条第２項別表(9)、第２２条第１項、第２２条の３、第２２条の９の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　平成３０年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)、第１２条第３項別表(1)－３の適用については別に定める。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(9)、第２２条の２第１項　一部改正）

１　この学則は、平成３０年４月１日から施行する。

２　平成３０年３月３１日以前から在籍している者についての第２２条の２第１項の適用については別に定める。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(2)、(9)、第２２条の第１項　一部改正)、第４１条別表(7)

この学則は、平成３１年４月１日から施行する。

附　則（第２条第２項、第４条、第１０条第３項、第１２条第３項別表(1)－３、第２２条第１項、第２２条の２第１項、第２２条の３第１項、第２項、第４１条別表(7)　一部改正）

１　この学則は、平成３１年４月１日から施行する。ただし、平成３１年３月３１日以前から在学している者については、第４条（教育学部児童教育学科の名称変更を除く）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　平成３１年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)の適用については、別に定める。

３　第２２条の２第１項の在籍要件及び第２２条の３第２項の教育学科の取得免許状については、平成３０年４月１日に遡って適用する。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(2)、第１２条第３項別表(1)－３、第２１条、第２２条第１項、第２２条の３第２項）

１　この学則は平成３１年４月１日から施行する。

２　第２１条外国人留学生の単位の読み替え及び第２２条１項日本事情に関する科目の単位については、平成２７年４月１日に遡って適用する。

附　則（第１２条の２　追加、第３８条　一部変更）

この学則は平成３１年４月１日から施行する。

附　則（第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)、第１２条第３項別表(1)-３、第２２条第１項、第２２条の２第１項、第２２条の３第１項第２項、第２２条の９、第４１条別表(7)一部変更）

この学則は令和２年４月１日から施行する。

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
文学部 日本文学文化学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語 英語】			
	英語１Ａ		1	【外国語 英語】１Ａ～２Ｄ計８単位、又は【外国語 初修】いずれかの言語１Ａ～２Ｄ計８単位のどちらかを選択必修
	英語１Ｂ		1	
	英語１Ｃ		1	
	英語１Ｄ		1	
	英語２Ａ		1	
	英語２Ｂ		1	
	英語２Ｃ		1	
	英語２Ｄ		1	
	英語３Ａ		1	
	英語３Ｂ		1	
	【外国語 初修】			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	English for Studying Abroad 1		1	
	English for Studying Abroad 2		1	
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ１		4	
	海外インターンシップ２		6	
	海外インターンシップ３		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔教職関連科目〕			
	教育法規（日本国憲法）		2	教職必修
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			
	古代文学	2		
	中古文学	2		
	中世文学	2		
	近世文学	2		
	近代・現代文学	2		
	日本語学概論Ⅰ	2		
	日本語学概論Ⅱ	2		
	入門ゼミA	2		
	入門ゼミB	2		
	漢文学	2		
	日本文学史Ⅰ（古典）	2		
	日本文学史Ⅱ（近現代）	2		
	小説の歴史		2	
	武蔵野学	2		
	【学科展開科目】			
	プレゼミ1A	2		
	プレゼミ1B	2		
	プレゼミ2A	2		
	プレゼミ2B	2		
	ゼミA	2		
	ゼミB	2		
	日本文学文化研究調査実習		1	
	(日本書誌学と文献資料講読)		1	
	【卒業論文・卒業制作】			
	卒論ゼミ	4		
	卒業論文	4		
	【文学・語学コース】			
	日本文学特講Ⅰ（奈良時代の作家と作品）		2	
	日本文学特講Ⅱ（平安時代の作家と作品）		2	
	日本文学特講Ⅲ（鎌倉・室町時代の作家と作品）		2	
	日本文学特講Ⅳ（江戸時代の作家と作品）		2	
	日本文学特講Ⅴ（近代・現代の作家と作品）		2	
	日本文学特講Ⅵ（戦前・戦後の作家と作品）		2	
	日本文学特講Ⅶ（児童文学の作家と作品）		2	
	日本文学研究Ⅰ（奈良時代の文学と文化）		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	日本文学研究Ⅱ（平安時代の文学と文化）		2	
	日本文学研究Ⅲ（鎌倉・室町時代の文学と文化）		2	
	日本文学研究Ⅳ（江戸時代の文学と文化）		2	
	日本文学研究Ⅴ（近代・現代の文学と文化）		2	
	日本文学研究Ⅵ（児童文学と詩の研究）		2	
	日本文学研究Ⅶ（近代・現代の文学と表現）		2	
	日本文学研究Ⅷ（近代・現代の文学と人生）		2	
	漢文学中国文学特講（漢文訓読学）		2	
	漢文学中国文学研究Ⅰ（和漢比較文学）		2	
	漢文学中国文学研究Ⅱ（日本漢文学）		2	
	日本語学特講（古代の日本語）		2	
	日本語学研究（近代の日本語）		2	
	【文化・創作・芸術コース】			
	創作入門Ⅰ		2	
	創作入門Ⅱ		2	
	日本の演劇（古典芸能）		2	
	書道基礎		2	
	日本文化特講Ⅰ（日本の祭りと民話）		2	
	日本文化特講Ⅱ（日本の生活文化）		2	
	日本文化研究Ⅰ（朗読・語りと舞台演出）		2	
	日本文化研究Ⅱ（演劇実践演習）		2	
	比較文学特講（外国文学）		2	
	創作基礎Ⅰ（小説Ⅰ）		2	
	創作基礎Ⅱ（小説Ⅱ）		2	
	創作基礎Ⅲ（俳句）		2	
	創作基礎Ⅳ（短歌）		2	
	創作基礎Ⅴ（現代詩）		2	
	創作基礎Ⅵ（児童文学）		2	
	創作基礎Ⅶ（絵本）		2	
	創作研究Ⅰ（小説Ⅰ）		2	
	創作研究Ⅱ（小説Ⅱ）		2	
	創作研究Ⅲ（俳句）		2	
	創作研究Ⅳ（短歌）		2	
	創作研究Ⅴ（現代詩）		2	
	書道学特講Ⅰ（書道漢字）		2	
	書道学特講Ⅱ（書道仮名）		2	
	書道学研究（書道応用）		2	
	書論・鑑賞		2	
	日文キャリア演習Ⅰ（編集デザイン）		2	
	日文キャリア演習Ⅱ（編集デザイン）		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
グローバル学部 グローバルコミュニケーション学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		共通科目は、必修14単位を含めて18単位を修得する。
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語　応用】			
	English for Studying Abroad 1		1	
	English for Studying Abroad 2		1	
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ1		4	
	海外インターンシップ2		6	
	海外インターンシップ3		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			学科科目は、必修24単位及び選択必修単位を含めて75単位以上修得する。
	【言語演習科目】			
	〈日本語科目群〉			
	日本語１Ａ		1	８単位必修（留学生のみ）
	日本語１Ｂ		1	
	日本語１Ｃ		1	
	日本語１Ｄ		1	
	日本語２Ａ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	日本語２Ｂ		1	
	日本語２Ｃ		1	
	日本語２Ｄ		1	
	〈中国語科目群〉			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	１６単位必修
	中国語２Ｄ		1	（留学生は除く）
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	中国語資格試験演習（初級）１		1	
	中国語資格試験演習（初級）２		1	
	中国語資格試験演習（初級）３		1	
	中国語資格試験演習（中級）１		1	
	中国語資格試験演習（中級）２		1	
	中国語資格試験演習（中級）３		1	
	〈英語科目群〉			
	English for Qualifications A	1		
	English for Qualifications B	1		
	English for Qualifications C	1		
	English for Qualifications D	1		
	Practical Communication A	1		
	Practical Communication B	1		
	Practical Communication C	1		
	Practical Communication D	1		
	Integrated Skills for Qualifications A	1		
	Integrated Skills for Qualifications B	1		
	Integrated Skills for Qualifications C	1		
	Integrated Skills for Qualifications D	1		
	Integrated Skills for Communication A	1		
	Integrated Skills for Communication B	1		
	Integrated Skills for Communication C	1		
	Integrated Skills for Communication D	1		
	英語資格試験演習Ａ		2	
	英語資格試験演習Ｂ		2	
	英語資格試験演習Ｃ		2	
	英語資格試験演習Ｄ		2	
	Advanced Skills for Communication A		2	
	Advanced Skills for Communication B		2	
	〈English Study Abroad Program〉			
	EAP Beginner 1		4	
	EAP Beginner 2		4	
	EAP Beginner 3		4	
	EAP Intermediate 1		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	EAP Intermediate 2		4	16単位 選択必修
	EAP Intermediate 3		4	
	EAP Advanced 1		4	
	EAP Advanced 2		4	
	EAP Advanced 3		4	
	EAP Masters 1		4	
	EAP Masters 2		4	
	EAP Masters 3		4	
	EAP Masters 4		4	
	EAP Masters 5		4	
	EAP Masters 6		4	
	EAP Masters 7		4	
	Undergraduate Courses 1		2	
	Undergraduate Courses 2		2	
	Undergraduate Courses 3		3	
	Undergraduate Courses 4		4	
	Undergraduate Courses 5		5	
	Undergraduate Courses 6		10	
	Undergraduate Courses 7		10	
	【学科基礎科目】			
	基礎ゼミ	1		
	プレゼミ	1		
	【多文化共修科目】			
	グローバルスタディーズ/Global Studies	2		
	【学科専門科目】			
	〈翻訳・通訳科目群〉			
	英語翻訳演習A		2	
	英語翻訳演習B		2	
	英語翻訳演習C		2	
	英語翻訳演習D		2	
	英語通訳演習A		2	
	英語通訳演習B		2	
	英語通訳演習C		2	
	英語通訳演習D		2	
	中国語翻訳演習A		2	
	中国語翻訳演習B		2	
	中国語翻訳演習C		2	
	中国語翻訳演習D		2	
	中国語通訳演習A		2	
	中国語通訳演習B		2	
	中国語通訳演習C		2	
	中国語通訳演習D		2	
	〈言語・文化科目群〉			
	中国研究（文化文学）初級A		2	
	中国研究（文化文学）初級B		2	
	中国研究（文化文学）中級A		2	
	中国研究（文化文学）中級B		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	中国研究（文化文学）中級C		2	
	中国研究（文化文学）中級D		2	
	中国研究（文化文学）上級A		2	
	中国研究（文化文学）上級B		2	
	中国研究（文化文学）上級C		2	
	中国研究（文化文学）上級D		2	
	Communication Studies A		2	
	Communication Studies B		2	
	Area Studies US A		2	
	Area Studies US B		2	
	Area Studies UK A		2	
	Area Studies UK B		2	
	Area Studies China A		2	
	Area Studies China B		2	
	Area Studies Ad Hoc A		2	
	Area Studies Ad Hoc B		2	
	Global Media Literacy A		2	
	Global Media Literacy B		2	
	Media English A		2	
	Media English B		2	
	EFL Reading A		2	
	EFL Reading B		2	
	EFL Reading C		2	
	EFL Reading D		2	
	Literary Texts, Critical Methods A		2	
	Literary Texts, Critical Methods B		2	
	Literary Texts, Critical Methods C		2	
	Literary Texts, Critical Methods D		2	
	Academic Reading A		2	
	Academic Reading B		2	
	Academic Reading C		2	
	Academic Reading D		2	
	Language Acquisition A		2	
	Language Acquisition B		2	
	Sociolinguistics A		2	
	Sociolinguistics B		2	
	World Englishes A		2	
	World Englishes B		2	
	Comparative Culture A		2	
	Comparative Culture B		2	
	Cultural Studies A		2	
	Cultural Studies B		2	
	異文化コミュニケーション Ａ	2		
	異文化コミュニケーション Ｂ	2		
	<学部隣接科目群>			
	日本研究（政治・社会）A		2	
	日本研究（政治・社会）B		2	
	日本研究（政治・社会）C		2	
	日本研究（政治・社会）D		2	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）A		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）B		2	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）C		2	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）D		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）A		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）B		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）C		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）D		2	
	〈特別講義〉			
	特別講義 A		1	
	特別講義 B		1	
	特別講義 C		1	
	特別講義 D		1	
	〈ゼミ/Ｓｅｍｉｎａｒ〉			
	ゼミ/Seminar A		2	ゼミ/Seminar（計8単位）又は課題研究演習（計8単位）のいずれかを選択必修
	ゼミ/Seminar B		2	
	ゼミ/Seminar C		2	
	ゼミ/Seminar D		2	
	課題研究演習A		2	
	課題研究演習B		2	
	課題研究演習C		2	
	課題研究演習D		2	
	卒業論文/Research Project		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
グローバル学部 日本語コミュニケーション学科	〔共通科目〕			共通科目は、必修１４単位を含めて１８単位を修得する。ただし、学科の定める基準により、必修１４単位中最大６単位までを、学科科目の履修をもって代えることができる。
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【外国語　応用】			
	English for Studying Abroad 1		1	
	English for Studying Abroad 2		1	
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ1		4	
	海外インターンシップ2		6	
	海外インターンシップ3		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			学科科目は、必修19単位及び選択必修単位を含めて75単位以上修得する。
	【言語演習科目】			
	〈日本語科目群〉			
	日本語１Ａ		1	
	日本語１Ｂ		1	
	日本語１Ｃ		1	
	日本語１Ｄ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	日本語２Ａ		1	日本語科目群及びビジネス日本語科目群から１６単位選択必修（留学生のみ）
	日本語２Ｂ		1	
	日本語２Ｃ		1	
	日本語２Ｄ		1	
	基礎日本語１Ａ		1	
	基礎日本語１Ｂ		1	
	基礎日本語１Ｃ		1	
	基礎日本語１Ｄ		1	
	基礎日本語１Ｅ		1	
	基礎日本語１Ｆ		1	
	基礎日本語１Ｇ		1	
	基礎日本語１Ｈ		1	
	〈英語科目群〉			
	English for Qualifications 1A		1	２４単位選択必修（留学生は除く）
	English for Qualifications 1B		1	
	English for Qualifications 1C		1	
	English for Qualifications 1D		1	
	English for Qualifications 2A		1	
	English for Qualifications 2B		1	
	English for Qualifications 2C		1	
	English for Qualifications 2D		1	
	English for Qualifications 3A		1	
	English for Qualifications 3B		1	
	English for Qualifications 3C		1	
	English for Qualifications 3D		1	
	Practical Communication 1A		1	
	Practical Communication 1B		1	
	Practical Communication 1C		1	
	Practical Communication 1D		1	
	Practical Communication 2A		1	
	Practical Communication 2B		1	
	Practical Communication 2C		1	
	Practical Communication 2D		1	
	Practical Communication 3A		1	
	Practical Communication 3B		1	
	Practical Communication 3C		1	
	Practical Communication 3D		1	
	Remedial English A		1	
	Remedial English B		1	
	英語資格試験演習Ａ		2	
	英語資格試験演習Ｂ		2	
	英語資格試験演習Ｃ		2	
	英語資格試験演習Ｄ		2	
	基礎英語 A		1	
	基礎英語 B		1	
	基礎英語 C		1	
	基礎英語 D		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〈中国語科目群〉			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	中国語３Ｃ		1	
	中国語３Ｄ		1	
	中国語資格試験演習１Ａ		1	
	中国語資格試験演習１Ｂ		1	
	中国語資格試験演習２Ａ		1	
	中国語資格試験演習２Ｂ		1	
	【学科基礎科目】			
	基礎ゼミ	1		
	プレゼミＡ	1		
	プレゼミＢ	1		
	【多文化共修科目】			
	グローバルスタディーズ/Global Studies	2		
	グローバルプロジェクト/Global Project	2		
	【学科専門科目】			
	〈日本語教員養成科目群〉			
	異文化コミュニケーションＡ		2	
	異文化コミュニケーションＢ		2	
	日本語学概論A		1	
	日本語学概論B		1	
	日本語学概論C		1	
	日本語学概論D		1	
	音声学基礎A		2	
	音声学基礎B		2	
	第二言語習得理論A		2	
	第二言語習得理論B		2	
	日本語教授法概論A		1	
	日本語教授法概論B		1	
	日本語教授法概論C		1	
	日本語教授法概論D		1	
	日本語教育実習		4	
	日本語実践教育A		2	
	日本語実践教育B		2	
	日本語学各論A		2	
	日本語学各論B		2	
	日本語教育学各論A		2	
	日本語教育学各論B		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〈ビジネス日本語科目群〉			
	実用日本語1A		1	ビジネス日本語科目群及び日本語科目群から１６単位選択必修（留学生のみ）
	実用日本語1B		1	
	実用日本語1C		1	
	実用日本語1D		1	
	実用日本語2A		1	
	実用日本語2B		1	
	実用日本語2C		1	
	実用日本語2D		1	
	日本研究（経済・経営）A		2	
	日本研究（経済・経営）B		2	
	日本研究（経済・経営）C		2	
	日本研究（経済・経営）D		2	
	日本研究（政治・社会）A		2	
	日本研究（政治・社会）B		2	
	日本研究（政治・社会）C		2	
	日本研究（政治・社会）D		2	
	日本研究（ビジネス）A		2	
	日本研究（ビジネス）B		2	
	日本研究（ビジネス）C		2	
	日本研究（ビジネス）D		2	
	〈サブカルチャー・メディア科目群〉			
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）A		2	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）B		2	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）C		2	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）D		2	
	日本研究（言語・心理）A		2	
	日本研究（言語・心理）B		2	
	日本研究（言語・心理）C		2	
	日本研究（言語・心理）D		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）A		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）B		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）C		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）D		2	
	〈特別講義〉			
	特別講義 A		1	
	特別講義 B		1	
	特別講義 C		1	
	特別講義 D		1	
	〈ゼミ/Ｓｅｍｉｎａｒ〉			
	ゼミ/Seminar A	2		
	ゼミ/Seminar B	2		
	ゼミ/Seminar C	2		
	ゼミ/Seminar D	2		
	卒業論文/Research Project	4		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
グローバル学部 グローバルビジネス学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		共通科目は、必修１４単位を含めて１８単位を修得する。
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語　応用】			
	English for Studying Abroad 1		1	
	English for Studying Abroad 2		1	
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ1		4	
	海外インターンシップ2		6	
	海外インターンシップ3		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			学科科目は、必修単位27単位及び選択必修単位を含めて91単位以上修得する。
	【言語演習科目】			
	〈中国語科目群〉			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	中国語２Ｃ		1	１６単位選択必修 （留学生は除く）
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	中国語３Ｃ		1	
	中国語３Ｄ		1	
	中国語資格試験演習１Ａ		1	
	中国語資格試験演習１Ｂ		1	
	中国語資格試験演習２Ａ		1	
	中国語資格試験演習２Ｂ		1	
	ビジネス中国語Ａ		1	
	ビジネス中国語Ｂ		1	
	ビジネス中国語Ｃ		1	
	ビジネス中国語Ｄ		1	
	〈英語科目群〉			
	English for Qualifications 1A		1	１６単位選択必修 (学科の定める基準により、他の学科科目をもって代えることができる)
	English for Qualifications 1B		1	
	English for Qualifications 1C		1	
	English for Qualifications 1D		1	
	English for Qualifications 2A		1	
	English for Qualifications 2B		1	
	English for Qualifications 2C		1	
	English for Qualifications 2D		1	
	English for Qualifications 3A		1	
	English for Qualifications 3B		1	
	English for Qualifications 3C		1	
	English for Qualifications 3D		1	
	Practical Communication 1A		1	
	Practical Communication 1B		1	
	Practical Communication 1C		1	
	Practical Communication 1D		1	
	Practical Communication 2A		1	
	Practical Communication 2B		1	
	Practical Communication 2C		1	
	Practical Communication 2D		1	
	Practical Communication 3A		1	
	Practical Communication 3B		1	
	Practical Communication 3C		1	
	Practical Communication 3D		1	
	Integrated Skills for Qualifications A		1	
	Integrated Skills for Qualifications B		1	
	Integrated Skills for Qualifications C		1	
	Integrated Skills for Qualifications D		1	
	Integrated Skills for Communication A		1	
	Integrated Skills for Communication B		1	
	Integrated Skills for Communication C		1	
	Integrated Skills for Communication D		1	
	Reading for business studies A		1	
	Reading for business studies B		1	
	Business Writing A		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	Business Writing B		1	
	Business Presentation A		1	
	Business Presentation B		1	
	Business Meeting A		1	
	Business Meeting B		1	
	〈日本語科目群〉			
	基礎日本語１Ａ		1	
	基礎日本語１Ｂ		1	
	基礎日本語１Ｃ		1	
	基礎日本語１Ｄ		1	
	基礎日本語１Ｅ		1	
	基礎日本語１Ｆ		1	
	基礎日本語１Ｇ		1	
	基礎日本語１Ｈ		1	８単位選択必修
	日本語１Ａ		1	(留学生のみ)
	日本語１Ｂ		1	
	日本語１Ｃ		1	
	日本語１Ｄ		1	
	日本語２Ａ		1	
	日本語２Ｂ		1	
	日本語２Ｃ		1	
	日本語２Ｄ		1	
	実用日本語１Ａ		1	
	実用日本語１Ｂ		1	
	実用日本語１Ｃ		1	
	実用日本語１Ｄ		1	
	実用日本語２Ａ		1	
	実用日本語２Ｂ		1	
	実用日本語２Ｃ		1	
	実用日本語２Ｄ		1	
	【学科基礎科目】			
	基礎ゼミ/Fundamental Seminar	1		
	プレゼミA/Pre-seminar A	1		
	プレゼミB/Pre-seminar B	1		
	【多文化共修科目】			
	グローバルスタディーズ/Global Studies	2		
	グローバルプロジェクト/Global Project	2		
	【ビジネス科目】			
	Introduction to Business Studies A	2		
	Introduction to Business Studies B	2		
	Management A	2		
	Management B	2		
	Accounting A		1	
	Accounting B		1	
	Accounting Advanced A		1	
	Accounting Advanced B		1	
	Research Method for Business Studies A		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	Research Method for Business Studies B		2	３２単位選択必修
	Finance A		2	
	Finance B		2	
	Statistics for Business Studies A		2	
	Statistics for Business Studies B		2	
	Financial Statement Analysis A		2	
	Financial Statement Analysis B		2	
	Managerial Accounting A		2	
	Managerial Accounting B		2	
	Organizational Behavior A		2	
	Organizational Behavior B		2	
	Business Economics A		2	
	Business Economics B		2	
	Global Trading A		2	
	Global Trading B		2	
	Financial Services A		2	
	Financial Services B		2	
	Hospitality A		2	
	Hospitality B		2	
	Marketing in Global Business A		2	
	Marketing in Global Business B		2	
	Advanced Marketing in Global Business A		2	
	Advanced Marketing in Global Business B		2	
	Strategy in Global Business A		2	
	Strategy in Global Business B		2	
	Strategic Planning and Budgeting A		2	
	Strategic Planning and Budgeting B		2	
	China Business Studies A		2	
	China Business Studies B		2	
	Advanced China Business Studies A		2	
	Advanced China Business Studies B		2	
	Internship A		1	
	Internship B		1	
	Internship C		2	
	Internship D		4	
	Entrepreneurship		2	
	【学科専門科目】			
	〈学部隣接科目群〉			
	英語資格試験演習Ａ/Practical Exercises for English Qualifications A		2	
	英語資格試験演習Ｂ/Practical Exercises for English Qualifications B		2	
	英語資格試験演習Ｃ/Practical Exercises for English Qualifications C		2	
	英語資格試験演習Ｄ/Practical Exercises for English Qualifications D		2	
	異文化コミュニケーションＡ/Cross-cultural Communication A		2	
	異文化コミュニケーションＢ/Cross-cultural Communication B		2	
	〈特別講義〉			
	特別講義/Special Lectures A		1	
	特別講義/Special Lectures B		1	
	特別講義/Special Lectures C		1	
	特別講義/Special Lectures D		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	〈ゼミ/Ｓｅｍｉｎａｒ〉			
	ゼミ/Seminar A	2		
	ゼミ/Seminar B	2		
	ゼミ/Seminar C	2		
	ゼミ/Seminar D	2		
	卒業論文/Research Project for Graduation Thesis	4		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
法学部 法律学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語】			
	英語１Ａ	1		
	英語１Ｂ	1		
	英語１Ｃ	1		
	英語１Ｄ	1		
	英語２Ａ	1		
	英語２Ｂ	1		
	英語２Ｃ	1		
	英語２Ｄ	1		
	英語３Ａ		1	
	英語３Ｂ		1	
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	English for Studying Abroad 1		1	
	English for Studying Abroad 2		1	
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	環境学への展望		2	２テーマ４単位選択必修
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ1		4	
	海外インターンシップ2		6	
	海外インターンシップ3		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	

別表（１）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〔学科科目〕			
	【基礎科目群】			
	法学１（法学の基礎）	2		
	法学２（法学概論）	2		
	民法１Ａ（総則）	2		
	民法１Ｂ（総則）	2		
	憲法１（統治）	2		
	憲法２（人権）	2		
	刑法１（総論）	2		
	【基幹科目群】			
	民法２Ａ（物権）		2	２０単位以上選択必修
	民法２Ｂ（担保物権）		2	
	民法３Ａ（債権各論）		2	
	民法３Ｂ（債権各論）		2	
	民法４Ａ（債権総論）		2	
	民法４Ｂ（債権総論）		2	
	民法５Ａ（親族法）		2	
	民法５Ｂ（相続法）		2	
	民事訴訟法１		2	
	民事訴訟法２		2	
	刑法２（各論）		2	
	刑法３（各論）		2	
	刑事訴訟法１		2	
	刑事訴訟法２		2	
	会社法１		2	
	会社法２		2	
	企業法総論		2	
	【展開科目群】			
	＜行政法＞			
	行政法１（総論①）		2	１４単位以上選択必修
	行政法２（総論②）		2	
	行政救済法		2	
	租税法１		2	
	租税法２		2	
	地方自治法１（自治の法と制度）		2	
	地方自治法２（自治体政策法務論）		2	
	オリンピックと法律学Ａ		2	
	オリンピックと法律学Ｂ		2	
	＜国際関係法＞			
	国際法１		2	
	国際機構論		2	
	国際法２		2	
	国際私法		2	
	英米法		2	
	アジア法（中国法・韓国法）		2	
	アジア法（東南アジア法）		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	＜現代社会関係法＞			
	労働法１		2	
	労働法２		2	
	社会保障法		2	
	企業取引法		2	
	経済法（独禁法）		2	
	知的財産法		2	
	消費者法		2	
	金融法		2	
	ＩＴ関係法		2	
	情報法		2	
	マーケティング法		2	
	刑事政策		2	
	高齢化社会と法		2	
	執行・保全・倒産法		2	
	比較取引法		2	
	民法演習		2	
	共生の法律学		2	
	不動産評価論（東京都不動産鑑定士協会寄付講座）		2	
	＜英語＞			
	法律学文献講読(英語)		2	
	ビジネス法律英語		2	
	International Lectures (Law)		1	
	＜中国語＞			
	日本民事法１（法学の基礎、民法総則）		2	
	日本民事法２（物権法、契約法、不法行為法）		2	
	日本民事法３（担保物権法、債権総論）		2	
	日本民事法４（会社法、知財法）		2	
	【エクスターンシップ】			
	企業エクスターンシップ	2		
	【資格対策科目群】			
	資格ガイダンス	2		
	キャリア開発		2	
	地方公務員特殊研究１		4	
	地方公務員特殊研究２		4	
	地方公務員特殊研究３		4	
	地方公務員特殊研究４		4	
	【アカデミック・スキル科目】			
	プレゼミ	2		
	プレゼンゼミ		2	
	【最先端研究】			
	ゼミナール１	2		
	ゼミナール２	2		
	ゼミナール３	2		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ゼミナール４	2		
	卒業論文	2		
	【隣接科目群】			
	＜政治学＞			
	政治学史１		2	
	政治学史２		2	
	現代政治理論１		2	
	現代政治理論２		2	
	日本政治論		2	
	立法過程論		2	
	政策過程論		2	
	計量政治学		2	
	行政学		2	
	公共政策論１		2	
	公共政策論２		2	
	公共選択論		2	
	地方自治		2	
	公共管理論		2	
	国際関係論		2	
	International Lectures (Politics)		1	
	＜経済学＞			
	ミクロ経済学１		2	平成２７年度以前入学生のみ
	ミクロ経済学２		2	平成２７年度以前入学生のみ
	マクロ経済学１		2	平成２７年度以前入学生のみ
	マクロ経済学２		2	平成２７年度以前入学生のみ
	財政学１		2	
	財政学２		2	
	経済政策論		2	
	経済学Ｓ１（経済学入門）		2	
	経済学Ｓ２（ミクロ経済学）		2	
	経済学Ｓ３（ミクロ経済学）		2	
	経済学Ｓ４（マクロ経済学）		2	
	経済学Ｓ５（マクロ経済学）		2	
	＜経営学・会計学＞			
	企業と社会		2	
	経営学入門		2	
	経営学基礎		2	
	会計学入門		2	
	金融論１		2	
	金融論２		2	
	マーケティング１		2	
	マーケティング２		2	
	中小企業マネジメント		2	
	経営戦略１		2	
	経営戦略２		2	
	財務会計１		2	
	財務会計２		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	【育成プログラム】			
	国家公務員育成プログラム１		1	
	国家公務員育成プログラム２		1	
	国家公務員育成プログラム３		1	
	国家公務員育成プログラム４		1	
	育成プログラム１		1	
	育成プログラム２		2	
	育成プログラム３		3	
	育成プログラム４		4	
	育成プログラム５		5	
	育成プログラム６		6	
	育成プログラム７		8	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
法学部 政治学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語】			
	英語１Ａ	1		
	英語１Ｂ	1		
	英語１Ｃ	1		
	英語１Ｄ	1		
	英語２Ａ	1		
	英語２Ｂ	1		
	英語２Ｃ	1		
	英語２Ｄ	1		
	英語３Ａ	1		
	英語３Ｂ	1		
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	English for Studying Abroad 1		1	
	English for Studying Abroad 2		1	
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ１		4	
	海外インターンシップ２		6	
	海外インターンシップ３		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【基礎科目群】			
	政治学原論１	2		
	政治学原論２	2		
	日本政治論基礎	2		
	国際政治学基礎	2		
	憲法１（統治）	2		
	憲法２（人権）	2		
	地方政府研究１		1	
	地方政府研究２		1	
	International Lectures (Politics)		1	
	【基幹科目群】			
	＜歴史･理論＞			
	政治学史１	2		
	政治学史２	2		
	日本政治外交史１		2	１２単位を選択必修。そのうち、政治学基礎文献講読１～３から１科目選択必修、政治学英語文献講読１～３から１科目選択必修。
	日本政治外交史２		2	
	西洋政治史１		2	
	西洋政治史２		2	
	政治学基礎文献講読１		2	
	政治学英語文献講読１		2	
	＜日本政治・政治過程＞			
	日本政治論		2	
	行政学		2	
	公共政策論１		2	
	公共政策論２		2	
	計量政治学		2	
	政治学基礎文献講読２		2	
	政治学英語文献講読２		2	
	選挙特殊研究１		2	
	選挙特殊研究２		2	
	選挙特殊研究３		2	
	＜国際政治・地域研究＞			
	国際政治学１		2	
	国際政治学２		2	
	比較政治学		2	
	平和学		2	
	外交政策論		2	
	アメリカ政治論		2	
	ヨーロッパ政治論		2	
	政治学基礎文献講読３		2	
	政治学英語文献講読３		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	【展開科目群】			
	＜歴史･理論＞			
	日本政治思想史１		2	
	日本政治思想史２		2	
	現代政治理論１		2	
	現代政治理論２		2	
	公共選択論		2	
	コミュニケーションの政治理論		2	
	政治史・政治理論演習１		2	
	政治史・政治理論演習２		2	
	＜日本政治・政治過程＞			
	公共管理論		2	
	政治心理学		2	
	政治社会学		2	
	立法過程論		2	
	政策過程論		2	
	選挙分析		2	8 単位選択必修
	地方自治		2	
	日本政治・政治過程演習１		2	
	日本政治・政治過程演習２		2	
	＜国際政治・地域研究＞			
	国際関係論		2	
	アジア政治論		2	
	中国政治論		2	
	中東政治論		2	
	アフリカ政治論		2	
	国際政治・地域研究演習１		2	
	国際政治・地域研究演習２		2	
	＜政治学特殊研究＞			
	政治学特殊研究１		2	
	政治学特殊研究２		2	
	政治学特殊研究３		2	
	【資格対策科目群】			
	キャリア開発		2	
	地方公務員特殊研究１		4	
	地方公務員特殊研究２		4	
	地方公務員特殊研究３		4	
	地方公務員特殊研究４		4	
	【アカデミック・スキル科目】			
	初年次ゼミ	1		
	プレゼミ	2		
	プレゼンゼミ	2		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	【最先端研究】			
	ゼミナール１	2		
	ゼミナール２	2		
	ゼミナール３	2		
	ゼミナール４	2		
	卒業論文		6	
	【隣接科目群】			
	＜法律学＞			
	法学１（法学の基礎）		2	
	法学２（法学概論）		2	
	民法１Ａ（総則）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法１Ｂ（総則）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法２Ａ（物権）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法２Ｂ（担保物権）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法３Ａ（債権各論）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法３Ｂ（債権各論）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法４Ａ（債権総論）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法４Ｂ（債権総論）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法５Ａ（親族法）		2	
	民法５Ｂ（相続法）		2	
	行政法１（総論①）		2	
	行政法２（総論②）		2	
	行政救済法		2	
	国際法１		2	
	国際法２		2	
	国際機構論		2	
	企業法総論		2	
	労働法１		2	
	労働法２		2	
	社会保障法		2	
	刑法１（総論）		2	
	刑法２（各論）		2	
	会社法１		2	
	会社法２		2	
	刑法３（各論）		2	
	民法Ｓ１(総則)		2	
	民法Ｓ２(物権法・担保物権法)		2	
	民法Ｓ３(債権各論)		2	
	民法Ｓ４(債権総論)		2	
	International Lectures (Law)		1	
	＜経済学＞			
	ミクロ経済学１		2	平成２７年度以前入学生のみ
	ミクロ経済学２		2	平成２７年度以前入学生のみ
	マクロ経済学１		2	平成２７年度以前入学生のみ
	マクロ経済学２		2	平成２７年度以前入学生のみ
	財政学１		2	
	財政学２		2	
	経済政策論		2	
	経済学Ｓ１（経済学入門）		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	経済学Ｓ２（ミクロ経済学）		2	
	経済学Ｓ３（ミクロ経済学）		2	
	経済学Ｓ４（マクロ経済学）		2	
	経済学Ｓ５（マクロ経済学）		2	
	【育成プログラム】			
	国家公務員育成プログラム１		1	
	国家公務員育成プログラム２		1	
	国家公務員育成プログラム３		1	
	国家公務員育成プログラム４		1	
	育成プログラム１		1	
	育成プログラム２		2	
	育成プログラム３		3	
	育成プログラム４		4	
	育成プログラム５		5	
	育成プログラム６		6	
	育成プログラム７		8	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
経済学部 経済学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語】			
	英語１Ａ	1		
	英語１Ｂ	1		
	英語１Ｃ	1		
	英語１Ｄ	1		
	英語２Ａ	1		
	英語２Ｂ	1		
	英語２Ｃ	1		
	英語２Ｄ	1		
	英語３Ａ		1	
	英語３Ｂ		1	
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	English for Studying Abroad 1		1	
	English for Studying Abroad 2		1	
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	2テーマ4単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ１		4	
	海外インターンシップ２		6	
	海外インターンシップ３		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【基礎科目群】			
	経済学基礎１		2	
	初年次ゼミ		1	
	経済学入門		2	
	経済学と数学		1	
	経済学のための数学		2	
	統計学１		2	
	データ分析入門		2	
	ミクロ経済学１		2	
	ミクロ経済学２		2	
	マクロ経済学１		2	
	マクロ経済学２		2	
	ゲーム理論１		2	
	【基幹科目群】			
	経済学基礎２		1	
	ミクロ経済学３		2	
	ミクロ経済学４		2	
	マクロ経済学３		2	
	マクロ経済学４		2	
	計量経済学１		2	
	計量経済学２		2	
	英語で学ぶ経済学１		2	
	英語で学ぶ経済学２		2	
	【展開科目群】			
	共生原理		2	
	経済学プレゼミ		2	
	統計学２		2	
	ゲーム理論２		2	
	データで学ぶ世界経済		2	
	データで学ぶ日本経済史		2	
	国際経済史１		2	
	国際経済史２		2	
	経済思想史１		2	
	経済思想史２		2	
	財政学１		2	
	財政学２		2	
	日本経済論		2	
	公共経済学１		2	
	公共経済学２		2	

別表（１）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	経済政策論		2	６０単位選択必修 (うち２４単位は 基礎科目群・ 基幹科目群より履修)
	産業組織論１		2	
	産業組織論２		2	
	国際貿易論１		2	
	国際貿易論２		2	
	金融論１		2	
	金融論２		2	
	国際金融論１		2	
	国際金融論２		2	
	労働経済学１		2	
	労働経済学２		2	
	環境経済学１		2	
	環境経済学２		2	
	金融システム論		2	
	行動経済学		2	
	途上国の経済分析		2	
	都市経済学		2	
	経営学入門		2	
	経営学基礎		2	
	フィナンシャル・プランニング論１		2	
	フィナンシャル・プランニング論２		2	
	会計学入門		2	
	簿記１		2	
	簿記２		2	
	【応用科目群】			
	経済学特殊研究Ａ		2	
	経済学特殊研究Ｂ		2	
	【最先端研究】			
	ゼミナール１		2	
	ゼミナール２		2	
	ゼミナール３		2	
	ゼミナール４		2	
	卒業論文		2	
	【資格対策科目群】			
	キャリア開発		2	
	地方公務員特殊研究１		4	
	地方公務員特殊研究２		4	
	地方公務員特殊研究３		4	
	地方公務員特殊研究４		4	
	【隣接科目群】			
	＜法律学＞			
	法学１（法学の基礎）		2	
	法学２（法学概論）		2	
	憲法１（統治）		2	
	憲法２（人権）		2	

別表（１）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	民法１Ａ（総則）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法１Ｂ（総則）		2	
	民法２Ａ（物権）		2	
	民法２Ｂ（担保物権）		2	
	民法３Ａ（債権各論）		2	
	民法３Ｂ（債権各論）		2	
	民法４Ａ（債権総論）		2	
	民法４Ｂ（債権総論）		2	
	民法５Ａ（親族法）		2	
	民法５Ｂ（相続法）		2	
	行政法１（総論①）		2	
	行政法２（総論②）		2	
	民法Ｓ１(総則)		2	
	民法Ｓ２(物権法・担保物権法)		2	
	民法Ｓ３(債権各論)		2	
	民法Ｓ４(債権総論)		2	
	＜政治学＞			
	政治学原論１		2	
	政治学原論２		2	
	日本政治論		2	
	国際政治学１		2	
	国際政治学２		2	
	政治学史１		2	
	政治学史２		2	
	行政学		2	
	公共政策論１		2	
	公共政策論２		2	
	【育成プログラム】			
	国家公務員育成プログラム１		1	
	国家公務員育成プログラム２		1	
	国家公務員育成プログラム３		1	
	国家公務員育成プログラム４		1	
	育成プログラム１		1	
	育成プログラム２		2	
	育成プログラム３		3	
	育成プログラム４		4	
	育成プログラム５		5	
	育成プログラム６		6	
	育成プログラム７		8	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
経営学部 経営学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語】			
	英語１Ａ	1		
	英語１Ｂ	1		
	英語１Ｃ	1		
	英語１Ｄ	1		
	英語２Ａ	1		
	英語２Ｂ	1		
	英語２Ｃ	1		
	英語２Ｄ	1		
	英語３Ａ		1	
	英語３Ｂ		1	
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	English for Studying Abroad 1		1	
	English for Studying Abroad 2		1	
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策Ａ		1	
	英語資格・検定試験対策Ｂ		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ１		4	
	海外インターンシップ２		6	
	海外インターンシップ３		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【基礎科目群】			
	経営学入門	2		
	経営学基礎	2		
	経営学への招待A	2		
	経営学への招待B	2		
	経営フィールドワーク入門	2		
	グループコミュニケーション１	2		
	ＩＣＴと研究調査		2	
	会計学入門		2	
	経済学入門		2	
	【基幹科目群】			
	経営研究入門Ａ	1		
	経営研究入門Ｂ	1		
	経営戦略１		2	３０単位以上選択必修
	経営戦略２		2	
	経営戦略分析		2	
	イノベーションマネジメント		2	
	マーケティング１		2	
	マーケティング２		2	
	流通経済		2	
	組織行動		2	
	経営組織		2	
	セルフマネジメント		2	
	経営のための会計入門		2	
	財務会計１		2	
	財務会計２		2	
	中小企業マネジメント		2	
	コーポレート・ガバナンス論１		2	
	企業倫理		2	
	企業と社会		2	
	経営史		2	
	質的研究調査		2	
	量的研究調査		2	
	アート＆テクノロジーＡ		2	
	アート＆テクノロジーＢ		2	
	グループコミュニケーション２Ａ		2	
	グループコミュニケーション２Ｂ		2	
	ワールドビジネス		2	
	第一次産業論		1	
	第二次産業論Ａ		1	
	第二次産業論Ｂ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	第三次産業論		1	
	観光産業論		1	
	ＩＣＴ産業論		1	
	コンテンツ産業論		1	
	バイオ産業論		1	
	【展開科目群】			
	経営フィールドワークＡ		2	
	経営フィールドワークＢ		2	
	発展・経営戦略１		2	
	発展・経営戦略２		2	
	発展・イノベーションマネジメント		2	
	発展・マーケティング１		2	
	発展・マーケティング２		2	
	発展・流通経済		2	
	発展・組織行動		2	
	発展・中小企業マネジメント		2	
	発展・量的研究調査		2	
	ビジネスデザイン		2	
	人材マネジメント		2	８単位以上選択必修
	組織コミュニケーション		2	
	コンフリクトマネジメント		2	
	経営者と社会		2	
	コーポレート・ガバナンス論２		2	
	ＣＳＲ論		2	
	経営学と未来		2	
	フィナンシャル・プランニング論１		2	
	フィナンシャル・プランニング論２		2	
	経営管理と会計		2	
	企業経営とファイナンス		2	
	観光交通		2	
	エリアマネジメント		2	
	エリア産業		2	
	エリアガバナンス		2	
	グローバルマネジメント		2	
	ビジネスイングリッシュ		2	
	現代ビジネス１		2	
	現代ビジネス２		2	
	【応用科目群】			
	応用経営学Ａ		2	
	応用経営学Ｂ		2	
	応用経営学Ｃ		2	
	応用経営学Ｄ		2	
	【最先端研究】			
	ゼミナール１	2		
	ゼミナール２	2		
	経営研究		2	
	ゼミナール３	2		
	ゼミナール４	2		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	卒業研究		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
経営学部 会計ガバナンス学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語】			
	英語１Ａ	1		
	英語１Ｂ	1		
	英語１Ｃ	1		
	英語１Ｄ	1		
	英語２Ａ	1		
	英語２Ｂ	1		
	英語２Ｃ	1		
	英語２Ｄ	1		
	英語３Ａ		1	
	英語３Ｂ		1	
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	English for Studying Abroad 1		1	
	English for Studying Abroad 2		1	
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策Ａ		1	
	英語資格・検定試験対策Ｂ		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ１		4	
	海外インターンシップ２		6	
	海外インターンシップ３		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【基礎科目群】			
	会計人と倫理	2		
	簿記１	2		
	簿記２	2		
	会計学入門	2		
	経営学入門		2	
	経済学入門		2	
	【基幹科目群】			
	簿記３		2	
	簿記４		2	
	工業簿記１		2	
	工業簿記２		2	
	原価計算１		2	
	原価計算２		2	
	財務会計１		2	
	財務会計２		2	
	管理会計１		2	
	管理会計２		2	
	コーポレート・ガバナンス論１		2	
	企業と社会		2	
	企業倫理		2	
	【展開科目群】			
	共生原理		2	
	アドバンス簿記１		2	
	アドバンス簿記２		2	
	財務会計３		2	
	財務会計４		2	
	連結会計		2	
	管理会計３		2	
	管理会計４		2	
	コーポレート・ファイナンス論		2	
	国際財務報告論		2	
	監査論		2	
	非営利会計論１		2	
	非営利会計論２		2	
	公会計論１		2	
	公会計論２		2	
	租税法１		2	
	租税法２		2	
	税務会計１		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	税務会計２		2	
	コーポレート・ガバナンス論２		2	
	ＣＳＲ論		2	
	統合報告書論１		2	
	統合報告書論２		2	
	会計データ分析１		2	
	会計データ分析２		2	
	会計インターンシップ		2	
	金融論１		2	
	金融論２		2	
	フィナンシャル・プランニング論１		2	
	フィナンシャル・プランニング論２		2	
	【応用科目群】			
	会計学特殊研究Ａ		2	
	会計学特殊研究Ｂ		2	
	【課題研究】			
	プレゼミ１	2		
	プレゼミ２	2		
	ゼミナール１	2		
	ゼミナール２	2		
	ゼミナール３	2		
	ゼミナール４	2		
	卒業論文		2	
	【隣接科目群】			
	【育成プログラム】			
	公認会計士・税理士育成プログラム１		1	
	公認会計士・税理士育成プログラム２		4	
	公認会計士・税理士育成プログラム３		4	
	公認会計士・税理士育成プログラム４		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部 ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語】			
	英語１Ａ	1		
	英語１Ｂ	1		
	英語１Ｃ	1		
	英語１Ｄ	1		
	英語２Ａ	1		
	英語２Ｂ	1		
	英語２Ｃ	1		
	英語２Ｄ	1		
	英語３Ａ	1		
	英語３Ｂ	1		
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	English for Studying Abroad 1		1	
	English for Studying Abroad 2		1	
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ１		4	
	海外インターンシップ２		6	
	海外インターンシップ３		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【専門共通科目】			
	データサイエンス学	2		
	人類と人工知能（AI）	2		
	メディアクリエーション・データデザイン演習Ⅰ	1		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	メディアクリエーション・データデザイン演習Ⅱ	1		
	データサイエンスプログラミング演習Ⅰ	1		
	データサイエンスプログラミング演習Ⅱ	1		
	データと数理Ⅰ	2		
	データと数理Ⅱ	2		
	データと経済統計	2		
	データと計量経済学	2		
	ソーシャルイノベーションの起こし方	2		
	グリーンエコノミー基礎	2		
	サイバーフィジカルシステム	2		
	機械学習と深層学習	2		
	Webテクノロジ	2		
	複合現実	2		
	マーケティングデータ分析	2		
	機械学習デザイン演習Ⅰ	1		
	機械学習デザイン演習Ⅱ	1		
	人工知能(AI)デザイン演習Ⅰ	1		
	人工知能(AI)デザイン演習Ⅱ	1		
	データサイエンス特論	2		オムニバス
	情報経済特論	2		
	データマイニング	2		
	【専門コース科目】			
	〈AIクリエーション・コース〉			
	人工知能(AI)テクノロジ		2	
	マルチメディア知識ベース		2	
	人工知能(AI)・人間協調進化システム		2	
	人工知能(AI)ゲームクリエーション		2	
	ロボティクス・IoT		2	
	サイバーセキュリティと人工知能(AI)		2	
	〈AIアルゴリズムデザイン・コース〉			
	機械学習アルゴリズムデザイン		2	
	データベースデザイン		2	
	画像・音声認識システム		2	
	テキストマイニング		2	
	時空間データベース		2	
	リアルワールド解析シミュレータ		2	
	〈ソーシャルイノベーション・コース〉			
	マーケティング・オートメーション		2	
	人工知能(AI)社会の情報倫理		2	
	社会・環境・ビジネスデザイン		2	
	グローバル・ビジネス・ガバナンス		2	
	ビジネスモデル創出		2	
	社会・環境・ビジネスフィールドワーク		2	
	〈演習〉			
	専門コース演習Ⅰ（人工知能（AI）クリエーション）	1		オムニバス
	専門コース演習Ⅱ（人工知能（AI）アルゴリズムデザイン）	1		オムニバス
	専門コース演習Ⅲ（ソーシャルイノベーション）	1		オムニバス

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	【社会連携型教育】			
	社会連携活動概論	1		
	データサイエンス社会実践学習（短期）		1	メディア
	データサイエンス社会実践学習（中期）		2	メディア
	データサイエンス社会実践学習（長期）		3	メディア
	データサイエンス社会実践学習（海外）		4	メディア
	【プロジェクト型科目】			
	未来創造PJ-AⅠ		4	
	未来創造PJ-BⅠ		2	
	未来創造PJ-AⅡ		4	
	未来創造PJ-BⅡ		2	
	未来創造PJ-AⅢ		4	
	未来創造PJ-BⅢ		2	
	未来創造PJ-AⅣ		4	
	未来創造PJ-BⅣ		2	
	卒業論文創成課題	2		
	卒業論文Ⅰ	4		
	卒業論文Ⅱ	4		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
人間科学部 人間科学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語 英語】			
	英語１Ａ		1	【外国語 英語】１Ａ～２Ｄ計８単位、又は【外国語 初修】いずれかの言語１Ａ～２Ｄ計８単位のどちらかを選択必修
	英語１Ｂ		1	
	英語１Ｃ		1	
	英語１Ｄ		1	
	英語２Ａ		1	
	英語２Ｂ		1	
	英語２Ｃ		1	
	英語２Ｄ		1	
	英語３Ａ		1	
	英語３Ｂ		1	
	【外国語 初修】			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	English for Studying Abroad 1		1	
	English for Studying Abroad 2		1	
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ１		4	
	海外インターンシップ２		6	
	海外インターンシップ３		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			
	人間学入門	2		
	人間科学基礎	2		
	人間論基礎	2		
	基礎ゼミ１	1		
	基礎ゼミ２	1		
	心理学概論Ⅰ	2		
	心理学概論Ⅱ	2		
	心理学研究法		2	
	心理学統計法		2	
	メンタルヘルス論Ⅰ	2		
	メンタルヘルス論Ⅱ		2	
	対人コミュニケーション論	2		
	【人間学基幹科目群】			
	東洋思想論１		2	
	東洋思想論２		2	
	西洋思想論１		2	
	西洋思想論２		2	
	平和学		2	
	宗教学概論		2	
	仏教心理論		2	【人間学基幹科目群】の中から8単位選択必修
	仏教ホスピスビハーラ論		2	
	死生学		2	
	環境倫理学		2	
	生命倫理学		2	
	【臨床心理科目群】			
	心理学実験１		2	
	心理学実験２		2	
	知覚・認知心理学	2		
	感情・人格心理学		2	
	学習・言語心理学		2	
	臨床心理学概論	2		
	発達心理学１	2		
	発達心理学２		2	
	人格心理学		2	
	司法・犯罪心理学１		2	
	司法・犯罪心理学２		2	
	教育・学校心理学		2	
	家族心理学		2	
	心理的アセスメント		2	
	心理療法論（心理学的支援法）		2	
	臨床心理学特殊演習		2	
	精神分析学		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	英語文献研究		2	
	カウンセリング演習		1	
	心理演習		1	
	公認心理師の職責		2	
	心理実習１		1	
	心理実習２		1	
	【産業・社会科目群】			
	社会学	2		
	地域社会学		2	
	家族社会学		2	
	社会調査法		2	
	社会調査実習		2	
	社会・集団・家族心理学	2		
	社会心理学		2	
	対人行動論１	2		
	対人行動論２		2	
	産業・組織心理学		2	
	集団心理学		2	
	産業カウンセリング論		2	
	コミュニティ心理学		2	
	オフィス環境心理学		2	
	文化心理学		2	
	マスコミュニケーション論		2	
	社会保障		4	
	公的扶助		2	
	地域福祉		2	
	コミュニティワーク		2	
	権利擁護と成年後見制度		2	
	現代社会と福祉		4	
	福祉行財政と福祉計画		2	
	関係行政論		2	
	【生命・健康科学科目群】			
	生命科学１	2		
	生命科学２		2	
	生命科学実験演習１		1	
	生命科学実験演習２		1	
	生理人類学１	2		
	生理人類学２		2	
	生理実験演習１		1	
	生理実験演習２		1	
	脳と心１		2	
	脳と心２		2	
	統計推計学		2	
	健康・医療心理学	2		
	健康科学		2	
	精神医学（精神疾患とその治療）		4	
	医学知識（人体の構造と機能及び疾病）		2	
	心身医学		2	
	障害者・障害児心理学		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	福祉心理学		2	
	神経・生理心理学		2	
	スポーツ心理学		2	
	生体適応論		2	
	【精神保健福祉科目群】			
	精神科リハビリテーション学		4	
	精神保健福祉論Ⅰ		2	
	精神保健福祉論Ⅱ		2	
	精神保健福祉論Ⅲ		2	
	ソーシャルワーク論		2	
	精神科ソーシャルワーク論		2	
	精神保健福祉援助技術各論		4	
	精神保健福祉援助演習Ⅰ		1	
	精神保健福祉援助演習Ⅱ		1	
	精神保健福祉援助演習Ⅲ		1	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		2	
	精神保健福祉援助実習		4	
	保健医療サービス		2	
	障害者福祉サービス		2	
	【人間論演習】			
	人間論演習	2		
	【総合科目】			
	人間科学プロジェクト１		2	
	人間科学プロジェクト２		2	
	総合研究１		2	
	総合研究２		2	
	International Lectures(Human Sciences)1		1	
	International Lectures(Human Sciences)2		1	
	【卒業研究】			
	卒業論文	2		
	卒業論文演習１	1		
	卒業論文演習２	1		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
人間科学部 社会福祉学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語 英語】			
	英語１Ａ		1	
	英語１Ｂ		1	
	英語１Ｃ		1	
	英語１Ｄ		1	
	英語２Ａ		1	
	英語２Ｂ		1	
	英語２Ｃ		1	
	英語２Ｄ		1	
	英語３Ａ		1	【外国語 英語】１Ａ～２Ｄ計８単位、又は【外国語 初修】いずれかの言語１Ａ～２Ｄ計８単位のどちらかを選択必修
	英語３Ｂ		1	
	【外国語 初修】			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ1		4	
	海外インターンシップ2		6	
	海外インターンシップ3		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【社会福祉基盤形成科目群】			
	相談援助の基盤と専門職	4		
	相談援助の理論と方法１	4		
	地域福祉	2		
	ケアマネジメント論		2	
	相談援助の理論と方法２	4		
	コミュニティワーク	2		
	現代社会と福祉	4		
	【社会福祉実践領域科目群】			
	高齢者福祉	4		
	障害者福祉	2		
	児童・家庭福祉	2		
	公的扶助	2		
	保健医療サービス	2		
	医療福祉論		2	
	リハビリテーション論		2	
	司法福祉	1		
	就労支援サービス	1		
	家族福祉論		2	
	女性福祉論		2	
	スクールソーシャルワーク論		2	
	多文化共生ソーシャルワーク論		2	
	【社会福祉制度政策科目群】			
	福祉サービスの組織と経営	2		
	社会保障１	2		
	社会保障２	2		
	福祉行財政と福祉計画	2		
	社会福祉法制論		2	
	社会福祉発達史		2	
	【社会福祉関係科目群】			
	社会学	2		
	手話		2	
	点字		2	
	心理学	2		
	社会調査の基礎	2		
	事例調査法		2	
	医学知識	2		
	権利擁護と成年後見制度	2		
	発達心理学		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	児童精神医学		2	
	精神医学総論		2	
	犯罪・非行心理学		2	
	学校の制度		2	
	生徒指導論		2	
	精神保健の課題と支援		2	
	【社会福祉実践研究力形成科目群】			
	社会福祉基礎ゼミナール	2		
	社会福祉発展ゼミナール	2		
	社会福祉演習1	2		
	社会福祉実習指導1		2	
	社会福祉演習2	2		
	社会福祉演習3		2	
	多文化共生ソーシャルワーク実習		1	
	社会福祉専門ゼミナール１	2		
	社会福祉演習4		2	
	社会福祉実習指導2		2	
	社会福祉演習5		2	
	社会福祉実習指導3		2	
	社会福祉実習		4	
	社会福祉専門ゼミナール２	2		
	スクールソーシャルワーク演習		1	
	スクールソーシャルワーク実習指導		1	
	スクールソーシャルワーク実習		2	
	卒業研究		2	
	【社会福祉実践力統合科目群】			
	社会福祉職業論		1	
	社会福祉特講１	1		
	社会福祉特講２	1		
	社会福祉特講３	1		
	社会福祉特講４	1		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
工学部 環境システム学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語 英語】			
	英語１Ａ		1	
	英語１Ｂ		1	
	英語１Ｃ		1	
	英語１Ｄ		1	
	英語２Ａ		1	
	英語２Ｂ		1	
	英語２Ｃ		1	
	英語２Ｄ		1	
	英語３Ａ		1	【外国語 英語】１Ａ～２Ｄ計８単位、又は【外国語 初修】いずれかの言語１Ａ～２Ｄ計８単位のどちらかを選択必修
	英語３Ｂ		1	
	【外国語 初修】			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	English for Studying Abroad 1		1	
	English for Studying Abroad 2		1	
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ１		4	
	海外インターンシップ２		6	
	海外インターンシップ３		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔教職関連科目〕			
	教育法規（日本国憲法）		2	教職必修
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			
	環境システム学初年次ゼミナール	4		
	環境問題概論１	2		
	環境問題概論２	2		
	環境英語入門１	1		
	環境英語入門２	1		
	環境科学基礎Ａ	1		
	環境科学基礎Ｂ	1		
	環境科学基礎Ｃ	1		
	【学科基幹科目】			
	環境エネルギー概論	2		
	環境マネジメント論	2		
	生態学	2		
	環境心理学		2	
	地球史		2	
	化学概論１		2	
	地学概論１		2	
	生物学概論１		2	
	環境英語１		2	
	調査統計法	2		
	環境リサイクル論	2		
	環境システム学基礎ゼミナール	1		
	環境政策論１		2	
	環境経済学１		2	
	化学概論２		2	
	地学概論２		2	
	生物学概論２		2	
	環境英語２		2	
	食環境学		2	
	環境科学基礎実験		2	
	環境システム学ゼミナール１	2		
	環境問題通史		2	
	環境マネジメントシステム論		2	
	生態系管理論		2	
	環境物理学		2	
	ライフサイクルアセスメント		2	
	環境思想		2	
	環境経済学２		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	環境教育論		2	
	環境倫理		2	
	エコプロダクツ		2	
	環境システム学ゼミナール２	2		
	持続可能社会論	2		
	社会技術論		2	
	環境材料学		2	
	資源エネルギー論		2	
	環境経営論		2	
	環境政策論２		2	
	環境リスク論		2	
	環境地球化学		2	
	【学科展開科目】			
	環境モニタリング１		2	
	環境システム学特殊授業１		2	
	環境システム学特殊授業２		2	
	環境システム学特殊授業３		2	
	環境システム学特殊授業４		1	
	環境システム学特殊授業５		1	
	安全管理・救急救命学		1	
	環境プロジェクト１		4	
	環境モニタリング２		2	
	化学実験（コンピュータ活用を含む）		2	
	物理学実験（コンピュータ活用を含む）		2	
	環境分析化学		2	
	生物学特論１		2	
	環境英語３		2	
	実践エコツーリズム		2	
	環境モニタリング３		2	
	生物学実験（コンピュータ活用を含む）		2	
	環境材料化学		2	
	生物学特論２		2	
	環境英語４		2	
	環境アセスメント		2	
	地域再生プラン		2	
	地学実験（コンピュータ活用を含む）		2	
	環境学総合演習		2	
	環境インターンシップ１		2	
	環境インターンシップ２		2	
	環境インターンシップ３		2	
	自然環境教育演習		2	
	環境プロジェクト２		4	
	【総合科目】			
	総合研究基礎１		1	
	総合研究基礎２		1	
	総合研究１		2	
	総合研究２		2	
	総合研究３		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	【卒業研究】 卒業研究 卒業論文	2	4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
工学部 数理工学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語 英語】			
	英語１Ａ		1	
	英語１Ｂ		1	
	英語１Ｃ		1	
	英語１Ｄ		1	
	英語２Ａ		1	
	英語２Ｂ		1	
	英語２Ｃ		1	
	英語２Ｄ		1	
	英語３Ａ		1	【外国語 英語】１Ａ～２Ｄ計８単位、又は【外国語 初修】いずれかの言語１Ａ～２Ｄ計８単位のどちらかを選択必修
	英語３Ｂ		1	
	【外国語 初修】			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	English for Studying Abroad 1		1	
	English for Studying Abroad 2		1	
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ１		4	
	海外インターンシップ２		6	
	海外インターンシップ３		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔教職関連科目〕			
	教育法規（日本国憲法）		2	教職必修
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			
	数理工学入門	2		
	線形代数１	2		
	微積分１	2		
	数学演習1		1	
	線形代数２	2		
	線形代数2演習		1	
	微積分２	2		
	微積分2演習		1	
	情報処理		2	
	プログラミング演習		1	
	線形代数３	2		
	微積分３	2		
	数学演習2		1	
	微分方程式１	2		
	数理工学概論1	2		
	ベクトル解析	2		
	複素解析	2		
	アルゴリズム		2	
	微分方程式２		2	
	【学科基幹科目】			
	基礎物理1	2		
	数理工学実験1		2	
	確率・統計	2		
	応用代数		2	
	数理物理		2	
	数理工学実験2		2	
	基礎物理2	2		
	数理統計学		2	
	応用幾何		2	
	情報理論		2	
	数理工学概論2	2		
	応用複素解析		2	
	グラフ理論入門		2	
	フーリエ解析		2	
	多変量解析		2	
	数値解析		2	
	最適化理論		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	量子力学とナノ工学		2	
	機械学習		2	
	システム工学		2	
	応用微分方程式		2	
	計画工学		2	
	計算幾何学		2	
	信号処理		2	
	【学科展開科目】			
	プロジェクト１		4	
	保険数学		2	
	離散数理工学		2	
	確率数理工学		2	
	データベースと情報管理		2	
	プロジェクト２		4	
	連続体力学		2	
	環境・エネルギー工学		2	
	生命情報学		2	
	知的財産論		2	
	トポロジーとその応用		2	
	金融工学		2	
	【卒業研究】			
	数理工学研究１	2		
	数理工学研究２	2		
	数理工学研究３	2		
	卒業研究	4		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
工学部 建築デザイン学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語 英語】			
	英語１Ａ		1	【外国語 英語】１Ａ～２Ｄ計８単位、又は【外国語 初修】いずれかの言語１Ａ～２Ｄ計８単位のどちらかを選択必修
	英語１Ｂ		1	
	英語１Ｃ		1	
	英語１Ｄ		1	
	英語２Ａ		1	
	英語２Ｂ		1	
	英語２Ｃ		1	
	英語２Ｄ		1	
	英語３Ａ		1	
	英語３Ｂ		1	
	【外国語 初修】			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ1		4	
	海外インターンシップ2		6	
	海外インターンシップ3		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			
	基礎デザイン１	2		
	空間表現論	2		
	基礎ゼミ	2		
	基礎デザイン２	2		
	ＣＡＤ１	4		
	【学科基幹科目】			
	設計製図１	4		
	建築計画	2		
	ＣＡＤ２	4		
	設計製図２	4		
	日本の建築	2		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	設計方法論	2		
	建築構造	2		
	建築材料	2		
	建築施工法	2		
	建築法規	2		
	建築学演習	2		
	【学科展開科目】			
	住居論		2	学科科目の４単位を〈発展セルフディベロップメント〉の要件に充当したこととする。
	住居史		2	
	住宅衛生		2	
	プロジェクト１		2	
	西洋の建築		2	
	建築と環境		2	
	インテリアデザイン１		2	
	構造力学１		2	
	構造力学演習１		2	
	ＣＡＤ３		4	
	環境工学		2	
	建築環境行動		2	
	プロジェクト２		4	
	設計製図３		4	
	建築景観論		2	
	音環境		2	
	建築設備１		2	
	構造力学２		2	
	構造力学演習２		2	
	ＣＡＤ４		4	
	インテリアデザイン２		2	
	都市防災		2	
	都市環境		2	
	設計製図４		4	
	アジアの建築		2	
	光環境		2	
	建築設備２		2	
	構造力学３		2	
	建築構造デザイン		2	
	環境デザイン		2	
	空間とデザイン		2	
	ランドスケープデザイン		2	
	プロジェクト３		4	
	建築環境論		2	
	建築構造論		2	
	建築文化論		2	
	プロジェクト４		4	
	【卒業研究】			
	卒業研究	6		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
教育学部 教育学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	学校教育専修理科コースは２単位選択必修
	健康体育２		1	
	体育講義		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	学校教育専修理科コースは必修
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語 英語】			【外国語 英語】１Ａ～２Ｄ計８単位、又は【外国語 初修】いずれかの言語１Ａ～２Ｄ計８単位のどちらかを選択必修
	英語１Ａ		1	
	英語１Ｂ		1	
	英語１Ｃ		1	
	英語１Ｄ		1	
	英語２Ａ		1	
	英語２Ｂ		1	
	英語２Ｃ		1	
	英語２Ｄ		1	
	英語３Ａ		1	
	英語３Ｂ		1	
	【外国語 初修】			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	２テーマ４単位選択必修
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ1		4	
	海外インターンシップ2		6	
	海外インターンシップ3		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔教職関連科目〕			
	教育法規（日本国憲法）		2	教職必修

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			コースごとの必修科目は教育学部児童教育学科履修内規の定めによる
	学科入門ゼミ		2	
	発達心理学１		2	
	教育原理		2	
	【学科基幹科目】			
	学科発展ゼミ		2	
	児童教育演習		2	
	教育心理学		2	
	発達心理学２		2	
	発達と学習		2	
	教職論		2	
	教育の制度		2	
	教育課程論		2	
	学級経営論		2	
	【学科展開科目】			
	＜福祉関連科目＞			
	社会福祉		2	
	＜初等・中等教育関連科目群＞			
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2	
	道徳教育の理論と方法		2	
	教育の方法と技術		2	
	生徒指導・進路指導論		2	
	教育相談		2	
	特別支援教育		2	
	＜指導法関連科目群＞			
	初等国語科指導法		2	
	初等社会科指導法		2	
	初等算数科指導法		2	
	初等理科指導法		2	
	初等生活科指導法		2	
	初等音楽科指導法		2	
	初等図画工作科指導法		2	
	初等家庭科指導法		2	
	初等体育科指導法		2	
	初等外国語（英語）指導法		2	
	国語科指導法Ａ		2	
	国語科指導法Ｂ		2	
	書道科指導法Ａ		2	
	書道科指導法Ｂ		2	
	英語科指導法Ａ		2	
	英語科指導法Ｂ		2	
	理科指導法Ⅰ		4	
	国語科教育法Ａ		2	
	国語科教育法Ｂ		2	
	書道科教育法		2	
	英語科教育法Ａ		2	
	英語科教育法Ｂ		2	
	理科指導法Ⅱ		4	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	＜教科・基礎技能関連科目群＞			
	国語（書写を含む。）		2	
	社会		2	
	算数		2	
	理科		2	
	生活		2	
	音楽Ａ		2	
	音楽Ｂ		2	
	図画工作Ａ		2	
	図画工作Ｂ		2	
	家庭		2	
	体育Ａ		2	
	体育Ｂ		2	
	初等外国語（英語）		2	
	日本語学概論Ａ		2	
	日本語学概論Ｂ		2	
	古代文学		2	
	中古文学		2	
	中世文学		2	
	近世文学		2	
	近代文学		2	
	現代文学		2	
	漢文学		2	
	書道		2	
	書道史		2	
	書論・鑑賞		2	
	英語学A		2	
	英語学B		2	
	英米文学・文化史A		2	
	英米文学・文化史B		2	
	Practical Communication A		2	
	Practical Communication B		2	
	現代英米事情A		2	
	現代英米事情B		2	
	Comprehensive English A		2	
	Comprehensive English B		2	
	Comprehensive English C		2	
	Comprehensive English D		2	
	異文化理解A		2	
	異文化理解B		2	
	物理学概論１		2	
	物理学概論２		2	
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）		2	
	化学概論１		2	
	化学概論２		2	
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）		2	
	生物学概論１		2	
	生物学概論２		2	
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）		2	
	地学概論１		2	
	地学概論２		2	
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）		2	
	理科実験指導論		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	＜教科・応用科目群＞			
	ＩＣＴ活用論Ａ		2	
	ＩＣＴ活用論Ｂ		2	
	Reading/Writing		2	
	実用英語音声学		2	
	英語プレゼンテーション		2	
	科学基礎１		2	
	科学基礎２		2	
	物理学特論１		2	
	物理学特論２		2	
	化学特論１		2	
	化学特論２		2	
	生物学特論１		2	
	生物学特論２		2	
	地学特論１		2	
	地学特論２		2	
	環境教育学		2	
	自然環境教育演習１		2	
	自然環境教育演習２		2	
	＜国際教員養成科目群＞			
	国際バカロレア概説Ⅰ		2	
	国際バカロレア概説Ⅱ		2	
	国際バカロレア概説Ⅲ		2	
	異文化理解（国際教育）		2	
	２１世紀型スキルの基礎		1	
	２１世紀型スキルの育成		2	
	【実習関係】			
	教育インターンシップゼミ		2	
	教育インターンシップ		2	
	教育海外研修		1	
	教育プレ実習		1	
	教育実習指導【小学校】		1	
	教育実習【小学校】		4	
	教育実習【中学校・高等学校】		3	
	教育実習【中学校】		2	
	教職実践演習（小・中・高）		2	
	【卒業研究】			
	総合演習		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
教育学部 幼児教育学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	体育講義		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語 英語】			
	英語１Ａ		1	
	英語１Ｂ		1	
	英語１Ｃ		1	
	英語１Ｄ		1	
	英語２Ａ		1	
	英語２Ｂ		1	
	英語２Ｃ		1	
	英語２Ｄ		1	
	英語３Ａ		1	
	英語３Ｂ		1	
	【外国語 初修】			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	【外国語 英語】１Ａ～２Ｄ計８単位、または【外国語 初修】いずれかの言語１Ａ～２Ｄ計８単位のどちらかを選択必修
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	
	フランス語３Ａ		1	
	フランス語３Ｂ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	ドイツ語３Ａ		1	
	ドイツ語３Ｂ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	スペイン語３Ａ		1	
	スペイン語３Ｂ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	韓国語３Ａ		1	
	韓国語３Ｂ		1	
	【外国語　応用】			
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	芸術のすすめ		2	
	数学的ものの考え方		2	
	社会現象を分析する		2	
	環境学への展望		2	
	人間の心理を探る		2	
	生命科学と人間		2	
	市民の社会貢献		2	２テーマ４単位選択必修
	市民生活と権利を考える		2	
	現代メディアの探求		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	社会情報と生活		2	
	日本の歴史		2	
	外国の歴史		2	
	哲学への探索		2	
	文化人類学への誘い		2	
	文学を読み解く楽しみ		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ1		4	
	海外インターンシップ2		6	
	海外インターンシップ3		8	
	【副専攻(サブ・メジャー)科目群】			
	サブ・メジャー（ゼミナール）１		2	
	サブ・メジャー（ゼミナール）２		4	
	サブ・メジャー（総合研究）１		2	
	サブ・メジャー（総合研究）２		4	
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	資金計画論		2	
	証券ビジネス論		2	
	経済教育論		2	
	金融リテラシー(金融と人生設計)		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔教職関連科目〕			
	教育法規（日本国憲法）		2	教職必修
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			
	学科入門ゼミ	2		
	発達心理学１（保・幼）	2		
	保育原理	2		
	教育原理１（保・幼）	2		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	【学科基幹科目】			
	学科発展ゼミ	2		
	児童教育演習	2		
	教育心理学（幼）	2		
	教職論（保育者論）	2		
	教育課程論（保・幼）	2		
	発達心理学２（保・幼）		2	
	教育の制度（幼）	2		
	教育原理２		2	
	【学科展開科目】			
	＜保育・幼児教育関連科目群＞			
	社会福祉	2		
	子ども家庭福祉	2		
	社会的養護１	2		
	子どもの保健	2		
	子どもの健康と安全	1		
	子どもの食と栄養	2		
	子ども家庭支援論	2		
	乳児保育１	2		
	乳児保育２	1		
	特別支援教育（保・幼）	2		
	社会的養護２	1		
	教育の方法と技術（幼）	2		
	幼児理解と教育相談（幼）	2		
	仏教保育論		2	
	＜発達・子育て支援科目群＞			
	地域子育てネットワーク論		2	
	音楽療法		2	
	保育インターンシップ		1	
	児童心理臨床		2	
	子育て支援	1		
	子どもの理解と援助	1		
	発達検査法		1	
	芸術療法		1	
	病児保育論		2	
	＜領域及び保育内容指導法関連科目群＞			
	保育内容指導法（健康）		2	
	保育内容指導法（人間関係）		2	
	保育内容指導法（環境）		2	
	保育内容指導法（言葉）		2	
	保育内容指導法（身体表現）１	1		
	保育内容指導法（身体表現）２		1	
	保育内容指導法（造形表現）１	1		
	保育内容指導法（造形表現）２		1	
	保育内容指導法（音楽表現）１	1		
	保育内容指導法（音楽表現）２		1	
	保育内容総論	1		
	保育内容（健康）	1		
	保育内容（人間関係）	1		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	保育内容（環境）	1		
	保育内容（言葉）	1		
	保育内容（表現）	1		
	＜領域関連専門科目群＞			
	国語（書写を含む。）（幼）		2	
	算数（幼）		2	
	生活（幼）		2	
	音楽基礎（保・幼）	2		
	声楽（保・幼）		2	
	器楽（保・幼）		2	
	造形１（保・幼）	1		
	造形２（保・幼）		1	
	造形３（保・幼）		1	
	造形４（保・幼）		1	
	体育１（保・幼）	1		
	体育２（保・幼）		1	
	体育３（保・幼）		2	
	総合表現		1	
	児童文学		2	
	児童文化	1		
	＜国際教員養成科目群＞			
	国際バカロレア概説Ⅰ	2		
	国際バカロレア概説Ⅱ		2	
	国際バカロレア概説Ⅲ		2	
	異文化理解（国際教育）		2	
	２１世紀型スキルの基礎		1	
	２１世紀型スキルの育成		2	
	児童英語		1	
	国際保育論		2	
	【実習関係科目】			
	保育・教育海外研修		1	
	プレ実習（保育内容の理解と方法）		1	
	教育実習指導１－１		1	
	教育実習指導１－２		1	
	教育実習１－１		2	
	教育実習１－２		3	
	保育実習指導１（保育所）		1	
	保育実習指導１(施設)		1	
	保育実習指導２		1	
	保育実習指導３		1	
	保育実習１（保育所）		2	
	保育実習１(施設)		2	
	保育実習２		2	
	保育実習３		2	
	教職実践演習（幼）		2	
	保育実践演習		2	
	【卒業研究】			
	卒業研究		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
薬学部 薬学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康管理科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）		1	
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１		1	
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	コンピュータ活用1（情報倫理・メディア表現）		2	
	コンピュータ活用2（統計基礎・数値表現）	2		
	コンピュータ活用3（医療統計学･生物学的試験法）		2	
	【外国語 英語】			
	英語１Ａ	1		
	英語１Ｂ	1		
	英語１Ｃ	1		
	英語１Ｄ	1		
	英語２Ａ	1		
	英語２Ｂ	1		
	英語２Ｃ	1		
	英語２Ｄ	1		
	英語３		1	
	英語４		1	
	英語５		1	
	【外国語 初修】			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		2	
	中国語３Ｂ		2	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	
	フランス語３Ａ		2	
	フランス語３Ｂ		2	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	
	ドイツ語２Ｄ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	【外国語　応用】			
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【コミュニケーション】			
	コミュニケーションスキル	2		
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー		1	
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント		6	
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	社会の仕組を学ぶ			
	①法学（日本国憲法）		2	１１科目(２２単位)必修
	②社会学		2	４科目(８単位)選択必修
	人のあり方を学ぶ			
	①文学		2	
	②心理学		2	
	人間環境を学ぶ			
	①人間生活工学		2	
	②環境心理学		2	
	薬学物理化学を学ぶ			
	①基礎物理学	2		
	②薬学物理化学	2		
	薬学化学を学ぶ			
	①基礎化学	2		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	②薬学化学1	2		
	③薬学化学2	2		
	薬学生物学を学ぶ			
	①基礎生物学	2		
	②薬学生物学	2		
	薬学数学を学ぶ			
	①薬学数学１		2	
	②薬学数学２	2		
	③薬学統計学	2		
	美を学ぶ			
	①美学		2	
	②色彩学		2	
	人の生死を学ぶ			
	①生命倫理・医療倫理学	2		
	②死生学	2		
	ケアを学ぶ			
	①看護学・ターミナルケア		2	
	②医療心理学		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ		1	
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【キャリア開発科目】			
	キャリアデザイン１	1		
	キャリアデザイン２		1	
	インターンシップ１（企業）		1	
	インターンシップ２（病院・薬局）		1	
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	【学科科目】			
	＜薬学基幹科目＞			
	薬学概論・レギュラトリーサイエンス概論	2		
	薬学総合演習1	4		
	薬学総合演習2	4		
	薬学総合演習3	4		
	卒業研究１	8		
	卒業研究２	8		
	研究者養成コース薬学研究		2	
	＜物理系薬学を学ぶ＞			
	医薬品分析化学１	2		
	医薬品分析化学２	2		
	医薬品物理化学	2		
	放射性医薬品学	1		
	物理系実験実習1	1		
	物理系実験実習2	1		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	＜化学系薬学を学ぶ＞			
	有機化学1	2		
	有機化学2	2		
	有機化学3	2		
	有機化学4	2		
	生薬化学１	2		
	生薬化学２	2		
	化学系実験実習1	1		
	化学系実験実習2	1		
	＜生物系薬学を学ぶ＞			
	解剖学１	2		
	解剖学２	2		
	生理学１	2		
	生理学２	2		
	生化学１	2		
	生化学２	2		
	分子・細胞生物学	2		
	微生物医薬品学１	2		
	微生物医薬品学２	2		
	生物系実験実習1	1		
	生物系実験実習2	1		
	生物系実験実習3	1		
	＜医療薬学を学ぶ＞			
	薬理学１	2		
	薬理学２	2		
	薬理学3	2		
	薬効安全性学	1		
	薬物療法学１	2		
	薬物療法学２	2		
	薬物動態学１	2		
	薬物動態学２	2		
	物理薬剤学	2		
	製剤学	2		
	天然薬物学	1		
	一般用医薬品学	2		
	医薬品情報学	2		
	薬業経済学	2		
	病態学１	2		
	病態学２	2		
	医薬品開発学	2		
	臨床生化学・臨床検査学	2		
	医療薬学実験実習1	1		
	医療薬学実験実習2	1		
	医療薬学実験実習3	1		
	医療薬学実験実習4	1		
	医療福祉学		2	
	薬局経営論		1	
	漢方治療学		1	
	＜薬学臨床を学ぶ＞			
	臨床薬剤学１	2		
	臨床薬剤学２	2		
	薬剤疫学	1		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	臨床薬学１(処方解析)	2		
	臨床薬学２(症例検討カンファレンス)	2		
	臨床調剤学１	2		
	臨床調剤学２	2		
	臨床薬学演習１	2		
	臨床薬学演習２	2		
	基礎調剤実習	1		
	臨床調剤学実習	1		
	事前実習	4		
	病院薬局実務実習	12		
	保険薬局実務実習	12		
	＜衛生薬学を学ぶ＞			
	食品衛生学	2		
	栄養化学	1		
	環境衛生学１	2		
	環境衛生学２	2		
	公衆衛生学	2		
	衛生薬学実験実習	1		
	＜法規・制度を学ぶ＞			
	薬事行政(制度)・関係法規	2		
	＜香粧薬学系科目を学ぶ＞			
	香粧品学概論		1	
	香粧品学1		2	
	香粧品学2		2	
	＜製薬産業系科目を学ぶ＞			
	製薬産業論		1	
	生産技術論		1	
	化粧品産業論		1	
	臨床開発各論		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
看護学部 看護学科	〔共通科目〕			
	【建学科目】			
	仏教概説	4		
	共生社会		2	
	しあわせを考える		2	
	【健康体育科目】			
	健康体育１		1	
	健康体育２		1	
	オリンピック・パラリンピック文化論		2	
	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1		
	【情報科目】			
	コンピュータ基礎１	1		
	コンピュータ基礎２		1	
	情報分析力１		1	
	情報分析力２		1	
	情報表現力１		1	
	情報表現力２		1	
	【外国語 英語】			
	英語１Ａ		1	【外国語 英語】 １Ａ～２Ｄ計８単位のうち、２単位を選択必修
	英語１Ｂ		1	
	英語１Ｃ		1	
	英語１Ｄ		1	
	英語２Ａ		1	
	英語２Ｂ		1	
	英語２Ｃ		1	
	英語２Ｄ		1	
	英語３（医療英語１）	2		
	英語４（医療英語２）		1	
	【外国語 初修】			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	フランス語１Ａ		1	
	フランス語１Ｂ		1	
	フランス語１Ｃ		1	
	フランス語１Ｄ		1	
	フランス語２Ａ		1	
	フランス語２Ｂ		1	
	フランス語２Ｃ		1	
	フランス語２Ｄ		1	
	ドイツ語１Ａ		1	
	ドイツ語１Ｂ		1	
	ドイツ語１Ｃ		1	
	ドイツ語１Ｄ		1	
	ドイツ語２Ａ		1	
	ドイツ語２Ｂ		1	
	ドイツ語２Ｃ		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語２Ｄ		1	
	スペイン語１Ａ		1	
	スペイン語１Ｂ		1	
	スペイン語１Ｃ		1	
	スペイン語１Ｄ		1	
	スペイン語２Ａ		1	
	スペイン語２Ｂ		1	
	スペイン語２Ｃ		1	
	スペイン語２Ｄ		1	
	韓国語１Ａ		1	
	韓国語１Ｂ		1	
	韓国語１Ｃ		1	
	韓国語１Ｄ		1	
	韓国語２Ａ		1	
	韓国語２Ｂ		1	
	韓国語２Ｃ		1	
	韓国語２Ｄ		1	
	【外国語　応用】			
	International Lectures 1		1	
	International Lectures 2		1	
	英語資格・検定試験対策A		1	
	英語資格・検定試験対策B		1	
	【日本語リテラシー】			
	日本語リテラシー	1		
	【セルフディベロップメント科目】			
	〈基礎セルフディベロップメント〉			
	基礎セルフディベロップメント	6		
	〈発展セルフディベロップメント〉			
	社会の仕組みを学ぶ			
	①法学（日本国憲法）		2	
	②社会学		2	
	科学の基礎を学ぶ			
	①基礎生物		2	
	②基礎化学		2	
	心理の基礎を学ぶ			
	①心理学の基礎１		2	
	②心理学の基礎２		2	
	人間環境を学ぶ			
	①人間工学		2	
	②薬品と生活		2	
	福祉を学ぶ			
	①ケアマネジメント論		2	
	②保健医療福祉行政論	2		
	人間を学ぶ			
	①家族関係論		2	
	②ライフサイクル論		2	
	生死に学ぶ			
	①死生学		2	
	②生命倫理・医療倫理学	2		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	心理を学ぶ			
	①医療心理学		2	
	②グリーフケア・ターミナルケア		2	
	ホスピタリティマインド概論		2	
	ホスピタリティマインド各論		2	
	プレゼンテーション		2	
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	海外フィールド・スタディーズ１		2	
	海外フィールド・スタディーズ２		3	
	海外フィールド・スタディーズ３		4	
	海外フィールド・スタディーズ４		5	
	海外フィールド・スタディーズ５		6	
	【インターンシップ科目】			
	インターンシップ（事前研究）		1	
	インターンシップ１		1	
	インターンシップ２		2	
	インターンシップ３		4	
	インターンシップ４		6	
	海外インターンシップ１		4	
	海外インターンシップ２		6	
	海外インターンシップ３		8	
	【寄付講座科目】			
	寄付講座１		2	武蔵野市寄付講座
	〔学科科目〕			
	【専門基礎科目】			
	体の働き１（形態）	1		
	体の働き２（機能）	1		
	病理学	2		
	疾病治療論１（急性期）	2		
	疾病治療論２（慢性期）	2		
	疾病治療論３（母子）	2		
	疾病治療論４（感染と免疫）	1		
	疾病治療論５（精神）	1		
	栄養学	1		
	薬理学	2		
	公衆衛生学	2		
	疫学総論	2		
	保健統計学	2		
	健康保健学		2	
	健康環境論		2	
	臨床栄養学		1	養護教諭は必修
	精神保健論		1	
	セクシュアリティ論		1	

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	【看護学・看護実践の基本】			
	看護学概論	2		
	基礎看護実習	3		
	基礎看護実践論１（看護実践の基礎）	1		
	基礎看護実践論２（ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ技術）	2		
	基礎看護実践論３（生活行動援助技術）	2		
	基礎看護実践論４（看護実践基礎技術）	2		
	看護倫理	1		
	【健康的な個人･家族を対象とした看護】			
	地域看護論１	2		
	成人看護論１	1		
	老年看護論１	2		
	精神看護論１	1		
	母性看護論１	2		
	小児看護論１	1		
	家族看護論	1		
	看護実践統合演習１	1		
	ヘルスプロモーション実習	2		
	【疾患をもつ個人・家族の看護】			
	成人看護論２Ａ（急性期看護）	2		
	成人看護論２Ｂ（慢性期看護）	2		
	老年看護論２	1		
	在宅看護論	2		
	看護実践統合演習２－１（看護過程展開）	1		
	看護実践統合演習２－２（援助技術）	2		
	精神看護論２	2		
	終末期看護論	1		
	母性看護論２	1		
	小児看護論２	2		
	老年看護論実習	2		
	精神看護論実習	2		
	母性看護論実習	2		
	小児看護論実習	2		
	成人看護論実習Ａ（急性期）	2		
	成人看護論実習Ｂ（慢性期）	2		
	在宅看護論実習	3		
	【集団・地域の健康問題に関わる看護】			
	地域看護論２	2		
	看護実践統合演習（地域）	1		
	看護管理・政策論	1		
	看護ゼミ	1		
	公衆衛生看護管理論		1	保健師は必修
	公衆衛生看護診断論演習		1	保健師は必修
	公衆衛生看護論実習		2	保健師は必修
	【看護統合】			
	看護教育論		1	
	看護研究１	1		
	看護研究２（論文）	3		
	総合看護演習	1		
	統合実習	3		

別表（1）

区分 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	【自由選択科目】			
	［心理コース］			
	認知心理学１		2	認定心理士は必修
	認知心理学２		2	
	カウンセリング論		2	
	心理療法論		2	
	［医薬コース］			
	薬物療法学		1	
	臨床医薬品概説		2	
	医療美粧論		2	
	生薬療法（漢方）		2	
	一般用医薬品学		2	
	［養護教諭コース］			
	養護概説		2	養護教諭は必修
	学校保健		2	

別表(1)－2　　(第10条関係)

日本語科目・日本事情に関する科目

区分 学部	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
文学部 法学部 経済学部 経営学部 データサイエンス学部 人間科学部 工学部 教育学部 各科共通	〔日本語科目〕			
	日本語1A		1	
	日本語1B		1	
	日本語1C		1	
	日本語1D		1	
	日本語2A		1	
	日本語2B		1	
	日本語2C		1	
	日本語2D		1	
	〔日本事情科目〕			
	日本事情1		2	
	日本事情2		2	

備考

1. 〔日本語科目〕は外国人留学生だけが履修できる科目とする。
2. 文学部、経済学部、経営学部、人間科学部、工学部、教育学部にあっては、〔日本語科目〕を【外国語英語】【外国語初修】の各8単位に読み替えることができる。
   ただし、母語は除く。
3. 法学部法律学科にあっては、〔日本語科目〕を【外国語】英語の計8単位に読み替えることができる。
   ただし、母語は除く。
4. (削除)
5. 法学部政治学科、データサイエンス学部にあっては、〔日本語科目〕〔日本事情科目〕を【外国語】英語の計10単位に読み替えることができる。
   ただし、母語は除く。

別表(1)－3　　（第12条関係）

上限単位数

文 学 部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
日本文学文化学科	40	44	44	32	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

グローバル学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
グローバルコミュニケーション学科	40	40	40	40	160単位
日本語コミュニケーション学科	40	40	40	40	160単位
グローバルビジネス学科	40	40	40	40	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

備考　4月以外に入学した者の履修上限単位数については別に定める。

法学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
法律学科	40	44	44	32	160単位
政治学科	40	40	40	40	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

経済学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
経済学科	40	40	40	40	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

経営学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
経営学科	40	40	40	40	160単位
会計ガバナンス学科	40	40	40	40	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

データサイエンス学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
データサイエンス学科	40	42	44	34	160単位

人間科学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
人間科学科	40	40	40	40	160単位
社会福祉学科	40	42	43	35	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

工学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
環境システム学科	40	40	40	40	160単位
数理工学科	40	40	40	40	160単位
建築デザイン学科	40	46	38	36	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

教育学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
教育学科　学校教育専修初等コース	52	65	52	30	199単位
教育学科　学校教育専修国語コース	50	60	55	32	197単位
教育学科　学校教育専修英語コース	47	65	50	32	194単位
教育学科　学校教育専修理科コース	52	58	54	32	196単位
幼児教育学科	46	48	44	32	170単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

薬学部薬学科(6年制)及び看護学部看護学科は履修科目の上限を各学年50単位以内とする。
ただし、薬学部薬学科(6年制)の1年生については履修上限を56単位以内とする。

文学部日本文学文化学科及び法学部法律学科に平成30年3月31日以前から在籍している者については、別に定める。

別表（２）

教職に関する科目

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
文学部	〔教職に関する科目〕			
工学部	教師論	2		
（建築デザイン学科を除く）	教職特殊研究A		2	
看護学部	教職特殊研究B		4	
	教育原理	2		
	発達と学習	2		
	学校の制度	2		
	特別支援教育	2		
	教育課程論	2		
	国語科指導法A		2	必修（免許状取得科目を履修）
	国語科指導法B		2	
	書道科指導法A		2	
	書道科指導法B		2	
	英語科指導法A		2	
	英語科指導法B		2	
	理科指導法		4	
	数学科指導法A		2	
	数学科指導法B		2	
	国語科教育法A		2	一部必修（免許状取得科目を履修）
	国語科教育法B		2	
	書道科教育法		2	
	英語科教育法A		2	
	英語科教育法B		2	
	理科教育法		4	
	数学科教育法A		2	
	数学科教育法B		2	
	道徳教育の理論と方法		2	必修（中1種免）
	道徳教育の理論と方法（総合的な学習の時間及び特別活動を含む）		2	必修（看護学部）
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2	必修（看護学部を除く）
	教育方法論	2		
	生徒指導・進路指導論	2		
	教育相談（カウンセリングを含む）	2		
	教育実習 Ⅰ		3	必修（中1種免・高1種免）
	教育実習 Ⅱ		2	必修（中1種免）
	養護実習		5	必修（看護学部）
	教職実践演習（中・高）		2	必修（中1種免・高1種免）
	教職実践演習（養護教諭）		2	必修（看護学部）

別表（３）

司書に関する科目

区分 学部	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
文学部 グローバル学部 (ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科のみ) 法学部 経済学部 人間科学部	〔司書に関する科目〕			
	生涯学習概論	2		
	図書館概論	2		
	図書館情報技術論	2		
	図書館制度・経営論	2		
	図書館サービス概論	2		
	情報サービス論	2		
	情報サービス演習Ⅰ	1		
	情報サービス演習Ⅱ	1		
	図書館情報資源概論	2		
	情報資源組織論	2		
	情報資源組織演習Ⅰ	1		
	情報資源組織演習Ⅱ	1		
	児童サービス論	2		
	図書館情報資源特論		2	2科目(4単位) 選択必修
	図書・図書館史		2	
	図書館基礎特論		2	

別表(4)

司書教諭に関する科目

区分 学部	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
文学部 教育学部	〔司書教諭に関する科目〕			
	学校経営と学校図書館	2		
	学校図書館メディアの構成	2		
	学習指導と学校図書館	2		
	読書と豊かな人間性	2		
	情報メディアの活用	2		

別表（６）

区分 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
グローバル学部 （日本語コミュニケーション学科のみ）	〔日本語教員養成に関する科目〕			
	【日本語の教授】			
	日本語教授法概論A	1		
	日本語教授法概論B	1		
	日本語教授法概論C	1		
	日本語教授法概論D	1		
	第二言語習得理論A		2	8単位選択必修
	第二言語習得理論B		2	
	日本語実践教育A		2	
	日本語実践教育B		2	
	日本語教育学各論A		2	
	日本語教育学各論B		2	
	日本語教育実習	4		
	【日本語の構造】			
	日本語学概論A	1		
	日本語学概論B	1		
	日本語学概論C	1		
	日本語学概論D	1		
	日本語学各論A		2	4単位選択必修
	日本語学各論B		2	
	音声学基礎A		2	
	音声学基礎B		2	
	【世界と日本】			
	異文化コミュニケーションA	2		
	異文化コミュニケーションB	2		

別表 (7)学費

〔文学部日本文学文化学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教 育 充 実 費	178,000　円

〔グローバル学部グローバルコミュニケーション学科、日本語コミュニケーション学科、グローバルビジネス学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教 育 充 実 費	250,000　円

〔法学部法律学科、政治学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教 育 充 実 費	178,000　円

〔経済学部経済学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教 育 充 実 費	178,000　円

〔経営学部経営学科、会計ガバナンス学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教 育 充 実 費	178,000　円

〔データサイエンス学部データサイエンス学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	970,000　円
教 育 充 実 費	260,000　円

〔人間科学部人間科学科、社会福祉学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教 育 充 実 費	178,000　円

〔工学部環境システム学科、数理工学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	900,000　円
教 育 充 実 費	275,000　円

〔工学部建築デザイン学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	990,000　円
教 育 充 実 費	330,000　円

〔教育学部教育学科、幼児教育学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教 育 充 実 費	222,000　円

〔薬学部薬学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	1,400,000　円
教 育 充 実 費	400,000　円

〔看護学部看護学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	1,170,000　円
教育充実費	300,000　円

1. 授業料は2年次以降据え置きとし、前期分、後期分の2期に分納する。
2. 教育充実費については、2年次以降 日本文学文化学科、法律学科、政治学科、経済学科、経営学科、会計ガバナンス学科は年額278,000円、グローバルコミュニケーション学科、日本語コミュニケーション学科、グローバルビジネス学科は年額350,000円、データサイエンス学科は年額360,000円、社会福祉学科は年額278,000円、人間科学科は年額278,000円、環境システム学科、数理工学科は年額275,000円、教育学科、幼児教育学科は年額312,000円、薬学科は年額460,000円、看護学科は400,000円、建築デザイン学科は、2年次に年額380,000円、3年次以降に年額450,000円を前期分、後期分の2期に分納する。
3. 実費弁償分の実験実習料については、別に定める。
4. (削除)
5. 科目等履修生の履修料は、通年1科目について30,000円(半期及び4学期制の科目は半額)とする。
単位(資格)取得の場合は通年1科目について70,000円(半期及び4学期制の科目は半額)とする。
6. 同一法人卒業生の入学金については別に定める。

別表(8)

一級建築士並びに二級建築士及び木造建築士受験資格取得に係る科目

専門分野	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
建築設計製図	基礎デザイン2	2		一級建築士指定科目として7単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として5単位以上修得
	設計製図1	4		
	設計製図2	4		
	設計製図3		4	
	設計製図4		4	
建築計画	住居史		2	一級建築士指定科目として7単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として7単位以上修得
	住居論		2	
	西洋の建築		2	
	アジアの建築		2	
	日本の建築	2		
	建築景観論		2	
	設計方法論	2		
	建築計画	2		
建築環境工学	光環境		2	一級建築士指定科目として2単位以上修得
	音環境		2	
	建築と環境		2	
建築設備	建築設備1		2	一級建築士指定科目として2単位以上修得
	建築設備2		2	
	建築環境論		2	
構造力学	構造力学1		2	一級建築士指定科目として4単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として6単位以上修得
	構造力学演習1		2	
	構造力学2		2	
	構造力学演習2		2	
	構造力学3		2	
建築一般構造	建築構造	2		一級建築士指定科として3単位以上修得
	建築構造デザイン		2	
	建築構造論		2	
建築材料	建築材料	2		一級建築士指定科目として2単位以上修得
建築生産	建築施工法	2		一級建築士指定科目として2単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として1単位以上修得
建築法規	建築法規	2		一級建築士指定科目として1単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として1単位以上修得
その他	CAD3		4	一級建築士指定科目として、上記区分ごとの単位を含め、実務経験2年は60単位以上、3年は50～59単位、4年は40～49単位修得 二級・木造建築士指定科目として、上記区分ごとの単位を含め、実務経験0年は40単位以上、1年が30～39単位、2年は20～20単位修得
	CAD4		4	
	住宅衛生		2	
	インテリアデザイン1		2	
	インテリアデザイン2		2	
	都市防災		2	
	都市環境		2	
	建築文化論		2	

別表（９）

保　育　士　資　格　課　程　科　目

告示※による教科目				授業科目名	単位数		授業時間数（時間）	開講学年	授業形態	備考
系列		教科目	単位数			必修	選択			
教養科目		外国語、体育以外の科目	6以上	仏教概説		4		60	1	講義	
				コンピュータ基礎１		1		30	1	演習	
				コンピュータ基礎２		1		30	1	演習	
		外国語（演習）	10以上	2以上	英語１Ａ		1	120	1	演習	１外国語4単位選択必修
					英語１Ｂ		1		1	演習	
					英語１Ｃ		1		1	演習	
					英語１Ｄ		1		1	演習	
					中国語１Ａ		1	120	1	演習	
					中国語１Ｂ		1		1	演習	
					中国語１Ｃ		1		1	演習	
					中国語１Ｄ		1		1	演習	
					韓国語１Ａ		1	120	1	演習	
					韓国語１Ｂ		1		1	演習	
					韓国語１Ｃ		1		1	演習	
					韓国語１Ｄ		1		1	演習	
					フランス語１Ａ		1	120	1	演習	
					フランス語１Ｂ		1		1	演習	
					フランス語１Ｃ		1		1	演習	
					フランス語１Ｄ		1		1	演習	
					ドイツ語１Ａ		1	120	1	演習	
					ドイツ語１Ｂ		1		1	演習	
					ドイツ語１Ｃ		1		1	演習	
					ドイツ語１Ｄ		1		1	演習	
					スペイン語１Ａ		1	120	1	演習	
					スペイン語１Ｂ		1		1	演習	
					スペイン語１Ｃ		1		1	演習	
					スペイン語１Ｄ		1		1	演習	
		体育（講義）		1	体育講義	1		15	1	講義	
		体育（実技）		1	健康体育１	1		60	1	実技	
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理（講義）	2		保育原理	2		30	1	講義	
		教育原理（講義）	2		教育原理１（保・幼）	2		30	1	講義	
		子ども家庭福祉（講義）	2		子ども家庭福祉	2		30	2	講義	
		社会福祉（講義）	2		社会福祉	2		30	2	講義	
		子ども家庭支援論（講義）	2		子ども家庭支援論	2		30	3	講義	
		社会的養護1（講義）	2		社会的養護1	2		30	2	講義	
		保育者論（講義）	2		教職論（保育者論）	2		30	1	講義	
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学（講義）	2		発達心理学１（保・幼）	2		30	1	講義	
		子ども家庭支援の心理学（講義）	2		発達心理学２（保・幼）	2		30	2	講義	
		子どもの理解と援助（演習）	1		子どもの理解と援助	1		30	3	演習	
		子どもの保健（講義）	2		子どもの保健	2		30	2	講義	
		子どもの食と栄養（演習）	2		子どもの食と栄養	2		60	3	演習	
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価（講義）	2		教育課程論（保・幼）	2		30	3	講義	
		保育内容総論（演習）	1		保育内容総論	1		30	1	演習	
		保育内容演習（演習）	5		保育内容（健康）	1		30	2	演習	
					保育内容（人間関係）	1		30	1	演習	
					保育内容（環境）	1		30	1	演習	
					保育内容（言葉）	1		30	1	演習	
					保育内容（表現）	1		30	1	演習	
		保育内容の理解と方法（演習）	4		プレ実習（保育内容の理解と方法）	1		30	1	演習	
					保育内容指導法（身体表現）1	1		30	2	演習	
					保育内容指導法（造形表現）1	1		30	2	演習	
					保育内容指導法（音楽表現）1	1		30	2	演習	
					児童文化	1		30	1	演習	

別表（９）

保　育　士　資　格　課　程　科　目

告示※による教科目				授業科目名	単位数		授業時間数（時間）	開講学年	授業形態	備考
系列		教科目	単位数		必修	選択				
必修科目	保育の内容・方法に関する科目	乳児保育Ⅰ（講義）	2	乳児保育１	2		30	2	講義	
		乳児保育Ⅱ（演習）	1	乳児保育２	1		30	3	演習	
		子どもの健康と安全（演習）	1	子どもの健康と安全	1		30	3	演習	
		障害児保育（演習）	2	特別支援教育（保・幼）	2		60	3	演習	
		社会的養護Ⅱ（演習）	1	社会的養護２	1		30	3	演習	
		子育て支援（演習）	1	子育て支援	1		30	3	演習	
	保育実習	保育実習Ⅰ（実習）	4	保育実習１（保育所）	2		90	3	実習	配属実習45時間(1単位あたり)
				保育実習１（施設）	2		90	2	実習	配属実習45時間(1単位あたり)
		保育実習指導Ⅰ（演習）	2	保育実習指導１（保育所）	1		30	3	演習	
				保育実習指導１（施設）	1		30	2	演習	
	総合演習	保育実践演習（演習）	2	保育実践演習	2		60	4	演習	
選択必修科目	保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	18以上	仏教保育論		2	30	4	講義	保育実習２・保育実習指導２（３単位）又は保育実習３・保育実習指導３（３単位）を含め、９単位以上
	保育の対象の理解に関する科目			地域子育てネットワーク論		2	30	4	講義	
	保育の内容・方法に関する科目			児童文学		2	30	3	講義	
				保育内容指導法（健康）		2	30	3	講義	
				保育内容指導法（人間関係）		2	30	3	講義	
				保育内容指導法（環境）		2	30	3	講義	
				保育内容指導法（言葉）		2	30	2	講義	
				保育内容指導法（身体表現）2		1	30	2	演習	
				保育内容指導法（造形表現）2		1	30	2	演習	
				保育内容指導法（音楽表現）2		1	30	2	演習	
				音楽基礎（保・幼）		2	60	1	演習	
				声楽（保・幼）		2	60	2	演習	
				器楽（保・幼）		2	60	3	演習	
				造形１（保・幼）		1	30	1	演習	
				造形２（保・幼）		1	30	1	演習	
				造形３（保・幼）		1	30	3	演習	
				造形４（保・幼）		1	30	3	演習	
				体育１（保・幼）		1	30	1	演習	
				体育２（保・幼）		1	30	2	演習	
				体育３（保・幼）		2	30	3	講義	
	保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	2以上	保育実習２		2	90	3	実習	配属実習45時間(1単位あたり)
				保育実習３		2	90	3	実習	配属実習45時間(1単位あたり)
		保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1以上	保育実習指導２		1	30	3	演習	
				保育実習指導３		1	30	3	演習	

※児童福祉法施行規則第６条の２第１項第３号の指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法（厚生労働省告示第百九十八号）

別表(10)

社会福祉士受験資格取得に係る科目

指定科目名	開講科目名	授業形態	単位 必修	単位 選択	必要時間数(h)	備考
人・社会・生活と福祉の理解に関する知識と方法						
人体の構造と機能及び疾病	医学知識	講義		2	30	3科目のうち1科目
心理学理論と心理的支援	心理学	講義		2	30	
社会理論と社会システム	社会学	講義		2	30	
現代社会と福祉	現代社会と福祉	講義	4		60	
社会調査の基礎	社会調査の基礎	講義	2		30	
総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法に関する知識と技術						
相談援助の基盤と専門職	相談援助の基盤と専門職	講義	4		60	
相談援助の理論と方法	相談援助の理論と方法1	講義	4		60	
	相談援助の理論と方法2	講義	4		60	
地域福祉の基盤整備と開発に関する知識と技術						
地域福祉の理論と方法	地域福祉	講義	2		30	
	コミュニティワーク	講義	2		30	
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画	講義	2		30	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	講義	2		30	
サービスに関する知識						
社会保障	社会保障1	講義	2		30	
	社会保障2	講義	2		30	
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉	講義	4		60	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉	講義	2		30	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童・家庭福祉	講義	2		30	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助	講義	2		30	
保健医療サービス	保健医療サービス	講義	2		30	
就労支援サービス	就労支援サービス	講義		1	15	3科目のうち1科目
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	講義		2	30	
更生保護制度	司法福祉	講義		1	15	
実習・演習						
相談援助演習	社会福祉演習1	演習	2		30	
	社会福祉演習2	演習	2		30	
	社会福祉演習3	演習	2		30	
	社会福祉演習4	演習	2		30	
	社会福祉演習5	演習	2		30	
相談援助実習指導	社会福祉実習指導1	実習	2		30	
	社会福祉実習指導2	実習	2		30	
	社会福祉実習指導3	実習	2		30	
相談援助実習	社会福祉実習	実習	4		180	

別表(11)

精神保健福祉士受験資格取得に係る科目

指定科目名	開講科目名	授業形態	単位 必修	単位 選択	必要時間数(h)	備考
共通科目						
人体の構造と機能及び疫病	医学知識(人体の構造と機能及び疾病)	講義		2	30	3科目のうち1科目ただし、「心理学概論Ⅰ」「心理学概論Ⅱ」については両方履修することで1科目とみなす ※「心理学概論Ⅰ」「心理学概論Ⅱ」は学科指定科目
心理学理論と心理的支援	心理学概論Ⅰ	講義		2	30	
	心理学概論Ⅱ	講義		2		
社会理論と社会システム	社会学	講義		2	30	
現代社会と福祉	現代社会と福祉	講義	4		60	
地域福祉の理論と方法	地域福祉	講義	2		30	
	コミュニティワーク	講義	2		30	
社会保障	社会保障	講義	4		60	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助	講義	2		30	
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画	講義	2		30	
保健医療サービス	保健医療サービス	講義	2		30	
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	講義	2		30	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉サービス	講義	2		30	
専門科目						
精神疾患とその治療	精神医学(精神疾患とその治療)	講義	4		60	
精神保健の課題と支援	メンタルヘルス論Ⅰ	講義	2		30	
	メンタルヘルス論Ⅱ	講義	2		30	
精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)	ソーシャルワーク論	講義	2		30	
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	精神科ソーシャルワーク論	講義	2		30	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神科リハビリテーション学	講義	4		60	
	精神保健福祉援助技術各論	講義	4		60	
精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉論Ⅱ	講義	2		30	
	精神保健福祉論Ⅲ	講義	2		30	
精神障害者の生活支援システム	精神保健福祉論Ⅰ	講義	2		30	
実習・演習						
精神保健福祉援助演習(基礎)	精神保健福祉援助演習Ⅰ	演習	1		30	
精神保健福祉援助演習(専門)	精神保健福祉援助演習Ⅱ	演習	1		30	
	精神保健福祉援助演習Ⅲ	演習	1		30	
精神保健福祉援助実習指導	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	実習	1		30	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	実習	2		60	
精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助実習	実習	4		210	

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

ア　学則変更（収容定員変更）の内容・・・p.１

イ　学則変更（収容定員変更）の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.２

ウ　学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.３
（ア）教育課程の変更内容 ・・・p.３
（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.９
（ウ）教員組織の変更内容 ・・・p.10
（エ）大学全体の施設・設備の変更内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.11

■教育課程等の概要・・p.12

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア　学則変更（収容定員変更）の内容

これまで本学では、本学通信教育部の学生や、留学生を中心とした編入学希望者を受け入れてきた実績がある。加えて、留年や退学などにあたって生じる欠員の範囲内でも編入学者を受け入れ、学生の学びにおけるニーズに柔軟に対応してきた。今回はこうした編入学の現状を実質化し、定員として設定することでより適正な定員管理を行うことを目的として、編入学定員の変更を行う。

現在、大学全体で３３人の編入学定員を設定しているが、グローバル化する社会のニーズに応えるとともに、多様化する教育研究の要請に対応するため、法学部法律学科、法学部政治学科、経済学部経済学科、経営学部経営学科の２年次編入学定員を５人から３人に減員し、併せて人間科学部人間科学科の２年次編入学定員を４人から２人に減員して、留学生の志願者が多いグローバル学部の各学科に新たに編入学定員を設定し、グローバルコミュニケーション学科の３年次編入学定員を３人、日本語コミュニケーション学科の３年次編入学定員を５人、グローバルビジネス学科の３年次編入学定員を７人とする。

なお、編入学定員を含む大学全体の収容定員の総数及び特定地域内に所在する学部の収容定員に変更は生じないため、これまでどおり適正な定員管理を行っていく予定である。

【変更前（令和元年度）】

学部・学科	入学定員（人）	２年次編入学定員（人）	３年次編入学定員（人）	収容定員（人）
文学部				
日本文学文化学科	220	5	—	895
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部				
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	165	—	—	660
日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	80	—	—	320
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	55	—	—	220
法学部				
法律学科	190	5	—	775
政治学科	100	5	—	415
経済学部				
経済学科	175	5	—	715
経営学部				
経営学科	220	5	—	895
会計ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ学科	90	—	—	360

【変更後（令和２年度～）】

入学定員（人）	２年次編入学定員（人）	３年次編入学定員（人）	収容定員（人）
220	5	—	895
165	—	3	666
80	—	5	330
55	—	7	234
190	3	—	769
100	3	—	409
175	3	—	709
220	3	—	889
90	—	—	360

ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部								
ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学科	70	—	—	280	70	—	—	280
人間科学部								
人間科学科	215	4	—	872	215	2	—	866
社会福祉学科	157	4	—	640	157	4	—	640
工学部								
環境ｼｽﾃﾑ学科	70	—	—	280	70	—	—	280
数理工学科	60	—	—	240	60	—	—	240
建築ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	70	—	—	280	70	—	—	280
教育学部								
教育学科	120	—	—	480	120	—	—	480
こども発達学科	100	—	—	400	100	—	—	400
薬学部								
薬学科	160	—	—	960	160	—	—	960
看護学部								
看護学科	145	—	—	580	145	—	—	580

【変更前（令和元年度）】

キャンパス（所在地）	キャンパスごとの収容定員
有明キャンパス（江東区）	4,542
武蔵野キャンパス（西東京市）	5,725

【変更後（令和２年度～）】

キャンパス（所在地）	キャンパスごとの収容定員※
有明キャンパス（江東区）	4,542
武蔵野キャンパス（西東京市）	5,725

※令和２年度実施予定の看護学部の定員移転（武蔵野キャンパス→有明キャンパス）については、別途届出（特定地域内学部収容定員の増加に係る届出）を提出予定のため本表には反映していない。

イ　学則変更（収容定員変更）の必要性について

本学は大正１３年に世界的な仏教学者である高楠順次郎により創立されて以降、１１学部１９学科、１２研究科及び通信教育部２学部、３研究科、２４研究所・センターを有する総合大学となった現在まで、「生きとし生けるものが幸せであるために」という仏教の根源的願いを受け継ぎながら発展を続けてきた。平成２８年には「世界の幸せをカタチにする。」というブランドステートメントを掲げ、平成３１年３月には、国連サミットで採択された持続可能な開発目標に基づき、「武蔵野大学ＳＤＧｓ実行宣言」を発表した。令和６年に創立１００周年を迎える本学は、これまでの歴史と伝統、そして現在の姿や力を踏まえ、今後、グローバルな視野をもって世界の多様な人々と響創しながら世界の幸せのために行動でき

る人材を育成すべく、「武蔵野大学 国際化ビジョン１００」の実現に尽力している。

本学における令和元年度の海外からの留学生数は６３０人であり、年々増加の一途を辿っている。また、海外の大学との協定にも力を入れており、１０７校の海外大学と協定を結んでいる（令和元年５月現在）。加えて、４学期制を導入することで短期の留学をしやすくし、受け入れのみならず海外留学を志す学生への支援も充実させ、国際系の学科に限らないグローバル人材の育成を目指している。

国際化を見据えた教育研究を推進していくため、本学では、国際共同学位プログラムの学内外からのニーズを受けて、ダブルディグリーの導入を進めている（以下「ＤＤ」という）。数多くの協定校がある中でも、特に中国や台湾等の大学からの要望が大きくなっている。その理由としては、他大学との国際教育連携を通じて教育内容が充実するとともに、優秀な学生の計画的な受け入れ・派遣を通じて国際的な視野をもつ人材を育成するなど、質の保証を伴った大学間交流の促進と国際競争力の向上につながる本学の教育の成果が認められたためである。このような国境を越えた教育・人的交流の深化により、単独の大学では実施できない、各大学の教育研究資源を共有・活用した教育プログラムの構築を今後も推進していく所存である。

さらにＤＤの実施により、従来の留学生の受入制度よりも単位認定や学位授与に対する保証が明確となるため、より多くの海外からの編入志願者が期待できることや、留学生に一層魅力的な学修体制と環境を提供することで、本学の教育の国際通用性の向上が期待できる。また、学生に高度かつ多様な経験をさせることで社会の変化にも対応できる広い視野と柔軟な思考を有する人材の育成を可能にすることに加え、優秀な留学生を受け入れることは本学にとっても新たな刺激となり、一層の国際化と教育研究の発展を見込める。こうした理由により、本学にＤＤ取得を目指す留学生の受け入れ方法としてグローバル学部に編入学枠を設定することは大きな意義があると考える。

当該８学科の入学志願者状況については**資料１**のとおりである。いずれの学科も過去５年間、安定的に高い倍率で志願者を集めている（**資料１**）。これは１年次入学の入試データではあるが、当該学科の教育の人気の高さを明瞭に示している。また、留学生からのニーズについても、グローバル学部における留学生の割合をみればそのニーズの高さは明らかである（**資料２**）。これらの傾向は編入学においても大きな相違はないと想定され、前述のＤＤによる訴求力も考慮すると、今回収容定員を変更する学科の編入学に対する需要は十分にある。実際に海外協定校の学生からの編入学希望の声は多く、こうした需要に応えるためにも、今回の収容定員変更は必要性が高いと考える。

ウ　学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

今回収容定員を変更する８学科について、それに伴う教育課程等の変更は予定していない。グローバル学部グローバルコミュニケーション学科、グローバル学部日本語コミュニ

ケーション学科、グローバル学部グローバルビジネス学科の３学科にそれぞれ３、５、７人の編入学定員を３年次に設ける。法学部法律学科、法学部政治学科、経済学部経済学科、経営学部経営学科、人間科学部人間科学科については編入学定員をそれぞれ２人減員するが、編入学年次は従前のとおりの２年次からとする。

これらの学科の１年次の教育内容は教養教育である「武蔵野ＢＡＳＩＳ」が中心になっており、２年次では、専門的な学びに入るための地盤を構築するための科目を配置している。こうした教養を既に十分身に付けた学生を編入学生として受け入れるため、既習の知識・専門性と２年次以降の履修内容との連続性を担保し、体系的かつ発展的な学びを実現できるよう配慮する予定である。また、学位授与にあたっての教育水準の確保についても、学生の既修得単位の内容を精査し、本学でのカリキュラムポリシーに照らし、内容的に問題ないと言える学修のみ単位認定を行うため卒業までの学修に支障がないように配慮する予定である。

各学科の教育課程の考え方は以下のとおりである。

＜グローバル学部グローバルコミュニケーション学科＞

当該学科では、多文化社会において必要とされるグローバルな教養と知識を持ち、そうした社会で求められる資質を備えた人材育成のためのカリキュラムと、異文化の人々とのコミュニケ―ションの手段としての高度な言語運用能力を身に付けるためのカリキュラムを構築している。全学共通の教養教育プログラム「武蔵野ＢＡＳＩＳ」のほか、学科科目として１年次「基礎ゼミ」、２年次「プレゼミ」によりグローバルな教養と知識を獲得する。また、アカデミック・リーディングや文献調査法、プレゼンテーション、ディベート等を学び、グローバル・イシューを扱うことで社会問題や多文化理解に対する興味関心や課題意識、広い視野を涵養する。なお、３年次に編入する学生は、編入学前の既修科目によってこれらに対応するだけの十分なスキルや教養を有していると判断した場合のみ入学させる。そのため、３年次以降の高度な専門科目との継続性は担保される。

３・４年次には、学生の興味と関心に応じて「ゼミ／Ｓｅｍｉｎａｒ」もしくは「課題研究演習」を選択し、より専門的に調査・研究を行うカリキュラム構成としている。

高度な言語運用能力を身に付ける科目としては、「英語科目群」、「日本語科目群」、「中国語科目群」を設け、原則的には、自分の母語以外の２つの言語科目群を履修する。「英語科目群」と「中国語科目群」を履修する学生は、基本的なコミュニケーション能力を育成する科目と、言語運用能力を定量的に示していくための科目を履修する。留学生には「日本語科目群」において専門的な学修を進めるための基礎を確実に身に付けられるようにする。また、２年次以降はテーマ別の選択科目で、コンテント・ベースを中心にした内容を学修することによって、言語運用能力を修得していくことができる。なお、編入学する学生が留学生の場合、既に日本語を学んできていると想定されるため、複数の言語を運用する能力はある程度身に付けていると考えられる。そのため、３年次編入であっても高

度化する学びに十分対応でき、カリキュラムのねらいどおりの体系的学修に支障はない。

＜グローバル学部日本語コミュニケーション学科＞

当該学科では、日本語の高度なコミュニケーション能力と課題解決能力を有し、国際社会に日本語と日本文化を発信するなど、グローバルに活躍できる人材を育成するためのカリキュラムを構築している。全学共通の教養教育プログラム「武蔵野ＢＡＳＩＳ」のほか、学科科目として１年次「基礎ゼミ」、２年次「プレゼミ」によりグローバルな教養と知識を獲得する。また、「日本語学概論」や「異文化コミュニケーション」などの専門科目を履修することで、１、２年次に必要な専門基礎を盤石なものとする。なお、３年次に編入する学生は、編入学前の既修科目によって既にこれらに対応するだけの十分なスキルや教養を有していると判断した場合のみ入学させる。そのため、３年次以降の高度な専門科目との継続性は担保される。

その後、３・４年次の「ゼミ／Ｓｅｍｉｎａｒ」を経て、４年次の卒業論文執筆まで、問題発見解決能力や論理的思考を養う体系的なアカデミック・ジャパニーズ科目を配置。外国語科目において英語、中国語、日本語の総合的能力を高めるとともに、日本語教員養成、ビジネス日本語、サブカルチャーを柱に専門性を高める科目をそろえることで、高度な総合的日本語力とともに日本を発信するための知識と実践力を身に付ける。なお、編入学する学生が留学生の場合、既に日本語及び日本文化を学んできていると想定されるため、日本語運用能力や日本文化への理解、興味関心はある程度身に付けていると考えられる。そのため、３年次編入であっても高度化する学びに十分対応でき、カリキュラムのねらいどおりの体系的学修に支障はない。

＜グローバル学部グローバルビジネス学科＞

当該学科では、グローバルな視野を持ち、経営学を体系的に理解し、組織における経営資源の創造的かつ効率的マネジメントを学び、グローバル社会の発展に貢献できる人材を育成するためのカリキュラムを構築している。全学共通の教養教育プログラム「武蔵野ＢＡＳＩＳ」のほか、学科科目として１年次「基礎ゼミ」、２年次「プレゼミ」によりグローバルな教養と知識を獲得する。これにより広く深い教養を養い、英語を中心として中国語・日本語の運用能力を高め、異なる文化背景を尊重しながら世界の価値観を共有できる能力を涵養する。なお、３年次に編入する学生は、編入学前の既修科目によって既にこれらに対応するだけの十分な能力を有していると判断した場合のみ入学させる。そのため、３年次以降の高度な専門科目との継続性は担保される。

３・４年次以降ではグローバルな感覚と視野によるビジネス遂行力を育成する。そのため専門科目及びゼミでは、アカデミック研究とグローバル・ビジネスでの実務経験を融合させ、実務経験に基づいた「考え方」「方法論」を織り込んだ授業カリキュラムを構築している。加えて、多文化共修科目を用意し、グローバル社会で活躍するための異文化理解

力、コミュニケーション力、言語運用力などを高めて、語学研修やインターンなどを通して、実際の異文化やグローバル・ビジネスに触れるプログラムを用意している。なお、編入学する学生が留学生の場合、既に英語によるビジネス分野を学んできていると想定されるため、英語の運用能力及び専門基礎知識はある程度身に付けていると考えられる。そのため、３年次編入であっても高度化する学びに十分対応でき、カリキュラムのねらいどおりの体系的学修に支障はない。

＜法学部法律学科＞

当該学科では、「新世代法学部」の学科として、法学及び法律学を単なる知識ではなく「生きていく知恵」として活用し、自らルールの必要性を考え、最適なルールを創り、ルールを使いこなせる人材を養成すべくカリキュラムを構築している。カリキュラムでは、法律科目を体系的に配置するとともに、「基礎科目群」、「基幹科目群」、「展開科目群」に分類する方式としている。また、学生の志向性に応じて、政治学・経済学・経営学の科目を隣接科目として設置し、履修・学修の深化を図っている。全学共通の教養教育プログラム「武蔵野ＢＡＳＩＳ」のほか、１年次学科科目として「民法」や「刑法」、「憲法」など、法学の基礎を学ぶ科目を用意している。なお、２年次に編入する学生は、編入学前の既修科目によって既にこれらに対応するだけの十分な能力を有していると判断した場合のみ入学させる。そのため、２年次以降の専門科目との継続性は担保される。

学生の志向については、多数派であるビジネス志向、公務員志向、法曹資格志向を念頭に、必要かつ十分な法律科目のほか、民事法科目の充実、「資格ガイダンス」「地方公務員特殊研究」「企業エクスターンシップ」「キャリア開発」等の科目を配置。また、講義科目のほか、演習科目として「プレゼミ」「ゼミナール」を設置しており、法情報リテラシーをはじめ、修得した法律学の知識を基礎に、現代社会の課題を多角的に発想する姿勢、課題解決のための論理的思考力を養成する。また、卒業論文の執筆を指導することで、表現力の向上を図る。この他に、プレゼンテーション力の強化を目的とした「プレゼンゼミ」を設置している。なお、編入学する学生が留学生の場合、既に日本語及び法学の基礎を学んできていると想定されるため、日本語の運用能力及び専門分野に関する基本的知識はある程度身に付けていると考えられる。そのため、２年次編入であっても高度化する学びに十分対応でき、カリキュラムのねらいどおりの体系的学修に支障はない。

＜法学部政治学科＞

当該学科では、自分を取り巻く社会環境を理解し、公共精神と共生の視点をもった市民としての能力・技能を身に付けることによって、持続可能な社会の形成に貢献できる能力を育成するカリキュラムを構築している。カリキュラムは共通科目と学科科目で編成し、学科科目は、「基礎科目群」、「基幹科目群」、「展開科目群」等からなり、基礎から発展に積み上げる形で構成している。１年次では全学共通の教養教育プログラム「武蔵野ＢＡＳ

ＩＳ」を中心として、「政治学原論」「国際政治学基礎」など、専門基礎科目を配置することで、幅広い視野と政治学の基本知識と理解を身に付ける。なお、２年次に編入する学生は、編入学前の既修科目によって既にこれらに対応するだけの十分な能力を有していると判断した場合のみ入学させる。そのため、２年次以降の専門科目との継続性は担保される。

それぞれの科目群は「歴史・理論」「日本政治・政治過程」「国際政治・地域研究」の３分野で構成している。また、学修者の専門能力を広げるために法律学科、経済学科の関連科目を隣接科目として履修できるようにしている。さらに、「プレゼンゼミ」「選挙特殊研究」「キャリア開発」「地方公務員特殊研究１～４」等によって学生の自己実現に資するカリキュラムとすることで、今後の進路に必要なスキルを身に付け、意識の醸成を図る。なお、編入学する学生が留学生の場合、既に日本語及び政治学の基礎を学んできており、日本語の運用能力及び専門分野に関する基本的知識はある程度身に付けていると考えられる。そのため、２年次編入であっても高度化する学びに十分対応でき、カリキュラムのねらいどおりの体系的学修に支障はない。

＜経済学部経済学科＞

当該学科では、国際化した社会の中で、高い倫理観と共生の視点を持ち、社会貢献と自己実現を目指して、経済学の方法と知見によって普遍的・科学的なものの見方・考え方を修得することで、問題発見・解決ができ、国内外の企業や官公庁など幅広い分野で活躍できる能力を養成するカリキュラムを構築している。

経済学の基礎から応用、最新の理論まで、段階的に学んでいけるように科目を配置。１年次に全学共通の教養教育プログラム「武蔵野ＢＡＳＩＳ」を履修するほか、経済学科の基礎となる「基礎科目群」の１２科目から１年次、２年次に６科目ずつ履修することで、基礎から段階的な学修を可能としている。「基礎科目群」には「経済学基礎」「データ分析入門」等があり、これらは全員が履修する。２年次に編入する学生は、編入学前の既修科目によって既にこれらに対応するだけの十分な能力を有していると判断した場合のみ入学させる。そのため、２年次以降の専門科目との継続性は担保される。

２年次になると「基幹科目群」を配置し、１年次での「基礎科目群」の内容理解を前提に、様々な分野の基本となる「ミクロ経済学」「マクロ経済学」等で構成する。また２年次からはより専門的な科目を「展開科目群」として配置し、理論や制度を学ぶ科目（「国際貿易論」「経済政策論」など)、歴史を学ぶ科目（「国際経済史」「経済思想史」など)、データ分析を行う科目（「統計学」など）に分けるとともに、他学科の隣接分野の科目履修も可能としている。３年次に配置する科目では、基礎・基幹科目群で学んだ経済学の基礎理論を応用して、特定の分野についての実際の経済現象や制度の分析をより精緻に行う。法律学、政治学など他分野の科目も「隣接科目群」として設置してあり、これらも各自の興味に応じて履修することで、学びの幅を広げることができる。

さらに、２年次後期以降の「プレゼミ」「ゼミナール」では、講義科目で学んだ経済理論及びデータ分析の方法を使って、学生自身が主体的に現代の経済における課題の分析や問題解決に取り組むことによって、洞察力や判断力を養う。なお、編入学する学生が留学生の場合、既に日本語及び経済学の基礎を学んできており、日本語の運用能力及び専門分野に関する基本的知識はある程度身に付けていると考えられる。そのため、２年次編入であっても高度化する学びに十分対応でき、カリキュラムのねらいどおりの体系的学修に支障はない。

＜経営学部経営学科＞

当該学科では、変転著しい国際社会の中で、世界の幸せの実現に向け、高い倫理観と共生の視点を持ち、経営学を中心とした社会科学の知識と技能を修得し、組織人としてあるいは個人で、ビジネス分野を中心とした領域及びその他の様々な領域において、多様な諸問題を発見・解決できる実践的な能力を養成するカリキュラムを構築している。

１年次は、全学共通の教養教育プログラム「武蔵野ＢＡＳＩＳ」のほか、経営学を中心とする社会科学の概要や現実の世界とのつながりを学ぶ「経営学への招待Ａ」など、学びの意義や目的を考える授業を多く設置している。２年次に編入する学生は、編入学前の既修科目によって既にこれらに対応するだけの十分な能力を有していると判断した場合のみ入学させる。そのため、２年次以降の専門科目との継続性は担保される。

２年次は、経営学を中心とする社会科学の基礎を学ぶ「マーケティング１」「経営戦略１」など、３年次以降の発展的な学びの基盤となる科目を配置。３～４年次は、少人数制のゼミナールを中心に、「発展・組織行動」「エリアマネジメント」など、発展的な専門科目を深く学ぶことができる科目を用意している。また、専門性だけでなく、広い視野や優れた人格としての他者理解力や課題発見力・実行力・使命感を涵養するため、少人数制のゼミナールやコミュニケーション能力を必要とする科目をバランスよく配置。専門的な知識や技能を適切に活用するための素養も重視し、判断力・課題解決力・創造的思考力を養成する「経営フィールドワークＡ」「発展・イノベーションマネジメント」などの専門科目を配置している。なお、編入学する学生が留学生の場合、既に日本語及び経営学の基礎を学んできており、日本語の運用能力及び専門分野に関する基本的知識はある程度身に付けていると考えられる。そのため、２年次編入であっても高度化する学びに十分対応でき、カリキュラムのねらいどおりの体系的学修に支障はない。

＜人間科学部人間科学科＞

当該学科では、人間の心理、生命、社会行動を科学的方法論に基づいて研究し、人間が直面する諸課題を人間尊重の立場にたって実践的に解決できる能力を養成するカリキュラムを構築している。

１年次は、全学共通の教養教育プログラム「武蔵野ＢＡＳＩＳ」、「セルフディベロップ

メント」、「キャリア開発」の各プログラムに基づいた全学共通科目から、学士力の基礎を修得する。また、学科基礎科目である「人間学入門」「人間科学基礎」などを通じ、これから学ぶ人間科学の各分野の専門能力の基礎を身に付ける。２年次に編入する学生は、編入学前の既修科目によって既にこれらに対応するだけの十分な能力を有していると判断した場合のみ入学させる。そのため、２年次以降の専門科目との継続性は担保される。

２・３年次では、専門科目として、「人間学基幹科目群」、「臨床心理科目群」、「産業・社会科目群」、「生命・健康科学科目群」、「精神保健福祉科目群」などの中から、学生の興味・関心や希望する進路に応じた科目履修を可能とする。各科目群では基礎的な科目を２年次に配当し、より専門的・応用的な科目を３・４年次に配当。これらの科目の履修をもって、使命感や論理的思考力を、情報分析力や自己認識力、他者理解力を修得する。また、２年次に始まる「基礎ゼミ１」から、それぞれの科目分野への関心をもとに専門能力を発展的に身に付けるためのゼミを選択する。各ゼミにおいては、卒業研究、あるいは精神保健福祉援助実習のための準備を行い、プレゼンテーション力や傾聴力を獲得する。なお、編入学する学生が留学生の場合、既に日本語及び人間科学の基礎を学んできており、日本語の運用能力及び専門分野に関する基本的知識はある程度身に付けていると考えられる。そのため、２年次編入であっても高度化する学びに十分対応でき、カリキュラムのねらいどおりの体系的学修に支障はない。

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科、グローバル学部日本語コミュニケーション学科、グローバル学部グローバルビジネス学科、法学部法律学科、法学部政治学科、経済学部経済学科、経営学部経営学科、人間科学部人間科学科の収容定員変更を行うことに伴う教育方法及び履修指導方法の変更はいずれの学科でも予定していない。全学科において新たな収容定員に必要な設置基準上の専任教員数を満たした上で、十分な教育研究業績をもつ教員により教育を行う。また、共通科目の「武蔵野ＢＡＳＩＳ」の必修科目、並びに２年次以降の学科科目の必修等少人数教育が必要な科目については、１クラスの人数を一定に保つためにクラス数を増やして運営することで、収容定員変更後も同等の教育効果を担保し、これまでどおり、授業科目の目的と性質に合せた運営を行う。

履修指導については、編入する学生に対して学科長を中心とした専任教員が個別に行っている。履修計画を立てるにあたって必要となる既修得単位の認定等は学科長と事務の双方で確認し、それをもとに学生に対し指導・相談を行う。

留学生への学修支援としては、日本語学習カウンセリングを実施している。当該支援は、留学生が学修を進めていくうえで出てくる問題を明確にし、自ら解決を図るように支援するもので、授業での不明点や日本語学習や大学での学修を進める上での相談を個別、または、グループで留学生に寄り添いながらサポートしている。具体的には以下のようなサポートを行う。

① ＡＪ（アカデミック・ジャパニーズ）支援：授業対応：各授業履修において困難な点について日本語面を中心に問題解決をともに図る
② 論文・レポートの日本語ネイティブチェック
③ 日本語力向上：非漢字圏学修者の漢字学習、能力試験などを目標とした学修支援
④ 就職につながる日本語面を中心とした相談

本学所属の日本語非常勤講師数名、日本語学習カウンセラー数名で、有明のアジアスペース、武蔵野の国際交流スペースにて実施。定期的な利用希望者が多いときは、適宜、個別に予約をとることも可能としている。

また、希望する留学生に対して日本人の学生サポーターを紹介し、一対一で交流できる支援も実施。アクティビティでは大学周辺の国際交流を目的とするＮＰＯ等の団体と連携して日本の文化を紹介し、交流できる様々なイベントを紹介するなど、日本語学習に役立てている。

（ウ）教員組織の変更内容

当該８学科の収容定員変更に伴う教員組織の変更内容は以下のとおりである。全ての学科について設置基準上の教員数を十分に確保しており、かつ、十分な教育研究業績を有する専任教員を配置しているため、収容定員変更後もこれまでと同等の教育研究の質を担保することができる。

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科の教員は、令和２年度１０人（うち教授８人）であり、収容定員変更後も同様の体制で教育研究を行うが、設置基準上の教員数を確保しており、継続して細やかな専門教育・指導ができると考えられ、これまでと同等の教育研究の質が担保できる。

グローバル学部日本語コミュニケーション学科の教員は、令和２年度６人（うち教授４人）であり、収容定員変更後も同様の体制で教育研究を行うが、設置基準上の教員数を確保しており、継続して細やかな専門教育・指導ができると考えられ、これまでと同等の教育研究の質が担保できる。

グローバル学部グローバルビジネス学科の教員は、令和２年度１１人（うち教授９人）であり、収容定員変更後も同様の体制で教育研究を行うが、設置基準上の教員数を確保しており、継続して細やかな専門教育・指導ができると考えられ、これまでと同等の教育研究の質が担保できる。

法学部法律学科の教員は、令和２年度１５人（うち教授１０人）であり、収容定員変更後も同様の体制で教育研究を行うが、設置基準上の教員数を確保しており、継続して細やかな専門教育・指導ができると考えられ、これまでと同等の教育研究の質が担保できる。

法学部政治学科の教員は、令和２年度１２人（うち教授６人）であり、収容定員変更後も同様の体制で教育研究を行うが、設置基準上の教員数を確保しており、継続して細やかな専門教育・指導ができると考えられ、これまでと同等の教育研究の質が担保できる。

経済学部経済学科の教員は、令和２年度１５人（うち教授９人）であり、収容定員変更後も同様の体制で教育研究を行うが、設置基準上の教員数を確保しており、継続して細やかな専門教育・指導ができると考えられ、これまでと同等の教育研究の質が担保できる。

経営学部経営学科の教員は、令和２年度１５人（うち教授８人）であり、収容定員変更後も同様の体制で教育研究を行うが、設置基準上の教員数を確保しており、継続して細やかな専門教育・指導ができると考えられ、これまでと同等の教育研究の質が担保できる。

人間科学部人間科学科の教員は、令和２年度１８人（うち教授１０人）であり、収容定員変更後も同様の体制で教育研究を行うが、設置基準上の教員数を確保しており、継続して細やかな専門教育・指導ができると考えられ、これまでと同等の教育研究の質が担保できる。

（エ）大学全体の施設・設備の変更内容

今回の収容定員変更による施設・設備の変更は予定していない。定員を変更するグローバル学部グローバルコミュニケーション学科、グローバル学部日本語コミュニケーション学科、グローバル学部グローバルビジネス学科、法学部法律学科、法学部政治学科、経済学部経済学科、経営学部経営学科、人間科学部人間科学科の８学科は、令和２年度までは１年次武蔵野キャンパス、２年次以降は有明キャンパスを利用して教育研究を行い、令和３年度からは１年次から４年次までの全学年が有明キャンパスとなる（別途届出予定）。

通常の授業で使用する教室について、武蔵野キャンパスにおいては、平成２４年度に有明キャンパスを開設したため教室稼働率は下がっている。令和元年度は、４学期中最も稼働率の高い１学期の教室稼働率は平均５１．６％、学期平均でも４９．３％と５割を下回っているため、収容定員変更後も教育に支障はない（**資料３**）。

有明キャンパスにおいては、平成２８年度に新たに４号館が稼働したため、学生数は増えたものの、教室稼働率は下がっている。４学期中最も稼働率の高い３学期の教室稼働率は平均５３．８％、学期平均でも５０．６％と５割程度となっている（**資料３**）。このため、武蔵野キャンパス同様に、収容定員変更後も教育に支障はない。

留学生への支援としては、交流促進のため、国際交流スペース（武蔵野キャンパス）、アジアスペース及びイングリッシュスペース（有明キャンパス）を設置し、有明キャンパスにはイスラム系学生のための祈祷のスペースであるプレイヤーズスペースを置くなど、施設設備の留学生対応も推進している。留学生向けの施設としては、学生交流のためのラウンジを設けた全８６室の葛西国際寮を用意している。当該施設には日本人のＲＡ（レジデント・アシスタント）も居住し、学生交流のための様々なイベントを企画・運営するとともに、居住する留学生の相談にも対応している。

※なお本文章は改元に係る年号表記について、2019 年４月以前の月指定での表記を除き、2019 年度については全て新元号で統一している。

以　上

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルコミュニケーション学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○								兼2	
		共生社会	1②		2		○				1				兼6	
		しあわせを考える	2①～②		2		○			1					兼9	
		小計(3科目)	—	4	4	0	—			1	1	0	0	0	兼14	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
		健康体育2	2①～④		1			○							兼1	
		人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1③～④	1			○								兼3	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		小計(4科目)	—	1	4	0	—			0	0	0	0	0	兼18	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1②	1				○							兼1	
		コンピュータ基礎2	1③・④		1			○							兼6	
		情報分析力1	2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	2①・②・③・④		1			○							兼3	
		情報表現力2	2③・④		1			○							兼2	
		小計(6科目)	—	1	5	0	—			0	0	0	0	0	兼8	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1・2②		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1・2②		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1・2・3・4休		1			○							兼4	
		International Lectures 2	1・2・3・4休		1			○							兼4	
		英語資格・検定試験対策A	1②・③		1			○							兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1①・②・③		1			○							兼2	
		小計(6科目)	—	0	6	0	—			0	0	0	0	0	兼7	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1③	1				○							兼6	
		小計(1科目)	—	1	0	0	—			0	0	0	0	0	兼6	—
	セルフディベロップメント科目 基礎セルフディベロップメント	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○			2					兼71	
		小計(1科目)	—	6	0	0	—			2	0	0	0	0	兼71	—
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2①・②・③・④		2		○								兼3	
		数学的ものの考え方	2②・④		2		○								兼2	
		社会現象を分析する	2③		2		○								兼4	
		環境学への展望	2②		2		○								兼2	
		人間の心理を探る	2①・③		2		○								兼4	
		生命科学と人間	2③・④		2		○								兼3	
		市民の社会貢献	2①・④		2		○								兼3	
		市民生活と権利を考える	2①・②・③・④		2		○								兼3	
		現代メディアの探求	2①・③		2		○								兼3	
		社会情報と生活	2②・③・④		2		○								兼3	
		日本の歴史	2①・②・④		2		○								兼3	
		外国の歴史	2①・②		2		○								兼2	
		哲学への探索	2②・③・④		2		○			1					兼1	
		文化人類学への誘い	2①		2		○								兼2	
		文学を読み解く楽しみ	2④		2		○			1					兼1	
		ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
		プレゼンテーション	2②		2		○								兼1	
		小計(18科目)	—	0	36	0	—			2	0	0	0	0	兼41	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1				○		1					兼51	
		フィールド・スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ3	1①～④		3			○							兼3	
		フィールド・スタディーズ4	1①～④		4			○							兼20	
		海外フィールド・スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ3	1①～④		4			○							兼7	
		海外フィールド・スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
		小計(10科目)	—	1	30	0	—			1	0	0	0	0	兼51	—

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルコミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	インターンシップ科目		インターンシップ（事前研究）	2②		1		○			1					兼11	
			インターンシップ1	2②･③		1			○							兼1	
			インターンシップ2	2②･③		2			○							兼1	
			インターンシップ3	2①～④		4			○							兼16	
			インターンシップ4	2休		6			○							兼1	
			海外インターンシップ1	2②･③		4			○							兼1	
			海外インターンシップ2	2②･③		6			○							兼1	
			海外インターンシップ3	2②･③		8			○							兼1	
			小計（8科目）	―	0	32	0		―		1	0	0	0	0	兼27	―
	副専攻（サブ・メジャー）科目		サブ・メジャー（ゼミナール）1	2①～②･③～④		2			○							兼7	
			サブ・メジャー（ゼミナール）2	2①～④･③～④		4			○							兼7	
			サブ・メジャー（総合研究）1	3休		2			○							兼1	
			サブ・メジャー（総合研究）2	3①～④		4			○							兼6	
			小計（4科目）	―	0	12	0		―		0	0	0	0	0	兼13	―
	寄付講座科目		寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
			資金計画論	3①～②		2		○								兼1	
			証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
			経済教育論	3③～④		2		○								兼1	
			金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○								兼1	
			未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼1	
			小計（6科目）	―	0	12	0		―		0	0	0	0	0	兼16	―
学科科目	言語演習科目	日本語科目群	日本語1A	1①		1			○							兼7	
			日本語1B	1②		1			○							兼7	
			日本語1C	1③		1			○							兼7	
			日本語1D	1④		1			○							兼7	
			日本語2A	2①		1			○							兼8	
			日本語2B	2②		1			○							兼8	
			日本語2C	2③		1			○							兼7	
			日本語2D	2④		1			○							兼7	
			小計（8科目）	―	0	8	0		―		0	0	0	0	0	兼15	―
		中国語科目群	中国語1A	1①		1			○							兼3	
			中国語1B	1②		1			○							兼3	
			中国語1C	1③		1			○							兼3	
			中国語1D	1④		1			○							兼3	
			中国語2A	2①		1			○							兼6	
			中国語2B	2②		1			○							兼6	
			中国語2C	3③		1			○							兼6	
			中国語2D	3④		1			○							兼6	
			中国語3A	3①		1			○							兼9	
			中国語3B	3②		1			○							兼8	
			中国語資格試験演習（初級）1	1①～②		1			○							兼2	
			中国語資格試験演習（初級）2	1③～④		1			○							兼2	
			中国語資格試験演習（初級）3	1③～④		1			○							兼3	
			中国語資格試験演習（中級）1	2③～④		1			○							兼3	
			中国語資格試験演習（中級）2	3①～②		1			○							兼9	
			中国語資格試験演習（中級）3	3③～④		1			○							兼8	
			小計（16科目）	―	0	16	0		―		0	0	0	0	0	兼14	―
		英語科目群	English for Qualifications A	1①	1				○							兼3	
			English for Qualifications B	1②	1				○							兼3	
			English for Qualifications C	1③	1				○							兼3	
			English for Qualifications D	1④	1				○							兼3	
			Practical Communication A	1①	1				○		1						
			Practical Communication B	1②	1				○		1						
			Practical Communication C	1③	1				○		1						
			Practical Communication D	1④	1				○		1						
			Integrated Skills for Qualifications A	2①	1				○				1				
			Integrated Skills for Qualifications B	2②	1				○				1				
			Integrated Skills for Qualifications C	3①	1				○				1				
			Integrated Skills for Qualifications D	3②	1				○				1				
			Integrated Skills for Communication A	2①	1				○		1						
			Integrated Skills for Communication B	2②	1				○		1						
			Integrated Skills for Communication C	3①	1				○		1						
			Integrated Skills for Communication D	3②	1				○		1						

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルコミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	言語演習科目	英語科目群	英語資格試験演習A	2③		2			○							兼1	
			英語資格試験演習B	2④		2			○							兼1	
			英語資格試験演習C	2①		2			○							兼1	
			英語資格試験演習D	2②		2			○							兼1	
			Advanced Skills for Communication A	3①		2		○			1						
			Advanced Skills for Communication B	3②		2		○			1						
			EAP Beginner 1	2①～④		4			○		1						
			EAP Beginner 2	2①～④		4			○		1						
			EAP Beginner 3	2①～④		4			○		1						
			EAP Intermediate 1	2①～④		4			○		1						
			EAP Intermediate 2	2①～④		4			○		1						
			EAP Intermediate 3	2①～④		4			○		1						
			EAP Advanced 1	2①～④		4			○		1						
			EAP Advanced 2	2①～④		4			○		1						
			EAP Advanced 3	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 1	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 2	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 3	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 4	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 5	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 6	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 7	2①～④		4			○		1						
			Undergraduate Courses 1	2①～④		2			○		1						
			Undergraduate Courses 2	2①～④		2			○		1						
			Undergraduate Courses 3	2①～④		3			○		1						
			Undergraduate Courses 4	2①～④		4			○		1						
			Undergraduate Courses 5	2①～④		5			○		1						
			Undergraduate Courses 6	2①～④		10			○		1						
			Undergraduate Courses 7	2①～④		10			○		1						
			小計（45科目）	—	16	112	0		—		3	0	1	0	0	兼4	—
	学科基礎科目		基礎ゼミ	1①～②	1				○		4	1					
			プレゼミ	2①～②	1				○		3	1	1				
			小計（2科目）	—	2	0	0		—		4	1	1	0	0	0	—
	多文化共生科目		グローバルスタディーズ/Global Studies	2③～④	2			○			2						
			小計（1科目）	—	2	0	0		—		2	0	0	0	0	0	—
	学科専門科目	翻訳・通訳科目群	英語翻訳演習A	3①		2			○		1						
			英語翻訳演習B	3②		2			○		1						
			英語翻訳演習C	3③		2			○		1						
			英語翻訳演習D	3④		2			○		1						
			英語通訳演習A	3①		2			○							兼1	
			英語通訳演習B	3②		2			○							兼1	
			英語通訳演習C	3③		2			○							兼1	
			英語通訳演習D	3④		2			○							兼1	
			中国語翻訳演習A	3①		2			○		1						
			中国語翻訳演習B	3②		2			○		1						
			中国語翻訳演習C	3③		2			○		1					兼1	
			中国語翻訳演習D	3④		2			○		1					兼1	
			中国語通訳演習A	3①		2			○							兼1	
			中国語通訳演習B	3②		2			○							兼1	
			中国語通訳演習C	3③		2			○							兼9	
			中国語通訳演習D	3④		2			○							兼8	
			小計（16科目）	—	0	32	0		—		2	0	0	0	0	兼10	—
		言語・文化科目群	中国研究（文化文学）初級A	2③		2		○								兼1	
			中国研究（文化文学）初級B	2④		2		○								兼1	
			中国研究（文化文学）中級A	2③		2		○								兼1	
			中国研究（文化文学）中級B	2④		2		○								兼1	
			中国研究（文化文学）中級C	2③		2		○								兼1	
			中国研究（文化文学）中級D	2④		2		○								兼1	
			中国研究（文化文学）上級A	3①		2		○								兼1	
			中国研究（文化文学）上級B	3②		2		○								兼1	
			中国研究（文化文学）上級C	3③		2		○								兼1	
			中国研究（文化文学）上級D	3④		2		○								兼1	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルコミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	学科専門科目	言語・文化科目群	Communication Studies A	2③		2		○				1					
			Communication Studies B	2④		2		○				1					
			Area Studies US A	3①		2		○			1						
			Area Studies US B	3②		2		○			1						
			Area Studies UK A	3①		2		○								兼1	
			Area Studies UK B	3②		2		○								兼1	
			Area Studies China A	3①		2		○			1						
			Area Studies China B	3②		2		○			1						
			Area Studies Ad Hoc A	3①		2		○								兼1	
			Area Studies Ad Hoc B	3②		2		○								兼1	
			Global Media Literacy A	3①		2		○								兼1	
			Global Media Literacy B	3②		2		○								兼1	
			Media English A	2③		2		○								兼1	
			Media English B	2④		2		○								兼1	
			EFL Reading A	3①		2		○			1						
			EFL Reading B	3②		2		○			1						
			EFL Reading C	3③		2		○			1						
			EFL Reading D	3④		2		○			1						
			Literary Texts, Critical Methods A	2③		2		○			1						
			Literary Texts, Critical Methods B	2④		2		○			1						
			Literary Texts, Critical Methods C	2①		2		○					1				
			Literary Texts, Critical Methods D	2②		2		○					1				
			Academic Reading A	3①		2		○			1						
			Academic Reading B	3②		2		○			1						
			Academic Reading C	3③		2		○								兼1	
			Academic Reading D	3④		2		○								兼1	
			Language Acquisition A	3③		2		○								兼1	
			Language Acquisition B	3④		2		○								兼1	
			Sociolinguistics A	3①		2		○								兼1	
			Sociolinguistics B	3②		2		○								兼1	
			World Englishes A	3③		2		○								兼1	
			World Englishes B	3④		2		○								兼1	
			Comparative Culture A	3③		2		○			1						
			Comparative Culture B	3④		2		○			1						
			Cultural Studies A	2①･③		2		○					1				
			Cultural Studies B	2②･④		2		○					1				
			異文化コミュニケーション A	1③	2			○								兼2	
			異文化コミュニケーション B	1④	2			○								兼2	
			小計(48科目)	—	4	92	0	—			4	1	1	0	0	兼11	—
		学部隣接科目	日本研究(政治・社会)A	2①		2		○								兼1	
			日本研究(政治・社会)B	2②		2		○								兼1	
			日本研究(政治・社会)C	2③		2		○								兼1	
			日本研究(政治・社会)D	2④		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)A	2①		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)B	2②		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)C	2③		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)D	2④		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)A	3①		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)B	3②		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)C	3③		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)D	3④		2		○								兼1	
			小計(12科目)	—	0	24	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—
		特別講義	特別講義 A	3①		1		○								兼1	
			特別講義 B	3②		1		○								兼1	
			特別講義 C	3③		1		○								兼1	
			特別講義 D	3④		1		○								兼1	
			小計(4科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルコミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	学科専門科目	ゼミ/Seminar	ゼミ/Seminar A	3①～②		2			○		4	1	1			兼2	
			ゼミ/Seminar B	3③～④		2			○		4	1	1			兼2	
			ゼミ/Seminar C	4①～②		2			○		5	1	1			兼1	
			ゼミ/Seminar D	4③～④		2			○		5	1	1			兼1	
			課題研究演習A	3①～②		2			○		3		1			兼1	
			課題研究演習B	3③～④		2			○		3		1			兼1	
			課題研究演習C	4①～②		2			○		3		1				
			課題研究演習D	4③～④		2			○		3		1				
			卒業論文/Research Project	4①～④		4			○		5	1	1			兼1	
			小計(9科目)	—	0	20	0	—			5	1	1	0	0	兼2	—
小計(228科目)				—	36	345	0	—			8	1	1	0	0	兼247	—

学位又は称号	学士(グローバルコミュニケーション)	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必修14単位を含めて18単位。学科科目は、必修24単位及び選択必修単位を含めて75単位。自由選択単位は、31単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

武蔵野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルコミュニケーション学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○								兼2	
		共生社会	1②		2		○				1				兼6	
		小計(2科目)	—	4	4	0		—		1	1	0	0	0	兼8	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
		人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1③～④	1			○								兼3	
		小計(2科目)	—	1	4	0		—		0	0	0	0	0	兼15	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1②	1				○							兼1	
		コンピュータ基礎2	1③･④		1			○							兼6	
		小計(2科目)	—	1	5	0		—		0	0	0	0	0	兼7	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1･2②		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1･2②		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1･2･3･4休		1			○							兼4	
		International Lectures 2	1･2･3･4休		1			○							兼4	
		英語資格･検定試験対策A	1②･③		1			○							兼2	
		英語資格･検定試験対策B	1①･②･③		1			○							兼2	
		小計(6科目)	—	0	6	0		—		0	0	0	0	0	兼7	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1③	1				○							兼6	
		小計(1科目)	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	基礎セルフディベロップメント（セルフディベロップメント科目）	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○			2					兼71	
		小計(1科目)	—	6	0	0		—		2	0	0	0	0	兼71	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド･スタディーズ	1①～④	1				○		1					兼51	
		フィールド･スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド･スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド･スタディーズ3	1①～④		3			○							兼3	
		フィールド･スタディーズ4	1①～④		4			○							兼20	
		海外フィールド･スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
		海外フィールド･スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
		海外フィールド･スタディーズ3	1①～④		4			○							兼7	
		海外フィールド･スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
		海外フィールド･スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
		小計(10科目)	—	1	30	0		—		1	0	0	0	0	兼51	—
	寄付講座科目	寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
		小計(1科目)	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼13	—
学科科目	言語演習科目 日本語科目群	日本語1A	1①		1			○							兼7	
		日本語1B	1②		1			○							兼7	
		日本語1C	1③		1			○							兼7	
		日本語1D	1④		1			○							兼7	
		小計(4科目)	—	0	8	0		—		0	0	0	0	0	兼7	—
	言語演習科目 中国語科目群	中国語1A	1①		1			○							兼3	
		中国語1B	1②		1			○							兼3	
		中国語1C	1③		1			○							兼3	
		中国語1D	1④		1			○							兼3	
		中国語資格試験演習(初級)1	1①～②		1			○							兼2	
		中国語資格試験演習(初級)2	1③～④		1			○							兼2	
		中国語資格試験演習(初級)3	1③～④		1			○							兼3	
		小計(7科目)	—	0	16	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	言語演習科目 英語科目群	English for Qualifications A	1①	1				○							兼3	
		English for Qualifications B	1②	1				○							兼3	
		English for Qualifications C	1③	1				○							兼3	
		English for Qualifications D	1④	1				○							兼3	
		Practical Communication A	1①	1				○		1						
		Practical Communication B	1②	1				○		1						
		Practical Communication C	1③	1				○		1						
		Practical Communication D	1④	1				○		1						
		小計(8科目)	—	16	112	0		—		1	0	0	0	0	兼3	—
	基礎科目	基礎ゼミ	1①～②	1				○		4	1					
		小計(1科目)	—	2	0	0		—		4	1	0	0	0	0	—

武蔵野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルコミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	学科専門科目	言語・文化科目群	異文化コミュニケーション A	1③	2			○								兼2	
			異文化コミュニケーション B	1④	2			○								兼2	
			小計(2科目)	—	4	92	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—
小計(47科目)				—	36	289	0	—			6	1	0	0	0	兼173	—

学位又は称号	学士(グローバルコミュニケーション)	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必修14単位を含めて18単位。学科科目は、必修24単位及び選択必修単位を含めて75単位。自由選択単位は、31単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。 (履修科目の上限:1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位)	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 (週2時限)

有明キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルコミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目		しあわせを考える	2①～②		2		○			1					兼9	
			小計(1科目)	—	4	4	0		—		1	0	0	0	0	兼9	—
	健康体育科目		健康体育2	2①～④		1			○							兼1	
			オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
			小計(2科目)	—	1	4	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
	情報科目		情報分析力1	2③		1			○							兼1	
			情報分析力2	2④		1			○							兼1	
			情報表現力1	2①・②・③・④		1			○							兼3	
			情報表現力2	2③・④		1			○							兼2	
			小計(4科目)	—	1	5	0		—		0	0	0	0	0	兼4	—
	外国語応用		International Lectures 1	1・2・3・4休		1			○							兼4	
			International Lectures 2	1・2・3・4休		1			○							兼4	
			小計(2科目)	—	0	6	0		—		0	0	0	0	0	兼5	—
	セルフディベロップメント科目	発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2①・②・③・④		2		○								兼3	
			数学的ものの考え方	2②・④		2		○								兼2	
			社会現象を分析する	2③		2		○								兼4	
			環境学への展望	2②		2		○								兼2	
			人間の心理を探る	2①・③		2		○								兼4	
			生命科学と人間	2③・④		2		○								兼3	
			市民の社会貢献	2①・④		2		○								兼3	
			市民生活と権利を考える	2①・②・③・④		2		○								兼3	
			現代メディアの探求	2①・③		2		○								兼3	
			社会情報と生活	2②・③・④		2		○								兼3	
			日本の歴史	2①・②・④		2		○								兼3	
			外国の歴史	2①・②		2		○								兼2	
			哲学への探索	2②・③・④		2		○			1					兼1	
			文化人類学への誘い	2①		2		○								兼2	
			文学を読み解く楽しみ	2④		2		○			1					兼1	
			ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
			ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
			プレゼンテーション	2②		2		○								兼1	
			小計(18科目)	—	0	36	0		—		2	0	0	0	0	兼41	—
	インターンシップ科目		インターンシップ(事前研究)	2②		1		○			1					兼11	
			インターンシップ1	2②・③		1			○							兼1	
			インターンシップ2	2②・③		2			○							兼1	
			インターンシップ3	2①～④		4			○							兼16	
			インターンシップ4	2休		6			○							兼1	
			海外インターンシップ1	2②・③		4			○							兼1	
			海外インターンシップ2	2②・③		6			○							兼1	
			海外インターンシップ3	2②・③		8			○							兼1	
			小計(8科目)	—	0	32	0		—		1	0	0	0	0	兼27	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目		サブ・メジャー(ゼミナール)1	2①～②・③～④		2			○							兼7	
			サブ・メジャー(ゼミナール)2	2①～④・③～④		4			○							兼7	
			サブ・メジャー(総合研究)1	3休		2			○							兼1	
			サブ・メジャー(総合研究)2	3①～④		4			○							兼6	
			小計(4科目)	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼13	—
	寄付講座科目		資金計画論	3①～②		2		○								兼1	
			証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
			経済教育論	3③～④		2		○								兼1	
			金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○								兼1	
			未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼1	
			小計(5科目)	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼3	—
学科科目	言語演習科目	日本語科目群	日本語2A	2①		1			○							兼8	
			日本語2B	2②		1			○							兼8	
			日本語2C	2③		1			○							兼7	
			日本語2D	2④		1			○							兼7	
			小計(4科目)	—	0	8	0		—		0	0	0	0	0	兼8	—

有明キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルコミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	言語演習科目	中国語科目群	中国語2A	2①		1			○							兼6	
			中国語2B	2②		1			○							兼6	
			中国語2C	3③		1			○							兼6	
			中国語2D	3④		1			○							兼6	
			中国語3A	3①		1			○							兼9	
			中国語3B	3②		1			○							兼8	
			中国語資格試験演習(中級)1	2③～④		1			○							兼3	
			中国語資格試験演習(中級)2	3①～②		1			○							兼9	
			中国語資格試験演習(中級)3	3③～④		1			○							兼8	
			小計(9科目)	—	0	16	0		—		0	0	0	0	0	兼11	—
		英語科目群	Integrated Skills for Qualifications A	2①	1				○				1				
			Integrated Skills for Qualifications B	2②	1				○				1				
			Integrated Skills for Qualifications C	3①	1				○				1				
			Integrated Skills for Qualifications D	3②	1				○				1				
			Integrated Skills for Communication A	2①	1				○		1						
			Integrated Skills for Communication B	2②	1				○		1						
			Integrated Skills for Communication C	3①	1				○		1						
			Integrated Skills for Communication D	3②	1				○		1						
			英語資格試験演習A	2③		2			○							兼1	
			英語資格試験演習B	2④		2			○							兼1	
			英語資格試験演習C	2①		2			○							兼1	
			英語資格試験演習D	2②		2			○							兼1	
			Advanced Skills for Communication A	3①		2		○			1						
			Advanced Skills for Communication B	3②		2		○			1						
			EAP Beginner 1	2①～④		4			○		1						
			EAP Beginner 2	2①～④		4			○		1						
			EAP Beginner 3	2①～④		4			○		1						
			EAP Intermediate 1	2①～④		4			○		1						
			EAP Intermediate 2	2①～④		4			○		1						
			EAP Intermediate 3	2①～④		4			○		1						
			EAP Advanced 1	2①～④		4			○		1						
			EAP Advanced 2	2①～④		4			○		1						
			EAP Advanced 3	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 1	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 2	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 3	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 4	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 5	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 6	2①～④		4			○		1						
			EAP Masters 7	2①～④		4			○		1						
			Undergraduate Courses 1	2①～④		2			○		1						
			Undergraduate Courses 2	2①～④		2			○		1						
			Undergraduate Courses 3	2①～④		3			○		1						
			Undergraduate Courses 4	2①～④		4			○		1						
			Undergraduate Courses 5	2①～④		5			○		1						
			Undergraduate Courses 6	2①～④		10			○		1						
			Undergraduate Courses 7	2①～④		10			○		1						
			小計(37科目)	—	16	112	0		—		2	0	1	0	0	兼1	—
	基礎科目	学科	プレゼミ	2①～②	1				○		3	1	1				
			小計(1科目)	—	2	0	0		—		3	1	1	0	0	0	—
	多文化共生科目		グローバルスタディーズ/Global Studies	2③～④	2			○			2						
			小計(1科目)	—	2	0	0		—		2	0	0	0	0	0	—
	学科専門科目	翻訳・通訳科目群	英語翻訳演習A	3①		2			○		1						
			英語翻訳演習B	3②		2			○		1						
			英語翻訳演習C	3③		2			○		1						
			英語翻訳演習D	3④		2			○		1						
			英語通訳演習A	3①		2			○							兼1	
			英語通訳演習B	3②		2			○							兼1	
			英語通訳演習C	3③		2			○							兼1	
			英語通訳演習D	3④		2			○							兼1	

有明キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルコミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	学科専門科目	翻訳・通訳科目群	中国語翻訳演習A	3①		2			○		1						
			中国語翻訳演習B	3②		2			○		1						
			中国語翻訳演習C	3③		2			○		1					兼1	
			中国語翻訳演習D	3④		2			○		1					兼1	
			中国語通訳演習A	3①		2			○							兼1	
			中国語通訳演習B	3②		2			○							兼1	
			中国語通訳演習C	3③		2			○							兼9	
			中国語通訳演習D	3④		2			○							兼8	
			小計(16科目)	—	0	32	0		—		2	0	0	0	0	兼9	—
		言語・文化科目群	中国研究(文化文学)初級A	2③		2		○								兼1	
			中国研究(文化文学)初級B	2④		2		○								兼1	
			中国研究(文化文学)中級A	2③		2		○								兼1	
			中国研究(文化文学)中級B	2④		2		○								兼1	
			中国研究(文化文学)中級C	2③		2		○								兼1	
			中国研究(文化文学)中級D	2④		2		○								兼1	
			中国研究(文化文学)上級A	3①		2		○								兼1	
			中国研究(文化文学)上級B	3②		2		○								兼1	
			中国研究(文化文学)上級C	3③		2		○								兼1	
			中国研究(文化文学)上級D	3④		2		○								兼1	
			Communication Studies A	2③		2		○				1					
			Communication Studies B	2④		2		○				1					
			Area Studies US A	3①		2		○			1						
			Area Studies US B	3②		2		○			1						
			Area Studies UK A	3①		2		○								兼1	
			Area Studies UK B	3②		2		○								兼1	
			Area Studies China A	3①		2		○			1						
			Area Studies China B	3②		2		○			1						
			Area Studies Ad Hoc A	3①		2		○								兼1	
			Area Studies Ad Hoc B	3②		2		○								兼1	
			Global Media Literacy A	3①		2		○								兼1	
			Global Media Literacy B	3②		2		○								兼1	
			Media English A	2③		2		○								兼1	
			Media English B	2④		2		○								兼1	
			EFL Reading A	3①		2		○			1						
			EFL Reading B	3②		2		○			1						
			EFL Reading C	3③		2		○			1						
			EFL Reading D	3④		2		○			1						
			Literary Texts, Critical Methods A	2③		2		○			1						
			Literary Texts, Critical Methods B	2④		2		○			1						
			Literary Texts, Critical Methods C	2①		2		○					1				
			Literary Texts, Critical Methods D	2②		2		○					1				
			Academic Reading A	3①		2		○			1						
			Academic Reading B	3②		2		○			1						
			Academic Reading C	3③		2		○								兼1	
			Academic Reading D	3④		2		○								兼1	
			Language Acquisition A	3③		2		○								兼1	
			Language Acquisition B	3④		2		○								兼1	
			Sociolinguistics A	3①		2		○								兼1	
			Sociolinguistics B	3②		2		○								兼1	
			World Englishes A	3③		2		○								兼1	
			World Englishes B	3④		2		○								兼1	
			Comparative Culture A	3③		2		○			1						
			Comparative Culture B	3④		2		○			1						
			Cultural Studies A	2①・③		2		○					1				
			Cultural Studies B	2②・④		2		○					1				
			小計(46科目)	—	4	92	0		—		4	1	1	0	0	兼9	—

有明キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルコミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	学科専門科目	学部隣接科目	日本研究(政治・社会)A	2①		2		○								兼1	
			日本研究(政治・社会)B	2②		2		○								兼1	
			日本研究(政治・社会)C	2③		2		○								兼1	
			日本研究(政治・社会)D	2④		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)A	2①		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)B	2②		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)C	2③		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)D	2④		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)A	3①		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)B	3②		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)C	3③		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)D	3④		2		○								兼1	
			小計(12科目)	—	0	24	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—
		特別講義	特別講義 A	3①		1		○								兼1	
			特別講義 B	3②		1		○								兼1	
			特別講義 C	3③		1		○								兼1	
			特別講義 D	3④		1		○								兼1	
			小計(4科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
		ゼミ/Seminar	ゼミ/Seminar A	3①～②		2			○		4	1	1			兼2	
			ゼミ/Seminar B	3③～④		2			○		4	1	1			兼2	
			ゼミ/Seminar C	4①～②		2			○		5	1	1			兼1	
			ゼミ/Seminar D	4③～④		2			○		5	1	1			兼1	
			課題研究演習A	3①～②		2			○		3		1			兼1	
			課題研究演習B	3③～④		2			○		3		1			兼1	
			課題研究演習C	4①～②		2			○		3		1				
			課題研究演習D	4③～④		2			○		3		1				
			卒業論文/Research Project	4①～④		4			○		5	1	1			兼1	
			小計(9科目)	—	0	20	0	—			5	1	1	0	0	兼2	—
小計(183科目)				—	30	419	0	—			8	1	1	0	0	兼120	—

学位又は称号	学士(グローバルコミュニケーション)	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必修14単位を含めて18単位。学科科目は、必修24単位及び選択必修単位を含めて75単位。自由選択単位は、31単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。 (履修科目の上限:1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位)	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 (週2時限)

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　日本語コミュニケーション学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○								兼1	
		共生社会	1②		2		○								兼7	
		しあわせを考える	2①～②		2		○								兼10	
		小計(3科目)	—	4	4	0	—			0	0	0	0	0	兼15	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
		健康体育2	2①～④		1			○							兼1	
		人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1③～④	1			○								兼3	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		小計(4科目)	—	1	4	0	—			0	0	0	0	0	兼18	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1②	1				○							兼1	
		コンピュータ基礎2	1③・④		1			○							兼5	
		情報分析力1	2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	2①		1			○							兼3	
		情報表現力2	2③・④		1			○							兼2	
		小計(6科目)	—	1	5	0	—			0	0	0	0	0	兼7	—
	外国語応用	英語資格・検定試験対策A	1②・③		1			○							兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1①・②・③		1			○							兼2	
		English for Studying Abroad 1	1・2②		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1・2②		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1・2・3・4②		1			○							兼4	
		International Lectures 2	1・2・3・4②		1			○							兼4	
		小計(6科目)	—	0	6	0	—			0	0	0	0	0	兼7	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1③	1				○							兼5	
		小計(1科目)	—	1	0	0	—			0	0	0	0	0	兼5	—
	セルフディベロップメント科目 基礎セルフディベロップメント	基礎セルフディベロップメント	1①・③・④	6			○								兼73	
		小計(1科目)	—	6	0	0	—			0	0	0	0	0	兼73	—
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2①・②・③・④		2		○								兼3	
		数学的ものの考え方	2②・④		2		○								兼2	
		社会現象を分析する	2①・②・③・④		2		○								兼4	
		環境学への展望	2②		2		○								兼2	
		人間の心理を探る	2①・③		2		○								兼4	
		生命科学と人間	2③・④		2		○								兼3	
		市民の社会貢献	2①・④		2		○								兼3	
		市民生活と権利を考える	2①・②・③・④		2		○								兼3	
		現代メディアの探求	2①・③		2		○								兼3	
		社会情報と生活	2②・③・④		2		○								兼3	
		日本の歴史	2①・②・④		2		○								兼3	
		外国の歴史	2①・②		2		○								兼2	
		哲学への探索	2②・③・④		2		○								兼2	
		文化人類学への誘い	2①		2		○								兼2	
		文学を読み解く楽しみ	2④		2		○								兼2	
		ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
		プレゼンテーション	2②		2		○								兼1	
		小計(18科目)	—	0	36	0	—			0	0	0	0	0	兼43	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1				○							兼52	
		フィールド・スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ3	1①～④		3			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ4	1①～④		4			○							兼20	
		海外フィールド・スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ3	1①～④		4			○							兼8	
		海外フィールド・スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
		小計(10科目)	—	1	30	0	—			0	0	0	0	0	兼52	—
	インターンシップ科目	インターンシップ(事前研究)	2②		1		○			1					兼11	
		インターンシップ1	2②・③		1			○							兼1	
		インターンシップ2	2②・③		2			○							兼1	
		インターンシップ3	2①～④		4			○							兼17	
		インターンシップ4	2休		6			○							兼1	
		海外インターンシップ1	2②・③		4			○							兼1	
		海外インターンシップ2	2②・③		6			○							兼1	
		海外インターンシップ3	2②・③		8			○							兼1	
		小計(8科目)	—	0	32	0	—			1	0	0	0	0	兼28	—

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　日本語コミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	副専攻（サブ・メジャー）科目		サブ・メジャー(ゼミナール)1	2①～②･③～④		2			○							兼7	
			サブ・メジャー(ゼミナール)2	2①～④		4			○							兼7	
			サブ・メジャー(総合研究)1	3休		2			○							兼1	
			サブ・メジャー(総合研究)2	3①～④		4			○							兼6	
			小計(4科目)	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼13	—
	寄付講座科目		寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
			資金計画論	3①～②		2		○								兼1	
			証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
			経済教育論	3③～④		2		○								兼1	
			金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○								兼1	
			未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼1	
			小計(6科目)	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼16	—
学科科目	言語演習科目	日本語科目群	日本語1A	1①		1			○							兼7	
			日本語1B	1②		1			○							兼7	
			日本語1C	1③		1			○							兼7	
			日本語1D	1④		1			○							兼7	
			日本語2A	2①		1			○							兼5	
			日本語2B	2②		1			○							兼5	
			日本語2C	2③		1			○							兼5	
			日本語2D	2④		1			○							兼5	
			基礎日本語1A	1①		1			○							兼1	
			基礎日本語1B	1②		1			○							兼1	
			基礎日本語1C	1③		1			○							兼1	
			基礎日本語1D	1④		1			○							兼1	
			基礎日本語1E	1①		1			○							兼2	
			基礎日本語1F	1②		1			○							兼2	
			基礎日本語1G	1③		1			○							兼2	
			基礎日本語1H	1④		1			○							兼2	
			小計(16科目)	—	0	16	0		—		0	0	0	0	0	兼14	—
		英語科目群	English for Qualifications1A	1①		1		○								兼2	
			English for Qualifications1B	1②		1		○								兼2	
			English for Qualifications1C	1③		1		○								兼2	
			English for Qualifications1D	1④		1		○								兼2	
			English for Qualifications2A	2①		1		○								兼2	
			English for Qualifications2B	2②		1		○								兼2	
			English for Qualifications2C	2③		1		○								兼2	
			English for Qualifications2D	2④		1		○								兼2	
			English for Qualifications3A	3①		1		○								兼5	
			English for Qualifications3B	3②		1		○								兼5	
			English for Qualifications3C	3③		1		○								兼5	
			English for Qualifications3D	3④		1		○								兼4	
			Practical Communication1A	1①		1		○								兼1	
			Practical Communication1B	1②		1		○								兼1	
			Practical Communication1C	1③		1		○								兼1	
			Practical Communication1D	1④		1		○								兼1	
			Practical Communication2A	2①		1		○								兼1	
			Practical Communication2B	2②		1		○								兼1	
			Practical Communication2C	2③		1		○								兼1	
			Practical Communication2D	2④		1		○								兼1	
			Practical Communication3A	3①		1		○								兼1	
			Practical Communication3B	3②		1		○								兼1	
			Practical Communication3C	3③		1		○								兼1	
			Practical Communication3D	3④		1		○								兼1	
			Remedial English A	2②･③		1			○							兼1	
			Remedial English B	2④		1			○							兼1	
			英語資格試験演習A	3①		2		○								兼1	
			英語資格試験演習B	3②		2		○								兼1	
			英語資格試験演習C	3③		2		○								兼1	
			英語資格試験演習D	3④		2		○								兼1	
			基礎英語A	1休		1			○							兼1	
			基礎英語B	1休		1			○							兼1	
			基礎英語C	1休		1			○							兼1	
			基礎英語D	1休		1			○							兼1	
			小計(34科目)	—	0	38	0		—		0	0	0	0	0	兼12	—

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　日本語コミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	言語演習科目	中国語科目群	中国語1A	1①		1			○							兼3	
			中国語1B	1②		1			○							兼3	
			中国語1C	1③		1			○							兼3	
			中国語1D	1④		1			○							兼3	
			中国語2A	2①		1			○							兼8	
			中国語2B	2②		1			○							兼8	
			中国語2C	2③		1			○							兼8	
			中国語2D	2④		1			○							兼8	
			中国語3A	3①		1			○							兼9	
			中国語3B	3②		1			○							兼9	
			中国語3C	3③		1			○							兼9	
			中国語3D	3④		1			○							兼9	
			中国語資格試験演習1A	1①～②		1			○							兼2	
			中国語資格試験演習1B	1③～④		1			○							兼2	
			中国語資格試験演習2A	2①～②		1			○							兼3	
			中国語資格試験演習2B	2③～④		1			○							兼3	
			小計(16科目)	—	0	16	0		—		0	0	0	0	0	兼16	—
	学科基礎科目		基礎ゼミ	1①～②	1				○			1	1			兼1	
			プレゼミA	2①～②	1				○		1	1				兼1	
			プレゼミB	2③～④	1				○		1	1				兼1	
			小計(3科目)	—	3	0	0		—		1	1	1	0	0	兼1	—
	多文化共修科目		グローバルスタディーズ/Global Studies	2①～②	2			○			1					兼1	
			グローバルプロジェクト/Global Project	3②･③	2			○			1	1	1				
			小計(2科目)	—	4	0	0		—		2	1	1	0	0	兼1	—
	学科専門科目	日本語教員養成科目群	異文化コミュニケーションA	1③		2		○								兼2	
			異文化コミュニケーションB	1④		2		○								兼2	
			日本語学概論A	2①		1		○								兼1	
			日本語学概論B	2②		1		○								兼1	
			日本語学概論C	2③		1		○								兼1	
			日本語学概論D	2④		1		○								兼1	
			音声学基礎A	2①～②		2		○			1						
			音声学基礎B	2③～④		2		○			1						
			第二言語習得理論A	2①～②		2		○			1						
			第二言語習得理論B	2③～④		2		○			1						
			日本語教授法概論A	2①		1		○			1						
			日本語教授法概論B	2②		1		○			1						
			日本語教授法概論C	2③		1		○			1						
			日本語教授法概論D	2④		1		○			1						
			日本語教育実習	3①･②･③		4			○		1		1			兼1	
			日本語実践教育A	3③		2		○								兼1	
			日本語実践教育B	3④		2		○								兼1	
			日本語学各論A	4③		2		○								兼1	
			日本語学各論B	4④		2		○								兼1	
			日本語教育学各論A	4①		2		○								兼1	
			日本語教育学各論B	4②		2		○								兼1	
			小計(21科目)	—	0	36	0		—		3	0	1	0	0	兼7	—
		ビジネス日本語科目群	実用日本語1A	1①		1		○								兼3	
			実用日本語1B	1②		1		○								兼3	
			実用日本語1C	1③		1		○								兼3	
			実用日本語1D	1④		1		○								兼3	
			実用日本語2A	2①		1		○								兼3	
			実用日本語2B	2②		1		○								兼3	
			実用日本語2C	2③		1		○								兼3	
			実用日本語2D	2④		1		○								兼3	
			日本研究(経済･経営)A	2①		2		○								兼1	
			日本研究(経済･経営)B	2②		2		○								兼1	
			日本研究(経済･経営)C	2③		2		○								兼1	
			日本研究(経済･経営)D	2④		2		○								兼1	
			日本研究(政治･社会)A	2①		2		○								兼1	
			日本研究(政治･社会)B	2②		2		○								兼1	
			日本研究(政治･社会)C	2③		2		○								兼1	
			日本研究(政治･社会)D	2④		2		○								兼1	
			日本研究(ビジネス)A	3①		2		○					1				
			日本研究(ビジネス)B	3②		2		○					1				
			日本研究(ビジネス)C	3③		2		○					1				
			日本研究(ビジネス)D	3④		2		○					1				
			小計(20科目)	—	0	32	0		—		0	0	1	0	0	兼9	—

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　日本語コミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	学科専門科目	サブカルチャー・メディア科目群	日本研究(文化・文学・サブカルチャー)A	2①		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)B	2②		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)C	2③		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)D	2④		2		○								兼1	
			日本研究(言語・心理)A	2①		2		○				1					
			日本研究(言語・心理)B	2②		2		○				1					
			日本研究(言語・心理)C	2③		2		○				1					
			日本研究(言語・心理)D	2④		2		○				1					
			日本研究(歴史・地域・メディア)A	3①		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)B	3②		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)C	3③		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)D	3④		2		○								兼1	
			小計(12科目)	—	0	24	0	—			0	1	0	0	0	兼2	—
		特別講義	特別講義A	3①		1		○								兼1	
			特別講義B	3②		1		○								兼1	
			特別講義C	3③		1		○								兼1	
			特別講義D	3④		1		○								兼1	
			小計(4科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
		ゼミ/Seminar	ゼミ/Seminar A	3①～②	2				○		2	1				兼1	
			ゼミ/Seminar B	3③～④	2				○		2	1				兼1	
			ゼミ/Seminar C	4①～②	2				○		3	1				兼1	
			ゼミ/Seminar D	4③～④	2				○		3	1				兼1	
			卒業論文/Research Project	4①～④	4				○		3	1				兼1	
			小計(5科目)	—	12	0	0	—			3	1	0	0	0	兼1	—
小計(200科目)				—	33	307	0	—			4	1	1	0	0	兼260	—

学位又は称号	学士(日本語コミュニケーション)	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修14単位を含めて18単位。ただし、学科の定める基準により、必修14単位中最大6単位までを、学科科目の履修をもって代えることができる。学科科目は、必修19単位及び選択必修単位を含めて75単位。自由選択単位は、31単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。 (履修科目の上限:1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位)	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 (週2時限)

武蔵野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　日本語コミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目		仏教概説	1①～④	4			○								兼1	
			共生社会	1②		2		○								兼7	
			小計(2科目)	—	4	2	0		—		0	0	0	0	0	兼8	—
	健康体育科目		健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
			人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1③～④	1			○								兼3	
			小計(2科目)	—	1	1	0		—		0	0	0	0	0	兼17	—
	情報科目		コンピュータ基礎1	1②	1				○							兼1	
			コンピュータ基礎2	1③･④		1			○							兼5	
			小計(2科目)	—	1	1	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	外国語応用		英語資格･検定試験対策A	1②･③		1			○							兼2	
			英語資格･検定試験対策B	1①･②･③		1			○							兼2	
			English for Studying Abroad 1	1･2②		1			○							兼1	
			English for Studying Abroad 2	1･2②		1			○							兼1	
			International Lectures 1	1･2･3･4②		1			○							兼4	
			International Lectures 2	1･2･3･4②		1			○							兼4	
			小計(6科目)	—	0	6	0		—		0	0	0	0	0	兼7	—
	日本語リテラシー		日本語リテラシー	1③	1				○							兼5	
			小計(1科目)	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	兼5	—
	基礎セルフディベロップメント科目		基礎セルフディベロップメント	1①･③･④	6			○								兼73	
			小計(1科目)	—	6	0	0		—		0	0	0	0	0	兼73	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目		フィールド･スタディーズ	1①～④	1				○							兼52	
			フィールド･スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
			フィールド･スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
			フィールド･スタディーズ3	1①～④		3			○							兼1	
			フィールド･スタディーズ4	1①～④		4			○							兼20	
			海外フィールド･スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
			海外フィールド･スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
			海外フィールド･スタディーズ3	1①～④		4			○							兼8	
			海外フィールド･スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
			海外フィールド･スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
			小計(10科目)	—	1	30	0		—		0	0	0	0	0	兼52	—
	寄付講座科目		寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
			小計(1科目)	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼16	—
学科科目	言語演習科目	日本語科目群	日本語1A	1①		1			○							兼7	
			日本語1B	1②		1			○							兼7	
			日本語1C	1③		1			○							兼7	
			日本語1D	1④		1			○							兼7	
			基礎日本語1A	1①		1			○							兼1	
			基礎日本語1B	1②		1			○							兼1	
			基礎日本語1C	1③		1			○							兼1	
			基礎日本語1D	1④		1			○							兼1	
			基礎日本語1E	1①		1			○							兼2	
			基礎日本語1F	1②		1			○							兼2	
			基礎日本語1G	1③		1			○							兼2	
			基礎日本語1H	1④		1			○							兼2	
			小計(12科目)	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼9	—

武蔵野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　日本語コミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	言語演習科目	英語科目群	English for Qualifications1A	1①		1		○								兼2	
			English for Qualifications1B	1②		1		○								兼2	
			English for Qualifications1C	1③		1		○								兼2	
			English for Qualifications1D	1④		1		○								兼2	
			Practical Communication1A	1①		1		○								兼1	
			Practical Communication1B	1②		1		○								兼1	
			Practical Communication1C	1③		1		○								兼1	
			Practical Communication1D	1④		1		○								兼1	
			基礎英語A	1休		1			○							兼1	
			基礎英語B	1休		1			○							兼1	
			基礎英語C	1休		1			○							兼1	
			基礎英語D	1休		1			○							兼1	
			小計（12科目）	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼5	—
		中国語科目群	中国語1A	1①		1			○							兼3	
			中国語1B	1②		1			○							兼3	
			中国語1C	1③		1			○							兼3	
			中国語1D	1④		1			○							兼3	
			中国語資格試験演習1A	1①～②		1			○							兼2	
			中国語資格試験演習1B	1③～④		1			○							兼2	
			小計（6科目）	—	0	6	0		—		0	0	0	0	0	兼3	—
	基礎科目		基礎ゼミ	1①～②	1				○			1	1			兼1	
			小計（1科目）	—	1	0	0		—		0	1	1	0	0	兼1	—
	学科専門科目	日本語教員養成科目群	異文化コミュニケーションA	1③		2		○								兼2	
			異文化コミュニケーションB	1④		2		○								兼2	
			小計（2科目）	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
		ビジネス日本語科目群	実用日本語1A	1①		1		○								兼3	
			実用日本語1B	1②		1		○								兼3	
			実用日本語1C	1③		1		○								兼3	
			実用日本語1D	1④		1		○								兼3	
			小計（4科目）	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼3	—
小計（61科目）				—	15	80	0		—		0	1	1	0	0	兼181	—

学位又は称号	学士（日本語コミュニケーション）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修14単位を含めて18単位。ただし、学科の定める基準により、必修14単位中最大6単位までを、学科科目の履修をもって代えることができる。学科科目は、必修19単位及び選択必修単位を含めて75単位。自由選択単位は、31単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

有明キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　日本語コミュニケーション学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	しあわせを考える	2①～②		2		○								兼10	
		小計(1科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼10	—
	健康体育科目	健康体育2	2①～④		1			○							兼1	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		小計(2科目)	—	0	3	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—
	情報科目	情報分析力1	2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	2①		1			○							兼3	
		情報表現力2	2③・④		1			○							兼2	
		小計(4科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼4	—
	外国語応用	International Lectures 1	1・2・3・4②		1			○							兼4	
		International Lectures 2	1・2・3・4②		1			○							兼4	
		小計(2科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼5	—
	発展セルフディベロップメント／セルフディベロップメント科目	芸術のすすめ	2①・②・③・④		2		○								兼3	
		数学的ものの考え方	2②・④		2		○								兼2	
		社会現象を分析する	2①・②・③・④		2		○								兼4	
		環境学への展望	2②		2		○								兼2	
		人間の心理を探る	2①・③		2		○								兼4	
		生命科学と人間	2③・④		2		○								兼3	
		市民の社会貢献	2①・④		2		○								兼3	
		市民生活と権利を考える	2①・②・③・④		2		○								兼3	
		現代メディアの探求	2①・③		2		○								兼3	
		社会情報と生活	2②・③・④		2		○								兼3	
		日本の歴史	2①・②・④		2		○								兼3	
		外国の歴史	2①・②		2		○								兼2	
		哲学への探索	2②・③・④		2		○								兼2	
		文化人類学への誘い	2①		2		○								兼2	
		文学を読み解く楽しみ	2④		2		○								兼2	
		ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
		プレゼンテーション	2②		2		○								兼1	
		小計(18科目)	—	0	36	0	—			0	0	0	0	0	兼43	—
	インターンシップ科目	インターンシップ（事前研究）	2②		1		○			1					兼11	
		インターンシップ1	2②・③		1			○							兼1	
		インターンシップ2	2②・③		2			○							兼1	
		インターンシップ3	2①～④		4			○							兼17	
		インターンシップ4	2休		6			○							兼1	
		海外インターンシップ1	2②・③		4			○							兼1	
		海外インターンシップ2	2②・③		6			○							兼1	
		海外インターンシップ3	2②・③		8			○							兼1	
		小計(8科目)	—	0	32	0	—			1	0	0	0	0	兼28	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目	サブ・メジャー（ゼミナール）1	2①～②・③～④		2			○							兼7	
		サブ・メジャー（ゼミナール）2	2①～④		4			○							兼7	
		サブ・メジャー（総合研究）1	3休		2			○							兼1	
		サブ・メジャー（総合研究）2	3①～④		4			○							兼6	
		小計(4科目)	—	0	12	0	—			0	0	0	0	0	兼13	—
	寄付講座科目	資金計画論	3①～②		2		○								兼1	
		証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
		経済教育論	3③～④		2		○								兼1	
		金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○								兼1	
		未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼1	
		小計(5科目)	—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—
学科科目	日本語科目群／言語演習科目	日本語2A	2①		1			○							兼5	
		日本語2B	2②		1			○							兼5	
		日本語2C	2③		1			○							兼5	
		日本語2D	2④		1			○							兼5	
		小計(4科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼5	—

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　日本語コミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	言語演習科目	英語科目群	English for Qualifications2A	2①		1		○								兼2	
			English for Qualifications2B	2②		1		○								兼2	
			English for Qualifications2C	2③		1		○								兼2	
			English for Qualifications2D	2④		1		○								兼2	
			English for Qualifications3A	3①		1		○								兼5	
			English for Qualifications3B	3②		1		○								兼5	
			English for Qualifications3C	3③		1		○								兼5	
			English for Qualifications3D	3④		1		○								兼4	
			Practical Communication2A	2①		1		○								兼1	
			Practical Communication2B	2②		1		○								兼1	
			Practical Communication2C	2③		1		○								兼1	
			Practical Communication2D	2④		1		○								兼1	
			Practical Communication3A	3①		1		○								兼1	
			Practical Communication3B	3②		1		○								兼1	
			Practical Communication3C	3③		1		○								兼1	
			Practical Communication3D	3④		1		○								兼1	
			Remedial English A	2②･③		1			○							兼1	
			Remedial English B	2④		1			○							兼1	
			英語資格試験演習A	3①		2		○								兼1	
			英語資格試験演習B	3②		2		○								兼1	
			英語資格試験演習C	3③		2		○								兼1	
			英語資格試験演習D	3④		2		○								兼1	
			小計(22科目)	—	0	26	0	—			0	0	0	0	0	兼9	—
		中国語科目群	中国語2A	2①		1			○							兼8	
			中国語2B	2②		1			○							兼8	
			中国語2C	2③		1			○							兼8	
			中国語2D	2④		1			○							兼8	
			中国語3A	3①		1			○							兼9	
			中国語3B	3②		1			○							兼9	
			中国語3C	3③		1			○							兼9	
			中国語3D	3④		1			○							兼9	
			中国語資格試験演習2A	2①～②		1			○							兼3	
			中国語資格試験演習2B	2③～④		1			○							兼3	
			小計(10科目)	—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	兼13	—
	基礎科目		プレゼミA	2①～②	1				○		1	1				兼1	
			プレゼミB	2③～④	1				○		1	1				兼1	
			小計(2科目)	—	2	0	0	—			1	1	0	0	0	兼1	—
	多文化共修科目		グローバルスタディーズ/Global Studies	2①～②	2			○			1					兼1	
			グローバルプロジェクト/Global Project	3②･③	2			○			1	1	1				
			小計(2科目)	—	4	0	0	—			2	1	1	0	0	兼1	—
	学科専門科目	日本語教員養成科目群	日本語学概論A	2①		1		○								兼1	
			日本語学概論B	2②		1		○								兼1	
			日本語学概論C	2③		1		○								兼1	
			日本語学概論D	2④		1		○								兼1	
			音声学基礎A	2①～②		2		○			1						
			音声学基礎B	2③～④		2		○			1						
			第二言語習得理論A	2①～②		2		○			1						
			第二言語習得理論B	2③～④		2		○			1						
			日本語教授法概論A	2①		1		○			1						
			日本語教授法概論B	2②		1		○			1						
			日本語教授法概論C	2③		1		○			1						
			日本語教授法概論D	2④		1		○			1						
			日本語教育実習	3①･②･③		4			○		1		1			兼1	
			日本語実践教育A	3③		2		○								兼1	
			日本語実践教育B	3④		2		○								兼1	
			日本語学各論A	4③		2		○								兼1	
			日本語学各論B	4④		2		○								兼1	
			日本語教育学各論A	4①		2		○								兼1	
			日本語教育学各論B	4②		2		○								兼1	
			小計(19科目)	—	0	32	0	—			3	0	1	0	0	兼5	—

有明キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　日本語コミュニケーション学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	学科専門科目	ビジネス日本語科目群	実用日本語2A	2①		1		○								兼3	
			実用日本語2B	2②		1		○								兼3	
			実用日本語2C	2③		1		○								兼3	
			実用日本語2D	2④		1		○								兼3	
			日本研究(経済・経営)A	2①		2		○								兼1	
			日本研究(経済・経営)B	2②		2		○								兼1	
			日本研究(経済・経営)C	2③		2		○								兼1	
			日本研究(経済・経営)D	2④		2		○								兼1	
			日本研究(政治・社会)A	2①		2		○								兼1	
			日本研究(政治・社会)B	2②		2		○								兼1	
			日本研究(政治・社会)C	2③		2		○								兼1	
			日本研究(政治・社会)D	2④		2		○								兼1	
			日本研究(ビジネス)A	3①		2		○					1				
			日本研究(ビジネス)B	3②		2		○					1				
			日本研究(ビジネス)C	3③		2		○					1				
			日本研究(ビジネス)D	3④		2		○					1				
			小計(16科目)	—	0	28	0	—			0	0	1	0	0	兼5	—
		サブカルチャー・メディア科目群	日本研究(文化・文学・サブカルチャー)A	2①		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)B	2②		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)C	2③		2		○								兼1	
			日本研究(文化・文学・サブカルチャー)D	2④		2		○								兼1	
			日本研究(言語・心理)A	2①		2		○				1					
			日本研究(言語・心理)B	2②		2		○				1					
			日本研究(言語・心理)C	2③		2		○				1					
			日本研究(言語・心理)D	2④		2		○				1					
			日本研究(歴史・地域・メディア)A	3①		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)B	3②		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)C	3③		2		○								兼1	
			日本研究(歴史・地域・メディア)D	3④		2		○								兼1	
			小計(12科目)	—	0	24	0	—			0	1	0	0	0	兼2	—
		特別講義	特別講義A	3①		1		○								兼1	
			特別講義B	3②		1		○								兼1	
			特別講義C	3③		1		○								兼1	
			特別講義D	3④		1		○								兼1	
			小計(4科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
		ゼミ/Seminar	ゼミ/Seminar A	3①～②	2				○		2	1				兼1	
			ゼミ/Seminar B	3③～④	2				○		2	1				兼1	
			ゼミ/Seminar C	4①～②	2				○		3	1				兼1	
			ゼミ/Seminar D	4③～④	2				○		3	1				兼1	
			卒業論文/Research Project	4①～④	4				○		3	1				兼1	
			小計(5科目)	—	12	0	0	—			3	1	0	0	0	兼1	—
小計(140科目)				—	18	229	0	—			4	1	1	0	0	兼136	—

学位又は称号	学士(日本語コミュニケーション)	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修14単位を含めて18単位。ただし、学科の定める基準により、必修14単位中最大6単位までを、学科科目の履修をもって代えることができる。学科科目は、必修19単位及び選択必修単位を含めて75単位。自由選択単位は、31単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。 (履修科目の上限:1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位)	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 (週2時限)

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1③～④	4			○								兼1	
		共生社会	1②		2		○								兼7	
		しあわせを考える	1･2①～②		2		○			1					兼9	
		小計(3科目)	—	4	4	0		—		1	0	0	0	0	兼14	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
		健康体育2	1･2①～④		1			○							兼1	
		人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1④	1			○								兼1	
		オリンピック・パラリンピック文化論	1･2③～④		2		○								兼1	
		小計(4科目)	—	1	4	0		—		0	0	0	0	0	兼16	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1③	1				○							兼1	
		コンピュータ基礎2	1③･④		1			○							兼5	
		情報分析力1	1･2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	1･2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	1･2①･②･③･④		1			○							兼3	
		情報表現力2	1･2③･④		1			○							兼2	
		小計(6科目)	—	1	5	0		—		0	0	0	0	0	兼7	—
	外国語応用	英語資格･検定試験対策A	1②･③		1			○							兼2	
		英語資格･検定試験対策B	1①･②･③		1			○							兼2	
		English for Studying Abroad 1	1･2②		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1･2②		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1･2･3･4②		1		○				1				兼3	
		International Lectures 2	1･2･3･4②		1		○				1				兼3	
		小計(6科目)	—	0	6	0		—		0	1	0	0	0	兼6	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1③	1				○							兼6	
		小計(1科目)	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	セルフディベロップメント科目 基礎セルフディベロップメント	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○								兼8	
		小計(1科目)	—	6	0	0		—		0	0	0	0	0	兼8	—
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	1･2①･②･③･④		2		○								兼3	
		数学的ものの考え方	1･2②･④		2		○								兼2	
		社会現象を分析する	1･2③		2		○			1					兼3	
		環境学への展望	1･2②		2		○								兼2	
		人間の心理を探る	1･2①･③		2		○								兼4	
		生命科学と人間	1･2③･④		2		○								兼3	
		市民の社会貢献	1･2①･④		2		○								兼3	
		市民生活と権利を考える	1･2①･②･③･④		2		○								兼3	
		現代メディアの探求	1･2①･③		2		○			1					兼2	
		社会情報と生活	1･2②･③･④		2		○								兼3	
		日本の歴史	1･2①･②･④		2		○			1					兼2	
		外国の歴史	1･2①･②		2		○								兼2	
		哲学への探索	1･2②･③･④		2		○								兼2	
		文化人類学への誘い	1･2①		2		○								兼2	
		文学を読み解く楽しみ	1･2④		2		○								兼2	
		ホスピタリティマインド概論	1･2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	1･2③		2		○								兼1	
		プレゼンテーション	1･2②		2		○								兼1	
		小計(18科目)	—	0	36	0		—		3	0	0	0	0	兼40	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○				1				兼50	
		フィールド・スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ3	1①～④		3			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ4	1①～④		4			○							兼20	
		海外フィールド・スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ3	1①～④		4			○			1				兼7	
		海外フィールド・スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
		小計(10科目)	—	1	30	0		—		0	1	0	0	0	兼51	—

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	インターンシップ科目		インターンシップ（事前研究）	1･2②		1		○								兼12	
			インターンシップ1	1･2②･③		1			○							兼1	
			インターンシップ2	1･2②･③		2			○							兼1	
			インターンシップ3	1･2①～④		4			○							兼17	
			インターンシップ4	1･2休		6			○							兼1	
			海外インターンシップ1	1･2②･③		4			○							兼1	
			海外インターンシップ2	1･2②･③		6			○							兼1	
			海外インターンシップ3	1･2②･③		8			○							兼1	
			小計（8科目）	—	0	32	0		—		0	0	0	0	0	兼29	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目		サブ・メジャー（ゼミナール）1	1･2③～④		2		○								兼7	
			サブ・メジャー（ゼミナール）2	1･2①～④		4		○								兼7	
			サブ・メジャー（総合研究）1	2･3休		2		○								兼1	
			サブ・メジャー（総合研究）2	2･3①～④		4		○								兼7	
			小計（4科目）	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼14	—
	寄付講座科目		寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
			資金計画論	3①～②		2		○								兼1	
			証券ビジネス論	1･2③～④		2		○								兼1	
			経済教育論	3③～④		2		○								兼1	
			金融リテラシー(金融と人生設計)	1･2①～②		2		○								兼1	
			未来型都市とメディア	1･2③～④		2		○								兼1	
			小計（6科目）	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼16	—
学科科目	言語演習科目	中国語科目群	中国語1A	1①		1			○							兼3	
			中国語1B	1②		1			○							兼3	
			中国語1C	1③		1			○							兼3	
			中国語1D	1④		1			○							兼3	
			中国語2A	1･2①		1			○		1					兼5	
			中国語2B	1･2②		1			○		1					兼5	
			中国語2C	1･2③		1			○		1					兼5	
			中国語2D	1･2④		1			○		1					兼5	
			中国語3A	2･3①		1			○		1					兼8	
			中国語3B	2･3②		1			○		1					兼8	
			中国語3C	2･3③		1			○		1					兼8	
			中国語3D	2･3④		1			○		1					兼8	
			中国語資格試験演習1A	1①～②		1			○							兼2	
			中国語資格試験演習1B	1③～④		1			○							兼2	
			中国語資格試験演習2A	1･2①～②		1			○							兼3	
			中国語資格試験演習2B	1･2③～④		1			○							兼3	
			ビジネス中国語A	2･3①		1			○							兼1	
			ビジネス中国語B	2･3②		1			○							兼1	
			ビジネス中国語C	2･3③		1			○							兼1	
			ビジネス中国語D	2･3④		1			○							兼1	
			小計（20科目）	—	0	20	0		—		1	0	0	0	0	兼13	—
		英語科目群	English for Qualifications1A	1①		1			○							兼3	
			English for Qualifications1B	1②		1			○							兼3	
			English for Qualifications1C	1③		1			○							兼3	
			English for Qualifications1D	1④		1			○							兼3	
			English for Qualifications 2A	1･2①		1			○							兼3	
			English for Qualifications 2B	1･2②		1			○							兼3	
			English for Qualifications 2C	1･2③		1			○							兼3	
			English for Qualifications2D	1･2④		1			○							兼3	
			English for Qualifications3A	2･3①		1			○							兼1	
			English for Qualifications3B	2･3②		1			○							兼1	
			English for Qualifications3C	2･3③		1			○							兼1	
			English for Qualifications3D	2･3④		1			○							兼1	
			Practical Communication1A	1①		1			○							兼3	
			Practical Communication1B	1②		1			○							兼3	
			Practical Communication1C	1③		1			○							兼3	
			Practical Communication1D	1④		1			○							兼3	
			Practical Communication2A	1･2①		1			○							兼3	
			Practical Communication2B	1･2②		1			○							兼3	
			Practical Communication2C	1･2③		1			○							兼3	
			Practical Communication2D	1･2④		1			○							兼3	
			Practical Communication3A	2･3①		1			○							兼1	
			Practical Communication3B	2･3②		1			○							兼1	
			Practical Communication3C	2･3③		1			○							兼1	
			Practical Communication3D	2･3④		1			○							兼1	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	言語演習科目	英語科目群	Integrated Skills for Qualifications A	3･4①		1			○							兼1	
			Integrated Skills for Qualifications B	3･4②		1			○							兼1	
			Integrated Skills for QualificationsC	3･4①		1			○							兼1	
			Integrated Skills for QualificationsD	3･4②		1			○							兼1	
			Integrated Skills for Communication A	3･4①		1			○							兼1	
			Integrated Skills for Communication B	3･4②		1			○							兼1	
			Integrated Skills for Communication C	3･4①		1			○							兼1	
			Integrated Skills for Communication D	3･4②		1			○							兼1	
			Reading for business studies A	1①		1			○							兼1	
			Reading for business studies B	1②		1			○							兼1	
			Business Writing A	1･2①		1			○							兼1	
			Business Writing B	1･2②		1			○							兼1	
			Business Presentation A	1･2③		1			○							兼1	
			Business Presentation B	1･2④		1			○							兼1	
			Business Meeting A	2･3③		1			○							兼1	
			Business Meeting B	2･3④		1			○							兼1	
			小計(40科目)	—	0	40	0		—		0	0	0	0	0	兼12	—
		日本語科目群	基礎日本語1A	1①･③		1			○							兼2	
			基礎日本語1B	1②･④		1			○							兼2	
			基礎日本語1C	1③		1			○							兼1	
			基礎日本語1D	1④		1			○							兼1	
			基礎日本語1E	1①		1			○							兼2	
			基礎日本語1F	1②		1			○							兼2	
			基礎日本語1G	1③		1			○							兼2	
			基礎日本語1H	1④		1			○							兼2	
			日本語1A	1①･③		1			○							兼7	
			日本語1B	1②･④		1			○							兼7	
			日本語1C	1③		1			○							兼7	
			日本語1D	1④		1			○							兼7	
			日本語2A	1･2①		1			○							兼7	
			日本語2B	1･2②		1			○							兼7	
			日本語2C	1･2③		1			○							兼7	
			日本語2D	1･2④		1			○							兼7	
			実用日本語1A	1①		1			○							兼3	
			実用日本語1B	1②		1			○							兼3	
			実用日本語1C	1③		1			○							兼3	
			実用日本語1D	1④		1			○							兼3	
			実用日本語2A	1･2①		1			○							兼3	
			実用日本語2B	1･2②		1			○							兼3	
			実用日本語2C	1･2③		1			○							兼3	
			実用日本語2D	1･2④		1			○							兼3	
			小計(24科目)	—	0	24	0		—		0	0	0	0	0	兼19	—
	学科基礎科目		基礎ゼミ/Fundamental Seminar	1①～②･③～④	1				○		1	2					
			プレゼミA/Pre-seminar A	1･2①～②	1				○		1	1					
			プレゼミB/Pre-seminar B	1･2③～④	1				○		1	1					
			小計(3科目)	—	3	0	0		—		2	2	0	0	0	兼0	—
	多文化共修科目		グローバルスタディーズ/Global Studies	1･2③～④	2			○			2						
			グローバルプロジェクト/Global Project	2･3①～②	2			○			3						
			小計(2科目)	—	4	0	0		—		4	0	0	0	0	兼0	—
	ビジネス科目		Introduction to Business Studies A	1③	2			○			1	1					
			Introduction to Business Studies B	1④	2			○			1	1					
			Management A	1･2①	2			○			1						
			Management B	1･2②	2			○			1						
			Research Method for Business Studies A	1･2①		2		○			1						
			Research Method for Business Studies B	1･2②		2		○			1						
			Finance A	1･2③		2		○			1						
			Finance B	1･2④		2		○			1						
			Statistics for Business Studies A	2･3①～②		2		○								兼1	
			Statistics for Business Studies B	2･3③～④		2		○			1						
			Financial Statement AnalysisA	2･3休		2		○				1					
			Financial Statement AnalysisB	2･3休		2		○				1					
			Managerial Accounting A	2･3①		2		○								兼1	
			Managerial Accounting B	2･3②		2		○								兼1	
			Organizational Behavior A	2･3③		2		○				1					
			Organizational Behavior B	2･3④		2		○				1					
			Business Economics A	1･2③		2		○			1						
			Business Economics B	1･2④		2		○			1						

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	ビジネス科目		Global Trading A	2･3①		2		○								兼1	
			Global Trading B	2･3②		2		○								兼1	
			Financial Services A	2･3①		2		○			1						
			Financial Services B	2･3②		2		○			1						
			Hospitality A	2･3③		2		○								兼1	
			Hospitality B	2･3④		2		○								兼1	
			Marketing in Global Business A	1･2③		2		○				1					
			Marketing in Global Business B	1･2④		2		○				1					
			Advanced Marketing in Global Business A	2･3①		2		○				1					
			Advanced Marketing in Global Business B	2･3②		2		○				1					
			Strategy in Global Business A	2･3①		2		○				1					
			Strategy in Global Business B	2･3②		2		○				1					
			Strategic Planning and Budgeting A	2･3③		2		○								兼1	
			Strategic Planning and Budgeting B	2･3④		2		○								兼1	
			China Business Studies A	2･3①		2		○								兼1	
			China Business Studies B	2･3②		2		○								兼1	
			Advanced China Business Studies A	2･3③		2		○								兼1	
			Advanced China Business Studies B	2･3④		2		○								兼1	
			Internship A	1･2①～④		1		○			1						
			Internship B	1･2①～④		1		○			1						
			Internship C	1･2①～④		2		○			1						
			Internship D	1･2①～④		4		○			1						
			Entrepreneurship	3･4①～②		2		○				1					
			Accounting A	1③		1		○			1						
			Accounting B	1④		1		○			1						
			Accounting Advanced A	1･2①		1		○			1						
			Accounting Advanced B	1･2②		1		○			1						
			小計(45科目)	—	8	78	0	—			4	2	0	0	0	兼7	—
	学科専門科目	学部隣接科目群	英語資格試験演習A/Practical Exercises for English Qualifications A	2･3③		2			○							兼1	
			英語資格試験演習B/Practical Exercises for English Qualifications B	2･3④		2			○							兼1	
			英語資格試験演習C/Practical Exercises for English Qualifications C	2･3①		2			○							兼1	
			英語資格試験演習D/Practical Exercises for English Qualifications D	2･3②		2			○							兼1	
			異文化コミュニケーションA/Cross-cultural Communication A	1②･③		2		○								兼1	
			異文化コミュニケーションB/Cross-cultural Communication B	1①･②･③		2		○								兼1	
			小計(6科目)	—	0	12	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—
		特別講義	特別講義/Special Lectures A	2･3①		1		○								兼1	
			特別講義/Special Lectures B	2･3②		1		○								兼1	
			特別講義/Special Lectures C	2･3③		1		○								兼1	
			特別講義/Special Lectures D	2･3④		1		○								兼1	
			小計(4科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
	学科専門科目	ゼミナール/Seminar	ゼミ/Seminar A	2･3①～②	2				○		3	2					
			ゼミ/Seminar B	2･3③～④	2				○		3	2					
			ゼミ/Seminar C	3･4①～②	2				○		4	1					
			ゼミ/Seminar D	3･4③～④	2				○		4	1					
			卒業論文/Research Project for Graduation Thesis	3･4①～④	4				○		4	1					
			小計(5科目)	—	12	0	0	—			5	2	0	0	0	兼0	—
小計(216科目)				—	41	319	0	—			9	2	0	0	0	兼209	—

学位又は称号	学士(グローバルビジネス)	学位又は学科の分野	文学関係・経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修14単位を含めて18単位。学科科目は、必修27単位及び選択必修単位を含めて91単位。自由選択単位は、15単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。 (履修科目の上限:1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位)	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 (週2時限)

武蔵野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1③～④	4			○								兼1	
		共生社会	1②		2		○								兼7	
		小計(2科目)	—	4	2	0	—			0	0	0	0	0	兼8	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
		人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1④	1			○								兼1	
		小計(2科目)	—	1	1	0	—			0	0	0	0	0	兼15	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1③	1				○							兼1	
		コンピュータ基礎2	1③･④		1			○							兼5	
		小計(2科目)	—	1	1	0	—			0	0	0	0	0	兼6	—
	外国語応用	英語資格･検定試験対策A	1②･③		1			○							兼2	
		英語資格･検定試験対策B	1①･②･③		1			○							兼2	
		English for Studying Abroad 1	1･2②		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1･2②		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1･2･3･4②		1		○				1				兼3	
		International Lectures 2	1･2･3･4②		1		○				1				兼3	
		小計(6科目)	—	0	6	0	—			0	1	0	0	0	兼6	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1③	1				○							兼6	
		小計(1科目)	—	1	0	0	—			0	0	0	0	0	兼6	—
	基礎セルフディベロップメント科目	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○								兼8	
		小計(1科目)	—	6	0	0	—			0	0	0	0	0	兼8	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド･スタディーズ	1①～④	1			○				1				兼50	
		フィールド･スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド･スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド･スタディーズ3	1①～④		3			○							兼1	
		フィールド･スタディーズ4	1①～④		4			○							兼20	
		海外フィールド･スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
		海外フィールド･スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
		海外フィールド･スタディーズ3	1①～④		4			○			1				兼7	
		海外フィールド･スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
		海外フィールド･スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
		小計(10科目)	—	1	30	0	—			0	1	0	0	0	兼51	—
	寄付講座科目	寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
		小計(1科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼13	—
学科科目 言語演習科目	中国語科目群	中国語1A	1①		1			○							兼3	
		中国語1B	1②		1			○							兼3	
		中国語1C	1③		1			○							兼3	
		中国語1D	1④		1			○							兼3	
		中国語資格試験演習1A	1①～②		1			○							兼2	
		中国語資格試験演習1B	1③～④		1			○							兼2	
		小計(6科目)	—	0	6	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—
	英語科目群	English for Qualifications1A	1①		1			○							兼3	
		English for Qualifications1B	1②		1			○							兼3	
		English for Qualifications1C	1③		1			○							兼3	
		English for Qualifications1D	1④		1			○							兼3	
		Practical Communication1A	1①		1			○							兼3	
		Practical Communication1B	1②		1			○							兼3	
		Practical Communication1C	1③		1			○							兼3	
		Practical Communication1D	1④		1			○							兼3	
		Reading for business studies A	1①		1			○							兼1	
		Reading for business studies B	1②		1			○							兼1	
		小計(10科目)	—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	兼4	—
	日本語科目群	基礎日本語1A	1①･③		1			○							兼2	
		基礎日本語1B	1②･④		1			○							兼2	
		基礎日本語1C	1③		1			○							兼1	
		基礎日本語1D	1④		1			○							兼1	
		基礎日本語1E	1①		1			○							兼2	
		基礎日本語1F	1②		1			○							兼2	
		基礎日本語1G	1③		1			○							兼2	
		基礎日本語1H	1④		1			○							兼2	

武蔵野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	言語演習科目	日本語科目群	日本語1A	1①・③		1			○							兼7	
			日本語1B	1②・④		1			○							兼7	
			日本語1C	1③		1			○							兼7	
			日本語1D	1④		1			○							兼7	
			実用日本語1A	1①		1			○							兼3	
			実用日本語1B	1②		1			○							兼3	
			実用日本語1C	1③		1			○							兼3	
			実用日本語1D	1④		1			○							兼3	
			小計(16科目)	—	0	16	0		—		0	0	0	0	0	兼11	—
	基礎科目	学科	基礎ゼミ/Fundamental Seminar	1①～②・③～④	1				○		1	2					
			小計(1科目)	—	1	0	0		—		1	2	0	0	0	兼0	—
	ビジネス科目		Introduction to Business Studies A	1③	2			○			1	1					
			Introduction to Business Studies B	1④	2			○			1	1					
			Accounting A	1③		1		○			1						
			Accounting B	1④		1		○			1						
			小計(4科目)	—	4	2	0		—		2	1	0	0	0	兼0	—
	学科専門科目	学部隣接科目群	異文化コミュニケーションA/Cross-cultural Communication A	1②・③		2		○								兼1	
			異文化コミュニケーションB/Cross-cultural Communication B	1①・②・③		2		○								兼1	
			小計(2科目)	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼1	—
小計(68科目)				—	19	80	0		—		2	2	0	0	0	兼124	—

学位又は称号	学士(グローバルビジネス)	学位又は学科の分野	文学関係・経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修14単位を含めて18単位。学科科目は、必修27単位及び選択必修単位を含めて91単位。自由選択単位は、15単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。 (履修科目の上限:1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位)	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 (週2時限)

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	しあわせを考える	1･2①～②		2		○			1					兼9	
		小計(1科目)	—	0	2	0		—		1	0	0	0	0	兼9	—
	健康体育科目	健康体育2	1･2①～④		1			○							兼1	
		オリンピック･パラリンピック文化論	1･2③～④		2		○								兼1	
		小計(2科目)	—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
	情報科目	情報分析力1	1･2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	1･2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	1･2①･②･③･④		1			○							兼3	
		情報表現力2	1･2③･④		1			○							兼2	
		小計(4科目)	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼4	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1･2②		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1･2②		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1･2･3･4②		1		○				1				兼3	
		International Lectures 2	1･2･3･4②		1		○				1				兼3	
		小計(4科目)	—	0	4	0		—		0	1	0	0	0	兼5	—
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	1･2①･②･③･④		2		○								兼3	
		数学的ものの考え方	1･2②･④		2		○								兼2	
		社会現象を分析する	1･2③		2		○			1					兼3	
		環境学への展望	1･2②		2		○								兼2	
		人間の心理を探る	1･2①･③		2		○								兼4	
		生命科学と人間	1･2③･④		2		○								兼3	
		市民の社会貢献	1･2①･④		2		○								兼3	
		市民生活と権利を考える	1･2①･②･③･④		2		○								兼3	
		現代メディアの探求	1･2①･③		2		○			1					兼2	
		社会情報と生活	1･2②･③･④		2		○								兼3	
		日本の歴史	1･2①･②･④		2		○			1					兼2	
		外国の歴史	1･2①･②		2		○								兼2	
		哲学への探索	1･2②･③･④		2		○								兼2	
		文化人類学への誘い	1･2①		2		○								兼2	
		文学を読み解く楽しみ	1･2④		2		○								兼2	
		ホスピタリティマインド概論	1･2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	1･2③		2		○								兼1	
		プレゼンテーション	1･2②		2		○								兼1	
		小計(18科目)	—	0	36	0		—		3	0	0	0	0	兼40	—
	インターンシップ科目	インターンシップ(事前研究)	1･2②		1		○								兼12	
		インターンシップ1	1･2②･③		1			○							兼1	
		インターンシップ2	1･2②･③		2			○							兼1	
		インターンシップ3	1･2①～④		4			○							兼17	
		インターンシップ4	1･2休		6			○							兼1	
		海外インターンシップ1	1･2②･③		4			○							兼1	
		海外インターンシップ2	1･2②･③		6			○							兼1	
		海外インターンシップ3	1･2②･③		8			○							兼1	
		小計(8科目)	—	0	32	0		—		0	0	0	0	0	兼29	—
	副専攻（サブメジャー）科目	サブ･メジャー(ゼミナール)1	1･2③～④		2		○								兼7	
		サブ･メジャー(ゼミナール)2	1･2①～④		4		○								兼7	
		サブ･メジャー(総合研究)1	2･3休		2		○								兼1	
		サブ･メジャー(総合研究)2	2･3①～④		4		○								兼7	
		小計(4科目)	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼14	—
	寄付講座科目	資金計画論	3①～②		2		○								兼1	
		証券ビジネス論	1･2③～④		2		○								兼1	
		経済教育論	3③～④		2		○								兼1	
		金融リテラシー(金融と人生設計)	1･2①～②		2		○								兼1	
		未来型都市とメディア	1･2③～④		2		○								兼1	
		小計(5科目)	—	0	10	0		—		0	0	0	0	0	兼3	—
学科科目	言語演習科目 中国語科目群	中国語2A	1･2①		1			○		1					兼5	
		中国語2B	1･2②		1			○		1					兼5	
		中国語2C	1･2③		1			○		1					兼5	
		中国語2D	1･2④		1			○		1					兼5	
		中国語3A	2･3①		1			○		1					兼8	
		中国語3B	2･3②		1			○		1					兼8	
		中国語3C	2･3③		1			○		1					兼8	
		中国語3D	2･3④		1			○		1					兼8	
		中国語資格試験演習2A	1･2①～②		1			○							兼3	
		中国語資格試験演習2B	1･2③～④		1			○							兼3	
		ビジネス中国語A	2･3①		1			○							兼1	
		ビジネス中国語B	2･3②		1			○							兼1	
		ビジネス中国語C	2･3③		1			○							兼1	
		ビジネス中国語D	2･3④		1			○							兼1	
		小計(14科目)	—	0	14	0		—		1	0	0	0	0	兼10	—

有明キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	言語演習科目	英語科目群	English for Qualifications 2A	1･2①		1			○							兼3	
			English for Qualifications 2B	1･2②		1			○							兼3	
			English for Qualifications 2C	1･2③		1			○							兼3	
			English for Qualifications2D	1･2④		1			○							兼3	
			English for Qualifications3A	2･3①		1			○							兼1	
			English for Qualifications3B	2･3②		1			○							兼1	
			English for Qualifications3C	2･3③		1			○							兼1	
			English for Qualifications3D	2･3④		1			○							兼1	
			Practical Communication2A	1･2①		1			○							兼3	
			Practical Communication2B	1･2②		1			○							兼3	
			Practical Communication2C	1･2③		1			○							兼3	
			Practical Communication2D	1･2④		1			○							兼3	
			Practical Communication3A	2･3①		1			○							兼1	
			Practical Communication3B	2･3②		1			○							兼1	
			Practical Communication3C	2･3③		1			○							兼1	
			Practical Communication3D	2･3④		1			○							兼1	
			Integrated Skills for Qualifications A	3･4①		1			○							兼1	
			Integrated Skills for Qualifications B	3･4②		1			○							兼1	
			Integrated Skills for QualificationsC	3･4①		1			○							兼1	
			Integrated Skills for QualificationsD	3･4②		1			○							兼1	
			Integrated Skills for Communication A	3･4①		1			○							兼1	
			Integrated Skills for Communication B	3･4②		1			○							兼1	
			Integrated Skills for Communication C	3･4①		1			○							兼1	
			Integrated Skills for Communication D	3･4②		1			○							兼1	
			Business Writing A	1･2①		1			○							兼1	
			Business Writing B	1･2②		1			○							兼1	
			Business Presentation A	1･2③		1			○							兼1	
			Business Presentation B	1･2④		1			○							兼1	
			Business Meeting A	2･3③		1			○							兼1	
			Business Meeting B	2･3④		1			○							兼1	
			小計(30科目)	―	0	30	0		―		0	0	0	0	0	兼8	―
		日本語科目群	日本語2A	1･2①		1			○							兼7	
			日本語2B	1･2②		1			○							兼7	
			日本語2C	1･2③		1			○							兼7	
			日本語2D	1･2④		1			○							兼7	
			実用日本語2A	1･2①		1			○							兼3	
			実用日本語2B	1･2②		1			○							兼3	
			実用日本語2C	1･2③		1			○							兼3	
			実用日本語2D	1･2④		1			○							兼3	
			小計(8科目)	―	0	8	0		―		0	0	0	0	0	兼9	―
学科科目	学科基礎科目		プレゼミA/Pre-seminar A	1･2①～②	1				○		1	1					
			プレゼミB/Pre-seminar B	1･2③～④	1				○		1	1					
			小計(2科目)	―	2	0	0		―		2	2	0	0	0	兼0	―
	多文化共修科目		グローバルスタディーズ/Global Studies	1･2③～④	2			○			2						
			グローバルプロジェクト/Global Project	2･3①～②	2			○			3						
			小計(2科目)	―	4	0	0		―		4	0	0	0	0	兼0	―
	ビジネス科目		Management A	1･2①	2			○			1						
			Management B	1･2②	2			○			1						
			Research Method for Business Studies A	1･2①		2		○			1						
			Research Method for Business Studies B	1･2②		2		○			1						
			Finance A	1･2③		2		○			1						
			Finance B	1･2④		2		○			1						
			Statistics for Business Studies A	2･3①～②		2		○								兼1	
			Statistics for Business Studies B	2･3③～④		2		○			1						
			Financial Statement AnalysisA	2･3休		2		○				1					
			Financial Statement AnalysisB	2･3休		2		○				1					
			Managerial Accounting A	2･3①		2		○								兼1	
			Managerial Accounting B	2･3②		2		○								兼1	
			Organizational Behavior A	2･3③		2		○				1					
			Organizational Behavior B	2･3④		2		○				1					
			Business Economics A	1･2③		2		○			1						
			Business Economics B	1･2④		2		○			1						
			Global Trading A	2･3①		2		○								兼1	
			Global Trading B	2･3②		2		○								兼1	
			Financial Services A	2･3①		2		○			1						
			Financial Services B	2･3②		2		○			1						
			Hospitality A	2･3③		2		○								兼1	
			Hospitality B	2･3④		2		○								兼1	
			Marketing in Global Business A	1･2③		2		○				1					
			Marketing in Global Business B	1･2④		2		○				1					

有明キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	ビジネス科目		Advanced Marketing in Global Business A	2･3①		2		○				1					
			Advanced Marketing in Global Business B	2･3②		2		○				1					
			Strategy in Global Business A	2･3①		2		○				1					
			Strategy in Global Business B	2･3②		2		○				1					
			Strategic Planning and Budgeting A	2･3③		2		○								兼1	
			Strategic Planning and Budgeting B	2･3④		2		○								兼1	
			China Business Studies A	2･3①		2		○								兼1	
			China Business Studies B	2･3②		2		○								兼1	
			Advanced China Business Studies A	2･3③		2		○								兼1	
			Advanced China Business Studies B	2･3④		2		○								兼1	
			Internship A	1･2①～④		1		○			1						
			Internship B	1･2①～④		1		○			1						
			Internship C	1･2①～④		2		○			1						
			Internship D	1･2①～④		4		○			1						
			Entrepreneurship	3･4①～②		2		○				1					
			Accounting Advanced A	1･2①		1		○			1						
			Accounting Advanced B	1･2②		1		○			1						
			小計(41科目)	—	4	76	0	—			3	2	0	0	0	兼8	—
	学科専門科目	学部隣接科目群	英語資格試験演習A/Practical Exercises for English Qualifications A	2･3③		2			○							兼1	
			英語資格試験演習B/Practical Exercises for English Qualifications B	2･3④		2			○							兼1	
			英語資格試験演習C/Practical Exercises for English Qualifications C	2･3①		2			○							兼1	
			英語資格試験演習D/Practical Exercises for English Qualifications D	2･3②		2			○							兼1	
			小計(4科目)	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—
	学科専門科目	特別講義	特別講義/Special Lectures A	2･3①		1		○								兼1	
			特別講義/Special Lectures B	2･3②		1		○								兼1	
			特別講義/Special Lectures C	2･3③		1		○								兼1	
			特別講義/Special Lectures D	2･3④		1		○								兼1	
			小計(4科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
		ゼミ/Seminar	ゼミ/Seminar A	2･3①～②	2				○		3	2					
			ゼミ/Seminar B	2･3③～④	2				○		3	2					
			ゼミ/Seminar C	3･4①～②	2				○		4	1					
			ゼミ/Seminar D	3･4③～④	2				○		4	1					
			卒業論文/Research Project for Graduation Thesis	3･4①～④	4				○		4	1					
			小計(5科目)	—	12	0	0	—			5	2	0	0	0	兼0	—
小計(156科目)				—	22	243	0	—			9	2	0	0	0	兼126	—

学位又は称号	学士(グローバルビジネス)	学位又は学科の分野	文学関係･経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修14単位を含めて18単位。学科科目は、必修27単位及び選択必修単位を含めて91単位。自由選択単位は、15単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、5大学単位認定科目、他学部･他学科の学科科目の単位をあてることができる。 (履修科目の上限:1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位)	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 (週2時限)

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　法律学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○								兼2	
		共生社会	1②		2		○								兼6	
		しあわせを考える	2①～②		2		○								兼10	
		小計（3科目）	—	4	4	0	—			0	0	0	0	0	兼15	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
		健康体育2	2①～④		1			○							兼1	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1③～④	1			○								兼3	
		小計（4科目）	—	1	4	0	—			0	0	0	0	0	兼18	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1①	1				○							兼2	
		コンピュータ基礎2	1④		1			○							兼6	
		情報分析力1	2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	2①・③		1			○							兼3	
		情報表現力2	2③・④		1			○							兼2	
		小計（6科目）	—	1	5	0	—			0	0	0	0	0	兼8	—
	外国語	英語1A	1①～②	1				○							兼7	
		英語1B	1①～②	1				○							兼10	
		英語1C	1③～④	1				○							兼7	
		英語1D	1③～④	1				○							兼10	
		英語2A	2①～②	1				○							兼3	
		英語2B	2①～②	1				○							兼4	
		英語2C	2③～④	1				○							兼3	
		英語2D	2③～④	1				○							兼4	
		英語3A	3①～②		1			○							兼8	
		英語3B	3③～④		1			○							兼8	
		中国語1A	1①～②		1			○							兼7	
		中国語1B	1①～②		1			○							兼5	
		中国語1C	1③～④		1			○							兼7	
		中国語1D	1③～④		1			○							兼5	
		中国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		中国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		中国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		中国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		中国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		中国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語1A	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1B	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1C	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語1D	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語2A	2①～②		1			○							兼2	
		フランス語2B	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語2C	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語2D	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語3A	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語3B	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語1A	1①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語1B	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語1C	1③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語1D	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2A	2①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語2B	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2C	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語2D	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語3A	3①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語3B	3③～④		1			○							兼2	
		スペイン語1A	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1B	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1C	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語1D	1③～④		1			○							兼3	

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　法律学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	外国語	スペイン語2A	2①～②		1			○							兼2	
		スペイン語2B	2③～④		1			○							兼2	
		スペイン語2C	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語2D	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語3A	3①～②		1			○							兼2	
		スペイン語3B	3③～④		1			○							兼2	
		韓国語1A	1①～②		1			○							兼5	
		韓国語1B	1①～②		1			○							兼3	
		韓国語1C	1③～④		1			○							兼5	
		韓国語1D	1③～④		1			○							兼3	
		韓国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		韓国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		小計（60科目）	—	8	52	0		—		0	0	0	0	0	兼61	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1･2②		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1･2②		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1･2･3･4②		1			○		1					兼3	
		International Lectures 2	1･2･3･4②		1			○		1					兼3	
		英語資格・検定試験対策A	1②･③		1			○							兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1①･②･③		1			○							兼2	
		小計（6科目）	—	0	6	0		—		1	0	0	0	0	兼6	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1④	1				○							兼6	
		小計（1科目）	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	セルフディベロップメント科目 基礎セルフディベロップメント	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○				2				兼73	
		小計（1科目）	—	6	0	0		—		0	0	2	0	0	兼72	—
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2③･④		2		○								兼3	
		数学的ものの考え方	2②･④		2		○								兼2	
		社会現象を分析する	2③		2		○								兼4	
		環境学への展望	2②		2		○								兼2	
		人間の心理を探る	2①･③		2		○								兼4	
		生命科学と人間	2④		2		○								兼3	
		市民の社会貢献	2①･④		2		○								兼3	
		市民生活と権利を考える	2③･④		2		○								兼3	
		現代メディアの探求	2①･③		2		○								兼4	
		社会情報と生活	2②･③･④		2		○								兼3	
		日本の歴史	2①･④		2		○								兼3	
		外国の歴史	2①･②		2		○								兼2	
		哲学への探索	2②･③		2		○								兼2	
		文化人類学への誘い	2①		2		○								兼2	
		文学を読み解く楽しみ	2④		2		○								兼2	
		ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
		プレゼンテーション	2②		2		○								兼1	
		小計（18科目）	—	0	36	0		—		0	0	0	0	0	兼43	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○			1					兼51	
		フィールド・スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ3	1①～④		3			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ4	1①～④		4			○							兼20	
		海外フィールド・スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ3	1①～④		4			○							兼8	
		海外フィールド・スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
		小計（10科目）	—	1	30	0		—		1	0	0	0	0	兼51	—

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　法律学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	インターンシップ科目	インターンシップ（事前研究）	2②		1		○			1					兼11	
		インターンシップ1	2②・③		1			○							兼1	
		インターンシップ2	2②・③		2			○							兼1	
		インターンシップ3	2①～④		4			○							兼17	
		インターンシップ4	2①～④		6			○							兼1	
		海外インターンシップ1	2②・③		4			○							兼1	
		海外インターンシップ2	2②・③		6			○							兼1	
		海外インターンシップ3	2②・③		8			○							兼1	
		小計（8科目）	—	0	32	0		—		1	0	0	0	0	兼28	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目群	サブ・メジャー（ゼミナール）1	2①～②		2		○								兼7	
		サブ・メジャー（ゼミナール）2	2①～④		4		○								兼7	
		サブ・メジャー（総合研究）1	3①～④		2		○								兼1	
		サブ・メジャー（総合研究）2	3①～④		4		○								兼6	
		小計（4科目）	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼12	—
	寄付講座科目	寄付講座1	1・2・3・4①～②		2		○								兼13	
		資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
		証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
		経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
		金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○								兼1	
		未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼1	
		小計（6科目）	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼16	—
学科科目	基礎科目群	法学1（法学の基礎）	1①～②	2			○				1					
		法学2（法学概論）	1③～④	2			○				1					
		民法1A（総則）	1①～②	2			○			1						
		民法1B（総則）	1③～④	2			○			1						
		憲法1（統治）	1①～②	2			○				1					
		憲法2（人権）	1③～④	2			○				1					
		刑法1（総論）	2①	2			○					1				
		小計（7科目）	—	14	0	0		—		1	2	1	0	0	兼0	—
	基幹科目群	民法2A（物権）	2①		2		○								兼1	
		民法2B（担保物権）	2③		2		○			1						
		民法3A（債権各論）	2①		2		○			1						
		民法3B（債権各論）	2②		2		○			1						
		民法4A（債権総論）	2③		2		○			1						
		民法4B（債権総論）	2④		2		○			1						
		民法5A（親族法）	3③		2		○								兼1	
		民法5B（相続法）	3④		2		○								兼1	
		民事訴訟法1	3①		2		○			1						
		民事訴訟法2	3②		2		○			1						
		刑法2（各論）	2②		2		○					1				
		刑法3（各論）	2③		2		○					1				
		刑事訴訟法1	3③		2		○								兼1	
		刑事訴訟法2	3④		2		○								兼1	
		会社法1	3①		2		○				1					
		会社法2	3②		2		○				1					
		企業法総論	3③		2		○				1					
		小計（17科目）	—	0	34	0		—		3	1	1	0	0	兼3	—
	展開科目群　行政法	行政法1（総論①）	2④		2		○			1						
		行政法2（総論②）	3①		2		○			1						
		行政救済法	3②		2		○			1						
		租税法1	3①		2		○			1						
		租税法2	3②		2		○			1						
		地方自治法1（自治の法と制度）	3①		2		○				1					
		地方自治法2（自治体政策法務論）	3③		2		○				1					
		オリンピックと法律学A	2②		2		○				1				兼2	
		オリンピックと法律学B	2④		2		○				1				兼2	
		小計（9科目）	—	0	18	0		—		2	1	0	0	0	兼2	—
	展開科目群　国際関係法	国際法1	3①		2		○			1						
		国際機構論	3④		2		○			1						
		国際法2	3②		2		○			1						
		国際私法	3④		2		○								兼1	
		英米法	3①～②		2		○			1						
		アジア法（中国法・韓国法）	3②		2		○					1				
		アジア法（東南アジア法）	3④		2		○								兼1	
		小計（7科目）	—	0	14	0		—		2	0	1	0	0	兼2	—

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　法律学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	展開科目群	現代社会関係法	労働法1	3③		2		○								兼1	
			労働法2	3④		2		○								兼1	
			社会保障法	3④		2		○								兼1	
			企業取引法	3④		2		○				1					
			経済法（独禁法）	3④		2		○								兼1	
			知的財産法	3①		2		○			1						
			消費者法	3③		2		○								兼1	
			金融法	3①		2		○								兼1	
			IT関係法	3③		2		○			1						
			情報法	3③		2		○			1						
			マーケティング法	3②		2		○			1						
			刑事政策	3④		2		○								兼1	
			高齢化社会と法	3③～④		2		○			1						
			執行・保全・倒産法	3③		2		○			1						
			比較取引法	3④		2		○			1						
			民法演習	2②		2		○								兼2	
			共生の法律学	2②		2		○			5	1	2			兼2	
			不動産評価論（東京都不動産鑑定士協会	3①～②		2		○			1					兼1	
			小計（18科目）	—	0	36	0		—		5	1	2	0	0	兼13	—
		英語	法律学文献講読(英語)	3④		2		○				1					
			ビジネス法律英語	3③～④		2		○								兼1	
			International Lectures (Law)	2②		1		○			1						
			小計（3科目）	—	0	5	0		—		1	1	0	0	0	兼1	—
		中国語	日本民事法1（法学の基礎、民法総則）	1①		2		○					1				
			日本民事法2（物権法、契約法、不法行為	2②		2		○					1				
			日本民事法3（担保物権法、債権総論）	2③		2		○					1				
			日本民事法4（会社法、知財法）	2④		2		○			1						
			小計（4科目）	—	0	8	0		—		1	0	1	0	0	兼0	—
	エクスタンシップ		企業エクスターンシップ	3①・③	2					○	1						
			小計（1科目）	—	2	0	0		—		1	0	0	0	0	兼0	—
	資格対策科目群		資格ガイダンス	2①	2			○					1				
			キャリア開発	3①		2		○								兼1	
			地方公務員特殊研究1	2①～②		4		○								兼1	
			地方公務員特殊研究2	2③～④		4		○								兼1	
			地方公務員特殊研究3	3①～②		4		○								兼1	
			地方公務員特殊研究4	3③～④		4		○								兼1	
			小計（6科目）	—	2	18	0		—		0	0	1	0	0	兼2	—
	アカデミックスキル科目		プレゼミ	2③～④	2				○		9	2	2				
			プレゼンゼミ	3③～④		2			○		1	1					
			小計（2科目）	—	2	2	0		—		9	2	2	0	0	兼0	—
	最先端研究		ゼミナール1	3①～②	2				○		9	2	2				
			ゼミナール2	3③～④	2				○		9	2	2				
			ゼミナール3	4①～②	2				○		9	2	2			兼1	
			ゼミナール4	4③～④	2				○		9	2	2			兼1	
			卒業論文	4①～④	2				○		9	2	2			兼1	
			小計（5科目）	—	10	0	0		—		10	2	2	0	0	兼1	—
	隣接科目群	政治学	政治学史1	2③		2		○								兼1	
			政治学史2	2④		2		○								兼1	
			現代政治理論1	3③		2		○								兼1	
			現代政治理論2	3④		2		○								兼1	
			日本政治論	2④		2		○								兼1	
			立法過程論	3①		2		○								兼1	
			政策過程論	3③		2		○								兼1	
			計量政治学	2①		2		○								兼1	
			行政学	2①		2		○								兼1	
			公共政策論1	2③		2		○								兼1	
			公共政策論2	2④		2		○								兼1	
			公共選択論	3②		2		○								兼1	
			地方自治	3②		2		○								兼1	
			公共管理論	3③		2		○								兼1	
			国際関係論	3③		2		○								兼1	
			International Lectures (Politics)	2②		1		○								兼1	
			小計（16科目）	—	0	31	0		—		0	0	0	0	0	兼9	—

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　法律学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	隣接科目群	経済学	ミクロ経済学1	2①		2		○								兼1	
			ミクロ経済学2	2③		2		○								兼1	
			マクロ経済学1	2①		2		○								兼1	
			マクロ経済学2	2③		2		○								兼1	
			財政学1	2③		2		○								兼1	
			財政学2	2④		2		○								兼1	
			経済政策論	3②		2		○								兼1	
			経済学S1（経済学入門）	2①		2		○								兼1	
			経済学S2（ミクロ経済学）	2②		2		○								兼1	
			経済学S3（ミクロ経済学）	2③		2		○								兼1	
			経済学S4（マクロ経済学）	2②		2		○								兼1	
			経済学S5（マクロ経済学）	2④		2		○								兼1	
			小計（12科目）	—	0	24	0	—			0	0	0	0	0	兼6	—
		経営学・会計学	企業と社会	2①		2		○								兼1	
			経営学入門	2①		2		○								兼2	
			経営学基礎	2④		2		○								兼1	
			会計学入門	2②		2		○								兼1	
			金融論1	2③		2		○								兼1	
			金融論2	2④		2		○								兼1	
			マーケティング1	2①		2		○								兼1	
			マーケティング2	2③		2		○								兼1	
			中小企業マネジメント	3②		2		○								兼1	
			経営戦略1	2①		2		○								兼1	
			経営戦略2	2④		2		○								兼1	
			財務会計1	2②		2		○								兼1	
			財務会計2	2③		2		○								兼1	
			小計（13科目）	—	0	26	0	—			0	0	0	0	0	兼7	—
	育成プログラム		国家公務員育成プログラム1	1①～②		1		○								兼1	
			国家公務員育成プログラム2	1③～④		1		○								兼1	
			国家公務員育成プログラム3	2①～②		1		○								兼1	
			国家公務員育成プログラム4	2③～④		1		○								兼1	
			育成プログラム1	1①～④		1		○								兼1	
			育成プログラム2	1①～④		2		○								兼1	
			育成プログラム3	1①～④		3		○								兼1	
			育成プログラム4	1①～④		4		○								兼1	
			育成プログラム5	1①～④		5		○								兼1	
			育成プログラム6	1①～④		6		○								兼1	
			育成プログラム7	1①～④		8		○								兼1	
			小計（11科目）	—	0	33	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
小計（258科目）				—	52	442	0	—			10	3	2	0	0	兼295	—

学位又は称号	学士（法律学）	学位又は学科の分野	法学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修22単位を含めて26単位。学科科目は、必修30単位を含めて82単位。自由選択単位は、16単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次44単位、3年次44単位、4年次32単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

武蔵野キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　法律学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○								兼2	
		共生社会	1②		2		○								兼6	
		小計（2科目）	—	4	2	0		—		0	0	0	0	0	兼8	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
		人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1③～④	1			○								兼3	
		小計（2科目）	—	1	1	0		—		0	0	0	0	0	兼17	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1①	1				○							兼2	
		コンピュータ基礎2	1④		1			○							兼6	
		小計（2科目）	—	1	1	0		—		0	0	0	0	0	兼7	—
	外国語	英語1A	1①～②	1				○							兼7	
		英語1B	1①～②	1				○							兼10	
		英語1C	1③～④	1				○							兼7	
		英語1D	1③～④	1				○							兼10	
		中国語1A	1①～②		1			○							兼7	
		中国語1B	1①～②		1			○							兼5	
		中国語1C	1③～④		1			○							兼7	
		中国語1D	1③～④		1			○							兼5	
		フランス語1A	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1B	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1C	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語1D	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語1A	1①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語1B	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語1C	1③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語1D	1③～④		1			○							兼2	
		スペイン語1A	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1B	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1C	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語1D	1③～④		1			○							兼3	
		韓国語1A	1①～②		1			○							兼5	
		韓国語1B	1①～②		1			○							兼3	
		韓国語1C	1③～④		1			○							兼5	
		韓国語1D	1③～④		1			○							兼3	
		小計（24科目）	—	4	20	0		—		0	0	0	0	0	兼44	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1･2②		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1･2②		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1･2･3･4②		1			○		1					兼3	
		International Lectures 2	1･2･3･4②		1			○		1					兼3	
		英語資格・検定試験対策A	1②･③		1			○							兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1①･②･③		1			○							兼2	
		小計（6科目）	—	0	6	0		—		1	0	0	0	0	兼6	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1④	1				○							兼6	
		小計（1科目）	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	基礎セルフディベロップメント科目	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○				2				兼73	
		小計（1科目）	—	6	0	0		—		0	2	0	0	0	兼73	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○			1					兼51	
		フィールド・スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ3	1①～④		3			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ4	1①～④		4			○							兼20	
		海外フィールド・スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ3	1①～④		4			○							兼8	
		海外フィールド・スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
		小計（10科目）	—	1	30	0		—		1	0	0	0	0	兼51	—
	寄付講座科目	寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
		小計（1科目）	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼13	—

武蔵野キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　法律学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	基礎科目群		法学1（法学の基礎）	1①～②	2			○			1	1					
			法学2（法学概論）	1③～④	2			○				1					
			民法1A（総則）	1①～②	2			○			1						
			民法1B（総則）	1③～④	2			○			1						
			憲法1（統治）	1①～②	2			○				1					
			憲法2（人権）	1③～④	2			○				1					
			小計（6科目）	—	12	0	0	—			1	2	0	0	0	兼0	—
	展開科目群	中国語	日本民事法1（法学の基礎、民法総則）	1①		2		○					1				
			小計（1科目）	—	0	2	0	—			0	0	1	0	0	0	—
	育成プログラム		国家公務員育成プログラム1	1①～②		1		○								兼1	
			国家公務員育成プログラム2	1③～④		1		○								兼1	
			育成プログラム1	1①～④		1		○								兼1	
			育成プログラム2	1①～④		2		○								兼1	
			育成プログラム3	1①～④		3		○								兼1	
			育成プログラム4	1①～④		4		○								兼1	
			育成プログラム5	1①～④		5		○								兼1	
			育成プログラム6	1①～④		6		○								兼1	
			育成プログラム7	1①～④		8		○								兼1	
			小計（9科目）	—	0	31	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
小計（65科目）				—	30	95	0	—			3	2	2	0	0	兼205	—

学位又は称号	学士（法律学）	学位又は学科の分野	法学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修22単位を含めて26単位。学科科目は、必修30単位を含めて82単位。自由選択単位は、16単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次44単位、3年次44単位、4年次32単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　法律学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	しあわせを考える	2①～②		2		○								兼10	
		小計（1科目）	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼10	—
	健康体育科目	健康体育2	2①～④		1			○							兼1	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		小計（2科目）	—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
	情報科目	情報分析力1	2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	2①・③		1			○							兼3	
		情報表現力2	2③・④		1			○							兼2	
		小計（4科目）	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼4	—
	外国語	英語2A	2①～②	1				○							兼3	
		英語2B	2①～②	1				○							兼4	
		英語2C	2③～④	1				○							兼3	
		英語2D	2③～④	1				○							兼4	
		英語3A	3①～②		1			○							兼8	
		英語3B	3③～④		1			○							兼8	
		中国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		中国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		中国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		中国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		中国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		中国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語2A	2①～②		1			○							兼2	
		フランス語2B	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語2C	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語2D	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語3A	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語3B	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2A	2①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語2B	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2C	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語2D	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語3A	3①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語3B	3③～④		1			○							兼2	
		スペイン語2A	2①～②		1			○							兼2	
		スペイン語2B	2③～④		1			○							兼2	
		スペイン語2C	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語2D	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語3A	3①～②		1			○							兼2	
		スペイン語3B	3③～④		1			○							兼2	
		韓国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		韓国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		小計（36科目）	—	4	32	0		—		0	0	0	0	0	兼22	—
	外国語応用	International Lectures 1	1・2・3・4②		1			○		1					兼3	
		International Lectures 2	1・2・3・4②		1			○		1					兼3	
		小計（2科目）	—	0	2	0		—		1	0	0	0	0	兼5	—
	セルフディベロップメント科目	芸術のすすめ	2③・④		2		○								兼3	
		数学的ものの考え方	2②・④		2		○								兼2	
		社会現象を分析する	2③		2		○								兼4	
		環境学への展望	2②		2		○								兼2	
		人間の心理を探る	2①・③		2		○								兼4	
		生命科学と人間	2④		2		○								兼3	
		市民の社会貢献	2①・④		2		○								兼3	
		市民生活と権利を考える	2③・④		2		○								兼3	
		現代メディアの探求	2①・③		2		○								兼4	

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　法律学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	セルフディベロップメント科目	発展セルフディベロップメント	社会情報と生活	2②・③・④		2		○								兼3	
			日本の歴史	2①・④		2		○								兼3	
			外国の歴史	2①・②		2		○								兼2	
			哲学への探索	2②・③		2		○								兼2	
			文化人類学への誘い	2①		2		○								兼2	
			文学を読み解く楽しみ	2④		2		○								兼2	
			ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
			ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
			プレゼンテーション	2②		2		○								兼1	
			小計（18科目）	—	0	36	0	—			0	0	0	0	0	兼43	—
	インターンシップ科目		インターンシップ（事前研究）	2②		1		○			1					兼11	
			インターンシップ1	2②・③		1			○							兼1	
			インターンシップ2	2②・③		2			○							兼1	
			インターンシップ3	2①～④		4			○							兼17	
			インターンシップ4	2①～④		6			○							兼1	
			海外インターンシップ1	2②・③		4			○							兼1	
			海外インターンシップ2	2②・③		6			○							兼1	
			海外インターンシップ3	2②・③		8			○							兼1	
			小計（8科目）	—	0	32	0	—			1	0	0	0	0	兼29	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目群		サブ・メジャー（ゼミナール）1	2①～②		2		○								兼7	
			サブ・メジャー（ゼミナール）2	2①～④		4		○								兼7	
			サブ・メジャー（総合研究）1	3①～④		2		○								兼1	
			サブ・メジャー（総合研究）2	3①～④		4		○								兼6	
			小計（4科目）	—	0	12	0	—			0	0	0	0	0	兼13	—
	寄付講座科目		資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
			証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
			経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
			金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○								兼1	
			未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼1	
			小計（5科目）	—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—
学科科目	基礎科目群		刑法1（総論）	2①	2			○					1				
			小計（1科目）	—	2	0	0	—			0	0	1	0	0	兼0	—
	基幹科目群		民法2A（物権）	2①		2		○								兼1	
			民法2B（担保物権）	2③		2		○			1						
			民法3A（債権各論）	2①		2		○			1						
			民法3B（債権各論）	2②		2		○			1						
			民法4A（債権総論）	2③		2		○			1						
			民法4B（債権総論）	2④		2		○			1						
			民法5A（親族法）	3③		2		○								兼1	
			民法5B（相続法）	3④		2		○								兼1	
			民事訴訟法1	3①		2		○			1						
			民事訴訟法2	3②		2		○			1						
			刑法2（各論）	2②		2		○					1				
			刑法3（各論）	2③		2		○					1				
			刑事訴訟法1	3③		2		○								兼1	
			刑事訴訟法2	3④		2		○								兼1	
			会社法1	3①		2		○				1					
			会社法2	3②		2		○				1					
			企業法総論	3③		2		○				1					
			小計（17科目）	—	0	34	0	—			3	1	1	0	0	兼3	—
	展開科目群	行政法	行政法1（総論①）	2④		2		○			1						
			行政法2（総論②）	3①		2		○			1						
			行政救済法	3②		2		○			1						
			租税法1	3①		2		○			1						
			租税法2	3②		2		○			1						
			地方自治法1（自治の法と制度）	3①		2		○				1					
			地方自治法2（自治体政策法務論）	3③		2		○				1					
			オリンピックと法律学A	2②		2		○				1				兼2	
			オリンピックと法律学B	2④		2		○				1				兼2	
			小計（9科目）	—	0	18	0	—			2	1	0	0	0	兼2	—

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　法律学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	展開科目群	国際関係法	国際法1	3①		2		○			1						
			国際機構論	3④		2		○			1						
			国際法2	3②		2		○			1						
			国際私法	3④		2		○								兼1	
			英米法	3①～②		2		○			1						
			アジア法（中国法・韓国法）	3②		2		○					1				
			アジア法（東南アジア法）	3④		2		○								兼1	
			小計（7科目）	—	0	14	0		—		2	0	1	0	0	兼2	—
		現代社会関係法	労働法1	3③		2		○								兼1	
			労働法2	3④		2		○								兼1	
			社会保障法	3④		2		○								兼1	
			企業取引法	3④		2		○				1					
			経済法（独禁法）	3④		2		○								兼1	
			知的財産法	3①		2		○			1						
			消費者法	3③		2		○								兼1	
			金融法	3①		2		○								兼1	
			IT関係法	3③		2		○			1						
			情報法	3③		2		○			1						
			マーケティング法	3②		2		○			1						
			刑事政策	3④		2		○								兼1	
			高齢化社会と法	3③～④		2		○			1						
			執行・保全・倒産法	3③		2		○			1						
			比較取引法	3④		2		○			1						
			民法演習	2②		2		○								兼2	
			共生の法律学	2②		2		○			5	1	2			兼2	
			不動産評価論（東京都不動産鑑定士協会寄付講座）	3①～②		2		○			1					兼1	
			小計（18科目）	—	0	36	0		—		9	2	2	0	0	兼8	—
		英語	法律学文献講読(英語)	3④		2		○				1					
			ビジネス法律英語	3③～④		2		○								兼1	
			International Lectures (Law)	2②		1		○			1						
			小計（3科目）	—	0	5	0		—		1	1	0	0	0	兼1	—
		中国語	日本民事法2（物権法、契約法、不法行為法）	2②		2		○					1				
			日本民事法3（担保物権法、債権総論）	2③		2		○					1				
			日本民事法4（会社法、知財法）	2④		2		○			1						
			小計（3科目）	—	0	6	0		—		1	0	1	0	0	兼0	—
	エクスターンシップ		企業エクスターンシップ	3①・③	2					○	1						
			小計（1科目）	—	2	0	0		—		1	0	0	0	0	兼0	—
	資格対策科目群		資格ガイダンス	2①	2			○					1				
			キャリア開発	3①		2		○								兼1	
			地方公務員特殊研究1	2①～②		4		○								兼1	
			地方公務員特殊研究2	2③～④		4		○								兼1	
			地方公務員特殊研究3	3①～②		4		○								兼1	
			地方公務員特殊研究4	3③～④		4		○								兼1	
			小計（6科目）	—	2	18	0		—		0	0	1	0	0	兼2	—
	アカデミック・スキル科目		プレゼミ	2③～④	2				○		9	2	2				
			プレゼンゼミ	3③～④		2			○		1	1					
			小計（2科目）	—	2	2	0		—		9	2	2	0	0	兼0	—
	最先端研究		ゼミナール1	3①～②	2				○		9	2	2				
			ゼミナール2	3③～④	2				○		9	2	2				
			ゼミナール3	4①～②	2				○		9	2	2			兼1	
			ゼミナール4	4③～④	2				○		9	2	2			兼1	
			卒業論文	4①～④	2				○		9	2	2			兼1	
			小計（5科目）	—	10	0	0		—		9	2	2	0	0	兼1	—

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　法律学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	隣接科目群	政治学	政治学史1	2③		2		○								兼1	
			政治学史2	2④		2		○								兼1	
			現代政治理論1	3③		2		○								兼1	
			現代政治理論2	3④		2		○								兼1	
			日本政治論	2④		2		○								兼1	
			立法過程論	3①		2		○								兼1	
			政策過程論	3③		2		○								兼1	
			計量政治学	2①		2		○								兼1	
			行政学	2①		2		○								兼1	
			公共政策論1	2③		2		○								兼1	
			公共政策論2	2④		2		○								兼1	
			公共選択論	3②		2		○								兼1	
			地方自治	3②		2		○								兼1	
			公共管理論	3③		2		○								兼1	
			国際関係論	3③		2		○								兼1	
			International Lectures (Politics)	2②		1		○								兼1	
			小計（16科目）	—	0	31	0	—			0	0	0	0	0	兼9	—
		経済学	ミクロ経済学1	2①		2		○								兼1	
			ミクロ経済学2	2③		2		○								兼1	
			マクロ経済学1	2①		2		○								兼1	
			マクロ経済学2	2③		2		○								兼1	
			財政学1	2③		2		○								兼1	
			財政学2	2④		2		○								兼1	
			経済政策論	3②		2		○								兼1	
			経済学S1（経済学入門）	2①		2		○								兼1	
			経済学S2（ミクロ経済学）	2②		2		○								兼1	
			経済学S3（ミクロ経済学）	2③		2		○								兼1	
			経済学S4（マクロ経済学）	2②		2		○								兼1	
			経済学S5（マクロ経済学）	2④		2		○								兼1	
			小計（12科目）	—	0	24	0	—			0	0	0	0	0	兼6	—
		経営学・会計学	企業と社会	2①		2		○								兼1	
			経営学入門	2①		2		○								兼2	
			経営学基礎	2④		2		○								兼1	
			会計学入門	2②		2		○								兼1	
			金融論1	2③		2		○								兼1	
			金融論2	2④		2		○								兼1	
			マーケティング1	2①		2		○								兼1	
			マーケティング2	2③		2		○								兼1	
			中小企業マネジメント	3②		2		○								兼1	
			経営戦略1	2①		2		○								兼1	
			経営戦略2	2④		2		○								兼1	
			財務会計1	2②		2		○								兼1	
			財務会計2	2③		2		○								兼1	
			小計（13科目）	—	0	26	0	—			0	0	0	0	0	兼8	—
	育成プログラム		国家公務員育成プログラム3	2①～②		1		○								兼1	
			国家公務員育成プログラム4	2③～④		1		○								兼1	
			小計（2科目）	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
小計（195科目）				—	22	349	0	—			10	3	2	0	0	兼145	—

学位又は称号	学士（法律学）	学位又は学科の分野	法学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修22単位を含めて26単位。学科科目は、必修30単位を含めて82単位。自由選択単位は、16単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次44単位、3年次44単位、4年次32単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　政治学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○								兼1	
		共生社会	1②		2		○								兼7	
		しあわせを考える	2①～②		2		○			1					兼9	
		小計（3科目）	—	4	4	0	—			1	0	0	0	0	兼14	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
		健康体育2	2①～④		1			○							兼1	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1③～④	1			○								兼3	
		小計（4科目）	—	1	4	0	—			0	0	0	0	0	兼18	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1①	1				○							兼1	
		コンピュータ基礎2	1④		1			○							兼6	
		情報分析力1	2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	2①・③		1			○							兼3	
		情報表現力2	2③・④		1			○							兼2	
		小計（6科目）	—	1	5	0	—			0	0	0	0	0	兼8	—
	外国語	英語1A	1①～②	1				○							兼7	
		英語1B	1①～②	1				○							兼11	
		英語1C	1③～④	1				○							兼7	
		英語1D	1③～④	1				○							兼11	
		英語2A	2①～②	1				○							兼8	
		英語2B	2①～②	1				○							兼7	
		英語2C	2③～④	1				○							兼8	
		英語2D	2③～④	1				○							兼6	
		英語3A	3①～②	1				○							兼8	
		英語3B	3③～④	1				○							兼8	
		中国語1A	1①～②		1			○							兼7	
		中国語1B	1①～②		1			○							兼5	
		中国語1C	1③～④		1			○							兼7	
		中国語1D	1③～④		1			○							兼5	
		中国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		中国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		中国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		中国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		中国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		中国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語1A	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1B	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1C	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語1D	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語2A	2①～②		1			○							兼2	
		フランス語2B	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語2C	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語2D	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語3A	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語3B	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語1A	1①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語1B	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語1C	1③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語1D	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2A	2①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語2B	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2C	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語2D	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語3A	3①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語3B	3③～④		1			○							兼2	
		スペイン語1A	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1B	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1C	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語1D	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語2A	2①～②		1			○							兼2	
		スペイン語2B	2③～④		1			○							兼2	
		スペイン語2C	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語2D	2③～④		1			○							兼1	

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　政治学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	外国語	スペイン語3A	3①～②		1			○							兼2	
		スペイン語3B	3③～④		1			○							兼2	
		韓国語1A	1①～②		1			○							兼5	
		韓国語1B	1①～②		1			○							兼3	
		韓国語1C	1③～④		1			○							兼5	
		韓国語1D	1③～④		1			○							兼3	
		韓国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		韓国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		小計（60科目）	—	10	50	0		—		0	0	0	0	0	兼63	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1･2②		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1･2②		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1･2･3･4②		1			○							兼3	
		International Lectures 2	1･2･3･4②		1			○							兼3	
		英語資格・検定試験対策A	1②･③		1			○							兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1①･②･③		1			○							兼2	
		小計（6科目）	—	0	6	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1④	1				○							兼6	
		小計（1科目）	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	セルフディベロップメント科目 基礎セルフディベロップメント	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○			1	1				兼73	
		小計（1科目）	—	6	0	0		—		1	1	0	0	0	兼73	—
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2③･④		2		○								兼3	
		数学的ものの考え方	2②･④		2		○								兼2	
		社会現象を分析する	2③		2		○								兼4	
		環境学への展望	2②		2		○								兼2	
		人間の心理を探る	2①･③		2		○								兼4	
		生命科学と人間	2④		2		○								兼3	
		市民の社会貢献	2①･④		2		○								兼3	
		市民生活と権利を考える	2③･④		2		○								兼3	
		現代メディアの探求	2①･③		2		○								兼4	
		社会情報と生活	2②･③･④		2		○								兼3	
		日本の歴史	2①･④		2		○								兼3	
		外国の歴史	2①･②		2		○								兼2	
		哲学への探索	2②･③		2		○								兼2	
		文化人類学への誘い	2①		2		○								兼2	
		文学を読み解く楽しみ	2④		2		○								兼2	
		ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
		プレゼンテーション	2②		2		○								兼1	
		小計（18科目）	—	0	36	0		—		0	0	0	0	0	兼43	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○			2	2				兼48	
		フィールド・スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ3	1①～④		3			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ4	1①～④		4			○		1	2				兼17	
		海外フィールド・スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ3	1①～④		4			○		1					兼7	
		海外フィールド・スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
		小計（10科目）	—	1	30	0		—		2	2	0	0	0	兼48	—

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　政治学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	インターンシップ科目		インターンシップ（事前研究）	2②		1		○				1				兼11	
			インターンシップ1	2②・③		1			○							兼1	
			インターンシップ2	2②・③		2			○							兼1	
			インターンシップ3	2①～④		4			○							兼17	
			インターンシップ4	2①～④		6			○							兼1	
			海外インターンシップ1	2②・③		4			○							兼1	
			海外インターンシップ2	2②・③		6			○							兼1	
			海外インターンシップ3	2②・③		8			○							兼1	
			小計（8科目）	—	0	32	0		—		0	1	0	0	0	兼28	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目群		サブ・メジャー（ゼミナール）1	2①～②		2		○				1				兼6	
			サブ・メジャー（ゼミナール）2	2①～④		4		○								兼7	
			サブ・メジャー（総合研究）1	3①～④		2		○								兼1	
			サブ・メジャー（総合研究）2	3①～④		4		○								兼6	
			小計（4科目）	—	0	12	0		—		0	1	0	0	0	兼11	—
	寄付講座科目		寄付講座1	1・2・3・4①～②		2		○								兼13	
			資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
			証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
			経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
			金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○								兼1	
			未来型都市とメディア	2③～④		2		○				1					
			小計（6科目）	—	0	12	0		—		0	1	0	0	0	兼15	—
学科科目	基礎科目群		政治学原論1	1①	2			○			1						
			政治学原論2	1③	2			○			1						
			日本政治論基礎	1④	2			○					1				
			国際政治学基礎	1③	2			○			1						
			憲法1（統治）	1④	2			○								兼1	
			憲法2（人権）	2③	2			○								兼1	
			地方政府研究1	1②		1		○			1						
			地方政府研究2	1③		1		○			1						
			International Lectures (Politics)	2②		1		○						1			
			小計（9科目）	—	12	3	0		—		3	0	1	0	0	兼1	—
	基幹科目群	歴史・理論	政治学史1	2③	2			○			1						
			政治学史2	2④	2			○			1						
			日本政治外交史1	2③		2		○				1					
			日本政治外交史2	2④		2		○				1					
			西洋政治史1	2①		2		○			1						
			西洋政治史2	2②		2		○			1						
			政治学基礎文献講読1	2①		2		○			1	1					
			政治学英語文献講読1	2②		2		○			1	1					
			小計（8科目）	—	4	12	0		—		2	2	0	0	0	兼0	—
		日本政治・政治過程	日本政治論	2④		2		○			1						
			行政学	2①		2		○				1					
			公共政策論1	2③		2		○				1					
			公共政策論2	2④		2		○				1					
			計量政治学	2①		2		○				1					
			政治学基礎文献講読2	2①		2		○			1		1				
			政治学英語文献講読2	2②		2		○			1		1				
			選挙特殊研究1	2③～④		2		○				2					
			選挙特殊研究2	3①～②		2		○				2					
			選挙特殊研究3	3③～④		2		○				2					
			小計（10科目）	—	0	20	0		—		1	2	1	0	0	兼0	—
		国際政治・地域研究	国際政治学1	2①		2		○			1						
			国際政治学2	2③		2		○			1						
			比較政治学	2④		2		○					1				
			平和学	2③		2		○			1						
			外交政策論	2①		2		○			1						
			アメリカ政治論	2④		2		○								兼1	
			ヨーロッパ政治論	2①		2		○								兼1	
			政治学基礎文献講読3	2①		2		○			1					兼1	
			政治学英語文献講読3	2②		2		○			1					兼1	
			小計（9科目）	—	0	18	0		—		3	0	1	0	0	兼4	—

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　政治学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	展開科目群	歴史・理論	日本政治思想史1	3①		2		○								兼1	
			日本政治思想史2	3②		2		○								兼1	
			現代政治理論1	3③		2		○				1					
			現代政治理論2	3④		2		○				1					
			公共選択論	3②		2		○				1					
			コミュニケーションの政治理論	3④		2		○								兼1	
			政治史・政治理論演習1	3①～②		2			○							兼1	
			政治史・政治理論演習2	3③～④		2			○							兼1	
			小計（8科目）	—	0	16	0		—		0	2	0	0	0	兼3	—
		日本政治・政治過程	公共管理論	3③		2		○					1				
			政治心理学	3④		2		○					1				
			政治社会学	3③		2		○								兼1	
			立法過程論	3①		2		○								兼1	
			政策過程論	3③		2		○					1				
			選挙分析	3②		2		○					1				
			地方自治	3②		2		○				1					
			日本政治・政治過程演習1	3①～②		2			○			1					
			日本政治・政治過程演習2	3③～④		2			○			1					
			小計（9科目）	—	0	18	0		—		0	2	2	0	0	兼2	—
		日本政治・政治過程	国際関係論	3③		2		○			1						
			アジア政治論	3②		2		○			1						
			中国政治論	3②		2		○			1						
			中東政治論	3③		2		○								兼1	
			アフリカ政治論	3③		2		○								兼1	
			国際政治・地域研究演習1	3①		2			○		1						
			国際政治・地域研究演習2	3③		2			○		1						
			小計（7科目）	—	0	14	0		—		2	0	0	0	0	兼2	—
		政治学特殊研究	政治学特殊研究1	2②		2		○			1						
			政治学特殊研究2	2③		2		○								兼1	
			政治学特殊研究3	2④		2		○								兼1	
			小計（3科目）	—	0	6	0		—		1	0	0	0	0	兼1	—
	資格対策科目群		キャリア開発	3①		2		○				1					
			地方公務員特殊研究1	2①～②		4		○			1						
			地方公務員特殊研究2	2③～④		4		○			1						
			地方公務員特殊研究3	3①～②		4		○			1						
			地方公務員特殊研究4	3③～④		4		○			1						
			小計（5科目）	—	0	18	0		—		1	1	0	0	0	兼0	—
	アカデミック・スキル科目		初年次ゼミ	1①	1				○		3	4	1			兼1	
			プレゼミ	2③～④	2				○		5	4	2				
			プレゼンゼミ	3③～④	2				○		3	1	2			兼1	
			小計（3科目）	—	5	0	0		—		6	4	2	0	0	兼1	—
	最先端研究		ゼミナール1	3①～②	2				○		5	4	2				
			ゼミナール2	3③～④	2				○		5	4	2				
			ゼミナール3	4①～②	2				○		3	4	2				
			ゼミナール4	4③～④	2				○		3	4	2				
			卒業論文	4①～④		6			○		3	4	2				
			小計（5科目）	—	8	6	0		—		5	4	2	0	0	兼0	—
	隣接科目群	法律学	法学1（法学の基礎）	1①		2		○								兼1	
			法学2（法学概論）	1③～④		2		○								兼1	
			民法1A（総則）	1①～②		2		○								兼1	
			民法1B（総則）	1③～④		2		○								兼1	
			民法2A（物権）	2①		2		○								兼1	
			民法2B（担保物権）	2③		2		○								兼1	
			民法3A（債権各論）	2①		2		○								兼1	
			民法3B（債権各論）	2②		2		○								兼1	
			民法4A（債権総論）	2③		2		○								兼1	
			民法4B（債権総論）	2④		2		○								兼1	
			民法5A（親族法）	3③		2		○								兼1	
			民法5B（相続法）	3④		2		○								兼1	
			行政法1（総論①）	2④		2		○								兼1	
			行政法2（総論②）	3①		2		○								兼1	
			行政救済法	3②		2		○								兼1	
			国際法1	3①		2		○								兼1	
			国際法2	3②		2		○								兼1	

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　政治学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	隣接科目群	法律学	国際機構論	3④		2		○								兼1	
			企業法総論	3③		2		○								兼1	
			労働法1	3③		2		○								兼1	
			労働法2	3④		2		○								兼1	
			社会保障法	3④		2		○								兼1	
			刑法1（総論）	2①		2		○								兼1	
			刑法2（各論）	2②		2		○								兼1	
			会社法1	3①		2		○								兼1	
			会社法2	3②		2		○								兼1	
			刑法3（各論）	2③		2		○								兼1	
			民法S1(総則)	2①		2		○								兼1	
			民法S2(物権法・担保物権法)	2②		2		○								兼1	
			民法S3(債権各論)	2③		2		○								兼1	
			民法S4(債権総論)	2④		2		○								兼1	
			International Lectures (Law)	2②		1		○								兼1	
			小計（32科目）	—	0	63	0	—			0	0	0	0	0	兼9	—
		経済学	ミクロ経済学1	2①		2		○								兼1	
			ミクロ経済学2	2③		2		○								兼1	
			マクロ経済学1	2①		2		○								兼1	
			マクロ経済学2	2③		2		○								兼1	
			財政学1	2③		2		○								兼1	
			財政学2	2④		2		○								兼1	
			経済政策論	3②		2		○								兼1	
			経済学S1（経済学入門）	2①		2		○								兼1	
			経済学S2（ミクロ経済学）	2②		2		○								兼1	
			経済学S3（ミクロ経済学）	2③		2		○								兼1	
			経済学S4（マクロ経済学）	2②		2		○								兼1	
			経済学S5（マクロ経済学）	2④		2		○								兼1	
			小計（12科目）	—	0	24	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—
	育成プログラム		国家公務員育成プログラム1	1①～②		1		○								兼1	
			国家公務員育成プログラム2	1③～④		1		○								兼1	
			国家公務員育成プログラム3	2①～②		1		○								兼1	
			国家公務員育成プログラム4	2③～④		1		○								兼1	
			育成プログラム1	1①～④		1		○								兼1	
			育成プログラム2	1①～④		2		○								兼1	
			育成プログラム3	1①～④		3		○								兼1	
			育成プログラム4	1①～④		4		○								兼1	
			育成プログラム5	1①～④		5		○								兼1	
			育成プログラム6	1①～④		6		○								兼1	
			育成プログラム7	1①～④		8		○								兼1	
			小計（11科目）	—	0	33	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
小計（258科目）				—	53	442	0	—			6	4	2	0	0	兼292	—

学位又は称号	学士（政治学）	学位又は学科の分野	法学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修24単位を含めて28単位。学科科目は、必修29単位を含めて82単位。自由選択単位は、14単位以上。ただし、卒業論文を履修しない者は、うち6単位は隣接科目群を除く学科科目とする。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

武蔵野キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　政治学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○								兼1	
		共生社会	1②		2		○								兼7	
		小計（2科目）	—	4	2	0		—		0	0	0	0	0	兼8	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
		人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1③～④	1			○								兼3	
		小計（2科目）	—	1	1	0		—		0	0	0	0	0	兼17	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1①	1				○							兼1	
		コンピュータ基礎2	1④		1			○							兼6	
		小計（2科目）	—	1	1	0		—		0	0	0	0	0	兼7	—
	外国語	英語1A	1①～②	1				○							兼7	
		英語1B	1①～②	1				○							兼11	
		英語1C	1③～④	1				○							兼7	
		英語1D	1③～④	1				○							兼11	
		中国語1A	1①～②		1			○							兼7	
		中国語1B	1①～②		1			○							兼5	
		中国語1C	1③～④		1			○							兼7	
		中国語1D	1③～④		1			○							兼5	
		フランス語1A	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1B	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1C	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語1D	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語1A	1①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語1B	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語1C	1③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語1D	1③～④		1			○							兼2	
		スペイン語1A	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1B	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1C	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語1D	1③～④		1			○							兼3	
		韓国語1A	1①～②		1			○							兼5	
		韓国語1B	1①～②		1			○							兼3	
		韓国語1C	1③～④		1			○							兼5	
		韓国語1D	1③～④		1			○							兼3	
		小計（24科目）	—	4	20	0		—		0	0	0	0	0	兼46	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1･2②		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1･2②		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1･2･3･4②		1			○							兼3	
		International Lectures 2	1･2･3･4②		1			○							兼3	
		英語資格・検定試験対策A	1②･③		1			○							兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1①･②･③		1			○							兼2	
		小計（6科目）	—	0	6	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1④	1				○							兼6	
		小計（1科目）	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	基礎セルフディベロップメント科目	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○			1	1				兼73	
		小計（1科目）	—	6	0	0		—		1	1	0	0	0	兼71	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○			2	2				兼48	
		フィールド・スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ3	1①～④		3			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ4	1①～④		4			○		1	2				兼17	
		海外フィールド・スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ3	1①～④		4			○		1					兼7	
		海外フィールド・スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
		小計（10科目）	—	1	30	0		—		2	2	0	0	0	兼48	—
	寄附講座科目	寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
		小計（1科目）	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼13	—

武蔵野キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　政治学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	基礎科目群	政治学原論1	1①	2			○			1						
		政治学原論2	1③	2			○			1						
		日本政治論基礎	1④	2			○					1				
		国際政治学基礎	1③	2			○			1						
		憲法1（統治）	1④	2			○								兼1	
		地方政府研究1	1②		1		○			1						
		地方政府研究2	1③		1		○			1						
		小計（7科目）	—	10	2	0	—			2	0	1	0	0	兼1	—
	アカデミック・スキル科目	初年次ゼミ	1①	1				○		3	4	1	0	0	兼1	
		小計（1科目）	—	1	0	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
	隣接科目群　法律学	法学1（法学の基礎）	1①		2		○								兼1	
		法学2（法学概論）	1③～④		2		○								兼1	
		民法1A（総則）	1①～②		2		○								兼1	
		民法1B（総則）	1③～④		2		○								兼1	
		小計（4科目）	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—
	育成プログラム	国家公務員育成プログラム1	1①～②		1		○								兼1	
		国家公務員育成プログラム2	1③～④		1		○								兼1	
		育成プログラム1	1①～④		1		○								兼1	
		育成プログラム2	1①～④		2		○								兼1	
		育成プログラム3	1①～④		3		○								兼1	
		育成プログラム4	1①～④		4		○								兼1	
		育成プログラム5	1①～④		5		○								兼1	
		育成プログラム6	1①～④		6		○								兼1	
		育成プログラム7	1①～④		8		○								兼1	
		小計（9科目）	—	0	31	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
小計（106科目）			—	29	103	0	—			5	4	1	0	0	兼207	—

学位又は称号	学士（政治学）	学位又は学科の分野	法学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修24単位を含めて28単位。学科科目は、必修29単位を含めて82単位。自由選択単位は、14単位以上。ただし、卒業論文を履修しない者は、うち6単位は隣接科目群を除く学科科目とする。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　政治学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	科目 建学	しあわせを考える	2①～②		2		○			1					兼9	
		小計（1科目）	—	0	2	0		—		1	0	0	0	0	兼9	—
	科目 健康体育	健康体育2	2①～④		1			○							兼1	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		小計（2科目）	—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
	情報科目	情報分析力1	2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	2①・③		1			○							兼3	
		情報表現力2	2③・④		1			○							兼2	
		小計（4科目）	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼4	—
	外国語	英語2A	2①～②	1				○							兼8	
		英語2B	2①～②	1				○							兼7	
		英語2C	2③～④	1				○							兼8	
		英語2D	2③～④	1				○							兼6	
		英語3A	3①～②	1				○							兼8	
		英語3B	3③～④	1				○							兼8	
		中国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		中国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		中国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		中国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		中国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		中国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語2A	2①～②		1			○							兼2	
		フランス語2B	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語2C	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語2D	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語3A	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語3B	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2A	2①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語2B	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2C	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語2D	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語3A	3①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語3B	3③～④		1			○							兼2	
		スペイン語2A	2①～②		1			○							兼2	
		スペイン語2B	2③～④		1			○							兼2	
		スペイン語2C	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語2D	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語3A	3①～②		1			○							兼2	
		スペイン語3B	3③～④		1			○							兼2	
		韓国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		韓国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		小計（36科目）	—	6	30	0		—		0	0	0	0	0	兼23	—
	外国語応用	International Lectures 1	1・2・3・4②		1			○							兼3	
		International Lectures 2	1・2・3・4②		1			○							兼3	
		小計（2科目）	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼3	—

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　政治学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	セルフディベロップメント科目	発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2③・④		2		○								兼3	
			数学的ものの考え方	2②・④		2		○								兼2	
			社会現象を分析する	2③		2		○								兼4	
			環境学への展望	2②		2		○								兼2	
			人間の心理を探る	2①・③		2		○								兼4	
			生命科学と人間	2④		2		○								兼3	
			市民の社会貢献	2①・④		2		○								兼3	
			市民生活と権利を考える	2③・④		2		○								兼3	
			現代メディアの探求	2①・③		2		○								兼4	
			社会情報と生活	2②・③・④		2		○								兼3	
			日本の歴史	2①・④		2		○								兼3	
			外国の歴史	2①・②		2		○								兼2	
			哲学への探索	2②・③		2		○								兼2	
			文化人類学への誘い	2①		2		○								兼2	
			文学を読み解く楽しみ	2④		2		○								兼2	
			ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
			ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
			プレゼンテーション	2②		2		○								兼1	
			小計（18科目）	—	0	36	0	—			0	0	0	0	0	兼43	—
	インターンシップ科目		インターンシップ（事前研究）	2②		1		○				1				兼11	
			インターンシップ1	2②・③		1			○							兼1	
			インターンシップ2	2②・③		2			○							兼1	
			インターンシップ3	2①～④		4			○							兼17	
			インターンシップ4	2①～④		6			○							兼1	
			海外インターンシップ1	2②・③		4			○							兼1	
			海外インターンシップ2	2②・③		6			○							兼1	
			海外インターンシップ3	2②・③		8			○							兼1	
			小計（8科目）	—	0	32	0	—			0	1	0	0	0	兼28	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目群		サブ・メジャー（ゼミナール）1	2①～②		2		○				1				兼6	
			サブ・メジャー（ゼミナール）2	2①～④		4		○								兼7	
			サブ・メジャー（総合研究）1	3①～④		2		○								兼1	
			サブ・メジャー（総合研究）2	3①～④		4		○								兼6	
			小計（4科目）	—	0	12	0	—			0	1	0	0	0	兼12	—
	寄付講座科目		資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
			証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
			経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
			金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○								兼1	
			未来型都市とメディア	2③～④		2		○				1					
			小計（5科目）	—	0	10	0	—			0	1	0	0	0	兼2	—
学科科目	基礎科目群		憲法2（人権）	2③	2			○								兼1	
			International Lectures (Politics)	2②		1		○						1			
			小計（2科目）	—	2	1	0	—			0	0	0	1	0	兼1	—
	基幹科目群	歴史・理論	政治学史1	2③	2			○			1						
			政治学史2	2④	2			○			1						
			日本政治外交史1	2③		2		○				1					
			日本政治外交史2	2④		2		○				1					
			西洋政治史1	2①		2		○			1						
			西洋政治史2	2②		2		○			1						
			政治学基礎文献講読1	2①		2		○			1	1					
			政治学英語文献講読1	2②		2		○			1	1					
			小計（8科目）	—	4	12	0	—			2	2	0	0	0	兼0	—
		日本政治・政治過程	日本政治論	2④		2		○			1						
			行政学	2①		2		○				1					
			公共政策論1	2③		2		○				1					
			公共政策論2	2④		2		○				1					
			計量政治学	2①		2		○				1					
			政治学基礎文献講読2	2①		2		○			1		1				
			政治学英語文献講読2	2②		2		○			1		1				
			選挙特殊研究1	2③～④		2		○				2					
			選挙特殊研究2	3①～②		2		○				2					
			選挙特殊研究3	3③～④		2		○				2					
			小計（10科目）	—	0	20	0	—			1	2	1	0	0	兼0	—

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　政治学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	基幹科目群	国際政治・地域研究	国際政治学1	2①		2		○			1						
			国際政治学2	2③		2		○			1						
			比較政治学	2④		2		○					1				
			平和学	2③		2		○			1						
			外交政策論	2①		2		○			1						
			アメリカ政治論	2④		2		○								兼1	
			ヨーロッパ政治論	2①		2		○								兼1	
			政治学基礎文献講読3	2①		2		○			1					兼1	
			政治学英語文献講読3	2②		2		○			1					兼1	
			小計（9科目）	—	0	18	0	—			3	0	1	0	0	兼4	—
	展開科目群	歴史・理論	日本政治思想史1	3①		2		○								兼1	
			日本政治思想史2	3②		2		○								兼1	
			現代政治理論1	3③		2		○				1					
			現代政治理論2	3④		2		○				1					
			公共選択論	3②		2		○				1					
			コミュニケーションの政治理論	3④		2		○								兼1	
			政治史・政治理論演習1	3①～②		2			○							兼1	
			政治史・政治理論演習2	3③～④		2			○							兼1	
			小計（8科目）	—	0	16	0	—			0	2	0	0	0	兼3	—
		日本政治・政治過程	公共管理論	3③		2		○					1				
			政治心理学	3④		2		○					1				
			政治社会学	3③		2		○								兼1	
			立法過程論	3①		2		○								兼1	
			政策過程論	3③		2		○					1				
			選挙分析	3②		2		○					1				
			地方自治	3②		2		○				1					
			日本政治・政治過程演習1	3①～②		2			○			1					
			日本政治・政治過程演習2	3③～④		2			○			1					
			小計（9科目）	—	0	18	0	—			0	2	2	0	0	兼2	—
		日本政治・政治過程	国際関係論	3③		2		○			1						
			アジア政治論	3②		2		○			1						
			中国政治論	3②		2		○			1						
			中東政治論	3③		2		○								兼1	
			アフリカ政治論	3③		2		○								兼1	
			国際政治・地域研究演習1	3①		2			○		1						
			国際政治・地域研究演習2	3③		2			○		1						
			小計（7科目）	—	0	14	0	—			3	0	0	0	0	兼2	—
		政治学特殊研究	政治学特殊研究1	2②		2		○			1						
			政治学特殊研究2	2③		2		○								兼1	
			政治学特殊研究3	2④		2		○								兼1	
			小計（3科目）	—	0	6	0	—			1	0	0	0	0	兼2	—
	資格対策科目群		キャリア開発	3①		2		○				1					
			地方公務員特殊研究1	2①～②		4		○			1						
			地方公務員特殊研究2	2③～④		4		○			1						
			地方公務員特殊研究3	3①～②		4		○			1						
			地方公務員特殊研究4	3③～④		4		○			1						
			小計（5科目）	—	0	18	0	—			1	1	0	0	0	兼0	—
	アカデミック・スキル科目		プレゼミ	2③～④	2				○		5	4	2				
			プレゼンゼミ	3③～④	2				○		3	1	2			兼1	
			小計（2科目）	—	4	0	0	—			6	4	2	0	0	兼1	—
	最先端研究		ゼミナール1	3①～②	2				○		5	4	2				
			ゼミナール2	3③～④	2				○		5	4	2				
			ゼミナール3	4①～②	2				○		3	4	2				
			ゼミナール4	4③～④	2				○		3	4	2				
			卒業論文	4①～④		6			○		3	4	2				
			小計（5科目）	—	8	6	0	—			6	4	2	0	0	兼0	—

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学部　政治学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	隣接科目群	法律学	民法2A（物権）	2①		2		○								兼1	
			民法2B（担保物権）	2③		2		○								兼1	
			民法3A（債権各論）	2①		2		○								兼1	
			民法3B（債権各論）	2②		2		○								兼1	
			民法4A（債権総論）	2③		2		○								兼1	
			民法4B（債権総論）	2④		2		○								兼1	
			民法5A（親族法）	3③		2		○								兼1	
			民法5B（相続法）	3④		2		○								兼1	
			行政法1（総論①）	2④		2		○								兼1	
			行政法2（総論②）	3①		2		○								兼1	
			行政救済法	3②		2		○								兼1	
			国際法1	3①		2		○								兼1	
			国際法2	3②		2		○								兼1	
			国際機構論	3④		2		○								兼1	
			企業法総論	3③		2		○								兼1	
			労働法1	3③		2		○								兼1	
			労働法2	3④		2		○								兼1	
			社会保障法	3④		2		○								兼1	
			刑法1（総論）	2①		2		○								兼1	
			刑法2（各論）	2②		2		○								兼1	
			会社法1	3①		2		○								兼1	
			会社法2	3②		2		○								兼1	
			刑法3（各論）	2③		2		○								兼1	
			民法S1(総則)	2①		2		○								兼1	
			民法S2(物権法・担保物権法)	2②		2		○								兼1	
			民法S3(債権各論)	2③		2		○								兼1	
			民法S4(債権総論)	2④		2		○								兼1	
			International Lectures (Law)	2②		1		○								兼1	
			小計（28科目）	—	0	55	0		—		0	0	0	0	0	兼13	—
		経済学	ミクロ経済学1	2①		2		○								兼1	
			ミクロ経済学2	2③		2		○								兼1	
			マクロ経済学1	2①		2		○								兼1	
			マクロ経済学2	2③		2		○								兼1	
			財政学1	2③		2		○								兼1	
			財政学2	2④		2		○								兼1	
			経済政策論	3②		2		○								兼1	
			経済学S1（経済学入門）	2①		2		○								兼1	
			経済学S2（ミクロ経済学）	2②		2		○								兼1	
			経済学S3（ミクロ経済学）	2③		2		○								兼1	
			経済学S4（マクロ経済学）	2②		2		○								兼1	
			経済学S5（マクロ経済学）	2④		2		○								兼1	
			小計（12科目）	—	0	24	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	育成プログラム		国家公務員育成プログラム3	2①～②		1		○								兼1	
			国家公務員育成プログラム4	2③～④		1		○								兼1	
			小計（2科目）	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼1	—
小計（190科目）				—	24	341	0		—		6	4	2	0	0	兼154	—

学位又は称号	学士（政治学）	学位又は学科の分野	法学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修24単位を含めて28単位。学科科目は、必修29単位を含めて82単位。自由選択単位は、14単位以上。ただし、卒業論文を履修しない者は、うち6単位は隣接科目群を除く学科科目とする。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○			1					兼2	
		共生社会	1②		2		○								兼7	
		しあわせを考える	2①～②		2		○								兼10	
		小計（3科目）	—	4	4	0	—			1	0	0	0	0	兼16	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
		健康体育2	2①～④		1			○							兼1	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1③～④	1			○			1					兼2	
		小計（4科目）	—	1	4	0	—			1	0	0	0	0	兼17	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1①	1				○							兼2	
		コンピュータ基礎2	1④		1			○							兼6	
		情報分析力1	2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	2①・③		1			○							兼3	
		情報表現力2	2③・④		1			○							兼2	
		小計（6科目）	—	1	5	0	—			0	0	0	0	0	兼8	—
	外国語	英語1A	1①～②	1				○							兼4	
		英語1B	1①～②	1				○			1				兼7	
		英語1C	1③～④	1				○							兼4	
		英語1D	1③～④	1				○			1				兼6	
		英語2A	2①～②	1				○							兼5	
		英語2B	2①～②	1				○							兼2	
		英語2C	2③～④	1				○							兼5	
		英語2D	2③～④	1				○							兼2	
		英語3A	3①～②		1			○			1				兼8	
		英語3B	3③～④		1			○			1				兼8	
		中国語1A	1①～②		1			○							兼7	
		中国語1B	1①～②		1			○							兼5	
		中国語1C	1③～④		1			○							兼7	
		中国語1D	1③～④		1			○							兼5	
		中国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		中国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		中国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		中国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		中国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		中国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語1A	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1B	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1C	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語1D	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語2A	2①～②		1			○							兼2	
		フランス語2B	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語2C	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語2D	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語3A	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語3B	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語1A	1①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語1B	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語1C	1③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語1D	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2A	2①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語2B	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2C	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語2D	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語3A	3①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語3B	3③～④		1			○							兼2	
		スペイン語1A	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1B	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1C	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語1D	1③～④		1			○							兼3	

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	外国語	スペイン語2A	2①～②		1			○							兼2	
		スペイン語2B	2③～④		1			○							兼2	
		スペイン語2C	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語2D	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語3A	3①～②		1			○							兼2	
		スペイン語3B	3③～④		1			○							兼2	
		韓国語1A	1①～②		1			○							兼5	
		韓国語1B	1①～②		1			○							兼3	
		韓国語1C	1③～④		1			○							兼5	
		韓国語1D	1③～④		1			○							兼3	
		韓国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		韓国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		小計（60科目）	—	8	52	0		—		0	1	0	0	0	兼51	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1・2②		1			○			1					
		English for Studying Abroad 2	1・2②		1			○			1					
		International Lectures 1	1・2・3・4②		1		○								兼3	
		International Lectures 2	1・2・3・4②		1		○								兼3	
		英語資格・検定試験対策A	1②・③		1			○			1				兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1①・②・③		1			○			1				兼2	
		小計（6科目）	—	0	6	0		—		0	1	0	0	0	兼5	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1④	1				○							兼6	
		小計（1科目）	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	セルフディベロップメント科目 基礎セルフディベロップメント	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○			2	2				兼71	
		小計（1科目）	—	6	0	0		—		2	2	0	0	0	兼71	—
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2③・④		2		○								兼3	
		数学的ものの考え方	2②・④		2		○								兼2	
		社会現象を分析する	2③		2		○								兼4	
		環境学への展望	2②		2		○								兼2	
		人間の心理を探る	2①・③		2		○								兼4	
		生命科学と人間	2④		2		○								兼3	
		市民の社会貢献	2①・④		2		○								兼3	
		市民生活と権利を考える	2③・④		2		○								兼3	
		現代メディアの探求	2①・③		2		○								兼4	
		社会情報と生活	2②・③・④		2		○								兼3	
		日本の歴史	2①・④		2		○								兼3	
		外国の歴史	2①・②		2		○								兼2	
		哲学への探索	2②・③		2		○								兼2	
		文化人類学への誘い	2①		2		○								兼2	
		文学を読み解く楽しみ	2④		2		○								兼2	
		ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
		プレゼンテーション	2②		2		○								兼1	
		小計（18科目）	—	0	36	0		—		0	0	0	0	0	兼43	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○			2	5				兼45	
		フィールド・スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ3	1①～④		3			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ4	1①～④		4			○		1	1				兼18	
		海外フィールド・スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ3	1①～④		4			○			1				兼7	
		海外フィールド・スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
		小計（10科目）	—	1	30	0		—		2	5	0	0	0	兼45	—

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	インターンシップ科目	インターンシップ（事前研究）	2②		1		○					1			兼11	
		インターンシップ1	2②・③		1			○							兼1	
		インターンシップ2	2②・③		2			○							兼1	
		インターンシップ3	2①～④		4			○							兼17	
		インターンシップ4	2①～④		6			○							兼1	
		海外インターンシップ1	2②・③		4			○							兼1	
		海外インターンシップ2	2②・③		6			○							兼1	
		海外インターンシップ3	2②・③		8			○							兼1	
		小計（8科目）	—	0	32	0		—		0	0	1	0	0	兼28	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目群	サブ・メジャー（ゼミナール）1	2①～②		2		○								兼7	
		サブ・メジャー（ゼミナール）2	2①～④		4		○								兼7	
		サブ・メジャー（総合研究）1	3①～④		2		○								兼1	
		サブ・メジャー（総合研究）2	3①～④		4		○								兼6	
		小計（4科目）	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼13	—
	寄付講座科目	寄付講座1	1・2・3・4①～②		2		○								兼13	
		資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
		証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
		経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
		金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○								兼1	
		未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼1	
		小計（6科目）	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼16	—
学科科目	基礎科目群	経済学基礎1	1①		2		○			1	2					
		初年次ゼミ	1①		1		○			4	4	1				
		経済学入門	1③		2		○			1					兼1	
		経済学と数学	1④		1		○				1					
		経済学のための数学	2①		2		○				1					
		統計学1	1④		2		○				1					
		データ分析入門	1③		2		○			1	1	1				
		ミクロ経済学1	2①		2		○			1						
		ミクロ経済学2	2③		2		○					1				
		マクロ経済学1	2①		2		○				1					
		マクロ経済学2	2③		2		○				1					
		ゲーム理論1	2③		2		○			1						
		小計（12科目）	—	0	22	0		—		4	4	1	0	0	兼1	—
	基幹科目群	経済学基礎2	1②		1		○				1					
		ミクロ経済学3	2④		2		○			1						
		ミクロ経済学4	3①		2		○			1						
		マクロ経済学3	2④		2		○				1					
		マクロ経済学4	3③		2		○				1					
		計量経済学1	2②		2		○				1					
		計量経済学2	2③		2		○				1					
		英語で学ぶ経済学1	2①		2		○					1				
		英語で学ぶ経済学2	2②		2		○				1					
		小計（9科目）	—	0	17	0		—		1	3	1	0	0	兼0	—
	展開科目群	共生原理	1②		2		○								兼1	
		経済学プレゼミ	2③～④		2			○		4	4	1				
		統計学2	2①		2		○				1					
		ゲーム理論2	2④		2		○			1						
		データで学ぶ世界経済	3③		2		○				1					
		データで学ぶ日本経済史	3④		2		○				1					
		国際経済史1	2①		2		○			1						
		国際経済史2	2②		2		○			1						
		経済思想史1	3③		2		○			1						
		経済思想史2	3④		2		○			1						
		財政学1	2③		2		○								兼1	
		財政学2	2④		2		○								兼1	
		日本経済論	3④		2		○				1					
		公共経済学1	3②		2		○				1					
		公共経済学2	3③		2		○				1					
		経済政策論	3②		2		○								兼1	
		産業組織論1	3②		2		○					1				
		産業組織論2	3④		2		○					1				

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	展開科目群		国際貿易論1	3②		2		○				1					
			国際貿易論2	3④		2		○				1					
			金融論1	2③		2		○			1						
			金融論2	2④		2		○			1						
			国際金融論1	3①		2		○								兼1	
			国際金融論2	3②		2		○								兼1	
			労働経済学1	3②		2		○			1						
			労働経済学2	3④		2		○			1						
			環境経済学1	3①		2		○				1					
			環境経済学2	3④		2		○				1					
			金融システム論	3②		2		○								兼1	
			行動経済学	3②		2		○				1					
			途上国の経済分析	3③		2		○				1					
			都市経済学	3④		2		○				1					
			経営学入門	1①		2		○								兼2	
			経営学基礎	2④		2		○								兼1	
			フィナンシャル・プランニング論1	2②		2		○								兼1	
			フィナンシャル・プランニング論2	2③		2		○								兼1	
			会計学入門	1②		2		○								兼1	
			簿記1	2①～②		2		○								兼2	
			簿記2	2③～④		2		○								兼2	
			小計（39科目）	—	0	78	0		—		5	4	1	0	0	兼10	—
	応用科目群		経済学特殊研究A	3①		2		○			1						
			経済学特殊研究B	3③		2		○			1						
			小計（2科目）	—	0	4	0		—		1	0	0	0	0	兼0	—
	最先端研究		ゼミナール1	3①～②		2			○		5	4	1				
			ゼミナール2	3③～④		2			○		5	4	1				
			ゼミナール3	4①～②		2			○		4	4	1			兼1	
			ゼミナール4	4③～④		2			○		4	4	1			兼1	
			卒業論文	4③～④		2			○		4	4	1			兼1	
			小計（5科目）	—	0	10	0		—		5	4	1	0	0	兼0	—
	資格対策科目群		キャリア開発	3①		2		○								兼1	
			地方公務員特殊研究1	2①～②		4		○								兼1	
			地方公務員特殊研究2	2③～④		4		○								兼1	
			地方公務員特殊研究3	3①～②		4		○								兼1	
			地方公務員特殊研究4	3③～④		4		○								兼1	
			小計（5科目）	—	0	18	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
	隣接科目群	法律学	法学1（法学の基礎）	1①		2		○								兼1	
			法学2（法学概論）	1③～④		2		○								兼1	
			憲法1（統治）	1④		2		○								兼1	
			憲法2（人権）	1③		2		○								兼1	
			民法1A（総則）	1①～②		2		○								兼1	
			民法1B（総則）	1③～④		2		○								兼1	
			民法2A（物権）	2①		2		○								兼1	
			民法2B（担保物権）	2③		2		○								兼1	
			民法3A（債権各論）	2①		2		○								兼1	
			民法3B（債権各論）	2②		2		○								兼1	
			民法4A（債権総論）	2③		2		○								兼1	
			民法4B（債権総論）	2④		2		○								兼1	
			民法5A（親族法）	3③		2		○								兼1	
			民法5B（相続法）	3④		2		○								兼1	
			行政法1（総論①）	2④		2		○								兼1	
			行政法2（総論②）	3①		2		○								兼1	
			民法S1(総則)	2①		2		○								兼1	
			民法S2(物権法・担保物権法)	2②		2		○								兼1	
			民法S3(債権各論)	2③		2		○								兼1	
			民法S4(債権総論)	2④		2		○								兼1	
			小計（20科目）	—	0	40	0		—		0	0	0	0	0	兼9	—

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	隣接科目群	政治学	政治学原論1	1①		2		○								兼1	
			政治学原論2	1③		2		○								兼1	
			日本政治論	2④		2		○								兼1	
			国際政治学1	2①		2		○								兼1	
			国際政治学2	2③		2		○								兼1	
			政治学史1	2③		2		○								兼1	
			政治学史2	2④		2		○								兼1	
			行政学	2①		2		○								兼1	
			公共政策論1	2③		2		○								兼1	
			公共政策論2	2④		2		○								兼1	
			小計（10科目）	—	0	20	0	—			0	0	0	0	0	兼5	—
	育成プログラム		国家公務員育成プログラム1	1①～②		1		○								兼1	
			国家公務員育成プログラム2	1③～④		1		○								兼1	
			国家公務員育成プログラム3	2①～②		1		○								兼1	
			国家公務員育成プログラム4	2③～④		1		○								兼1	
			育成プログラム1	1①～④		1		○								兼1	
			育成プログラム2	1①～④		2		○								兼1	
			育成プログラム3	1①～④		3		○								兼1	
			育成プログラム4	1①～④		4		○								兼1	
			育成プログラム5	1①～④		5		○								兼1	
			育成プログラム6	1①～④		6		○								兼1	
			育成プログラム7	1①～④		8		○								兼1	
			小計（11科目）	—	0	33	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
小計（240科目）				—	22	435	0	—			8	5	1	0	0	兼272	—

学位又は称号	学士（経済学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修22単位を含めて26単位。学科科目は、84単位。自由選択単位は、14単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

武蔵野キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○			1					兼2	
		共生社会	1②		2		○								兼7	
		小計（2科目）	—	4	2	0		—		1	0	0	0	0	兼9	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
		人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1③～④	1			○			1					兼2	
		小計（2科目）	—	1	1	0		—		0	0	0	0	0	兼16	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1①	1				○							兼2	
		コンピュータ基礎2	1④		1			○							兼6	
		小計（2科目）	—	1	1	0		—		0	0	0	0	0	兼7	—
	外国語	英語1A	1①～②	1				○							兼4	
		英語1B	1①～②	1				○			1				兼7	
		英語1C	1③～④	1				○							兼4	
		英語1D	1③～④	1				○			1				兼6	
		中国語1A	1①～②		1			○							兼7	
		中国語1B	1①～②		1			○							兼5	
		中国語1C	1③～④		1			○							兼7	
		中国語1D	1③～④		1			○							兼5	
		フランス語1A	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1B	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1C	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語1D	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語1A	1①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語1B	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語1C	1③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語1D	1③～④		1			○							兼2	
		スペイン語1A	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1B	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1C	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語1D	1③～④		1			○							兼3	
		韓国語1A	1①～②		1			○							兼5	
		韓国語1B	1①～②		1			○							兼3	
		韓国語1C	1③～④		1			○							兼5	
		韓国語1D	1③～④		1			○							兼3	
		小計（24科目）	—	4	20	0		—		0	1	0	0	0	兼38	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1･2②		1			○			1					
		English for Studying Abroad 2	1･2②		1			○			1					
		International Lectures 1	1･2･3･4②		1		○								兼3	
		International Lectures 2	1･2･3･4②		1		○								兼3	
		英語資格・検定試験対策A	1②･③		1			○			1				兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1①･②･③		1			○			1				兼2	
		小計（4科目）	—	0	4	0		—		0	1	0	0	0	兼5	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1④	1				○							兼6	
		小計（1科目）	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	基礎セルフディベロップメント科目	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○			2	2				兼71	
		小計（1科目）	—	6	0	0		—		2	2	0	0	0	兼71	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○			2	5				兼45	
		フィールド・スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ3	1①～④		3			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ4	1①～④		4			○		1	1				兼18	
		海外フィールド・スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ3	1①～④		4			○			1				兼7	
		海外フィールド・スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
		小計（10科目）	—	1	30	0		—		2	5	0	0	0	兼45	—
	寄付講座科目	寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
		小計（1科目）	—		2			—		0	0	0	0	0	兼13	

武蔵野キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	基礎科目群	経済学基礎1	1①		2		○			1	2					
		初年次ゼミ	1①		1		○			4	4	1				
		経済学入門	1③		2		○			1					兼1	
		経済学と数学	1④		1		○				1					
		統計学1	1④		2		○				1					
		データ分析入門	1③		2		○			1	1	1				
		小計（6科目）	—	0	10	0		—		4	4	1	0	0	兼1	—
	基幹科目群	経済学基礎2	1②		1		○				1					
		小計（1科目）	—	0	1	0		—		0	1	0	0	0	兼0	—
	展開科目群	共生原理	1②		2		○								兼1	
		経営学入門	1①		2		○								兼2	
		会計学入門	1②		2		○								兼1	
		小計（3科目）	—	0	6	0		—		0	0	0	0	0	兼4	—
	隣接科目群 法律学	法学1（法学の基礎）	1①		2		○								兼1	
		法学2（法学概論）	1③～④		2		○								兼1	
		憲法1（統治）	1④		2		○								兼1	
		憲法2（人権）	1③		2		○								兼1	
		民法1A（総則）	1①～②		2		○								兼1	
		民法1B（総則）	1③～④		2		○								兼1	
		小計（6科目）	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
	隣接科目群 政治学	政治学原論1	1①		2		○								兼1	
		政治学原論2	1③		2		○								兼1	
		小計（2科目）	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼1	—
	育成プログラム	国家公務員育成プログラム1	1①～②		1		○								兼1	
		国家公務員育成プログラム2	1③～④		1		○								兼1	
		育成プログラム1	1①～④		1		○								兼1	
		育成プログラム2	1①～④		2		○								兼1	
		育成プログラム3	1①～④		3		○								兼1	
		育成プログラム4	1①～④		4		○								兼1	
		育成プログラム5	1①～④		5		○								兼1	
		育成プログラム6	1①～④		6		○								兼1	
		育成プログラム7	1①～④		8		○								兼1	
		小計（9科目）	—	0	31	0		—		0	0	0	0	0	兼1	—
小計（74科目）			—	18	64	0		—		6	5	1	0	0	兼203	—

学位又は称号	学士（経済学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修22単位を含めて26単位。学科科目は、84単位。自由選択単位は、14単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	科目 建学	しあわせを考える	2①～②		2		○								兼10	
		小計（1科目）	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼10	—
	科目 健康体育	健康体育2	2①～④		1			○							兼1	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		小計（2科目）	—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
	情報科目	情報分析力1	2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	2①・③		1			○							兼3	
		情報表現力2	2③・④		1			○							兼2	
		小計（4科目）	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼5	—
	外国語	英語2A	2①～②	1				○							兼5	
		英語2B	2①～②	1				○							兼2	
		英語2C	2③～④	1				○							兼5	
		英語2D	2③～④	1				○							兼2	
		英語3A	3①～②		1			○			1				兼8	
		英語3B	3③～④		1			○			1				兼8	
		中国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		中国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		中国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		中国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		中国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		中国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語2A	2①～②		1			○							兼2	
		フランス語2B	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語2C	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語2D	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語3A	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語3B	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2A	2①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語2B	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2C	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語2D	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語3A	3①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語3B	3③～④		1			○							兼2	
		スペイン語2A	2①～②		1			○							兼2	
		スペイン語2B	2③～④		1			○							兼2	
		スペイン語2C	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語2D	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語3A	3①～②		1			○							兼2	
		スペイン語3B	3③～④		1			○							兼2	
		韓国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		韓国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		小計（36科目）	—	4	32	0		—		0	1	0	0	0	兼20	—
	外国語応用	International Lectures 1	1・2・3・4②		1		○								兼3	
		International Lectures 2	1・2・3・4②		1		○								兼3	
		小計（2科目）	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼4	—

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	セルフディベロップメント科目	発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2③・④		2		○								兼3	
			数学的ものの考え方	2②・④		2		○								兼2	
			社会現象を分析する	2③		2		○								兼4	
			環境学への展望	2②		2		○								兼2	
			人間の心理を探る	2①・③		2		○								兼4	
			生命科学と人間	2④		2		○								兼3	
			市民の社会貢献	2①・④		2		○								兼3	
			市民生活と権利を考える	2③・④		2		○								兼3	
			現代メディアの探求	2①・③		2		○								兼4	
			社会情報と生活	2②・③・④		2		○								兼3	
			日本の歴史	2①・④		2		○								兼3	
			外国の歴史	2①・②		2		○								兼2	
			哲学への探索	2②・③		2		○								兼2	
			文化人類学への誘い	2①		2		○								兼2	
			文学を読み解く楽しみ	2④		2		○								兼2	
			ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
			ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
			プレゼンテーション	2②		2		○								兼1	
			小計（18科目）	—	0	36	0	—			0	0	0	0	0	兼43	—
	インターンシップ科目		インターンシップ（事前研究）	2②		1		○					1			兼11	
			インターンシップ1	2②・③		1			○							兼1	
			インターンシップ2	2②・③		2			○							兼1	
			インターンシップ3	2①～④		4			○							兼17	
			インターンシップ4	2①～④		6			○							兼1	
			海外インターンシップ1	2②・③		4			○							兼1	
			海外インターンシップ2	2②・③		6			○							兼1	
			海外インターンシップ3	2②・③		8			○							兼1	
			小計（8科目）	—	0	32	0	—			0	0	1	0	0	兼28	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目群		サブ・メジャー（ゼミナール）1	2①～②		2		○								兼7	
			サブ・メジャー（ゼミナール）2	2①～④		4		○								兼7	
			サブ・メジャー（総合研究）1	3①～④		2		○								兼1	
			サブ・メジャー（総合研究）2	3①～④		4		○								兼6	
			小計（4科目）	—	0	12	0	—			0	0	0	0	0	兼13	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目群		資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
			証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
			経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
			金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○								兼1	
			未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼1	
			小計（5科目）	—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—
学科科目	基礎科目群		経済学のための数学	2①		2		○				1					
			ミクロ経済学1	2①		2		○			1						
			ミクロ経済学2	2③		2		○					1				
			マクロ経済学1	2①		2		○				1					
			マクロ経済学2	2③		2		○				1					
			ゲーム理論1	2③		2		○			1						
			小計（6科目）	—	0	12	0	—			2	2	1	0	0	兼0	—
	基幹科目群		ミクロ経済学3	2④		2		○			1						
			ミクロ経済学4	3①		2		○			1						
			マクロ経済学3	2④		2		○				1					
			マクロ経済学4	3③		2		○				1					
			計量経済学1	2②		2		○				1					
			計量経済学2	2③		2		○				1					
			英語で学ぶ経済学1	2①		2		○					1				
			英語で学ぶ経済学2	2②		2		○				1					
			小計（8科目）	—	0	16	0	—			1	3	1	0	0	兼0	—

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	展開科目群	経済学プレゼミ	2③～④		2			○		4	4	1				
		統計学2	2①		2		○				1					
		ゲーム理論2	2④		2		○			1						
		データで学ぶ世界経済	3③		2		○				1					
		データで学ぶ日本経済史	3④		2		○				1					
		国際経済史1	2①		2		○			1						
		国際経済史2	2②		2		○			1						
		経済思想史1	3③		2		○			1						
		経済思想史2	3④		2		○			1						
		財政学1	2③		2		○								兼1	
		財政学2	2④		2		○								兼1	
		日本経済論	3④		2		○				1					
		公共経済学1	3②		2		○				1					
		公共経済学2	3③		2		○				1					
		経済政策論	3②		2		○								兼1	
		産業組織論1	3②		2		○					1				
		産業組織論2	3④		2		○					1				
		国際貿易論1	3②		2		○				1					
		国際貿易論2	3④		2		○				1					
		金融論1	2③		2		○			1						
		金融論2	2④		2		○			1						
		国際金融論1	3①		2		○								兼1	
		国際金融論2	3②		2		○								兼1	
		労働経済学1	3②		2		○			1						
		労働経済学2	3④		2		○			1						
		環境経済学1	3①		2		○				1					
		環境経済学2	3④		2		○				1					
		金融システム論	3②		2		○								兼1	
		行動経済学	3②		2		○				1					
		途上国の経済分析	3③		2		○				1					
		都市経済学	3④		2		○				1					
		経営学基礎	2④		2		○								兼1	
		フィナンシャル・プランニング論1	2②		2		○								兼1	
		フィナンシャル・プランニング論2	2③		2		○								兼1	
		簿記1	2①～②		2		○								兼2	
		簿記2	2③～④		2		○								兼2	
		小計（36科目）	—	0	72	0		—		5	4	1	0	0	兼7	—
	応用科目群	経済学特殊研究A	3①		2		○			1						
		経済学特殊研究B	3③		2		○			1						
		小計（2科目）	—	0	4	0		—		1	0	0	0	0	兼0	—
	最先端研究	ゼミナール1	3①～②		2			○		5	4	1				
		ゼミナール2	3③～④		2			○		5	4	1				
		ゼミナール3	4①～②		2			○		4	4	1			兼1	
		ゼミナール4	4③～④		2			○		4	4	1			兼1	
		卒業論文	4③～④		2			○		4	4	1			兼1	
		小計（5科目）	—	0	10	0		—		5	4	1	0	0	兼1	—
	資格対策科目群	キャリア開発	3①		2		○								兼1	
		地方公務員特殊研究1	2①～②		4		○								兼1	
		地方公務員特殊研究2	2③～④		4		○								兼1	
		地方公務員特殊研究3	3①～②		4		○								兼1	
		地方公務員特殊研究4	3③～④		4		○								兼1	
		小計（5科目）	—	0	18	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	隣接科目群	法律学	民法2A（物権）	2①		2		○								兼1	
			民法2B（担保物権）	2③		2		○								兼1	
			民法3A（債権各論）	2①		2		○								兼1	
			民法3B（債権各論）	2②		2		○								兼1	
			民法4A（債権総論）	2③		2		○								兼1	
			民法4B（債権総論）	2④		2		○								兼1	
			民法5A（親族法）	3③		2		○								兼1	
			民法5B（相続法）	3④		2		○								兼1	
			行政法1（総論①）	2④		2		○								兼1	
			行政法2（総論②）	3①		2		○								兼1	
			民法S1(総則)	2①		2		○								兼1	
			民法S2(物権法・担保物権法)	2②		2		○								兼1	
			民法S3(債権各論)	2③		2		○								兼1	
			民法S4(債権総論)	2④		2		○								兼1	
			小計（14科目）	—	0	28	0	—			0	0	0	0	0	兼7	—
		政治学	日本政治論	2④		2		○								兼1	
			国際政治学1	2①		2		○								兼1	
			国際政治学2	2③		2		○								兼1	
			政治学史1	2③		2		○								兼1	
			政治学史2	2④		2		○								兼1	
			行政学	2①		2		○								兼1	
			公共政策論1	2③		2		○								兼1	
			公共政策論2	2④		2		○								兼1	
			小計（8科目）	—	0	16	0	—			0	0	0	0	0	兼4	—
	育成プログラム		国家公務員育成プログラム3	2①～②		1		○								兼1	
			国家公務員育成プログラム4	2③～④		1		○								兼1	
			小計（2科目）	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
小計（166科目）				—	4	311	0	—			6	5	1	0	0	兼126	—

学位又は称号	学士（経済学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修22単位を含めて26単位。学科科目は、84単位。自由選択単位は、14単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○			1					兼1	
		共生社会	1②		2		○				1				兼6	
		しあわせを考える	2①～②		2		○				1				兼1	
		小計（3科目）	—	4	4	0		—		1	1	0	0	0	兼7	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼6	
		健康体育2	2①～④		1			○							兼2	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1③～④	1			○								兼3	
		小計（4科目）	—	1	4	0		—		0	0	0	0	0	兼11	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1①	1				○							兼1	
		コンピュータ基礎2	1④		1			○							兼1	
		情報分析力1	2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	2①・③		1			○							兼3	
		情報表現力2	2③・④		1			○							兼3	
		小計（6科目）	—	1	5	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	外国語	英語1A	1①～②	1				○							兼8	
		英語1B	1①～②	1				○							兼10	
		英語1C	1③～④	1				○							兼8	
		英語1D	1③～④	1				○							兼10	
		英語2A	2①～②	1				○							兼6	
		英語2B	2①～②	1				○							兼6	
		英語2C	2③～④	1				○							兼5	
		英語2D	2③～④	1				○							兼5	
		英語3A	3①～②		1			○							兼8	
		英語3B	3③～④		1			○							兼7	
		中国語1A	1①～②		1			○							兼7	
		中国語1B	1①～②		1			○							兼5	
		中国語1C	1③～④		1			○							兼7	
		中国語1D	1③～④		1			○							兼5	
		中国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		中国語2B	2③～④		1			○							兼1	
		中国語2C	2③～④		1			○							兼2	
		中国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		中国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		中国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語1A	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1B	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1C	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語1D	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語2A	2①～②		1			○							兼2	
		フランス語2B	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語2C	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語2D	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語3A	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語3B	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語1A	1①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語1B	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語1C	1③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語1D	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2A	2①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語2B	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2C	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2D	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語3A	3①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語3B	3③～④		1			○							兼2	
		スペイン語1A	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1B	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1C	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語1D	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語2A	2①～②		1			○							兼1	
		スペイン語2B	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語2C	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語2D	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語3A	3①～②		1			○							兼2	
		スペイン語3B	3③～④		1			○							兼2	

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	外国語	韓国語1A	1①～②		1			○							兼5	
		韓国語1B	1①～②		1			○							兼4	
		韓国語1C	1③～④		1			○							兼5	
		韓国語1D	1③～④		1			○							兼4	
		韓国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語2C	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語2D	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		韓国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		小計（60科目）	—	8	52	0		—		0	0	0	0	0	兼67	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1･2②		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1･2②		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1･2･3･4②		1		○				1				兼3	
		International Lectures 2	1･2･3･4②		1		○				1				兼3	
		英語資格・検定試験対策A	1②･③		1			○							兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1①･②･③		1			○							兼2	
		小計（6科目）	—	0	6	0		—		0	1	0	0	0	兼6	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1④	1				○							兼7	
		小計（1科目）	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	兼7	—
	セルフディベロップメント科目 基礎セルフディベロップメント	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○				1				兼73	
		小計（1科目）	—	6	0	0		—		0	1	0	0	0	兼73	—
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2③･④		2		○								兼6	
		数学的ものの考え方	2②･④		2		○								兼2	
		社会現象を分析する	2③		2		○								兼3	
		環境学への展望	2②		2		○								兼1	
		人間の心理を探る	2①･③		2		○								兼2	
		生命科学と人間	2④		2		○								兼3	
		市民の社会貢献	2①･④		2		○								兼2	
		市民生活と権利を考える	2③･④		2		○								兼4	
		現代メディアの探求	2①･③		2		○								兼1	
		社会情報と生活	2②･③･④		2		○								兼2	
		日本の歴史	2①･④		2		○								兼2	
		外国の歴史	2①･②		2		○								兼2	
		哲学への探索	2②･③		2		○								兼2	
		文化人類学への誘い	2①		2		○								兼2	
		文学を読み解く楽しみ	2④		2		○								兼2	
		ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
		プレゼンテーション	2②		2		○								兼2	
		小計（18科目）	—	0	36	0		—		0	0	0	0	0	兼39	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○			2	3				兼47	
		フィールド・スタディーズ1	1①～④		1			○		1						
		フィールド・スタディーズ2	1①～④		2			○		1						
		フィールド・スタディーズ3	1①～④		3			○		1						
		フィールド・スタディーズ4	1①～④		4			○		1	1				兼18	
		海外フィールド・スタディーズ1	1①～④		2			○		1						
		海外フィールド・スタディーズ2	1①～④		3			○		1						
		海外フィールド・スタディーズ3	1①～④		4			○		1	1				兼6	
		海外フィールド・スタディーズ4	1①～④		5			○		1						
		海外フィールド・スタディーズ5	1①～④		6			○		1						
		小計（10科目）	—	1	30	0		—		2	3	0	0	0	兼47	—
	インターンシップ科目	インターンシップ（事前研究）	2②		1		○								兼1	
		インターンシップ1	2②･③		1			○		1						
		インターンシップ2	2②･③		2			○		1						
		インターンシップ3	2①～④		4			○		1						
		インターンシップ4	2①～④		6			○		1						
		海外インターンシップ1	2②･③		4			○							兼1	
		海外インターンシップ2	2②･③		6			○							兼1	
		海外インターンシップ3	2②･③		8			○							兼1	
		小計（8科目）	—	0	32	0		—		2	0	0	0	0	兼2	—

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	副専攻（サブ・メジャー）科目	サブ・メジャー（ゼミナール）1	2①～②		2		○			1	1				兼4	
		サブ・メジャー（ゼミナール）2	2①～④		4		○			1					兼22	
		サブ・メジャー（総合研究）1	3①～④		2		○								兼1	
		サブ・メジャー（総合研究）2	3①～④		4		○								兼10	
		小計（4科目）	—	0	12	0	—			1	1	0	0	0	兼24	—
	寄付講座科目	寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
		資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
		証券ビジネス論	2③～④		2		○			1						
		経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
		金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○			1						
		未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼2	
		小計（6科目）	—	0	12	0	—			1	0	0	0	0	兼16	—
学科科目	基礎科目群	経営学入門	1①	2			○			4	6	1				
		経営学基礎	1②	2			○			4	6	1				
		経営学への招待A	1①	2			○			4	6	1				
		経営学への招待B	1③～④	2			○			4	6	1				
		経営フィールドワーク入門	1①～④	2			○			4	6	1				
		グループコミュニケーション1	1③～④	2			○			4	6	1				
		ICTと研究調査	1③～④		2		○								兼1	
		会計学入門	1④		2		○								兼1	
		経済学入門	1②		2		○								兼1	
		小計（9科目）	—	12	6	0	—			4	6	1	0	0	兼3	—
	基幹科目群	経営研究入門A	2③	1			○			4	1					
		経営研究入門B	2④	1			○			4	1					
		経営戦略1	2①		2		○				1					
		経営戦略2	2④		2		○				1					
		経営戦略分析	2①		2		○				5	1				
		イノベーションマネジメント	2④		2		○				1					
		マーケティング1	2①		2		○			1						
		マーケティング2	2③		2		○			1						
		流通経済	2④		2		○				1					
		組織行動	2③		2		○				1					
		経営組織	2②		2		○				1					
		セルフマネジメント	2①		2		○			1						
		経営のための会計入門	2①		2		○			1						
		財務会計1	2②		2		○			1						
		財務会計2	2③		2		○			1						
		中小企業マネジメント	2②		2		○				1					
		コーポレート・ガバナンス論1	2④		2		○								兼1	
		企業倫理	3④		2		○								兼1	
		企業と社会	2①		2		○								兼1	
		経営史	2③		2		○					1				
		質的研究調査	2④		2		○				1					
		量的研究調査	2③		2		○				1					
		アート&テクノロジーA	2③		2		○				1	1				
		アート&テクノロジーB	3③		2		○				1	1				
		グループコミュニケーション2A	2①		2		○				1	1				
		グループコミュニケーション2B	3①		2		○				1	1				
		ワールドビジネス	2②		2		○			1						
		第一次産業論	2･3･4②		1		○				1					
		第二次産業論A	2･3･4③		1		○				1					
		第二次産業論B	2･3･4③		1		○				1					
		第三次産業論	2･3･4①		1		○				1					
		観光産業論	2･3･4③		1		○				1					
		ICT産業論	2･3･4④		1		○				1					
		コンテンツ産業論	2･3･4②･③		1		○				1					
		バイオ産業論	2･3･4②		1		○				1					
		小計（35科目）	—	2	58	0	—			4	6	1	0	0	兼1	—

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	展開科目群	経営フィールドワークA	2･3･4①～④		2		○				1					
		経営フィールドワークB	2･3･4①～④		2		○					1				
		発展・経営戦略1	3③		2		○				1					
		発展・経営戦略2	3④		2		○					1				
		発展・イノベーションマネジメント	3④		2		○				1					
		発展・マーケティング1	3③		2		○			1						
		発展・マーケティング2	3④		2		○			1						
		発展・流通経済	3①		2		○				1					
		発展・組織行動	3①		2		○				1					
		発展・中小企業マネジメント	3①		2		○				1					
		発展・量的研究調査	3①		2		○			1						
		ビジネスデザイン	3③		2		○			1						
		人材マネジメント	3③		2		○			1						
		組織コミュニケーション	3④		2		○				1					
		コンフリクトマネジメント	3④		2		○				1					
		経営者と社会	3①		2		○					1				
		コーポレート・ガバナンス論2	3④		2		○								兼1	
		CSR論	3②		2		○								兼1	
		経営学と未来	4③～④		2		○			1						
		フィナンシャル・プランニング論1	2②		2		○			1						
		フィナンシャル・プランニング論2	2③		2		○			1						
		経営管理と会計	3③		2		○			1						
		企業経営とファイナンス	3④		2		○			1						
		観光交通	3①		2		○			1						
		エリアマネジメント	3③		2		○				1					
		エリア産業	3②		2		○			1						
		エリアガバナンス	3④		2		○			1						
		グローバルマネジメント	3①		2		○				1					
		ビジネスイングリッシュ	3③		2		○			1						
		現代ビジネス1	3①～②		2		○				1					
		現代ビジネス2	3③～④		2		○				1					
		小計（31科目）	—	0	62	0		—		4	6	1	0	0	兼1	—
	応用科目群	応用経営学A	3･4②		2		○				1					
		応用経営学B	3･4②		2		○				1					
		応用経営学C	3･4④		2		○			1						
		応用経営学D	3･4④		2		○			1						
		小計（4科目）	—	0	8	0		—		1	1	0	0	0	兼0	—
	最先端研究	ゼミナール1	3①～②	2				○		5	6	1				
		ゼミナール2	3③～④	2				○		5	6	1				
		経営研究	3③～④		2			○		4	6	1				
		ゼミナール3	4①～②	2				○		4	6	1				
		ゼミナール4	4③～④	2				○		4	6	1				
		卒業研究	4①～④		4			○		4	6	1				
		小計（6科目）	—	8	6	0		—		4	6	1	0	0	0	—
小計（212科目）			—	44	333	0		—		8	6	1	0	0	兼254	—

学位又は称号	学士（経営学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修22単位を含めて26単位。学科科目は、必修22単位を含めて72単位。自由選択科目は、26単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

武蔵野キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○			1					兼1	
		共生社会	1②		2		○				1				兼6	
		小計（2科目）	—	4	2	0		—		1	1	0	0	0	兼7	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼6	
		人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1③～④	1			○								兼3	
		小計（2科目）	—	1	1	0		—		0	0	0	0	0	兼9	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1①	1				○							兼1	
		コンピュータ基礎2	1④		1			○							兼1	
		小計（2科目）	—	1	1	0		—		0	0	0	0	0	兼2	—
	外国語	英語1A	1①～②	1				○							兼8	
		英語1B	1①～②	1				○							兼10	
		英語1C	1③～④	1				○							兼8	
		英語1D	1③～④	1				○							兼10	
		中国語1A	1①～②		1			○							兼7	
		中国語1B	1①～②		1			○							兼5	
		中国語1C	1③～④		1			○							兼7	
		中国語1D	1③～④		1			○							兼5	
		フランス語1A	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1B	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1C	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語1D	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語1A	1①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語1B	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語1C	1③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語1D	1③～④		1			○							兼2	
		スペイン語1A	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1B	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1C	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語1D	1③～④		1			○							兼3	
		韓国語1A	1①～②		1			○							兼5	
		韓国語1B	1①～②		1			○							兼4	
		韓国語1C	1③～④		1			○							兼5	
		韓国語1D	1③～④		1			○							兼4	
		小計（24科目）	—	4	20	0		—		0	0	0	0	0	兼44	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1･2②		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1･2②		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1･2･3･4②		1		○				1				兼3	
		International Lectures 2	1･2･3･4②		1		○				1				兼3	
		英語資格・検定試験対策A	1②･③		1			○							兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1①･②･③		1			○							兼2	
		小計（6科目）	—	0	6	0		—		0	1	0	0	0	兼6	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1④	1				○							兼7	
		小計（1科目）	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	兼7	—
	基礎セルフディベロップメント科目	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○				1				兼73	
		小計（1科目）	—	6	0	0		—		0	1	0	0	0	兼73	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○			2	3				兼47	
		フィールド・スタディーズ1	1①～④		1			○		1						
		フィールド・スタディーズ2	1①～④		2			○		1						
		フィールド・スタディーズ3	1①～④		3			○		1						
		フィールド・スタディーズ4	1①～④		4			○		1	1				兼18	
		海外フィールド・スタディーズ1	1①～④		2			○		1						
		海外フィールド・スタディーズ2	1①～④		3			○		1						
		海外フィールド・スタディーズ3	1①～④		4			○		1	1				兼6	
		海外フィールド・スタディーズ4	1①～④		5			○		1						
		海外フィールド・スタディーズ5	1①～④		6			○		1						
		小計（10科目）	—	1	30	0		—		2	4	0	0	0	兼46	—
	寄付講座科目	寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
		小計（1科目）	—	1	2	0		—		0	0	0	0	0	兼13	—

武蔵野キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	基礎科目群	経営学入門	1①	2			○			4	6	1				
		経営学基礎	1②	2			○			4	6	1				
		経営学への招待A	1①	2			○			4	6	1				
		経営学への招待B	1③～④	2			○			4	6	1				
		経営フィールドワーク入門	1①～④	2			○			4	6	1				
		グループコミュニケーション1	1③～④	2			○			4	6	1				
		ICTと研究調査	1③～④		2		○								兼1	
		会計学入門	1④		2		○								兼1	
		経済学入門	1②		2		○								兼1	
		小計（9科目）	—	12	6	0	—			4	6	1	0	0	兼3	—
小計（58科目）			—	30	66	0	—			7	6	1	0	0	兼195	—

学位又は称号	学士（経営学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修22単位を含めて26単位。学科科目は、必修22単位を含めて72単位。自由選択科目は、26単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	しあわせを考える	2①～②		2		○				1				兼1	
		小計（1科目）	—	0	2	0	—			0	1	0	0	0	兼1	—
	健康体育科目	健康体育2	2①～④		1			○							兼2	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		小計（2科目）	—	0	3	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—
	情報科目	情報分析力1	2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	2①・③		1			○							兼3	
		情報表現力2	2③・④		1			○							兼3	
		小計（4科目）	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼5	—
	外国語	英語2A	2①～②	1				○							兼6	
		英語2B	2①～②	1				○							兼6	
		英語2C	2③～④	1				○							兼5	
		英語2D	2③～④	1				○							兼5	
		英語3A	3①～②		1			○							兼8	
		英語3B	3③～④		1			○							兼7	
		中国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		中国語2B	2③～④		1			○							兼1	
		中国語2C	2③～④		1			○							兼2	
		中国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		中国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		中国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語2A	2①～②		1			○							兼2	
		フランス語2B	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語2C	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語2D	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語3A	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語3B	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2A	2①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語2B	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2C	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2D	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語3A	3①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語3B	3③～④		1			○							兼2	
		スペイン語2A	2①～②		1			○							兼1	
		スペイン語2B	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語2C	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語2D	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語3A	3①～②		1			○							兼2	
		スペイン語3B	3③～④		1			○							兼2	
		韓国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語2B	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語2C	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語2D	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		韓国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		小計（36科目）	—	4	32	0	—			0	0	0	0	0	兼34	—
	外国語応用	International Lectures 1	1・2・3・4②		1		○				1				兼3	
		International Lectures 2	1・2・3・4②		1		○				1				兼3	
		小計（2科目）	—	0	2	0	—			0	1	0	0	0	兼4	—
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2③・④		2		○								兼6	
		数学的ものの考え方	2②・④		2		○								兼2	
		社会現象を分析する	2③		2		○								兼3	
		環境学への展望	2②		2		○								兼1	
		人間の心理を探る	2①・③		2		○								兼2	
		生命科学と人間	2④		2		○								兼3	
		市民の社会貢献	2①・④		2		○								兼2	
		市民生活と権利を考える	2③・④		2		○								兼4	
		現代メディアの探求	2①・③		2		○								兼1	
		社会情報と生活	2②・③・④		2		○								兼2	
		日本の歴史	2①・④		2		○								兼2	
		外国の歴史	2①・②		2		○								兼2	
		哲学への探索	2②・③		2		○								兼2	

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	発展セルフディベロップメント（セルフディベロップメント科目）	文化人類学への誘い	2①		2		○								兼2	
		文学を読み解く楽しみ	2④		2		○								兼2	
		ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
		プレゼンテーション	2②		2		○								兼2	
		小計（18科目）	—	0	36	0	—			0	0	0	0	0	兼39	—
	インターンシップ科目	インターンシップ（事前研究）	2②		1		○								兼1	
		インターンシップ1	2②・③		1			○		1						
		インターンシップ2	2②・③		2			○		1						
		インターンシップ3	2①～④		4			○		1						
		インターンシップ4	2①～④		6			○		1						
		海外インターンシップ1	2②・③		4			○							兼1	
		海外インターンシップ2	2②・③		6			○							兼1	
		海外インターンシップ3	2②・③		8			○							兼1	
		小計（8科目）	—	0	32	0	—			1	0	0	0	0	兼2	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目	サブ・メジャー（ゼミナール）1	2①～②		2		○			1	1				兼4	
		サブ・メジャー（ゼミナール）2	2①～④		4		○			1					兼22	
		サブ・メジャー（総合研究）1	3①～④		2		○								兼1	
		サブ・メジャー（総合研究）2	3①～④		4		○								兼10	
		小計（4科目）	—	0	12	0	—			1	1	0	0	0	兼24	—
	寄付講座科目	資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
		証券ビジネス論	2③～④		2		○			1						
		経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
		金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○			1						
		未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼2	
		小計（5科目）	—	0	10	0	—			1	0	0	0	0	兼3	—
学科科目	基幹科目群	経営研究入門A	2③	1			○			4	1					
		経営研究入門B	2④	1			○			4	1					
		経営戦略1	2①		2		○				1					
		経営戦略2	2④		2		○				1					
		経営戦略分析	2①		2		○				5	1				
		イノベーションマネジメント	2④		2		○				1					
		マーケティング1	2①		2		○			1						
		マーケティング2	2③		2		○			1						
		流通経済	2④		2		○				1					
		組織行動	2③		2		○				1					
		経営組織	2②		2		○				1					
		セルフマネジメント	2①		2		○			1						
		経営のための会計入門	2①		2		○			1						
		財務会計1	2②		2		○			1						
		財務会計2	2③		2		○			1						
		中小企業マネジメント	2②		2		○				1					
		コーポレート・ガバナンス論1	2④		2		○								兼1	
		企業倫理	3④		2		○								兼1	
		企業と社会	2①		2		○								兼1	
		経営史	2③		2		○					1				
		質的研究調査	2④		2		○				1					
		量的研究調査	2③		2		○				1					
		アート＆テクノロジーA	2③		2		○				1	1				
		アート＆テクノロジーB	3③		2		○				1	1				
		グループコミュニケーション2A	2①		2		○				1	1				
		グループコミュニケーション2B	3①		2		○				1	1				
		ワールドビジネス	2②		2		○			1						
		第一次産業論	2・3・4②		1		○				1					
		第二次産業論A	2・3・4③		1		○				1					
		第二次産業論B	2・3・4③		1		○				1					
		第三次産業論	2・3・4①		1		○				1					
		観光産業論	2・3・4③		1		○				1					
		ICT産業論	2・3・4④		1		○				1					
		コンテンツ産業論	2・3・4②・③		1		○				1					
		バイオ産業論	2・3・4②		1		○				1					
		小計（35科目）	—	2	58	0	—			4	6	1	0	0	兼1	—

有明キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	展開科目群	経営フィールドワークA	2･3･4①～④		2		○				1					
		経営フィールドワークB	2･3･4①～④		2		○					1				
		発展・経営戦略1	3③		2		○				1					
		発展・経営戦略2	3④		2		○					1				
		発展・イノベーションマネジメント	3④		2		○				1					
		発展・マーケティング1	3③		2		○			1						
		発展・マーケティング2	3④		2		○			1						
		発展・流通経済	3①		2		○				1					
		発展・組織行動	3①		2		○				1					
		発展・中小企業マネジメント	3①		2		○				1					
		発展・量的研究調査	3①		2		○			1						
		ビジネスデザイン	3③		2		○			1						
		人材マネジメント	3③		2		○			1						
		組織コミュニケーション	3④		2		○				1					
		コンフリクトマネジメント	3④		2		○				1					
		経営者と社会	3①		2		○					1				
		コーポレート・ガバナンス論2	3④		2		○								兼1	
		CSR論	3②		2		○								兼1	
		経営学と未来	4③～④		2		○			1						
		フィナンシャル・プランニング論1	2②		2		○			1						
		フィナンシャル・プランニング論2	2③		2		○			1						
		経営管理と会計	3③		2		○			1						
		企業経営とファイナンス	3④		2		○			1						
		観光交通	3①		2		○			1						
		エリアマネジメント	3③		2		○				1					
		エリア産業	3②		2		○			1						
		エリアガバナンス	3④		2		○			1						
		グローバルマネジメント	3①		2		○				1					
		ビジネスイングリッシュ	3③		2		○			1						
		現代ビジネス1	3①～②		2		○				1					
		現代ビジネス2	3③～④		2		○				1					
		小計（31科目）	—	0	62	0	—			4	6	1	0	0	兼1	—
	応用科目群	応用経営学A	3･4②		2		○				1					
		応用経営学B	3･4②		2		○				1					
		応用経営学C	3･4④		2		○			1						
		応用経営学D	3･4④		2		○			1						
		小計（4科目）	—	0	8	0	—			1	1	0	0	0	兼0	—
	最先端研究	ゼミナール1	3①～②	2				○		5	6	1				
		ゼミナール2	3③～④	2				○		5	6	1				
		経営研究	3③～④		2			○		4	6	1				
		ゼミナール3	4①～②	2				○		4	6	1				
		ゼミナール4	4③～④	2				○		4	6	1				
		卒業研究	4①～④		4			○		4	6	1				
		小計（6科目）	—	8	6	0	—			5	6	1	0	0	兼0	—
小計（202科目）			—	14	267	0	—			7	6	1	0	0	兼106	—

学位又は称号	学士（経営学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修22単位を含めて26単位。学科科目は、必修22単位を含めて72単位。自由選択科目は、26単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

別記様式第２号（その２の１）

（用紙日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（人間科学部人間科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○								兼2	
		共生社会	1②		2		○			1					兼6	
		しあわせを考える	2①～②		2		○			1					兼9	
		小計(3科目)	—	4	4	0		—		1	0	0	0	0	兼15	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
		健康体育2	2①～④		1			○							兼1	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○			1						
		人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1③～④	1			○								兼3	
		小計(4科目)	—	1	4	0		—		1	0	0	0	0	兼17	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1①	1				○							兼3	
		コンピュータ基礎2	1④		1			○							兼6	
		情報分析力1	2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	2①･③		1			○							兼2	
		情報表現力2	2③･④		1			○							兼2	
		小計(6科目)	—	1	5	0		—		0	0	0	0	0	兼8	—
	外国語	英語1A	1①～②		1			○							兼7	
		英語1B	1①～②		1			○							兼9	
		英語1C	1③～④		1			○							兼8	
		英語1D	1③～④		1			○							兼9	
		英語2A	2①～②		1			○							兼6	
		英語2B	2①～②		1			○							兼4	
		英語2C	2③～④		1			○							兼6	
		英語2D	2③～④		1			○							兼4	
		英語3A	3①～②		1			○							兼9	
		英語3B	3③～④		1			○							兼9	
		中国語1A	1①～②		1			○							兼7	
		中国語1B	1①～②		1			○							兼5	
		中国語1C	1③～④		1			○							兼7	
		中国語1D	1③～④		1			○							兼5	
		中国語2A	2①～②		1			○							兼3	
		中国語2B	2③～④		1			○							兼3	
		中国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		中国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		中国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		中国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語1A	1①～②		1			○							兼3	
		フランス語1B	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1C	1③～④		1			○							兼3	
		フランス語1D	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語2A	2①～②		1			○							兼3	
		フランス語2B	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語2C	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語2D	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語3A	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語3B	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語1A	1①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語1B	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語1C	1③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語1D	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2A	2①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語2B	2③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語2C	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語2D	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語3A	3①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語3B	3③～④		1			○							兼2	
		スペイン語1A	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1B	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1C	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語1D	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語2A	2①～②		1			○							兼3	
		スペイン語2B	2③～④		1			○							兼3	
		スペイン語2C	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語2D	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語3A	3①～②		1			○							兼2	
		スペイン語3B	3③～④		1			○							兼2	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（人間科学部人間科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	外国語	韓国語1A	1①～②		1			○							兼6	
		韓国語1B	1①～②		1			○							兼4	
		韓国語1C	1③～④		1			○							兼6	
		韓国語1D	1③～④		1			○							兼4	
		韓国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語2B	2③～④		1			○							兼3	
		韓国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		韓国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		小計(60科目)	―	0	60	0		―		0	0	0	0	0	兼65	―
	外国語応用	EnglishforStudyingAbroad1	1･2②		1			○							兼1	
		EnglishforStudyingAbroad2	1･2②		1			○							兼1	
		InternationalLectures1	1･2･3･4②		1		○								兼3	
		InternationalLectures2	1･2･3･4②		1		○								兼3	
		英語資格･検定試験対策A	1②･③		1			○							兼2	
		英語資格･検定試験対策B	1①･②･③		1			○							兼2	
		小計(6科目)	―	0	6	0		―		0	0	0	0	0	兼6	―
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1④	1				○							兼7	
		小計(1科目)	―	1	0	0		―		0	0	0	0	0	兼7	―
	セルフディベロップメント科目 基礎セルフディベロップメント	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○								兼75	
		小計(1科目)	―	6	0	0		―		0	0	0	0	0	兼75	―
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2③･④		2		○								兼3	
		数学的ものの考え方	2②･④		2		○								兼2	
		社会現象を分析する	2③		2		○								兼4	
		環境学への展望	2②		2		○								兼2	
		人間の心理を探る	2①･③		2		○								兼4	
		生命科学と人間	2④		2		○								兼3	
		市民の社会貢献	2①･④		2		○								兼3	
		市民生活と権利を考える	2③･④		2		○								兼3	
		現代メディアの探求	2①･③		2		○								兼4	
		社会情報と生活	2②･③･④		2		○								兼3	
		日本の歴史	2①･④		2		○								兼3	
		外国の歴史	2①･②		2		○								兼2	
		哲学への探索	2②･③		2		○								兼2	
		文化人類学への誘い	2①		2		○			1					兼1	
		文学を読み解く楽しみ	2④		2		○								兼2	
		ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
		プレゼンテーション	2②		2		○								兼1	
		小計(18科目)	―	0	36	0		―		1	0	0	0	0	兼42	―
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド･スタディーズ	1①～④	1			○			1		1			兼50	
		フィールド･スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド･スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド･スタディーズ3	1①～④		3			○							兼1	
		フィールド･スタディーズ4	1①～④		4			○				1			兼19	
		海外フィールド･スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
		海外フィールド･スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
		海外フィールド･スタディーズ3	1①～④		4			○							兼8	
		海外フィールド･スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
		海外フィールド･スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
		小計(10科目)	―	1	30	0		―		1	0	1	0	0	兼50	―
	インターンシップ科目	インターンシップ(事前研究)	2②		1		○			1					兼11	
		インターンシップ1	2②･③		1			○							兼1	
		インターンシップ2	2②･③		2			○							兼1	
		インターンシップ3	2①～④		4			○		1					兼16	
		インターンシップ4	2①～④		6			○							兼1	
		海外インターンシップ1	2②･③		4			○							兼1	
		海外インターンシップ2	2②･③		6			○							兼1	
		海外インターンシップ3	2②･③		8			○							兼1	
		小計(8科目)	―	0	32	0		―		2	0	0	0	0	兼27	―

別記様式第２号（その２の１）

（用紙日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（人間科学部人間科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	副専攻（サブ・メジャー）科目群	サブ・メジャー（ゼミナール）1	2①～②		2		○								兼7	
		サブ・メジャー（ゼミナール）2	2①～④		4		○								兼7	
		サブ・メジャー（総合研究）1	3①～④		2		○								兼1	
		サブ・メジャー（総合研究）2	3①～④		4		○								兼6	
		小計（4科目）	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼12	—
	寄付講座科目	寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
		資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
		証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
		経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
		金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○								兼1	
		未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼1	
		小計（6科目）	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼16	—
学科科目	学科基礎科目	人間学入門	1①	2			○			9	3	1	4		兼2	
		人間科学基礎	1③	2			○								兼1	
		人間論基礎	2③～④	2			○								兼1	
		基礎ゼミ1	2①	1				○		7	3	1	1		兼2	
		基礎ゼミ2	2③～④	1				○		7	3	1			兼2	
		心理学概論Ⅰ	1③	2			○								兼1	
		心理学概論Ⅱ	1④	2			○								兼1	
		心理学研究法	2②		2		○								兼1	
		心理学統計法	2③		2		○								兼1	
		メンタルヘルス論Ⅰ	1①	2			○								兼1	
		メンタルヘルス論Ⅱ	2③～④		2		○								兼1	
		対人コミュニケーション論	1③～④	2			○								兼1	
		小計（12科目）	—	16	6	0		—		9	3	1	4	0	兼7	—
	人間学基幹科目群	東洋思想論1	2②		2		○					1				
		東洋思想論2	2④		2		○					1				
		西洋思想論1	3①		2		○								兼1	
		西洋思想論2	3②		2		○								兼1	
		平和学	2②		2		○								兼1	
		宗教学概論	3③～④		2		○								兼1	
		仏教心理論	2①～②		2		○								兼1	
		仏教ホスピスビハーラ論	3④		2		○								兼1	
		死生学	3①		2		○								兼1	
		環境倫理学	3③		2		○								兼1	
		生命倫理学	3③		2		○								兼1	
		小計（11科目）	—	0	22	0		—		0	0	1	0	0	兼5	—
	臨床心理科目群	心理学実験1	2①～②		2				○		1				兼1	
		心理学実験2	2③～④		2				○		1				兼1	
		知覚・認知心理学	2④	2			○								兼1	
		感情・人格心理学	2④		2		○								兼1	
		学習・言語心理学	2③		2		○								兼1	
		臨床心理学概論	2②	2			○				1					
		発達心理学1	2①	2			○			1						
		発達心理学2	2④		2		○			1						
		人格心理学	2③～④		2		○								兼1	
		司法・犯罪心理学1	2②		2		○			1						
		司法・犯罪心理学2	2③		2		○			1						
		教育・学校心理学	2①～②		2		○								兼1	
		家族心理学	2④		2		○								兼1	
		心理的アセスメント	3③		2		○			1						
		心理療法論（心理学的支援法）	3②		2		○			1						
		臨床心理学特殊演習	3①～④		2			○		1	1					
		精神分析学	3③		2		○			1						
		英語文献研究	3①～②		2			○							兼1	
		カウンセリング演習	3①		1			○							兼1	
		心理演習	3②		1			○		1						
		公認心理師の職責	2①		2		○						1			
		心理実習1	3①～②		1				○						兼1	
		心理実習2	4③～④		1				○						兼1	
		小計（23科目）	—	6	36	0		—		4	3	0	0	0	兼7	—

別記様式第２号（その２の１）

（用紙日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（人間科学部人間科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	産業・社会科目群	社会学	1③	2			○			1						
		地域社会学	2②		2		○								兼1	
		家族社会学	2②		2		○			1						
		社会調査法	3②		2		○			1						
		社会調査実習	3③～④		2			○		1						
		社会・集団・家族心理学	2①	2			○								兼1	
		社会心理学	2②		2		○								兼1	
		対人行動論1	2③	2			○								兼1	
		対人行動論2	2④		2		○								兼1	
		産業・組織心理学	2④		2		○				1					
		集団心理学	2①～②		2		○								兼1	
		産業カウンセリング論	2②		2		○				1					
		コミュニティ心理学	2①		2		○								兼1	
		オフィス環境心理学	2③～④		2		○			1						
		文化心理学	3①～②		2		○			1						
		マスコミュニケーション論	3①		2		○								兼1	
		社会保障	3①～②		4		○								兼1	
		公的扶助	3③		2		○								兼1	
		地域福祉	2③		2		○								兼1	
		コミュニティワーク	3④		2		○								兼1	
		権利擁護と成年後見制度	3②		2		○								兼1	
		現代社会と福祉	2③～④		4		○								兼1	
		福祉行財政と福祉計画	3②・③		2		○								兼1	
		関係行政論	2③～④		2		○			1						
		小計（24科目）	—	6	46	0	—			2	1	0	0	0	兼11	—
	生命・健康科学科目群	生命科学1	1④	2			○								兼1	
		生命科学2	2②		2		○								兼1	
		生命科学実験演習1	3③		1				○						兼1	
		生命科学実験演習2	3④		1				○						兼1	
		生理人類学1	2②	2			○				1					
		生理人類学2	2④		2		○				1					
		生理実験演習1	3③～④		1				○						兼1	
		生理実験演習2	3③～④		1				○						兼1	
		脳と心1	2③		2		○								兼1	
		脳と心2	2④		2		○								兼1	
		統計推計学	3③		2		○								兼1	
		健康・医療心理学	3③～④	2			○				1					
		健康科学	2①		2		○				1					
		精神医学（精神疾患とその治療）	2①～②		4		○			1						
		医学知識（人体の構造と機能及び疾病）	1③～④		2		○								兼1	
		心身医学	3④		2		○								兼1	
		障害者・障害児心理学	2③～④		2		○			1						
		福祉心理学	2④		2		○			1						
		神経・生理心理学	2③		2		○								兼1	
		スポーツ心理学	2②		2		○								兼1	
		生体適応論	2④		2		○								兼1	
		小計（21科目）	—	6	34	0	—			1	2	0	0	0	兼8	—
	精神保健福祉科目群	精神科リハビリテーション学	3③～④		4		○								兼1	
		精神保健福祉論Ⅰ	2③		2		○			1						
		精神保健福祉論Ⅱ	2④		2		○						1			
		精神保健福祉論Ⅲ	3③		2		○						1			
		ソーシャルワーク論	1④		2		○			1						
		精神科ソーシャルワーク論	2④		2		○			1						
		精神保健福祉援助技術各論	3①～②		4		○			1						
		精神保健福祉援助演習Ⅰ	3①～②		1			○		1						
		精神保健福祉援助演習Ⅱ	3③～④		1			○		1						
		精神保健福祉援助演習Ⅲ	4③～④		1			○		1			1			
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3③～④		1			○		1			1			
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4①～④		2			○		1			1			
		精神保健福祉援助実習	4①～④		4		○			1			1			
		保健医療サービス	4①		2		○								兼1	
		障害者福祉サービス	4①～②		2		○						1			
		小計（15科目）	—	0	32	0	—			1	0	0	1	0	兼2	—
	人間論演習	人間論演習	3①～④	2				○		6	3	1				
		小計（1科目）	—	2	0	0	—			6	3	1	0	0	兼0	—

別記様式第２号（その２の１）

（用紙日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（人間科学部人間科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	総合科目	人間科学プロジェクト1	2①～②		2			○		1						
		人間科学プロジェクト2	3①～②		2			○		1						
		総合研究1	2①～④		2			○		1						
		総合研究2	2①～④		2			○		1						
		InternationalLectures(HumanSciences)1	2②		1		○			1	1					
		InternationalLectures(HumanSciences)2	2②		1		○			1						
		小計(6科目)	—	0	10	0	—			1	1	0	0	0	兼0	—
	卒業研究	卒業論文	4①～④	2				○		6	2	1			兼2	
		卒業論文演習1	4①～②	1				○		6	2	1			兼2	
		卒業論文演習2	4③～④	1				○		6	2	1			兼2	
		小計(3科目)	—	4	0	0	—			6	2	1	0	0	兼2	—
小計(243科目)			—	54	387	0	—			10	3	1	4	0	兼300	—

学位又は称号	学士(人間学)	学位又は学科の分野	文学関係、社会学・社会福祉学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修14単位を含めて26単位。学科科目は、必修40単位を含めて86単位。自由選択単位は、12単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 (履修科目の上限:1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位)	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 (週2時限)

武蔵野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（人間科学部人間科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○								兼2	
		共生社会	1②		2		○			1					兼6	
		小計(2科目)	—	4	2	0		—		1	0	0	0	0	兼8	—
	健康体育科目	健康体育1	1①～④		1			○							兼14	
		人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1③～④	1			○								兼3	
		小計(2科目)	—	1	1	0		—		0	0	0	0	0	兼17	—
	情報科目	コンピュータ基礎1	1①	1				○							兼3	
		コンピュータ基礎2	1④		1			○							兼6	
		小計(2科目)	—	1	1	0		—		0	0	0	0	0	兼8	—
	外国語	英語1A	1①～②		1			○							兼7	
		英語1B	1①～②		1			○							兼9	
		英語1C	1③～④		1			○							兼8	
		英語1D	1③～④		1			○							兼9	
		中国語1A	1①～②		1			○							兼7	
		中国語1B	1①～②		1			○							兼5	
		中国語1C	1③～④		1			○							兼7	
		中国語1D	1③～④		1			○							兼5	
		フランス語1A	1①～②		1			○							兼3	
		フランス語1B	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1C	1③～④		1			○							兼3	
		フランス語1D	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語1A	1①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語1B	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語1C	1③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語1D	1③～④		1			○							兼2	
		スペイン語1A	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1B	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語1C	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語1D	1③～④		1			○							兼3	
		韓国語1A	1①～②		1			○							兼6	
		韓国語1B	1①～②		1			○							兼4	
		韓国語1C	1③～④		1			○							兼6	
		韓国語1D	1③～④		1			○							兼4	
		小計(24科目)	—	0	24	0		—		0	0	0	0	0	兼45	—
	外国語応用	EnglishforStudyingAbroad1	1･2②		1			○							兼1	
		EnglishforStudyingAbroad2	1･2②		1			○							兼1	
		InternationalLectures1	1･2･3･4②		1		○								兼3	
		InternationalLectures2	1･2･3･4②		1		○								兼3	
		英語資格・検定試験対策A	1②･③		1			○							兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1①･②･③		1			○							兼2	
		小計(6科目)	—	0	6	0		—		0	0	0	0	0	兼6	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1④	1				○							兼7	
		小計(1科目)	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	兼7	—
	基礎セルフディベロップメント科目	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○								兼75	
		小計(1科目)	—	6	0	0		—		0	0	0	0	0	兼75	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○			1		1			兼50	
		フィールド・スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ2	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ3	1①～④		3			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ4	1①～④		4			○				1			兼19	
		海外フィールド・スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ3	1①～④		4			○							兼8	
		海外フィールド・スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	
		海外フィールド・スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	
		小計(10科目)	—	1	30	0		—		1	0	1	0	0	兼50	—
	寄付講座科目	寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
		小計(1科目)	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0	兼13	—

武蔵野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（人間科学部人間科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	学科基礎科目	人間学入門	1①	2			○			9	3	1	4		兼2	
		人間科学基礎	1③	2			○								兼1	
		心理学概論Ⅰ	1③	2			○								兼1	
		心理学概論Ⅱ	1④	2			○								兼1	
		メンタルヘルス論Ⅰ	1①	2			○								兼1	
		対人コミュニケーション論	1③～④	2			○								兼1	
		小計(6科目)	—	12	0	0	—			9	3	1	4		兼4	—
	産業・社会科学科目群	社会学	1③	2			○			1						
		小計(1科目)	—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	兼0	—
	生命・健康科学科目群	生命科学1	1④	2			○								兼1	
		医学知識(人体の構造と機能及び疾病)	1③～④		2		○								兼1	
		小計(2科目)	—	2	2	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—
	精神・健福祉保科目群	ソーシャルワーク論	1④		2		○			1						
		小計(1科目)	—	0	2	0	—			1	0	0	0	0	兼0	—
小計(59科目)			—	30	70	0	—			10	3	1	4	0	兼212	—

学位又は称号	学士(人間学)	学位又は学科の分野	文学関係、社会学・社会福祉学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修14単位を含めて26単位。学科科目は、必修40単位を含めて86単位。自由選択単位は、12単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 (履修科目の上限:1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位)	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 (週2時限)

有明キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（人間科学部人間科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	建学科目	しあわせを考える	2①～②		2		○			1					兼9	
		小計(1科目)	—	0	2	0		—		1	0	0	0	0	兼9	—
	健康体育科目	健康体育2	2①～④		1			○							兼1	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○			1						
		小計(2科目)	—	0	3	0		—		1	0	0	0	0	兼1	—
	情報科目	情報分析力1	2③		1			○							兼1	
		情報分析力2	2④		1			○							兼1	
		情報表現力1	2①・③		1			○							兼2	
		情報表現力2	2③・④		1			○							兼2	
		小計(4科目)	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼4	—
	外国語	英語2A	2①～②		1			○							兼6	
		英語2B	2①～②		1			○							兼4	
		英語2C	2③～④		1			○							兼6	
		英語2D	2③～④		1			○							兼4	
		英語3A	3①～②		1			○							兼9	
		英語3B	3③～④		1			○							兼9	
		中国語2A	2①～②		1			○							兼3	
		中国語2B	2③～④		1			○							兼3	
		中国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		中国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		中国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		中国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語2A	2①～②		1			○							兼3	
		フランス語2B	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語2C	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語2D	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語3A	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語3B	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2A	2①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語2B	2③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語2C	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語2D	2③～④		1			○							兼1	
		ドイツ語3A	3①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語3B	3③～④		1			○							兼2	
		スペイン語2A	2①～②		1			○							兼3	
		スペイン語2B	2③～④		1			○							兼3	
		スペイン語2C	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語2D	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語3A	3①～②		1			○							兼2	
		スペイン語3B	3③～④		1			○							兼2	
		韓国語2A	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語2B	2③～④		1			○							兼3	
		韓国語2C	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		韓国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		小計(36科目)	—	0	36	0		—		0	0	0	0	0	兼33	—
	外国語応用	EnglishforStudyingAbroad1	1・2②		1			○							兼1	
		EnglishforStudyingAbroad2	1・2②		1			○							兼1	
		InternationalLectures1	1・2・3・4②		1		○								兼3	
		InternationalLectures2	1・2・3・4②		1		○								兼3	
		小計(4科目)	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	兼5	—
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2③・④		2		○								兼3	
		数学的ものの考え方	2②・④		2		○								兼2	
		社会現象を分析する	2③		2		○								兼4	
		環境学への展望	2②		2		○								兼2	
		人間の心理を探る	2①・③		2		○								兼4	
		生命科学と人間	2④		2		○								兼3	
		市民の社会貢献	2①・④		2		○								兼3	
		市民生活と権利を考える	2③・④		2		○								兼3	
		現代メディアの探求	2①・③		2		○								兼4	
		社会情報と生活	2②・③・④		2		○								兼3	

有明キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（人間科学部人間科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通科目	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	日本の歴史	2①･④		2		○								兼3	
		外国の歴史	2①･②		2		○								兼2	
		哲学への探索	2②･③		2		○								兼2	
		文化人類学への誘い	2①		2		○			1					兼1	
		文学を読み解く楽しみ	2④		2		○								兼2	
		ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
		プレゼンテーション	2②		2		○								兼1	
		小計（18科目）	—	0	36	0		—		1	0	0	0	0	兼42	—
	インターンシップ科目	インターンシップ（事前研究）	2②		1		○			1					兼11	
		インターンシップ1	2②･③		1			○							兼1	
		インターンシップ2	2②･③		2			○							兼1	
		インターンシップ3	2①～④		4			○		1					兼16	
		インターンシップ4	2①～④		6			○							兼1	
		海外インターンシップ1	2②･③		4			○							兼1	
		海外インターンシップ2	2②･③		6			○							兼1	
		海外インターンシップ3	2②･③		8			○							兼1	
		小計（8科目）	—	0	32	0		—		0	0	0	0	0	兼27	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目群	サブ・メジャー（ゼミナール）1	2①～②		2		○								兼7	
		サブ・メジャー（ゼミナール）2	2①～④		4		○								兼7	
		サブ・メジャー（総合研究）1	3①～④		2		○								兼1	
		サブ・メジャー（総合研究）2	3①～④		4		○								兼6	
		小計（4科目）	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼13	—
	寄付講座科目	寄付講座1	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	
		資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
		証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
		経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
		金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○								兼1	
		未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼1	
		小計（6科目）	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	兼16	—
学科科目	学科基礎科目	人間論基礎	2③～④	2			○								兼1	
		基礎ゼミ1	2①	1				○		7	3	1	1		兼2	
		基礎ゼミ2	2③～④	1				○		7	3	1			兼2	
		心理学研究法	2②		2		○								兼1	
		心理学統計法	2③		2		○								兼1	
		メンタルヘルス論Ⅱ	2③～④		2		○								兼1	
		小計（6科目）	—	4	6	0		—		7	3	1	1	0	兼5	—
	人間学基幹科目群	東洋思想論1	2②		2		○					1				
		東洋思想論2	2④		2		○					1				
		西洋思想論1	3①		2		○								兼1	
		西洋思想論2	3②		2		○								兼1	
		平和学	2②		2		○								兼1	
		宗教学概論	3③～④		2		○								兼1	
		仏教心理論	2①～②		2		○								兼1	
		仏教ホスピスビハーラ論	3④		2		○								兼1	
		死生学	3①		2		○								兼1	
		環境倫理学	3③		2		○								兼1	
		生命倫理学	3③		2		○								兼1	
		小計（11科目）	—	0	22	0		—		0	0	1	0	0	兼6	—
	臨床心理科目群	心理学実験1	2①～②		2				○		1				兼1	
		心理学実験2	2③～④		2				○		1				兼1	
		知覚･認知心理学	2④	2			○								兼1	
		感情･人格心理学	2④		2		○								兼1	
		学習･言語心理学	2③		2		○								兼1	
		臨床心理学概論	2②	2			○				1					
		発達心理学1	2①	2			○			1						
		発達心理学2	2④		2		○			1						
		人格心理学	2③～④		2		○								兼1	
		司法･犯罪心理学1	2②		2		○			1						
		司法･犯罪心理学2	2③		2		○			1						
		教育･学校心理学	2①～②		2		○								兼1	

有明キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（人間科学部人間科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	臨床心理科目群	家族心理学	2④		2		○								兼1	
		心理的アセスメント	3③		2		○			1						
		心理療法論（心理学的支援法）	3②		2		○			1						
		臨床心理学特殊演習	3①～④		2			○		1	1					
		精神分析学	3③		2		○			1						
		英語文献研究	3①～②		2			○							兼1	
		カウンセリング演習	3①		1			○							兼1	
		心理演習	3②		1			○		1						
		公認心理師の職責	2①		2		○						1			
		心理実習1	3①～②		1				○						兼1	
		心理実習2	4③～④		1				○						兼1	
		小計（23科目）	—	6	36	0		—		4	3	0	1	0	兼8	—
	産業・社会科目群	地域社会学	2②		2		○								兼1	
		家族社会学	2②		2		○			1						
		社会調査法	3②		2		○			1						
		社会調査実習	3③～④		2			○		1						
		社会・集団・家族心理学	2①	2			○								兼1	
		社会心理学	2②		2		○								兼1	
		対人行動論1	2③	2			○								兼1	
		対人行動論2	2④		2		○								兼1	
		産業・組織心理学	2④		2		○				1					
		集団心理学	2①～②		2		○								兼1	
		産業カウンセリング論	2②		2		○				1					
		コミュニティ心理学	2①		2		○								兼1	
		オフィス環境心理学	2③～④		2		○			1						
		文化心理学	3①～②		2		○			1						
		マスコミュニケーション論	3①		2		○								兼1	
		社会保障	3①～②		4		○								兼1	
		公的扶助	3③		2		○								兼1	
		地域福祉	2③		2		○								兼1	
		コミュニティワーク	3④		2		○								兼1	
		権利擁護と成年後見制度	3②		2		○								兼1	
		現代社会と福祉	2③～④		4		○								兼1	
		福祉行財政と福祉計画	3②・③		2		○								兼1	
		関係行政論	2③～④		2		○			1						
		小計（23科目）	—	4	46	0		—		2	1	0	0	0	兼11	—
	生命・健康科学科目群	生命科学2	2②		2		○								兼1	
		生命科学実験演習1	3③		1				○						兼1	
		生命科学実験演習2	3④		1				○						兼1	
		生理人類学1	2②	2			○				1					
		生理人類学2	2④		2		○				1					
		生理実験演習1	3③～④		1				○						兼1	
		生理実験演習2	3③～④		1				○						兼1	
		脳と心1	2③		2		○								兼1	
		脳と心2	2④		2		○								兼1	
		統計推計学	3③		2		○								兼1	
		健康・医療心理学	3③～④	2			○				1					
		健康科学	2①		2		○				1					
		精神医学（精神疾患とその治療）	2①～②		4		○			1						
		心身医学	3④		2		○								兼1	
		障害者・障害児心理学	2③～④		2		○			1						
		福祉心理学	2④		2		○			1						
		神経・生理心理学	2③		2		○								兼1	
		スポーツ心理学	2②		2		○								兼1	
		生体適応論	2④		2		○								兼1	
		小計（19科目）	—	4	32	0		—		2	2	0	0	0	兼8	—

有明キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（人間科学部人間科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
学科科目	精神保健福祉科目群	精神科リハビリテーション学	3③～④		4		○								兼1	
		精神保健福祉論Ⅰ	2③		2		○			1						
		精神保健福祉論Ⅱ	2④		2		○						1			
		精神保健福祉論Ⅲ	3③		2		○						1			
		精神科ソーシャルワーク論	2④		2		○			1						
		精神保健福祉援助技術各論	3①～②		4		○			1						
		精神保健福祉援助演習Ⅰ	3①～②		1			○		1						
		精神保健福祉援助演習Ⅱ	3③～④		1			○		1						
		精神保健福祉援助演習Ⅲ	4③～④		1			○		1			1			
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3③～④		1			○		1			1			
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4①～④		2			○		1			1			
		精神保健福祉援助実習	4①～④		4		○			1			1			
		保健医療サービス	4①		2		○								兼1	
		障害者福祉サービス	4①～②		2		○						1			
		小計（14科目）	—	0	30	0	—			1	0	0	1	0	兼2	—
	人間論演習	人間論演習	3①～④	2				○		6	3	1				
		小計（1科目）	—	2	0	0	—			6	3	1	0	0	兼1	—
	総合科目	人間科学プロジェクト1	2①～②		2			○		1						
		人間科学プロジェクト2	3①～②		2			○		1						
		総合研究1	2①～④		2			○		1						
		総合研究2	2①～④		2			○		1						
		InternationalLectures(HumanSciences)1	2②		1		○			1	1					
		InternationalLectures(HumanSciences)2	2②		1		○			1						
		小計（6科目）	—	0	10	0	—			2	1	0	0	0	兼0	—
	卒業研究	卒業論文	4①～④	2				○		6	2	1			兼2	
		卒業論文演習1	4①～②	1				○		6	2	1			兼2	
		卒業論文演習2	4③～④	1				○		6	2	1			兼2	
		小計（3科目）	—	4	0	0	—			6	2	1	0	0	兼2	—
小計（189科目）			—	24	323	0	—			8	3	1	2	0	兼164	—

学位又は称号	学士（人間学）	学位又は学科の分野	文学関係、社会学・社会福祉学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修14単位を含めて26単位。学科科目は、必修40単位を含めて86単位。自由選択単位は、12単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目、日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の上限：1年次40単位、2年次40単位、3年次40単位、4年次40単位）	1学年の学期区分	4学期
	1学期の授業期間	8週
	1時限の授業時間	90分 （週2時限）

資料目次

資料１　　志願者数等の推移･･　ｐ．１

資料２　　留学生数（１年次春入学）の推移････････････････････････････････　ｐ．３

資料３　　キャンパス別教室稼働率（令和元年度）･･････････････････････････････　ｐ．４

資料１
本文３ページ参照

志願者数等の推移

□グローバル学部グローバルコミュニケーション学科
（H28年度グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科から改組）

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	165	2,268	13.7	1,221	7.4	2,141	395	136	0.82	55.0
平成30年度	165	1,580	9.6	934	5.7	1,492	317	139	0.84	55.0
平成29年度	165	1,304	7.9	824	5.0	1,203	305	155	0.93	55.0
平成28年度	165	2,085	12.6	1,226	7.4	1,974	351	181	1.09	52.5
平成27年度	220	1,431	6.5	928	4.2	1,294	479	239	1.08	47.5
平均	－	1,734	10.1	1,027	5.9	1,621	369	170	0.95	－

□グローバル学部日本語コミュニケーション学科
（H28年度グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科から改組）

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	80	819	10.2	572	7.2	744	122	76	0.95	47.5
平成30年度	80	820	10.3	413	5.2	747	127	77	0.96	47.5
平成29年度	80	472	5.9	375	4.7	424	161	94	1.17	47.5
平成28年度	80	433	5.4	347	4.3	397	138	89	1.11	52.5
平成27年度	220	1,431	6.5	928	4.2	1,294	479	239	1.08	47.5
平均	－	795	7.7	527	5.1	721	205	115	1.05	－

□グローバル学部グローバルビジネス学科
（H28年度グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科から改組）

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	55	971	17.7	637	11.6	901	157	53	0.96	47.5
平成30年度	55	685	12.5	460	8.4	635	126	54	0.98	47.5
平成29年度	55	402	7.3	285	5.2	376	119	65	1.18	47.5
平成28年度	55	744	13.5	495	9.0	699	100	46	0.83	52.5
平成27年度	220	1,431	6.5	928	4.2	1,294	479	239	1.08	47.5
平均	－	847	11.5	561	7.7	781	196	91	1.01	－

□法学部法律学科

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	190	3,190	16.8	1,689	8.9	2,981	498	155	0.81	47.5
平成30年度	200	2,004	10.0	1,254	6.3	1,814	494	185	0.92	47.5
平成29年度	150	1,111	7.4	711	4.7	1,020	428	159	1.06	47.5
平成28年度	150	1,260	8.4	819	5.5	1,119	388	161	1.07	50.0
平成27年度	150	1,166	7.8	721	4.8	1,051	417	159	1.06	50.0
平均	－	1,746	10.1	1,039	6.0	1,597	445	164	0.98	－

□法学部政治学科

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	100	2,132	21.3	1,348	13.5	1,924	393	109	1.09	45.0
平成30年度	120	1,175	9.8	836	7.0	1,054	343	110	0.91	45.0
平成29年度	100	792	7.9	540	5.4	704	265	105	1.05	45.0
平成28年度	100	804	8.0	553	5.5	704	283	101	1.01	47.5
平成27年度	100	1,022	10.2	636	6.4	917	330	100	1.00	47.5
平均	－	1,185	11.5	783	7.5	1,061	323	105	1.01	－

□経済学部経済学科

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	175	4,725	27.0	2,526	14.4	4,429	669	173	0.98	47.5
平成30年度	185	2,600	14.1	1,638	8.9	2,404	544	171	0.92	50.0
平成29年度	100	1,284	12.8	814	8.1	1,179	348	106	1.06	50.0
平成28年度	100	1,586	15.9	1,058	10.6	1,452	305	110	1.10	50.0
平成27年度	100	1,528	15.3	948	9.5	1,308	362	106	1.06	50.0
平均	－	2,345	17.0	1,397	10.3	2,154	446	133	1.02	－

□経営学部経営学科
（H30年度経済学部経営学科から改組）

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	220	4,925	22.4	2,645	12.0	4,667	722	213	0.96	47.5
平成30年度	230	2,571	11.2	1,630	7.1	2,373	565	208	0.90	50.0
平成29年度	200	1,867	9.3	1,157	5.8	1,747	499	212	1.06	50.0
平成28年度	200	1,832	9.2	1,201	6.0	1,687	477	229	1.14	50.0
平成27年度	200	1,842	9.2	1156	5.8	1,623	514	214	1.07	50.0
平均	－	2,607	12.3	1,558	7.3	2,419	555	215	1.03	－

□人間科学部人間科学科

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	215	3,485	16.2	1,783	8.3	3,265	582	212	0.98	50.0
平成30年度	235	1,953	8.3	1,140	4.9	1,810	490	224	0.95	50.0
平成29年度	198	1,712	8.6	999	5.0	1,566	479	197	0.99	47.5
平成28年度	180	1,692	9.4	981	5.5	1,571	488	212	1.17	50.0
平成27年度	180	1,833	10.2	1061	5.9	1,635	443	195	1.08	50.0
平均	－	2,135	10.5	1,193	5.9	1,969	496	208	1.03	－

※偏差値は平成31年1月23日河合塾『私立大2019年度入試難易予想一覧表』より、当該年度の全学部統一入試の偏差値

資料2
本文3ページ参照

留学生数（1年次春入学）の推移

令和元年度入学生

学部	学科	入学者数（人）	入学者のうち留学生数（人）	入学者のうち留学生の割合（%）
文学部	日本文学文化学科	204	6	2.9%
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	136	25	18.4%
	日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	76	36	47.4%
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	53	25	47.2%
法学部	法律学科	155	9	5.8%
	政治学科	109	2	1.8%
経済学部	経済学科	173	16	9.2%
経営学部	経営学科	213	12	5.6%
	会計ガバナンス学科	89	4	4.5%
データサイエンス学部	データサイエンス学科	71	5	7.0%
人間科学部	人間科学科	212	12	5.7%
	社会福祉学科	140	1	0.7%
工学部	環境システム学科	71	3	4.2%
	数理工学科	57	2	3.5%
	建築デザイン学科	70	1	1.4%
合計		1,829	159	8.7%

平成30年度入学生

学部	学科	入学者数（人）	入学者のうち留学生数（人）	入学者のうち留学生の割合（%）
文学部	日本文学文化学科	200	5	2.5%
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	139	16	11.5%
	日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	77	31	40.3%
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	54	34	63.0%
法学部	法律学科	185	6	3.2%
	政治学科	110	0	0.0%
経済学部	経済学科	171	10	5.8%
	経営学科	208	17	8.2%
	会計ガバナンス学科	90	1	1.1%
人間科学部	人間科学科	224	18	8.0%
	社会福祉学科	144	5	3.5%
工学部	環境システム学科	68	4	5.9%
	数理工学科	40	0	0.0%
	建築デザイン学科	69	3	4.3%
合計		1,779	150	8.4%

平成29年度入学生

学部	学科	入学者数（人）	入学者のうち留学生数（人）	入学者のうち留学生の割合（%）
文学部	日本文学文化学科	203	2	1.0%
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	155	22	14.2%
	日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	94	38	40.4%
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	65	33	50.8%
法学部	法律学科	159	0	0.0%
	政治学科	105	0	0.0%
経済学部	経済学科	106	0	0.0%
	経営学科	212	6	2.8%
人間科学部	人間科学科	197	7	3.6%
	社会福祉学科	143	0	0.0%
工学部	環境システム学科	69	1	1.4%
	数理工学科	65	0	0.0%
	建築デザイン学科	72	1	1.4%
合計		1,645	110	6.7%

※教育学部・薬学部・看護学部では留学生の受入なし

キャンパス別教室稼働率（令和元年度）

武蔵野キャンパス

1学期

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	281	528	53.2%
火	324	528	61.4%
水	250	528	47.3%
木	256	528	48.5%
金	251	528	47.5%
全体	1,362	2,640	51.6%

2学期

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	244	528	46.2%
火	252	528	47.7%
水	185	528	35.0%
木	254	528	48.1%
金	235	528	44.5%
全体	1,170	2,640	44.3%

3学期

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	245	528	46.4%
火	321	528	60.8%
水	256	528	48.5%
木	267	528	50.6%
金	253	528	47.9%
全体	1,342	2,640	50.8%

4学期

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	251	528	47.5%
火	314	528	59.5%
水	252	528	47.7%
木	257	528	48.7%
金	247	528	46.8%
全体	1,321	2,640	50.0%

学期平均

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	256	528	48.5%
火	303	528	57.4%
水	236	528	44.7%
木	259	528	49.1%
金	247	528	46.8%
全体	1,301	2,640	49.3%

有明キャンパス

1学期

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	169	414	40.8%
火	193	414	46.6%
水	171	414	41.3%
木	229	414	55.3%
金	215	414	51.9%
全体	977	2,070	47.2%

2学期

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	177	414	42.8%
火	199	414	48.1%
水	182	414	44.0%
木	228	414	55.1%
金	213	414	51.4%
全体	999	2,070	48.3%

3学期

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	212	414	51.2%
火	213	414	51.4%
水	197	414	47.6%
木	258	414	62.3%
金	233	414	56.3%
全体	1,113	2,070	53.8%

4学期

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	212	414	51.2%
火	209	414	50.5%
水	184	414	44.4%
木	258	414	62.3%
金	227	414	54.8%
全体	1,090	2,070	52.7%

学期平均

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	193	414	46.6%
火	204	414	49.3%
水	184	414	44.4%
木	244	414	58.9%
金	222	414	53.6%
全体	1,047	2,070	50.6%

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し・・ｐ.１

ア　定員充足の見込み・・ｐ.１

イ　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ.３

ⅰ. 地域的・分野的観点から見た留学生数の推移より・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ.３

ⅱ. 近隣競合校との比較検証より・・ｐ.４

ⅲ. 入試データより・・・ｐ.５

ⅳ. 留学生及び海外協定留学生のデータより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ.７

② 学生確保に向けた具体的な取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ.８

（２）人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ.９

ⅰ. グローバル学部・・ｐ.９

ⅱ. 法学部・・・ｐ.９

ⅲ. 経済学部・・・ｐ.９

ⅳ. 経営学部・・・ｐ.10

ⅴ. 人間科学部・・・ｐ.10

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

ⅰ. グローバル学部・・ｐ.10

ⅱ. 法学部・・・ｐ.12

ⅲ. 経済学部・・・ｐ.13

ⅳ. 経営学部・・・ｐ.14

ⅴ. 人間科学部・・・ｐ.15

ⅵ. 本学学生の就職状況・・ｐ.16

学生の確保の見通し等を記載した書類

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア　定員充足の見込み

本学では、平成２８年に「世界の幸せをカタチにする。」というブランドステートメントを掲げるとともに、令和６年に迎える創立１００周年に向け、「武蔵野大学国際化ビジョン１００」の実現に尽力するなど、世界を視座とした取り組みを行っている。

令和元年５月現在では、１０７校の大学と協定を結び、著名な海外の教員を招聘したり、多くの留学生を受け入れるなど教育研究環境の国際化に努め、グローバル化する社会の要請に応えるべく取り組んでいる。しかしながら、本学の編入学定員は海外協定校や留学生からの実際の要請に十分に応えられる設定ではなかった。ついては、留学生からのニーズが高く、かつ教育研究においても海外協定校とより互恵的な関係性を構築できる学科であるグローバル学部グローバルコミュニケーション学科に３人、グローバル学部日本語コミュニケーション学科に５人、グローバル学部グローバルビジネス学科に７人の３年次編入学定員を新たに設定する。それに伴い、法学部法律学科、法学部政治学科、経済学部経済学科、経営学部経営学科、人間科学部人間科学科の２年次編入学定員を２人ずつ減員することで大学全体の収容定員数及び特定地域内学部収容定員は変更せず、実際のニーズに合った適正な定員配置と管理を行う。

人数設定にあたっては、グローバル学部の３学科のうち、海外協定校や留学生からの要請が最も多かったグローバルビジネス学科の編入学定員を最も多い７人とし、日本語コミュニケーション学科及びグローバルビジネス学科については過年度の志願状況や協定校からの意見、教員の負担等を考慮した。なお、最も多く定員を設定するグローバルビジネス学科でも、教員１人あたりの学生数（ＳＴ比）が現在の人数（２０人）から１人程度の増加で収まる範囲での設定となっているため教育に支障はない。

また、本学では、建学の精神である仏教主義に基づき社会のニーズに合わせて各分野で活躍できる人材の育成を行ってきた。そのため、後述のとおり各分野で複数年度にわたり高い志願者倍率を維持しており、編入学試験においてもこの傾向は大きく相違しないと考える。

加えて後述のとおり、今回収容定員を変更する学科で養成する人材像や想定される進路は、現代社会における人材需要に合致しており、学生確保の見通しは十分に立つと言える。

【変更前（令和元年度）】

学部・学科	入学定員（人）	2年次編入学定員（人）	3年次編入学定員（人）	収容定員（人）
文学部				
日本文学文化学科	220	5	—	895
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部				
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	165	—	—	660
日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	80	—	—	320
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	55	—	—	220
法学部				
法律学科	190	5	—	775
政治学科	100	5	—	415
経済学部				
経済学科	175	5	—	715
経営学部				
経営学科	220	5	—	895
会計ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ学科	90	—	—	360
ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部				
ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学科	70	—	—	280
人間科学部				
人間科学科	215	4	—	872
社会福祉学科	157	4	—	640
工学部				
環境ｼｽﾃﾑ学科	70	—	—	280
数理工学科	60	—	—	240
建築ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	70	—	—	280
教育学部				
教育学科	120	—	—	480
こども発達学科	100	—	—	400
薬学部				
薬学科	160	—	—	960
看護学部				
看護学科	145	—	—	580

【変更後（令和２年度～）】

入学定員（人）	2年次編入学定員（人）	3年次編入学定員（人）	収容定員（人）
220	5	—	895
165	—	3	666
80	—	5	330
55	—	7	234
190	3	—	769
100	3	—	409
175	3	—	709
220	3	—	889
90	—	—	360
70	—	—	280
215	2	—	866
157	4	—	640
70	—	—	280
60	—	—	240
70	—	—	280
120	—	—	480
100	—	—	400
160	—	—	960
145	—	—	580

【変更前（令和元年度）】

キャンパス（所在地）	キャンパスごとの収容定員
有明キャンパス（江東区）	4,542
武蔵野キャンパス（西東京市）	5,725

【変更後（令和２年度～）】

キャンパス（所在地）	キャンパスごとの収容定員※
有明キャンパス（江東区）	4,542
武蔵野キャンパス（西東京市）	5,725

※令和２年実施予定の看護学部の定員移転（武蔵野キャンパス→有明キャンパス）については、別途届出（特定地域内学部収容定員の増加に係る届出）を提出予定のため本表には反映していない。

基本計画書に記載した平均入学定員超過率が０．６９であった通信教育部人間科学部人間科学科は、平成１４年度の開設以来、通信制による教育を行い、特に社会人の向学意欲に応えてきた。しかし、近年の通信教育全体の学生数の減少傾向の影響もあり（**表１**）、本学の入学定員も満たなくなった。このため適正な定員管理とさらなる入学者の確保を目標に、平成２６年度から秋入学制度を整えた。秋入学制度の整備、学生確保に向けた取組の強化に取組んできたが、定員充足には至らなかったため、平成２９年度に入学定員を３００人から２５０人、収容定員を２，７００人から２，４００人に減じ、入学定員超過率は改善傾向にある。令和元年度も同様に秋入学を実施し、学生確保に向けた取組を更に充実させることにより、入学定員超過率は改善される見込みである。

表１　通信教育を行う私立大学数及び学生数（平成 30 年度学校基本調査より抜粋）

年度	学校数（校）	学生数（人）
平成 26 年度	45	212,474
平成 27 年度	46	213,331
平成 28 年度	44	211,175
平成 29 年度	44	208,322
平成 30 年度	44	208,549

イ　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

ｉ. 地域的・分野的観点から見た留学生数の推移より

優秀な留学生の獲得は世界的な競争に発展しており、我が国でも「ポスト留学生３０万人計画」を見据えた留学生政策など、様々な検討がなされている。独立行政法人日本学生支援機構が実施した『平成３０年度外国人留学生在籍状況調査結果』によると、平成２６年の留学生総数が１８４，１５５人であったのに対し、平成３０年には

２９８，９８０人となっており、過去５年で１０万人以上増加していることがわかる（**資料１**）。内訳を見てみると、平成３０年の総数２９８，９８０人のうち、本学と同じ高等教育機関に在籍する学生は２０８，９０１人となっており、留学生の大半を占めている。このような背景と併せ、政策や各教育機関による戦略的な取り組みにより今後一層の留学生の増加が予想される。

より地域的な動向を確認するため、同調査の地方別・都道府県別留学生数の関東の項目を見ると、関東における留学生数は１６７，６８８人であり、全国の留学生数の５６．１％を占めることがわかる（**資料２**）。中でも本学が位置する東京は群を抜いて留学生数が多く、１１４，８３３人となっている。この理由としては、所在する大学の数の多さもさることながら、留学生にとって東京が交通の利便性や生活環境の観点から魅力的な立地であることがあげられる。オリンピック・パラリンピックの開催などによる東京の観光地化や交通網の発達、知名度向上も追い風となり、今後もこの傾向は継続することが想定され、本学への入学を志望する留学生の数も安定的に確保できると考えられる。

また、同調査の専攻分野別留学生数では、最も多くの留学生が専攻する分野は人文科学と社会科学であり、それぞれ１４０，２００人、７４，０３７人である（**資料２**）。構成比にすると人文科学は全体の４６．９％、社会科学は２４．８％となっていることから、留学生の大半が両分野のどちらかを学んでいることとなる。今回本学が収容定員を変更する８学科はすべて人文科学又は社会科学であり、かつ留学生にとって魅力的な語学や日本文化といった、分野的な観点からも十分なニーズがあることがわかる。

以上の地域的及び分野的な観点から見た留学生数の推移からも、学生確保の見通しは十分にあると言える。

ⅱ 近隣競合校との比較検証より

近隣の競合大学を設定し、志願状況を調べた。

近隣競合校は「偏差値」「キャンパスの場所」を踏まえ、以下の方法で抽出した。

まず、偏差値については、『私立大２０１９年度入試難易予想一覧表』（平成３１年１月２３日河合塾発表）において、グローバル学部グローバルコミュニケーション学科の偏差値は５５．０、グローバル学部日本語コミュニケーション学科は４７．５、グローバル学部グローバルビジネス学科は４７．５、法学部法律学科は４７．５、法学部政治学科は４５．０、経済学部経済学科は４７．５、経営学部経営学科は４７．５、人間科学部人間科学科は５０．０となっている。したがって、本学の近隣競合校としては、偏差値４５．０～５５．０程度とされている大学を抽出した。次に、キャンパスの場所について、本学は東京都西東京市に武蔵野キャンパス、東京都江東区に有明キャンパスを有している。今回収容定員を変更する８学科の学生は全員１年次に武蔵野キャンパスで学び、２年次以降有明キャンパスで学んでいる。どちらのキャンパスも新宿駅を起点とする沿線上にあり、新宿駅から１時間程度でキャンパスに通学できることから、本学と同様に新宿駅から１

時間程度で通学できるキャンパスで教育研究を行う大学を、近隣競合校候補として絞り込みを行った。そしてその中から、教育の特徴が類似する大学を「近隣競合校」として学科毎に抽出した。また、本学の目指すところとなる偏差値６０．０以上で、新宿から１時間程度で通学でき、教育の特徴が類似する大学を「偏差値上位校」として抽出した。なお、競合校はすべて編入学者の受け入れを実施している大学とした。

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科の近隣競合校のデータでは、志願者倍率が２．８～９．８倍、グローバル学部日本語コミュニケーション学科の近隣競合校のデータでは、志願者倍率が３．４～１５．８倍、グローバル学部グローバルビジネス学科の近隣競合校のデータでは、志願者倍率が３．４～１１．９倍、法学部法律学科の近隣競合校のデータでは、志願者倍率が８．９～１４．９倍、法学部政治学科の近隣競合校のデータでは、志願者倍率が７．５～１７．７倍、経済学部経済学科の近隣競合校のデータでは、４．２～１０．６倍、経営学部経営学科の近隣競合校のデータでは、５．４～１５．３倍、人間科学部人間科学科の近隣競合校のデータでは、４．１～１２．３倍というように、すべての学科の近隣競合校において安定的に志願者を獲得している（**資料３**）。

また、グローバル学部グローバルコミュニケーション学科の偏差値上位校のデータでは、志願者倍率が７．４～１０．８倍、グローバル学部日本語コミュニケーション学科の偏差値上位校のデータでは、志願者倍率が１０．１～１６．３倍、グローバル学部グローバルビジネス学科の偏差値上位校のデータでは、志願者倍率が１１．３～１３．３倍、法学部法律学科の偏差値上位校のデータでは、志願者倍率が１１．７～１６．３倍、法学部政治学科の偏差値上位校のデータでは、志願者倍率が１１．２～１８．６倍、経済学部経済学科の偏差値上位校のデータでは、志願者倍率が１１．１～１４．２倍、経営学部経営学科の偏差値上位校のデータでは、志願者倍率が９．３～３１．０倍、人間科学部人間科学科の偏差値上位校のデータでは、志願者倍率が９．４～１６．０倍というように、すべての学科の偏差値上位校において安定的に志願者を獲得している（**資料３**）。

以上のデータより、受験生及び近隣地域における各学科の教育研究分野のニーズは十分にあると言える。

ⅲ. 入試データより

次に、収容定員を変更する８学科の過去５年分の志願者状況から学生確保の見通しを説明する（**資料４**）。

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科への入学志願者数は、平成２７年度に１，４３１人、平成２８年度に２，０８５人、平成２９年度に１，３０４人、平成３０年度に１，５８０人、令和元年度に２，２６８人となっており、志願者倍率は常に６倍以上となっている（平成２７年度のみ改組前のグローバル・コミュニケーション学部のデータ）。実質倍率についても平成２７年度４．２倍、平成２８年度７．４倍、平成２９年度５．０倍、平成３０年度５．７倍、令和元年度７．４倍と常に５倍以上、平均５．９

倍となっている。

グローバル学部日本語コミュニケーション学科への入学志願者数は、平成２７年度に１，４３１人、平成２８年度に４３３人、平成２９年度に４７２人、平成３０年度に８２０人、令和元年度に８１９人となっており、志願者倍率は常に５倍以上となっている（平成２７年度のみ改組前のグローバル・コミュニケーション学部のデータ）。実質倍率についても平成２７年度４．２倍、平成２８年度４．３倍、平成２９年度４．７倍、平成３０年度５．２倍、令和元年度７．２倍と常に４倍以上、平均５．１倍となっている。

グローバル学部グローバルビジネス学科への入学志願者数は、平成２７年度に１，４３１人、平成２８年度に７４４人、平成２９年度に４０２人、平成３０年度に６８５人、令和元年度に９７１人となっており、志願者倍率は常に６倍以上となっている（平成２７年度のみ改組前のグローバル・コミュニケーション学部のデータ）。実質倍率についても平成２７年度４．２倍、平成２８年度９．０倍、平成２９年度５．２倍、平成３０年度８．４倍、令和元年度１１．６倍と常に４倍以上、平均７．７倍となっている。

法学部法律学科への入学志願者数は、平成２７年度に１，１６６人、平成２８年度に１，２６０人、平成２９年度に１，１１１人、平成３０年度に２，００４人、令和元年度に３，１９０人となっており、志願者倍率は常に７倍以上となっている。実質倍率についても平成２７年度４．８倍、平成２８年度５．５倍、平成２９年度４．７倍、平成３０年度６．３倍、令和元年度８．９倍と常に４倍以上、平均６．０倍となっている。

法学部政治学科への入学志願者数は、平成２７年度に１，０２２人、平成２８年度に８０４人、平成２９年度に７９２人、平成３０年度に１，１７５人、令和元年度に２，１３２人となっており、志願者倍率は常に７倍以上となっている。実質倍率についても平成２７年度６．４倍、平成２８年度５．５倍、平成２９年度５．４倍、平成３０年度７．０倍、令和元年度１３．５倍と常に５倍以上、平均７．５倍となっている。

経済学部経済学科への入学志願者数は、平成２７年度に１，５２８人、平成２８年度に１，５８６人、平成２９年度に１，２８４人、平成３０年度に２，６００人、令和元年度に４，７２５人となっており、志願者倍率は常に１２倍以上となっている。実質倍率についても平成２７年度９．５倍、平成２８年度１０．６倍、平成２９年度８．１倍、平成３０年度８．９倍、令和元年度１４．４倍と常に８倍以上、平均１０．３倍となっている。

経営学部経営学科への入学志願者数は、平成２７年度に１，８４２人、平成２８年度に１，８３２人、平成２９年度に１，８６７人、平成３０年度に２，５７１人、令和元年度に４，９２５人となっており、志願者倍率は常に９倍以上となっている。実質倍率についても平成２７年度５．８倍、平成２８年度６．０倍、平成２９年度５．８倍、平成３０年度７．１倍、令和元年度１２．０倍と常に５倍以上、平均７．３倍となっている。

人間科学部人間科学科への入学志願者数は、平成２７年度に１，８３３人、平成２８年度に１，６９２人、平成２９年度に１，７１２人、平成３０年度に１，９５３人、令和元年度に３，４８５人となっており、志願者倍率は常に８倍以上となっている。実質倍率に

ついても平成２７年度５．９倍、平成２８年度５．５倍、平成２９年度５．０倍、平成３０年度４．９倍、令和元年度８．３倍と常に４倍以上、平均５．９倍となっている。

以上の志願者状況のデータからも、当該８学科は今後も安定的に志願者を確保できる見込みがあると思われる。このことは編入学試験においても近い傾向になると考えられるため、今回の収容定員変更後も学生確保の見通しは十分にあると言える。

ⅳ. 留学生及び海外協定留学生のデータより

本学では、令和６年に迎える創立１００周年に向け、「武蔵野大学国際化ビジョン１００」の実現のためにグローバル化の推進を行っている。その取り組みのひとつとして、外国人留学生を対象とする日本語教育や研修の充実など、受け入れ環境を整備し、留学生受け入れの拡大に力を入れている。

過去３年に本学に入学した留学生の数は、平成２９年度１１０人、平成３０年度１５０人、令和元年度１５９人であり、年々増加している（**資料５**）。中でも留学生が最も多い学部はグローバル学部であり、平成２９年度は９３人、平成３０年度は８１人、令和元年度は８７人というように、留学生全体の大半を占めている。このことから、グローバル学部は留学生に対して高い訴求力を有しており、語学や日本のカルチャーに興味関心を持つ海外からの志願者が多いと言える。先に提示した入試データ（**資料４**）も含め、グローバル学部の人気の高さは編入学においても同じ傾向があると考えられる。

加えて本学では、海外協定校から毎年多くの協定留学生を受け入れている。過去３年では、平成２８年は４５人、平成２９年度は５９人、平成３０年度は７３人の協定留学生を受け入れており、今後も協定校の増加に伴い増える見込みである。協定留学生は半年又は１年の間本学で学ぶ留学生であり、受け入れ年次も２、３年次がほとんどとなっている（**資料５**）。協定留学生の多くは異文化や日本語を含む言語の学びに興味があるが、こうした傾向は今回編入学定員を新たに設定するグローバル学部の学びに合致しており、実際、協定留学生が履修する科目の多くはグローバル学部の科目である。よって、グローバル学部へ編入学定員を新たに設定することにより、協定留学生ではなく正課生としての編入学を選択する学生が出てくる可能性が高い。また、ダブルディグリーによる学位授与における明確な保証は、編入学希望者の増加に資するものであると考える。

なお、現在の海外協定校に対しダブルディグリーの実施の意思の確認を行う中でも、多くの大学から積極的な返答が来ている。特に、中国の大学で意思確認を行った１３大学のうち、９大学から積極的な回答があり、ダブルディグリーの実施に向けて準備を進めている。

以上のデータからも、今回の収容定員の変更後も学生の確保の見通しは十分立つと言える。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

当該収容定員変更の届出に係る学科の学生募集は、主に大学ホームページでの告知及び入試パンフレット等の配布、オープンキャンパスの実施並びに、各種受験情報誌やＷＥＢサイト、ＳＮＳサイトへ大学情報や入試情報を掲載することにより行う予定である。

入試パンフレットには、学部・学科の概要やカリキュラムをはじめ、取得できる資格や就職情報、担当教員、在学生・卒業生の情報等を掲載し、入学後から卒業までの具体的なイメージが湧くように工夫している。

資料請求者や年５回程度開催のオープンキャンパスへの参加者、志願者数は年々増加傾向にある（**資料６**）。特に大学全体の志願者数は平成２６年度に初めて２万人を超え、令和元年度は前年度の約１．６倍となり、４万人を超えている。今後も同様の方針で当該届出に係る学部学科の学生募集を行う予定である。

海外留学生の学生募集については、日本語と英語を併記した外国人留学生用パンフレットを制作し、国内外で配布している。国内の留学生向け説明会にも積極的に出展しており、昨年度は約２０回の参加実績であった。今年度はより多くの説明会に参加を予定している。国外でも現地校と日本語学校への訪問、留学生向け説明会への参加や、一般財団法人日中亜細亜教育医療文化交流機構が実施している日本大学連合学力試験にも参画することで、より効果的な広報と学生確保の取り組みを行っている。その他、公益財団法人アジア学生文化協会と株式会社ベネッセコーポレーションが共同運営をする海外留学生向けの大学情報サイト「Japan Study Support」に学部学科の情報や説明会情報を掲載するなど、海外留学生に向けた広報活動に努めている。

基本計画書に記載した平均入学定員超過率が０．６９であった通信教育部人間科学部人間科学科において、学生確保に向けた以下３点の取組を行っている。

１点目は入試制度及び定員設定の見直しである。平成２６年度から４月入学以外に９月入学制度を整えた。更に、平成２９年度には定員設定を変更し、入学定員を３００人から２５０人に、収容定員を２，７００人から２，４００人に減じた。

２点目は募集広報の見直しである。入学案内の見直しとホームページのリニューアルを毎年行っている。社会的ニーズに対して通信教育部で叶えられることを具体的に示しながら募集広報を行っている。平成２７年度には通信教育部のホームページをわかりやすく魅力のあるものへと刷新した。また、平成２９年度には大学全体のホームページを大幅リニューアルし、大学全体の発信力を強めることで通信教育部についても訴求力を高めた。

３点目は通信教育システムのリニューアルである。平成２９年度後期に通信教育の運営基盤である本学独自の通信教育システムをリニューアルした。それにより履修登録やレポート提出・添削、ＷＥＢ試験等の機能を充実させた。更に平成３０年度にはスマートフォンアプリ対応にすることにより学生の利便性を向上させた。

これらの取組を行っていくことで通信教育部人間科学部人間科学科の入学定員超

過率は改善される見込みである。

（２）人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

ⅰ. グローバル学部の教育研究上の目的

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、複数の言語を駆使し、多様な学生や多文化との関わりの中で、広い視野をもってグローバルな視点から問題発見・課題解決ができる人材の育成を目的とする。

＜グローバルコミュニケーション学科＞

英語、中国語、日本語のうち、母語以外の２言語を駆使し、言語文化を中心とする知識を有し、グローバルな環境で活躍することのできる人材を育成する。

＜日本語コミュニケーション学科＞

日本語の高度なコミュニケーション能力と課題解決能力を有し、国際社会に日本語と日本文化を発信するなど、グローバルに活躍できる人材を育成する。

＜グローバルビジネス学科＞

英語を含む複数の言語を駆使し、ビジネス社会でグローバルに活躍できる人材を育成する。

ⅱ. 法学部の教育研究上の目的

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、法律学又は政治学の専門的な知識を養い、普遍的なものの見方、考え方を身につけ、 共生の視点を持って課題発見・解決のできる人材の育成を目的とする。

＜法律学科＞

幸福な生活の実現に役立つ実用的な法律知識と考え方を身につけることによって、共生の視点を持って持続可能な社会の形成に貢献できる人材を育成する。

＜政治学科＞

自分を取り巻く社会環境を理解し、公共精神と共生の視点をもった市民としての能力・技能を身につけることによって、持続可能な社会の形成に貢献できる人材を育成する。

ⅲ. 経済学部の教育研究上の目的

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、経済学の専門的な知識を養い、普遍的・科学的なものの見方、考え方を身につけ、共生の視点を持って課題発見・解決のできる人材の育成を目的とする。

＜経済学科＞

国際化した社会の中で、高い倫理観と共生の視点を持ち、社会貢献と自己実現

を目指して、経済学の方法と知見によって普遍的・科学的なものの見方・考え方を修得することで、問題発見・解決ができ、国内外の企業や官公庁など幅広い分野での活躍ができる人材を育成する。

ⅳ. 経営学部の教育研究上の目的

仏教精神を根幹として、世界の幸せの実現に向け高い倫理観と共生の視点を育成するとともに、経営学及び会計学における専門知識と技能を修得し、多様で複雑化するビジネス分野及び非営利・公共分野等において、多様な諸問題を発見・解決できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。

＜経営学科＞

変転著しい国際社会の中で、世界の幸せの実現に向け、高い倫理観と共生の視点を持ち、経営学を中心とした社会科学の知識と技能を修得し、組織人として、あるいは個人で、ビジネス分野を中心とした領域及びその他の様々な領域において、多様な諸問題を発見・解決できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。

ⅴ. 人間科学部の教育研究上の目的

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、人間が直面する歴史的・社会的諸課題を、心理、生命、社会、福祉などの側面から科学的に理解し、実践的に解決できる人材の育成を目的とする。

＜人間科学科＞

人間の心理、生命、社会行動を科学的方法論に基づいて研究し、人間が直面する諸課題を人間尊重の立場にたって実践的に解決できる人材の育成を目的とする。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

ⅰ. グローバル学部

＜グローバルコミュニケーション学科、日本語コミュニケーション学科、グローバルビジネス学科＞

我が国では、近年の急激なグローバル化や、高度情報化社会における海外との通信・交通手段の発達等により、多様な人々や多文化との関わりが日常化しつつある。また、ビジネスのグローバル化に伴い、日本人海外派遣者数や、海外に関連する業務が格段に増加してきている。このような多言語・多文化の環境の中、異文化に対する理解をもち、多様性を受容しながら、問題発見・課題解決能力を発揮するためには、まず母語以外の複数の言語の高い運用能力を有していることが重要となる。さらに、多言語・多文化社会においてどの文化にも価値を見出し、文化相対主義の立場に立ちながら他者と共に課題を解決し

ていくには、外国語の運用能力のみならず、各国の文化的背景や歴史を理解することなどが不可欠となる。

日本企業のグローバル化も進み、アジア諸国をはじめ、海外における事業展開の活発化、現地法人や事務所の設立等の急激な増加のため、日系企業における外国人の雇用や、日本語を使って仕事ができる人材の需要が拡大している。そのため、日本で長期間学び、生活した経験をもち、日本の言語や文化、経済・経営、政治・社会、ビジネス等をよく理解したうえで、日本語と母語を駆使しながら、日本と母国をつなぐさまざまな仕事ができる「ブリッジ人材」の存在が重要になっているとともに、そういった人材を育てることのできる日本語教員の存在も重要となる。併せて、現在海外で非常に評価を受けているアニメ・マンガをはじめとするサブカルチャーや、ホスピタリティ等のクールジャパンを海外に発信できる人材の重要性も近年高まっている。

ビジネス環境においては、国際共通語としての英語能力をもつことが必要不可欠となっており、社内公用語を英語とする日本企業が現れるなど、今後日本企業においても、英語の使用機会の増加が予想される。さらに、言語運用能力だけでなく、英語で経営やビジネス（財務、戦略、リーダーシップなど）を学び、英語を使って実務ができる即戦力人材の需要はますます高まっている。

総務省では、第２期「教育振興基本計画」（平成２５年６月１４日閣議決定）において、豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神等を身に付けたグローバル人材等の養成・確保を図り、成長分野の産業活性化や新産業の創出などを実現するとの方針が示された。同計画では、グローバル人材の養成に向けて、①外国語教育の強化、②高校生・大学生等の留学生交流・国際交流の推進、③高校・大学等の国際化への支援、④国際的な高等教育の質保証の体制や基盤の強化に取り組むこととされている。その調査結果の報告書である『グローバル人材の確保状況等に関する企業の意識調査』においては、グローバル人材の新卒採用を行う企業による「大学に求める取組内容（複数回答）」として、「海外留学の促進」（４９．７％）、「異文化理解に関する授業の拡充」（４８．１％）、「ディベート等の対話型の授業の拡充」（４６．５％）、「英語授業の拡充」（４２．４％）、「外国人留学生・教員の受入れによる学内国際化」（３６．３％）となっている（**資料７**）。また、平成３０年６月１５日に閣議決定された第３期教育振興基本計画においても「グローバルに活躍する人材の育成」が掲げられ、引き続き外国人留学生数の増加と国内就職の推進が示されている。本学のグローバル学部グローバルコミュニケーション学科では海外留学を卒業要件としており、本調査で最も高い「海外留学の促進」を推進している。また、グローバルビジネス学科ではオールイングリッシュでの卒業を可能としており、学部全体で語学力に限らないグローバルな視座に基づく能力を養成している。

文化庁が公表している平成３０年３月２日文化審議会国語分科会『日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）』では、在留外国人の増加と在留理由の多様化など、

日本語教育を取り巻く環境の変化から、日本語教育の在り方について検討がなされている。その中で、日本語教育人材について、「日本語教育の必要性が高まるとともに、日本語教育機関の教育水準の向上及び専門性を有する日本語教育人材が求められている」と述べられている（**資料８**）。グローバル学部日本語コミュニケーション学科では、養成する人材として日本語教員を想定しており、「日本語教員養成科目群」を設けることで第二言語を修得し国と文化を跨いだ複眼的思考を有する日本語教員の養成に力を入れている。

以上の客観的データから、グローバル学部の人材の養成に関する目的は、今後変化していく時代に対応できる専門的な力を持って活躍できるものであるため、社会的な人材需要の動向を十分に踏まえたものであると言える。

ⅱ. 法学部

＜法律学科＞

法律学科では、相手の身になって物事を考え、所属する集団の構成員を幸福に導くルール創りができるリーダーの育成を目指している。

法務省が平成３０年９月１９日に発表した『平成３０年６月末現在における在留外国人数について』によると、平成３０年６月末における在留外国人数は２６３万７，２５１人となり、前年度末に比べ７万５，４０３人増加し過去最高となっている（**資料９**）。こうした背景から、在留外国人を対象とした法律相談も増え、各法律事務所や地方自治体等において実施されている。今後は法曹人口のみならず、各企業においても国際的な視点と法律の専門知識を有した人材の重要性が増すことが予想される。

平成２４年１１月３０日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　法学分野』には、社会の法化現象の進展に伴い「非法曹としての法律専門職」の必要性も比例して高まっていることを述べている（**資料１０**）。ここに言う「非法曹としての法律専門職」とは、パラリーガルとしての裁判所等における専門職員や司法書士、国家・地方公務員のほか、一般企業やその他の団体において生じる様々な法律問題の処理に携わる者等であり、その重要性が強調されている。

当該学科では、「国家公務員育成プログラム」による公務員育成や、企業エクスターンシップによる就業イメージの明確化により、法的素養を有して国や企業において活躍する人材を育成している。平成３０年度には法学研究科を開設したため、その相乗効果で学生への訴求力が高まるとともに、学部・学科においても優秀な学生の確保が可能となり、当該学科から社会に貢献する高度専門職業人を輩出できると考える。

これらの取組により、汎用的な能力と専門性を併せ持つ人材が輩出できると考え、大学の位置する東京に限らずどの地域においても武蔵野大学独自の人材需要を獲得できるものと考える。

以上のことから、法学部法律学科の人材の養成に関する目的は、今後変化していく時代においても対応可能な普遍的な力及び専門的な力を持って活躍できるものであるため、

社会的、地域的な人材需要の動向を十分に踏まえたものであると言える。

＜政治学科＞

政治学科では、政治学を学ぶことでこうした政治の重要性を理解し、公共の課題解決へ向けて行動できる人材を輩出する。

先に『平成３０年６月末現在における在留外国人数について』（**資料９**）を提示し、平成３０年６月末時点での在留外国人数が過去最高である旨を説明したが、今後の日本は一層の多文化社会となり、各自治体においても外国人在住者のための相談会の開催や、専門の窓口を設けるなどの対応が進められている。我が国に住むすべての人々が幸せを享受できる社会にするために、留学経験者や留学生による複眼的な政治への視点や意見は不可欠である。こうした人材が一市民として政治に参画（留学生の場合は自国の政治へ参画）することは、日本だけではなく、国際的な共生社会の構築に資することになるためである。

平成２６年９月１０日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　政治学分野』によると、政治学を学ぶことによる有用性として「いま直面する課題がいかなる性質のものであるか、そしてその解決のためにはいかなる選択肢があるのかを、広い視野のうちで客観的に見直し、よりよい政策を考え出す能力を培えるだろう。」と述べている（**資料１１**）。その他政治学の学びが提供する能力として、「人間関係や組織のあり方に関する論理的思考力」、「感情的な思い込みによって左右されずに統計情報を読み解くリテラシー」、「メディアの報道を鵜呑みにせず、自ら検証を試みるメディア・リテラシー」をあげている（**資料１１**）。こうした論理的思考力やリテラシーは、社会人基礎力として強く求められる要素であり、就職試験においても多く問われる力である。つまり、政治学に直接関連した業務にあらずとも、当該学科が輩出する人材は普遍的に求められる人材として評価されることが予想される。

これらの取組により、汎用的な能力と専門性を併せ持つ人材が輩出できると考え、大学の位置する東京に限らずどの地域においても武蔵野大学独自の人材需要を獲得できるものと考える。

以上のことから、法学部政治学科の人材の養成に関する目的は、今後変化していく時代においても対応可能な普遍的な力及び専門的な力を持って活躍できるものであるため、社会的、地域的な人材需要の動向を十分に踏まえたものであると言える。

ⅲ. 経済学部

＜経済学科＞

経済学科では様々な課題に対して、経済的な専門知識と、教養教育並びに経済学の学びによって培われた基礎力によって解決策を探る人材を養成する。

平成３０年６月文部科学省『外国人留学生の就職促進について（外国人留学生の就職に

関する課題等)』によると、日本の企業等への就職を目的として在留資格変更許可申請の処分数は増加傾向にあり、平成２８年は前年比２８．１％の増加で過去最高を記録している（**資料１２**）。留学生が日本で経済学を学ぶことは、日本におけるビジネスへの興味関心を涵養することでもあり、国内就職の促進や、自国と日本とのブリッジ人材の養成に繋がる。

平成２６年８月２９日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　経済学分野』では、経済学の学びを通じて獲得すべき基本的な能力について「経済学を学ぶことを通じて、抽象的思考、演繹・機能的思考、数量的スキルなどの経済学に固有な能力や、論理的・批判的思考能力、情報収集能力、数値データの理解・活用、コミュニケーション能力などのより一般的な能力が培われる。」と述べている（**資料１３**）。これらの能力は、一般的であると同時に社会人基礎力として強く求められるものである。特に当該学科では、１年次の「武蔵野ＢＡＳＩＳ」で身に付けた自己基礎力をベースに、学年が上がるにつれて専門知識を増やしていくよう、体系的なカリキュラムを設定している。加えて「経済学プレゼミ」では議題に沿って意見を交えるディベートやプレゼンテーションの実践を通し、論理的思考力や課題発見・解決力を習得することができるなど、経済学を専門的に学ぶことで身に付く力を最大化する。そのため、当該学科で輩出する人材は社会人に求められる基礎力を十分身に付けており、社会的なニーズは高いものと考える。

これらの取組により、汎用的な能力と専門性を併せ持つ人材が輩出できると考え、大学の位置する東京に限らずどの地域においても武蔵野大学独自の人材需要を獲得できるものと考える。

以上のように、経済学部経済学科の人材の養成に関する目的は、今後大きな社会変化の中でも活躍できる力を備えているため、社会的、地域的な人材需要の動向を十分に踏まえたものであると言える。

ⅳ. 経営学部

＜経営学科＞

経営学科では、経営学を中心とした社会科学の知識と技能を修得し、組織人として、あるいは個人で、ビジネス分野を中心とした領域及びその他の様々な領域において、多様な諸問題を発見・解決できる実践的な能力を身につけた人材を養成する。

平成３０年６月文部科学省『外国人留学生の就職促進について（外国人留学生の就職に関する課題等)』によると、日本の企業等への就職を目的として在留資格変更許可申請の処分数は増加傾向にあり、平成２８年は前年比２８．１％の増加で過去最高を記録している（**資料１２**）。留学生が日本で経営学を学ぶことは、日本におけるビジネスへの興味関心を涵養することでもあり、国内就職の促進や、自国と日本とのブリッジ人材の養成に繋がる。

平成２４年８月３１日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　経営学分野』によると、経営学の学びは営利・非営利の継続的事業体による意思決定のプロセスとその後の行動、それに伴う諸問題の分析等について明らかにすることが出来るとし、「社会の中で重要な行為主体である営利・非営利のあらゆる継続的事業体の意思決定過程とその行動を理解し、その業績を定量的・定性的に測定し、説明できるということは、現代を生きる市民にとって重要な知的能力である。」と述べている（**資料１４**）。

当該学科の教育課程では、企業の成功例や失敗例について比較検討を重ね、自由な発想を出し合うディスカッションを通じて課題発見・解決力並びに論理的思考力を身に付けさせる「ケース・ディスカッション」を取り入れたり、有明キャンパスの立地を生かした実地教育によってビジネスへの理解を深めるなど、教育目標の達成に向けた取り組みを行っている。こうした取り組みにより、上記基準に言う「重要な知的能力」を身に付けさせ、企業に限らず多様な組織における活躍が想定されるため、人材需要はあると考える。

これらの取組により、汎用的な能力と専門性を併せ持つ人材が輩出できると考え、大学の位置する東京に限らずどの地域においても武蔵野大学独自の人材需要を獲得できるものと考える。

以上のように、経済学部経営学科の人材の養成に関する目的は、今後大きな社会変化の中でも活躍できる力を備えているため、社会的、地域的な人材需要の動向を十分に踏まえたものであると言える。

ｖ. 人間科学部

＜人間科学科＞

人間科学科では、人間の心理、生命、社会行動を科学的方法論に基づいて研究し、人間が直面する諸課題を人間尊重の立場にたって実践的に解決できる人材を養成する。

先に『平成３０年６月末現在における在留外国人数について』を提示し、平成３０年６月末時点での在留外国人数が過去最高である旨を説明したが、今後の日本は一層の多文化社会となり、外国人に対する心理的なケアは重要性を増している（**資料９**）。異文化への理解と知識を有してこころの支援を行う人材の需要の増加も予想され、教育環境のグローバル化は喫緊の課題と言える。

平成２６年９月３０日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　心理学分野』によると、心理学が直面する社会的諸課題に応える視点として「家庭内暴力、子どもや高齢者の虐待、いじめやひきこもり、閉じこもり、自殺などに現れた現代社会の諸問題は、急激で極端な少子化や超高齢化によって多様となり深刻さが深まっている。このような中で心理学は、人のための環境作りや社会の改善に専門職業人として社会貢献する役割を担っている。」と、当該学科の学びの中心となる心理学の社会的ニーズを説明している（**資料１５**）。

これらの取組により、汎用的な能力と専門性を併せ持つ人材が輩出できると考え、大学の位置する東京に限らずどの地域においても武蔵野大学独自の人材需要を獲得できるものと考える。

以上のことから、人間科学部人間科学科の人材の養成に関する目的は、社会的、地域的な人材需要の動向を十分に踏まえたものであると言える。

ⅵ．本学学生の就職状況

次に、各学科の就職状況データを掲出した（**資料１６**）。

グローバル学部の改組前となるグローバル・コミュニケーション学部の就職率（就職決定者数／就職希望者数）は、平成２６年度９５．６％、平成２７年度９７．４％、平成２８年度９７．４％、平成２９年度９６．８％、平成３０年度９６．５％であった。

法学部法律学科の就職率（就職決定者数／就職希望者数）は、平成２６年度９３．７％、平成２７年度９５．０％、平成２８年度９９．３％、平成２９年度９１．８％、平成３０年度９２．５％であった。

法学部政治学科の就職率（就職決定者数／就職希望者数）は、平成２６年度９３．７％、平成２７年度９５．０％、平成２８年度９９．３％、平成２９年度９５．２％、平成３０年度９８．８％であった。

経済学部経済学科の就職率（就職決定者数／就職希望者数）は、平成２６年度９３．７％、平成２７年度９５．０％、平成２８年度９９．３％、平成２９年度９５．９％、平成３０年度９８．８％であった。

経営学部経営学科の就職率（就職決定者数／就職希望者数）は、平成２７年度９８．５％、平成２８年度９５．１％、平成２９年度９７．１％、平成３０年度９６．８％であった。

人間科学部人間科学科の就職率（就職決定者数／就職希望者数）は、平成２６年度９５．３％、平成２７年度１００．０％、平成２８年度９６．５％、平成２９年度９５．４％、平成３０年度９４．４％であった。

いずれの学科も、一定期間高い就職率で推移していることに加え、５年前に比べて就職率が上昇している。以上のことから、当該届出に係る学科の養成する人材に対する社会的需要は十分なものと言える。

※なお本文章は改元に係る年号表記について、2019 年４月以前の月指定での表記を除き、2019 年度については全て新元号で統一している。

以　上

資料目次

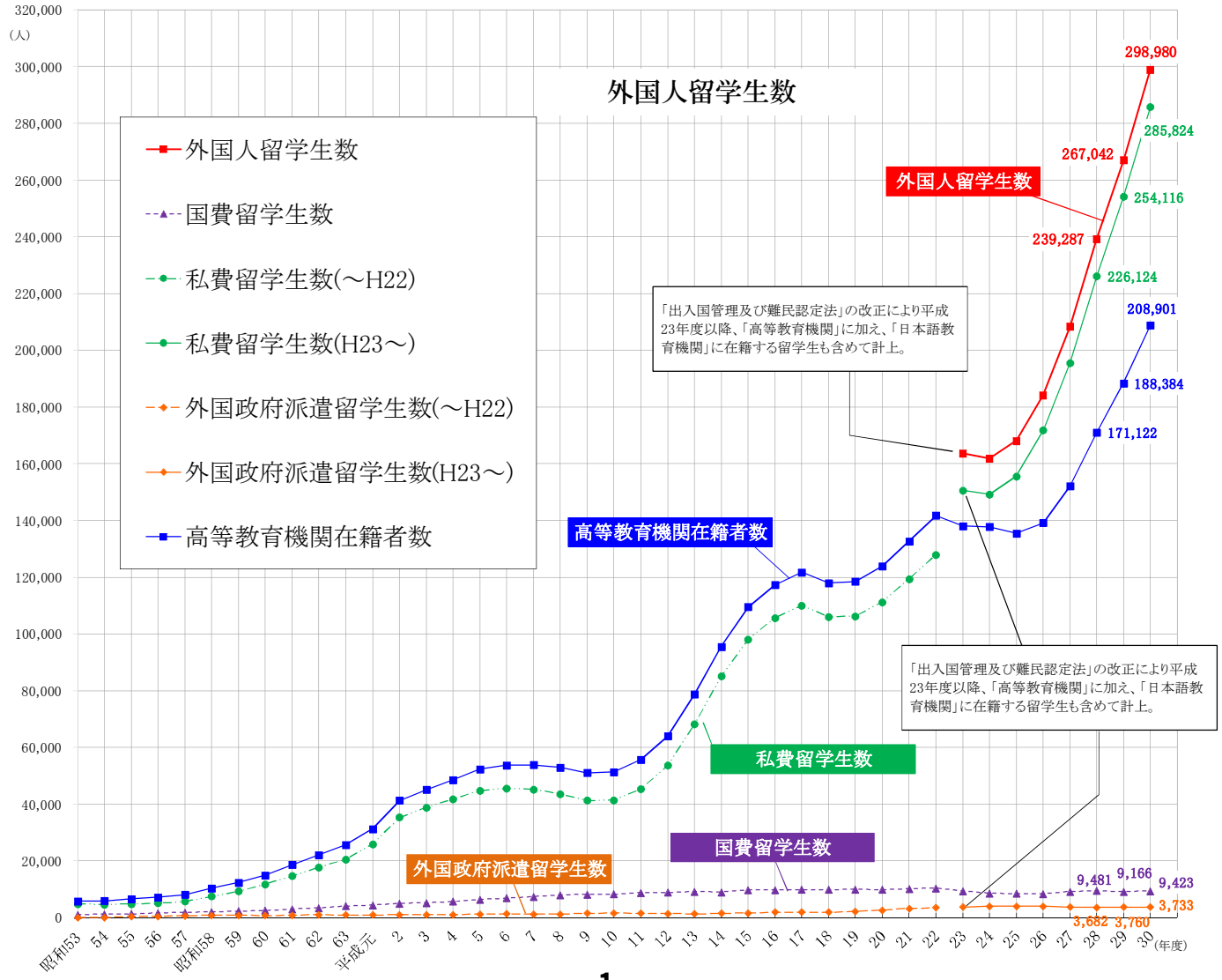
資料１	平成３１年１月日本学生支援機構『平成３０年度外国人留学生在籍状況調査結果』より留学生数の推移････････････････････････････････････	p．1
資料２	地方別・都道府県別留学生数 （関東）、専攻分野別留学生数･･･････････	p．2
資料３	近隣競合校及び偏差値上位校について･････････････････････････････	p．3
資料４	志願者数等の推移･･･	p.11
資料５	留学生数（１年次春入学）の推移･･･････････････････････････････	p.13
資料６	オープンキャンパス参加者数、資料請求者数、志願者数の推移･･････････	p.14
資料７	平成２９年７月１４日総務省『グローバル人材の確保状況等に関する企業の意識調査』･･	p.15
資料８	平成３０年３月２日文化審議会国語分科会『日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告)』･･	p.17
資料９	平成３０年９月１９日法務省『平成３０年６月末現在における在留外国人数について』･･	p.18
資料１０	平成２４年１１月３０日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　法学分野』･･････････････････････････････	p.19
資料１１	平成２６年９月１０日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　政治学分野』････････････････････････････	p.20
資料１２	平成３０年６月文部科学省『外国人留学生の就職促進について（外国人留学生の就職に関する課題等)』････････････････････････････････････	p.21
資料１３	平成２６年８月２９日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　経済学分野』････････････････････････････	p.22
資料１４	平成２４年８月３１日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　経営学分野』････････････････････････････	p.23
資料１５	平成２６年９月３０日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　心理学分野』････････････････････････････	p.24
資料１６	就職状況について･･･	p.25

1. 留学生数の推移（各年5月1日現在）

年	留学生総数	国費・政府派遣・私費留学生内訳			在籍機関内訳	
		国費留学生数	外国政府派遣留学生数	私費留学生数	高等教育機関	日本語教育機関
昭和53年	5,849人	1,075人	0人	4,774人	5,849人	本調査対象外
昭和54年	5,933人	1,183人	105人	4,645人	5,933人	
昭和55年	6,572人	1,369人	419人	4,784人	6,572人	
昭和56年	7,179人	1,578人	475人	5,126人	7,179人	
昭和57年	8,116人	1,777人	662人	5,677人	8,116人	
昭和58年	10,428人	2,082人	863人	7,483人	10,428人	
昭和59年	12,410人	2,345人	798人	9,267人	12,410人	
昭和60年	15,009人	2,502人	774人	11,733人	15,009人	
昭和61年	18,631人	3,077人	895人	14,659人	18,631人	
昭和62年	22,154人	3,458人	995人	17,701人	22,154人	
昭和63年	25,643人	4,118人	976人	20,549人	25,643人	
平成元年	31,251人	4,465人	934人	25,852人	31,251人	
平成2年	41,347人	4,961人	1,026人	35,360人	41,347人	
平成3年	45,066人	5,219人	1,072人	38,775人	45,066人	
平成4年	48,561人	5,699人	1,058人	41,804人	48,561人	
平成5年	52,405人	6,408人	1,214人	44,783人	52,405人	
平成6年	53,787人	6,880人	1,330人	45,577人	53,787人	
平成7年	53,847人	7,371人	1,231人	45,245人	53,847人	
平成8年	52,921人	8,051人	1,297人	43,573人	52,921人	
平成9年	51,047人	8,250人	1,524人	41,273人	51,047人	
平成10年	51,298人	8,323人	1,585人	41,390人	51,298人	

年	留学生総数	国費・政府派遣・私費留学生内訳			在籍機関内訳	
		国費留学生数	外国政府派遣留学生数	私費留学生数	高等教育機関	日本語教育機関
平成11年	55,755人	8,774人	1,542人	45,439人	55,755人	本調査対象外
平成12年	64,011人	8,930人	1,441人	53,640人	64,011人	
平成13年	78,812人	9,173人	1,369人	68,270人	78,812人	
平成14年	95,550人	9,009人	1,517人	85,024人	95,550人	
平成15年	109,508人	9,746人	1,627人	98,135人	109,508人	
平成16年	117,302人	9,804人	1,906人	105,592人	117,302人	
平成17年	121,812人	9,891人	1,903人	110,018人	121,812人	
平成18年	117,927人	9,869人	1,956人	106,102人	117,927人	
平成19年	118,498人	10,020人	2,181人	106,297人	118,498人	
平成20年	123,829人	9,923人	2,681人	111,225人	123,829人	
平成21年	132,720人	10,168人	3,235人	119,317人	132,720人	
平成22年	141,774人	10,349人	3,505人	127,920人	141,774人	
平成23年	163,697人	9,396人	3,763人	150,538人	138,075人	25,622人
平成24年	161,848人	8,588人	4,068人	149,192人	137,756人	24,092人
[illegible]	[illegible]145人	8,529人	3,999人	155,617人	135,519人	32,626人
平成26年	184,155人	[illegible]351人	3,996人	171,808人	139,185人	44,970人
平成27年	208,379人	9,[illegible]3人	3,737人	195,419人	152,062人	56,317人
平成28年	239,287人	9,48[illegible]人	3,682人	226,124人	171,122人	68,165人
平成29年	267,042人	9,1[illegible]5人	3,760人	254,116人	[illegible]	78,658人
平成30年	298,980人	[illegible]423人	3,733人	285,82[illegible]人	208,901人	[illegible]0,079人

※「出入国管理及び難民認定法」の改正（平成21年7月15日公布）により、平成22年7月1日付けで在留資格「留学」「就学」が一本化されたことから、平成23年5月以降は日本語教育機関に在籍する留学生も含めた留学生数も計上。



地方別・都道府県別留学生数（関東）

（人、%）

留学生数	対全国構成比	都道府県	留学生数	
167,688 (149,815)	56.1 (56.1%)	茨城	6,097	(5,547)
		栃木	3,236	(3,019)
		群馬	7,882	(6,087)
		埼玉	12,097	(10,340)
		千葉	13,084	(11,550)
		東京	114,833	(103,456)
		神奈川	10,459	(9,816)

平成30年5月1日現在の数。なお、(　　)内は平成29年5月1日の数を示している。

専攻分野別留学生数

（人、%）

専攻分野	留学生数		構成比	
人文科学	140,200人	(124,305)	46.9%	(46.5)
社会科学	74,037人	(67,664)	24.8%	(25.3)
理学	3,981人	(3,452)	1.3%	(1.3)
工学	35,463人	(30,804)	11.9%	(11.5)
農学	3,984人	(3,739)	1.3%	(1.4)
保健	5,027人	(4,356)	1.7%	(1.6)
家政	5,083人	(4,787)	1.7%	(1.8)
教育	3,541人	(3,221)	1.2%	(1.2)
芸術	10,219人	(8,432)	3.4%	(3.2)
その他	17,445人	(16,282)	5.8%	(6.1)
計	298,980人	(267,042)	100.0%	(100.0)

平成30年5月1日現在の数。なお、(　　)内は平成29年5月1日の数を示している。

専攻分野別留学生数（独立行政法人日本学生支援機構「平成30年度外国人留学生在籍状況調査結果」より抜粋）

グローバルコミュニケーション学科の近隣競合校 及び 偏差値上位校について

□近隣競合校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数 28年度	29年度	30年度	元年度	偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
亜細亜大学 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科	140					50.0	亜細亜大学キャンパス（東京都武蔵野市）	約37分 中央線20分 徒歩12分	多文化理解を深めるために異文化交流、観光学、言語学、文化人類学など、幅広い国際教養科目を学びます。文化人類学、社会学を軸に、国際社会で役立つ幅広い教養を養います。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									
学習院女子大学 国際文化交流学部 国際コミュニケーション学科	170					52.5	学習院女子大学キャンパス（東京都新宿区）	約25分 山手線5分 徒歩15分	国際社会を理解するため、政治、経済、経営、法、開発、環境、メディアまで幅広く学習し、様々な国が共存する方法を探求し、国際感覚とコミュニケーション能力を身につけた学生を育てます。3年次編入は5名を募集します。
志願者倍率									
拓殖大学 国際学部 国際学科	300					47.5	八王子国際キャンパス（東京都八王子市）	約54分 京王線44分 ﾊﾞｽ5分	諸外国の言語、文化、民族、政治経済システムを理解し、国際協力、国際経済、国際政治、国際文化、国際観光、農業総合、国際スポーツの7つの分野におけるグローバル化した社会の諸課題に取り組み、その解決に貢献できる人材を育成します。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									

□偏差値上位校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数 28年度	29年度	30年度	元年度	偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
上智大学 総合グローバル学部 総合グローバル学科	220					67.5	四谷キャンパス（東京都千代田区）	約17分 中央線7分 丸ノ内線7分 南北線7分 徒歩5分	「国際関係論」と「地域研究」、この二つを融合させた「グローバル・スタディーズ」を三位一体として探求し、国際感覚とコミュニケーション能力を身につけた学生を育てます。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									

※　志願者数は株式会社リクルートマーケティングパートナーズ調べ（一般入試、センター入試の計）、偏差値は『2018年第3回河合塾入試難易度調査ﾃﾞｰﾀ』、アクセス・育成する人材等は各大学のHP等による。

日本語コミュニケーション学科の近隣競合校 及び 偏差値上位校について

□近隣競合校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数				偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
		28年度	29年度	30年度	元年度				
学習院女子大学 国際文化交流学部 日本文化学科	140					50.0	学習院女子大学キャンパス（東京都新宿区）	約25分 山手線5分 徒歩15分	日本文化に対する広い知識と深い理解の上に立って、国際感覚と高い言語能力を身につけ、世界に向けて日本文化を発信するとともに、その継承と発展に寄与する人材を育成することを目的とします。3年次編入入学定員は5名とします。
志願者倍率									
専修大学 文学部 日本語学科	71					50.0	生田キャンパス（神奈川県川崎市）	約36分 小田急線21分 バス10分	日本語に対する深い理解と認識をもった人材や、国際社会で活躍できるグローバルな視点を持った人材を育成していきます。2年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									
神奈川大学 外国語学部 国際文化交流学科	100					52.5	横浜キャンパス（神奈川県横浜市）	約62分 山手線・東急線44分 徒歩13分	英語などの外国語の実践的運用能力を高め、日本文化ならびに異文化への理解を深めながら、異文化間の相互理解と交流に貢献する人材の育成します。2年次・3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									

□偏差値上位校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数				偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
		28年度	29年度	30年度	元年度				
國學院大學 文学部 外国語文化学科	120					57.5	渋谷キャンパス（東京都渋谷区）	約25分 山手線7分 徒歩13分	日本文化と外国文化の差異や共通性をグローバルな視点から理解することで自ら問題を見出し、異文化と積極的に交流しながら、その橋渡し役となり得る人材の育成を目標とします。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									

※ 志願者数は株式会社リクルートマーケティングパートナーズ調べ（一般入試、センター入試の計）、偏差値は『2018年第3回河合塾入試難易度調査ﾃﾞｰﾀ』、アクセス・育成する人材等は各大学のHP等による。

グローバルビジネス学科の近隣競合校 及び 偏差値上位校について

□近隣競合校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数				偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
		28年度	29年度	30年度	元年度				
拓殖大学 商学部 国際ビジネス学科	150					50.0	文京キャンパス（東京都文京区）	約31分 山手線・丸ノ内線23分 徒歩3分	ビジネス世界における会計情報の役割および企業法制度の仕組みを修得し、職業的会計人（会計のプロフェッショナル）として活躍できる人材を育成します。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									
専修大学 経済学部 国際経済学科	205					50.0	生田キャンパス（神奈川県川崎市）	約36分 小田急線22分 ﾊﾞｽ10分	国際経済、国際社会及び異文化の多様な視点からの学術を教授することにより、諸外国及び日本の経済社会の特質を深く理解し、グローバルな視野をもって国際舞台において活躍することができる専門的素養を有する人材を養成します。2年次・3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									
神奈川大学 経営学部 国際経営学科	530					50.0	湘南ひらつかキャンパス（神奈川県平塚市）	約93分 湘南新宿ライン60分 ﾊﾞｽ28分	人の人格と学問の自由を尊重しつつ、世界各国のさまざまな経営風土において活躍するために必要な教養と経営学に関する学識を身に付け、国際社会で求められる問題解決能力とコミュニケーション能力を有する実力ある人材の育成をします。2年次・3年次編集は若干名募集します。
志願者倍率									

□偏差値上位校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数				偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
		28年度	29年度	30年度	元年度				
中央大学 経済学部 国際経済学科	180					60.0	多摩キャンパス（東京都八王子市）	約55分 京王線・多摩モノレール49分 徒歩1分	日本と諸外国の間の経済問題を総合的に学び、国際経済の問題に関して専門的立場から解決策を見つけるための基盤として、基礎ミクロ・マクロ経済学、統計学、計量経済学、情報処理関連科目なども学び、コンピュータを用いて、理論的で実証的な分析方法を修得し世界で活躍する人材を育てます。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									

※　志願者数は株式会社リクルートマーケティングパートナーズ調べ（一般入試、センター入試の計）、偏差値は『2018年第3回河合塾入試難易度調査ﾃﾞｰﾀ』、アクセス・育成する人材等は各大学のHP等による。

法律学科の近隣競合校 及び 偏差値上位校について

□近隣競合校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数 28年度	29年度	30年度	元年度	偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
駒澤大学 法学部 法律学科 フレックスA	309					55.0	駒澤キャンパス（東京都世田谷区）	約26分 山手線7分 田園都市線7分 徒歩7分	現代にある複雑な問題を解決する、たしかな方法を導き出すための、リーガルマインド（法的なものの見方）に根ざした思考力と判断力をもつ人材を育成します。編入学定員は12名とします。
志願者倍率									
明治学院大学 法学部 法律学科	200					55.0	1・2年横浜キャンパス（神奈川県横浜市） 3・4年白金キャンパス（東京都港区）	横浜キャンパス 57分 湘南新宿ライン 40分 ﾊﾞｽ12分 白金キャンパス 23分 山手線12分 ﾊﾞｽ6分	広い視野で物事の本質を捉え、解決に導く能力、すなわち「リーガルマインド」の涵養をめざし、職業や地位に関係なく、思いやりの心をもって社会問題と真摯に向き合い、法知識を適切に活用して正しいと思うことを論理的に主張することができる人材を育成します。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									
国士館大学 法学部 法律学科	200					50.0	世田谷キャンパス（東京都世田谷）	約28分 小田急線14分 徒歩9分	憲法を頂点とした民事法・刑事法・社会法・経済法を中心とする現行の法律制度、それを支えている法の理念・理論の法学教育、法的な思考力・判断力を養うとともに、新たな法律問題に関する現代的な法学教育も行い、柔軟な法的思考力・判断力をもった「法律のプロ」の育成を目指しています。2年次・3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									

□偏差値上位校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数 28年度	29年度	30年度	元年度	偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
上智大学 法学部 法律学科	160					65.0	四谷キャンパス（東京都千代田区）	約17分 中央線7分 丸ノ内線7分 南北線7分 徒歩5分	現代社会に対応できるような法的思考能力や問題分析能力を有し、かつ国内だけでなく国際社会でも活躍できる人材を養成します。3次編入は若干名募集します。
志願者倍率									
法政大学 法学部 法律学科	483					62.5	市ヶ谷キャンパス（東京都千代田区）	約24分 総武線9分 徒歩10分	基礎法学・実定法学の各分野における理論的・実践的な法学教育を通じて、法学の体系的・専門的な知識を身につけ、法的な問題の妥当な解決を図ることができるリーガル・マインドをもつ人材を育成します。2年次・3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									

※　志願者数は株式会社リクルートマーケティングパートナーズ調べ（一般入試、センター入試の計）、偏差値は『2018年第3回河合塾入試難易度調査ﾃﾞｰﾀ』、アクセス・育成する人材等は各大学のHP等による。

政治学科の近隣競合校 及び 偏差値上位校について

□近隣競合校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数				偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
		28年度	29年度	30年度	元年度				
駒澤大学 法学部 政治学科	205					52.5	駒澤キャンパス（東京都世田谷区）	約31分 山手線7分 田園都市線7分 徒歩7分	社会を動かす政治のコアを学ぶ「現代社会と政治」コースをはじめ、社会の重点分野に対応した「国際・地域研究」「政治とメディア研究」「行政・公共政策」コースを設け、次代を担える知識と能力を養い、地域社会、国際社会、メディアの世界で活躍できる人材を育てます。編入学定員は10名とします。
志願者倍率									
明治学院大学 法学部 政治学科	120					50.0	1・2年横浜キャンパス（神奈川県横浜市） 3・4年白金キャンパス（東京都港区）	横浜キャンパス 57分 湘南新宿ライン 40分 ﾊﾞｽ12分 白金キャンパス 23分 山手線12分 ﾊﾞｽ6分	地球規模での平和・安全保障の問題や環境問題、国家における政策の問題、さらには住民福祉といった地域が抱える問題まで、多様な問題を分析し考える力を養成し、総合的な判断力と批判力、勇気と他者への想像力を持ってこのような問題に取り組める“ 教養ある政治的市民”を育成します。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									

□偏差値上位校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数				偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
		28年度	29年度	30年度	元年度				
立教大学 法学部 政治学科	100					62.5	池袋キャンパス（東京都豊島区）	約22分 山手線10分 徒歩7分	日本やアジア、欧米など、外国の政治の仕組みや思想、制度を幅広く学びながら、現実を分析し、未来を構想する人材を育てます。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									
法政大学 法学部 政治学科	172					60.0	市ヶ谷キャンパス（東京都千代田区）	約24分 総武線9分 徒歩10分	ジェンダーや公共政策、コミュニティ政策、メディア論など、新しい分野の政治学を展開しており、今まさに実社会で起きている具体的な政治問題にも取り組むみます。複雑化する現在の政治問題を批判的に検討、分析・判断し、問題解決のための思考力・実践力を身に付けていきます。2年次・3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									

※ 志願者数は株式会社リクルートマーケティングパートナーズ調べ（一般入試、センター入試の計）、偏差値は『2018年第3回河合塾入試難易度調査ﾃﾞｰﾀ』、アクセス・育成する人材等は各大学のHP等による。

経済学科の近隣競合校 及び 偏差値上位校について

□近隣競合校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数				偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
		28年度	29年度	30年度	元年度				
駒澤大学 経済学部 経済学科	350					52.5	駒澤キャンパス（東京都世田谷区）	約26分 山手線7分 田園都市線7分 徒歩7分	経済社会の現状や仕組みを理解し、社会的課題を発見・解決する能力をもった、公正で豊かな社会を担える自立した社会人の養成を目指します。編入学定員は14名とします。
志願者倍率									
拓殖大学 政経学部 経済学科	450					50.0	文京キャンパス（東京都文京区）	約18分 丸ノ内線10分 徒歩3分	経済学の視点から世の中の動きを分析し、社会の現状と未来を読み解いていきます。家計などの小さな単位から、世界規模で動く市場経済まで、幅広い現象にアプローチして、経済学的なものの見方、考え方を身につけます。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									
亜細亜大学 経済学部 経済学科	250					47.5	亜細亜大学キャンパス（東京都武蔵野市）	約37分 中央線20分 徒歩12分	現代の多様な市場経済制度のもとでの人や組織の行動研究を中心に、家族や地域社会、NPOなど社会のあらゆる仕組みについて認識を深め、ダイナミックに動く市場経済を読み解き、実社会で即戦力となれる人材を育成します。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									

□偏差値上位校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数				偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
		28年度	29年度	30年度	元年度				
上智大学 経済学部 経済学科	165					65.0	四谷キャンパス（東京都千代田区）	約17分 中央線7分 丸ノ内線7分 南北線7分 徒歩5分	さまざまな社会・経済現象を経済学的視点から分析し、自ら評価できる能力を身に付けることができます。さらに英語を用いた科目を履修することで国際経済人の養成を目指します。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									
学習院大学 経済学部 経済学科	250					60.0	目白キャンパス（東京都豊島区）	約12分 山手線6分 徒歩1分	社会の現状を把握するため情報を分析する力・大きな課題を解決に導くため具体的な戦略を立てる力・教養として普段の生活の中でも生きる合理的な思考・判断力を養い、世の中の見方が変わる、社会をよくする力を育みます。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									

※　志願者数は株式会社リクルートマーケティングパートナーズ調べ（一般入試、センター入試の計）、偏差値は『2018年第3回河合塾入試難易度調査ﾃﾞｰﾀ』、アクセス・育成する人材等は各大学のHP等による。

経営学科の近隣競合校 及び 偏差値上位校について

□近隣競合校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数				偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
		28年度	29年度	30年度	元年度				
駒澤大学 経営学部 経営学科	350					52.5	駒澤キャンパス（東京都世田谷区）	約31分 山手線7分 田園都市線7分 徒歩7分	経営学分野の理論的・実践的知識および経営に関する論理的な思考習慣と研究姿勢を身につけ、卒業後に企業その他の組織において経営管理のプロフェッショナルとして活躍できる人材の養成を目的とします。編入学定員は13名とします。
志願者倍率									
立正大学 経営学部 経営学科	330					55.0	品川キャンパス（東京都品川区）	約25分 山手線15分 徒歩5分	持続可能でより良い豊かな和平社会を築くための一個の重心・芯となるべき人材として、経営学分野における「モラリスト×エキスパート」を養成することを教育の目標とします。2年次編入は若干名募集します。 （平成27年度～29年度の志願者倍率は入学定員300人で算出）
志願者倍率									

□偏差値上位校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数				偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
		28年度	29年度	30年度	元年度				
法政大学 経営学部 経営学科	316					62.5	市ヶ谷キャンパス（東京都千代田区）	約24分 総武線9分 徒歩10分	経営管理の基礎から、組織、人事、会計に関する専門科目を配置し、経営管理のプロフェッショナル、ゼネラル・マネージャーなどの人材育成を目指します。2年次・3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									
学習院大学 経済学部 経営学科	250					60.0	目白キャンパス（東京都豊島区）	約12分 山手線6分 徒歩1分	現代社会が直面する国内及び海外の様々な経営問題に対して、理論的な知識や実証的手法を身につけ、経営及び関連する制度上の諸課題について自ら問題を設定・分析する能力及びそのための豊かな創造力を持ち、かつ、高い倫理性を備えた人材を育成します。3年次編入学は若干名募集します。
志願者倍率									

※　志願者数は株式会社リクルートマーケティングパートナーズ調べ（一般入試、センター入試の計）、偏差値は『2018年第3回河合塾入試難易度調査ﾃﾞｰﾀ』、アクセス・育成する人材等は各大学のHP等による。

人間科学科の近隣競合校 及び 偏差値上位校について

□近隣競合校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数 28年度	29年度	30年度	元年度	偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
立正大学 心理学部 臨床心理学科	150					50.0	品川キャンパス（東京都品川区）	約25分 山手線15分 徒歩5分	心理的な困難を抱えた人たちを援助するための知識とスキル、そのための倫理的な態度を兼ね備えた人材の育成を目指します。2年次・3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									
大妻女子大学 人間関係学部 人間関係学科 社会・臨床心理学専攻	75					50.0	千代田キャンパス（東京都千代田区）	約25分 総武線10分 徒歩10分	社会心理学と臨床心理学に重点を置き、両者をバランスよく学ぶことで「人」に対する理解を深め、他者とのより良い関わり方や社会を見る目を養います。編入学定員は10名とします。
志願者倍率									
昭和女子大学 人間社会学部 心理学科	100					55.0	昭和女子大学キャンパス（東京都世田谷区）	約31分 東急田園都市線12分 徒歩7分	人のこころと行動を科学的に捉える心理学のさまざまな領域を学び、社会に貢献しようとする意欲ある人を育成します。.3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									

□偏差値上位校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数 28年度	29年度	30年度	元年度	偏差値	通学キャンパス	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
上智大学 総合人間科学部 心理学科	55					65.0	四谷キャンパス（東京都千代田区）	約17分 中央線7分 丸ノ内線7分 南北線7分 徒歩5分	時代が求める〈心〉を探究する力を養成し、人の〈心〉をとらえるための総合的視野を持つ人材の育成を目指しています。3年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									
青山学院大学 教育人間学部 心理学科	110					62.5	青山キャンパス（東京都渋谷区）	約21分 山手線6分 徒歩10分	「心」に関する豊かで多様な視点に基づく問題解決志向型の人間の養成を目標としています。このため、感覚・知覚の基礎的領域から、社会・臨床の応用領域にいたる最新の研究成果をふまえて、心理に関わる諸現象を「科学的」「人間学的」「総合的」に研究します。2年次編入は若干名募集します。
志願者倍率									

※　志願者数は株式会社リクルートマーケティングパートナーズ調べ（一般入試、センター入試の計）、偏差値は『2018年第3回河合塾入試難易度調査ﾃﾞｰﾀ』、アクセス・育成する人材等は各大学のHP等による。

資料４
本文５、７ページ参照

志願者数等の推移

□グローバル学部グローバルコミュニケーション学科
（H28年度グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科から改組）

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	165	2,268	13.7	1,221	7.4	2,141	395	136	0.82	55.0
平成30年度	165	1,580	9.6	934	5.7	1,492	317	139	0.84	55.0
平成29年度	165	1,304	7.9	824	5.0	1,203	305	155	0.93	55.0
平成28年度	165	2,085	12.6	1,226	7.4	1,974	351	181	1.09	52.5
平成27年度	220	1,431	6.5	928	4.2	1,294	479	239	1.08	47.5
平均	－	1,734	10.1	1,027	5.9	1,621	369	170	0.95	－

□グローバル学部日本語コミュニケーション学科
（H28年度グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科から改組）

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	80	819	10.2	572	7.2	744	122	76	0.95	47.5
平成30年度	80	820	10.3	413	5.2	747	127	77	0.96	47.5
平成29年度	80	472	5.9	375	4.7	424	161	94	1.17	47.5
平成28年度	80	433	5.4	347	4.3	397	138	89	1.11	52.5
平成27年度	220	1,431	6.5	928	4.2	1,294	479	239	1.08	47.5
平均	－	795	7.7	527	5.1	721	205	115	1.05	－

□グローバル学部グローバルビジネス学科
（H28年度グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科から改組）

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	55	971	17.7	637	11.6	901	157	53	0.96	47.5
平成30年度	55	685	12.5	460	8.4	635	126	54	0.98	47.5
平成29年度	55	402	7.3	285	5.2	376	119	65	1.18	47.5
平成28年度	55	744	13.5	495	9.0	699	100	46	0.83	52.5
平成27年度	220	1,431	6.5	928	4.2	1,294	479	239	1.08	47.5
平均	－	847	11.5	561	7.7	781	196	91	1.01	－

□法学部法律学科

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	190	3,190	16.8	1,689	8.9	2,981	498	155	0.81	47.5
平成30年度	200	2,004	10.0	1,254	6.3	1,814	494	185	0.92	47.5
平成29年度	150	1,111	7.4	711	4.7	1,020	428	159	1.06	47.5
平成28年度	150	1,260	8.4	819	5.5	1,119	388	161	1.07	50.0
平成27年度	150	1,166	7.8	721	4.8	1,051	417	159	1.06	50.0
平均	－	1,746	10.1	1,039	6.0	1,597	445	164	0.98	－

□法学部政治学科

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	100	2,132	21.3	1,348	13.5	1,924	393	109	1.09	45.0
平成30年度	120	1,175	9.8	836	7.0	1,054	343	110	0.91	45.0
平成29年度	100	792	7.9	540	5.4	704	265	105	1.05	45.0
平成28年度	100	804	8.0	553	5.5	704	283	101	1.01	47.5
平成27年度	100	1,022	10.2	636	6.4	917	330	100	1.00	47.5
平均	－	1,185	11.5	783	7.5	1,061	323	105	1.01	－

□経済学部経済学科

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	175	4,725	27.0	2,526	14.4	4,429	669	173	0.98	47.5
平成30年度	185	2,600	14.1	1,638	8.9	2,404	544	171	0.92	50.0
平成29年度	100	1,284	12.8	814	8.1	1,179	348	106	1.06	50.0
平成28年度	100	1,586	15.9	1,058	10.6	1,452	305	110	1.10	50.0
平成27年度	100	1,528	15.3	948	9.5	1,308	362	106	1.06	50.0
平均	－	2,345	17.0	1,397	10.3	2,154	446	133	1.02	－

□経営学部経営学科
（H30年度経済学部経営学科から改組）

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	220	4,925	22.4	2,645	12.0	4,667	722	213	0.96	47.5
平成30年度	230	2,571	11.2	1,630	7.1	2,373	565	208	0.90	50.0
平成29年度	200	1,867	9.3	1,157	5.8	1,747	499	212	1.06	50.0
平成28年度	200	1,832	9.2	1,201	6.0	1,687	477	229	1.14	50.0
平成27年度	200	1,842	9.2	1156	5.8	1,623	514	214	1.07	50.0
平均	－	2,607	12.3	1,558	7.3	2,419	555	215	1.03	－

□人間科学部人間科学科

年度	入学定員（人）	志願者数（人）	志願者倍率	実志願者数（人）	実質倍率	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）	入学定員超過率	偏差値※
令和元年度	215	3,485	16.2	1,783	8.3	3,265	582	212	0.98	50.0
平成30年度	235	1,953	8.3	1,140	4.9	1,810	490	224	0.95	50.0
平成29年度	198	1,712	8.6	999	5.0	1,566	479	197	0.99	47.5
平成28年度	180	1,692	9.4	981	5.5	1,571	488	212	1.17	50.0
平成27年度	180	1,833	10.2	1061	5.9	1,635	443	195	1.08	50.0
平均	－	2,135	10.5	1,193	5.9	1,969	496	208	1.03	－

※偏差値は『私立大2019年度入試難易予想一覧表』より、当該年度の全学部統一入試の偏差値（河合塾）

資料5
本文7ページ参照

留学生数（1年次春入学）の推移

令和元年度入学生　（人）

学部	学科	入学者数	入学者のうち留学生数
文学部	日本文学文化学科	204	6
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	136	25
	日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	76	36
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	53	25
法学部	法律学科	155	9
	政治学科	109	2
経済学部	経済学科	173	16
経営学部	経営学科	213	12
	会計ガバナンス学科	89	4
データサイエンス学部	データサイエンス学科	71	5
人間科学部	人間科学科	212	12
	社会福祉学科	140	1
工学部	環境システム学科	71	3
	数理工学科	57	2
	建築デザイン学科	70	1
合計		1,829	159

平成30年度入学生　（人）

学部	学科	入学者数	入学者のうち留学生数
文学部	日本文学文化学科	200	5
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	139	16
	日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	77	31
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	54	34
法学部	法律学科	185	6
	政治学科	110	0
経済学部	経済学科	171	10
	経営学科	208	17
	会計ガバナンス学科	90	1
人間科学部	人間科学科	224	18
	社会福祉学科	144	5
工学部	環境システム学科	68	4
	数理工学科	40	0
	建築デザイン学科	69	3
合計		1,779	150

平成29年度入学生　（人）

学部	学科	入学者数	入学者のうち留学生数
文学部	日本文学文化学科	203	2
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	155	22
	日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	94	38
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	65	33
法学部	法律学科	159	0
	政治学科	105	0
経済学部	経済学科	106	0
	経営学科	212	6
人間科学部	人間科学科	197	7
	社会福祉学科	143	0
工学部	環境システム学科	69	1
	数理工学科	65	0
	建築デザイン学科	72	1
合計		1,645	110

※教育学部・薬学部・看護学部は留学生の受入なし

協定留学生数の推移（全学部合計）

（人）

受入年次	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1年次	1	2	1
2年次	22	32	13
3年次	43	23	29
4年次	7	2	2
合計	73	59	45

オープンキャンパス参加者数、資料請求者数、志願者数の推移

（人）

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
（A）オープンキャンパス参加者数		11,569	10,490	12,803	14,419	16,564
（B）資料請求者数	大学全体	68,383	73,144	81,795	90,809	101,549
	グローバルコミュニケーション学科	6,088	7,170	7,124	8,415	8,671
	日本語コミュニケーション学科	5,751	4,116	4,645	5,065	5,641
	グローバルビジネス学科	5,752	4,381	4,627	4,998	5,375
	法律学科	3,362	3,797	4,100	5,168	5,468
	政治学科	2,937	3,262	3,461	3,858	4,403
	経済学科	5,776	6,254	6,108	8,330	9,709
	経営学科	5,396	5,578	4,457	4,914	7,064
	人間科学科	4,100	3,970	6,064	8,247	10,614
（C）志願者数	大学全体	22,058	22,470	20,186	27,350	42,799
	グローバルコミュニケーション学科	1,431	2,085	1,304	1,580	2,268
	日本語コミュニケーション学科		433	172	820	819
	グローバルビジネス学科		744	402	685	971
	法律学科	1,166	1,260	1,111	2,004	3,190
	政治学科	1,022	804	792	1,175	2,132
	経済学科	1,528	1,586	1,284	2,600	4,725
	経営学科	1,842	1,832	1,867	2,571	4,925
	人間科学科	1,833	1,692	1,712	1,953	3,485
志願率［(C)志願者数／(B)資料請求者数］	大学全体	32.3%	30.7%	24.7%	30.1%	42.1%
	グローバルコミュニケーション学科	23.5%	29.1%	18.3%	18.8%	26.2%
	日本語コミュニケーション学科		10.5%	3.7%	16.2%	14.5%
	グローバルビジネス学科		17.0%	8.7%	13.7%	18.1%
	法律学科	34.7%	33.2%	27.1%	38.8%	58.3%
	政治学科	34.8%	24.6%	22.9%	30.5%	48.4%
	経営学科	26.5%	25.4%	21.0%	31.2%	48.7%
	人間科学科	34.1%	32.8%	41.9%	52.3%	69.7%

※グローバルコミュニケーション学科、日本語コミュニケーション学科、グローバルビジネス学科の27年度データは改組前のグローバル・コミュニケーション学科のデータ。

2　グローバル人材の確保状況等に関する企業の意識調査

（要旨）

本政策評価では、第2期計画に基づき取り組まれている、グローバル人材育成に関する施策の効果を把握するため、グローバル人材の主要な需要者である海外進出企業4,932社（「海外進出企業総覧会社別編2015年刊」（株式会社東洋経済新報社）に掲載された全ての海外進出企業）を対象に、実際のグローバル人材の確保状況等に関する意識調査を実施した。

調査の有効回答数は980社（ＷＥＢによるオンライン調査912社、実地調査68社）となっており、調査結果の主な概要については、以下のとおりである。

（グローバル人材の確保状況）

① 海外事業に必要な人材については、約7割の企業（690社）が不足又はどちらかといえば不足していると回答しており、海外事業に必要な人材は依然として不足している状況となっている。

② 海外事業に必要な人材の採用状況（複数回答）については、「国内のノウハウのある日本人（中途採用）」が638社（65.1％）と最も多く、次いで、「国内の日本人の新卒者」が584社（59.6％）、「国内の外国人」が364社（37.1％）、「海外の外国人」が315社（32.1％）などとなっている。

（新卒採用者のグローバル人材としての評価）

③ 「グローバル人材」に当てはまる新卒採用者については、約5割の企業（496社）がここ10年間で増加又はやや増加していると回答しているが、企業規模別（大企業677社、中小企業303社）（注）でみると、大企業では、約6割の企業（406社）が増加又はやや増加していると回答しているのに対し、中小企業では、約3割の企業（90社）にとどまっている。

④ 「グローバル人材」の3要素別にみると、ｉ）語学力・コミュニケーション能力については、約6割の企業（605社）が向上又はやや向上していると回答している一方、ⅱ）異文化理解の精神については、約5割の企業（493社）、ⅲ）主体性・積極性については、約3割の企業（319社）にとどまっており、相対的には、異文化理解の精神及び主体性・積極性について、より一層の向上が必要であることがうかがわれる。

なお、語学力・コミュニケーション能力については、大企業では約7割の企業（485社）が向上又はやや向上していると回答しているのに対し、中小企業では約4割の企業（180社）にとどまっている。

（大学に求める取組内容）

⑤ 企業が「グローバル人材」の育成のために大学に求める取組（複数回答）については、「海外留学の促進」が487社（49.7％）と最も多く、次いで、「異文化理解に関する授業の拡充」が471社（48.1％）、「ディベート等の対話型の授業の拡充」が456社（46.5％）、「英語授業の拡充」が416社（42.4％）、「外国人留学生・教員の受入れによる学内国際化」が356社（36.3％）など

となっており、海外留学や語学力に関するものに限らず、異文化理解やディベートに関するものなど多岐にわたっている。

⑥　大学に各取組を求める理由として、ⅰ）海外留学の促進については、異文化理解力や海外赴任にも耐え得る経験を積むには留学が最も適当である、ⅱ）異文化理解に関する授業については、現地の習慣、文化、価値観などを理解し、そこで活動できることが重要である、ⅲ）ディベート等の対話型の授業については、企業が主体性や積極性を持つ人材を育てる上で重要であるなどの意見がみられた。

（理想的な留学期間）

⑦　企業が大学に求める取組のうち最上位に挙げられている海外留学について、その理想的な留学期間に関する企業側の回答をみると、「1年以上」が462社（47.1％）と最も多く、次いで、「6か月以上1年未満」が347社（35.4％）となっており、約8割の企業（809社）が6か月以上の長期間の留学期間が理想的であると回答している。

⑧　1年以上の長期間の留学を求める理由としては、ⅰ）語学力の習得のみならず、現地の国民性や異文化の理解、国際的な視野拡大を図るためには、最低でも1年の留学期間は必要である、ⅱ）これまでの留学経験者の採用面接では、留学期間が長い者ほど、語学力はもちろんのこと、留学経験が業務に生かされていると感じる、ⅲ）1年以上の長期留学経験者は数週間の留学経験者と比べ、多様な価値観を受容するといった経験の幅に違いを感じるなどの意見がみられた。

（注）　本意識調査では、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）における中小企業者の定義等を踏まえ、大企業は連結従業員数301人以上、中小企業は同300人以下の企業とした。

- 他方，海外における日本語学習者は，日本文化の人気を背景に，137 の国・地域において約 366 万人[7]に上っている。対象は，初等教育，中等教育，高等教育での外国語教科としての日本語教育，日本語や日本文化など趣味・教養としての日本語教育，日系企業への就職のための日本語教育，日系人及びその家族に対する継承語としての日本語教育など幅広い。国際交流基金においては，日本語普及の観点から各国教育省，国際交流基金海外拠点，中等・高等教育機関など，42 か国・地域 129 ポスト（平成 29 年度）に日本語教育の専門家等を派遣している。

- 国内外で日本語を母語としない人を対象として日本語能力を測定し，認定することを目的として昭和 59 年度から実施されている日本語能力試験は，平成 29 年度年間応募者数が初めて 100 万人を突破した。国内応募者数は，平成 28 年度が前年度比 33.5%増，平成 29 年度は 25%増と急増している。

多様な背景を持つ外国人の受入れが進むとともに，海外における日本語学習ニーズも高いことから，各分野における日本語教育の必要性はますます高まっている。

日本語は我が国における共通言語であり，日本語能力を身に付けることは，外国人が日本で安心・安全に生活していく上で極めて重要である。また，就労，教育などを含めた日々の生活において，その可能性を最大限に発揮するための基盤となるばかりでなく，外国人の社会参加の観点など，多面的な意義がある。このことは，我が国における外国人の実際のコミュニケーションが常に日本語で行われるとは限らないとしても，また，外国人の母語は尊重すべきであるとしても，変わることはない。

日本語教育の必要性が高まるとともに，日本語教育機関の教育水準の向上及び専門性を有する日本語教育人材が求められている。

平成 29 年 6 月に改正された「文化芸術基本法」第 19 条には，「国は，外国人の我が国の文化芸術に関する理解に資するよう，外国人に対する日本語教育の充実を図るため，日本語教育に従事する者の養成及び研修体制の整備，日本語教育に関する教材の開発，日本語教育を行う機関における教育の水準の向上その他の必要な施策を講ずるものとする。」と規定されており，特に「日本語教育を行う機関における教育の水準の向上」については，今回の改正において新たに追加されたものである。

---

7 （独）国際交流基金は，海外における日本語教育機関の状況を把握するため，３年に一度「海外日本語教育機関調査」を実施。数字は平成 27 年調査。

本文１２，１３，１５ページ参照

【第1表】 国籍・地域別在留外国人数の推移

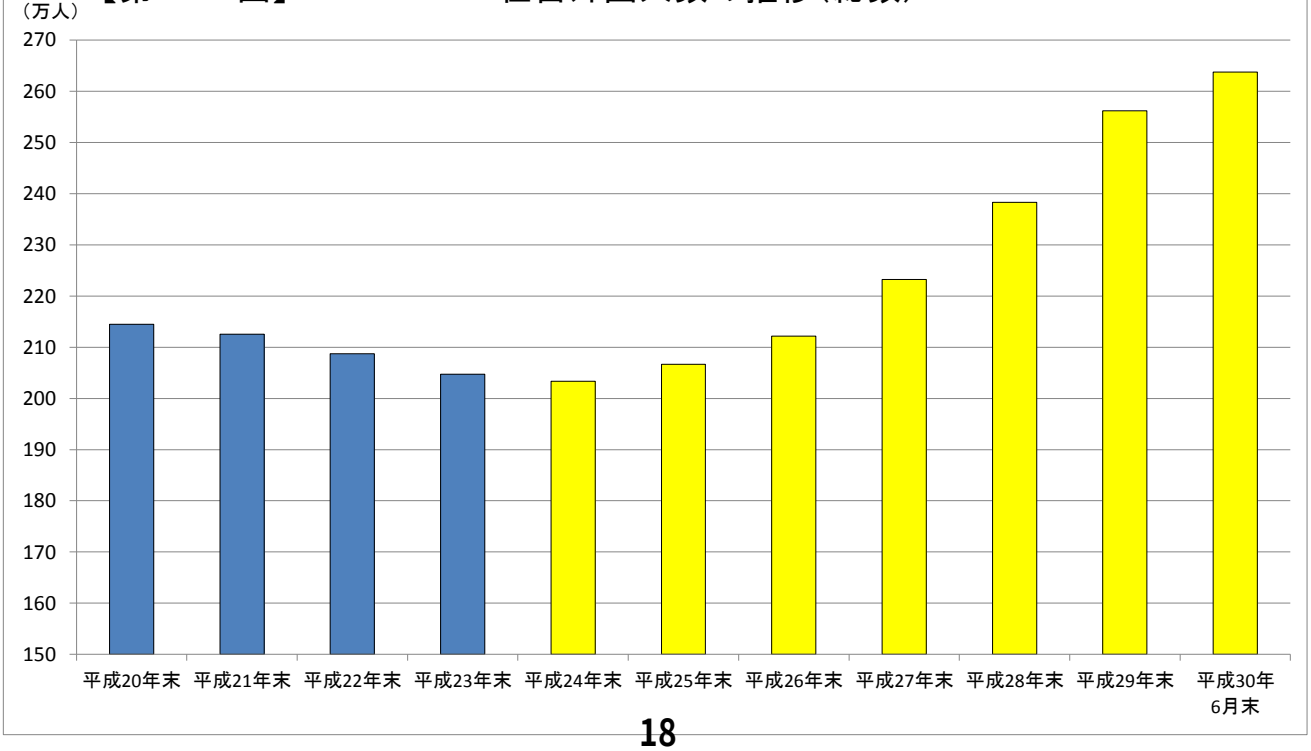
国籍・地域	平成20年末 (2008)	平成21年末 (2009)	平成22年末 (2010)	平成23年末 (2011)	平成24年末 (2012)	平成25年末 (2013)	平成26年末 (2014)	平成27年末 (2015)	平成28年末 (2016)	平成29年末 (2017)	平成30年6月末 (2018)	構成比(%)	対前年末増減率(%)
総数	**2,144,682**	**2,125,571**	**2,087,261**	**2,047,349**	**2,033,656**	**2,066,445**	**2,121,831**	**2,232,189**	**2,382,822**	**2,561,848**	**2,637,251**	**100.0**	**2.9**
中国	644,265	670,683	678,391	668,644	652,595	649,078	654,777	665,847	695,522	730,890	**741,656**	**28.1**	**1.5**
韓国・朝鮮	580,760	571,598	560,799	542,182	－	－	－	－	－	－	**－**	**－**	**－**
韓国	－	－	－	－	489,431	481,249	465,477	457,772	453,096	450,663	**452,701**	**17.2**	**0.5**
ベトナム	40,524	40,493	41,354	44,444	52,367	72,256	99,865	146,956	199,990	262,405	**291,494**	**11.1**	**11.1**
フィリピン	193,426	197,971	200,208	203,294	202,985	209,183	217,585	229,595	243,662	260,553	**266,803**	**10.1**	**2.4**
ブラジル	309,448	264,649	228,702	209,265	190,609	181,317	175,410	173,437	180,923	191,362	**196,781**	**7.5**	**2.8**
ネパール	11,556	14,745	17,149	20,103	24,071	31,537	42,346	54,775	67,470	80,038	**85,321**	**3.2**	**6.6**
台湾	－	－	－	－	22,775	33,324	40,197	48,723	52,768	56,724	**58,456**	**2.2**	**3.1**
米国	51,704	51,235	49,821	49,119	48,361	49,981	51,256	52,271	53,705	55,713	**56,834**	**2.2**	**2.0**
インドネシア	36,560	24,777	24,374	24,305	25,532	27,214	30,210	35,910	42,850	49,982	**51,881**	**2.0**	**3.8**
タイ	26,190	37,812	38,240	41,316	40,133	41,208	43,081	45,379	47,647	50,179	**51,003**	**1.9**	**1.6**
その他	250,249	251,608	248,223	244,677	284,797	290,098	301,627	321,524	345,189	373,339	**384,321**	**14.6**	**2.9**

(参考) 外国人登録者数	2,217,426	2,186,121	2,134,151	2,078,508

男性	**1,276,317**	**48.4**	**3.4**
女性	**1,360,934**	**51.6**	**2.5**
総数	**2,637,251**	**100.0**	**2.9**

（注1） 平成23年末の統計までは，当時の外国人登録者数のうち，現行の出入国管理及び難民認定法第19条の3に規定する「中長期在留者」に該当し得る在留資格をもって在留する者及び「特別永住者」の数であり，平成24年末の統計からは，「中長期在留者」及び「特別永住者」の数である。
（注2） 「国籍・地域」は在留カード又は特別永住者証明書（以下「在留カード等」という。）の国籍・地域欄の表記である。
（注3） 「韓国・朝鮮」について，平成23年末の統計までは，外国人登録証明書の「国籍等」欄に「朝鮮」の表記がなされている者と「韓国」の表記がなされている韓国籍を有する者を合わせて「韓国・朝鮮」として計上していたが，平成24年末の統計からは，在留カード等の「国籍・地域」欄に「韓国」の表記がなされている者を「韓国」に，「朝鮮」の標記がなされている者を「朝鮮」に計上している。
（注4） 「台湾」について，台湾の権限ある機関が発行した旅券等を所持する者は，平成24年7月8日までは外国人登録証明書の「国籍等」欄に「中国」の表記がなされていたが，同年7月9日以降は，在留カード等の「国籍・地域」欄に「台湾」の表記がなされており，平成24年末の統計からは「台湾」の表記がなされた在留カード等の交付を受けた者を「台湾」に計上している。
（注5） 表の各項目における構成比（%）は表示桁数未満を四捨五入してあるため，内訳の計は必ずしも100．0%とならない。
※以下の表について同じ。

【第１－１図】 在留外国人数の推移（総数）



平成２４年１１月３０日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　法学分野』p.6 より抜粋

(3) 法学教育の今日の問題点と今後の方向

① 法学教育の役割

今日の大学における法学教育を考えるに際しては、大学が置かれている環境、およびそこでの法学教育の現状を直視する必要がある。

わが国の社会では今日、とりわけ国内的にも、法のルールに従って紛争を解決しようとする社会の法化現象が著しく進展し、また経済のグローバル化に伴う国際的な法的問題の処理の必要性が著しく増大している。そこで、このような新たな社会現象に対応しうる能力を持った法曹を養成する必要性が高まっており、そうした要請に対処するために、司法制度改革の一環として、法曹に特化した人材を養成するための教育機関として法科大学院が設けられた。そこで、このような現状の中で改めて、大学の学部段階における法学教育の果たすべき役割とその意義が明確に位置づけられなければならない。新たに設けられた法科大学院は、専ら法律専門職としての法曹の養成に特化した目的をもって設けられている点が、極めて重要である。本来、法曹が社会において活動すべき範囲は広範にわたりうるが、新設された法科大学院における教育の中心は依然としてわが国における伝統的法曹像を前提としている。そこで養成が予定される新たな法曹の活動領域は、これまでと同様、司法試験科目との関連もあり、主として「法廷活動」が念頭におかれ中核とされている。その結果、法科大学院の教育も、それに直接関連する分野である実定法の解釈・運用を中心とした法技術の教育に集中する傾向が見られる。したがってそこで予定される法曹の扱う法律問題も、法曹一般の活動形態である伝統的な日常的な法業務である。そこでは、先進的な専門分野への果敢な取り組みや、グローバル化に伴って発生する様々な国際的な問題に積極的に従事する法曹養成のための教育、ないしそれらに発展し得るような教育は、個別的には試みられているが、必ずしも制度的に十分に展開されているとはいえない。このような法科大学院の現状は、法曹の職域拡大を含め、その設立の本来の趣旨に立ち返って抜本的に改善される必要がある。

他方で、今日の社会では、様々な分野において法的問題の処理が必要とされてきており、これらの領域は社会の法化現象の進展によりますます拡大している。

これらの処理は、法廷技術の専門家である狭義の法曹としての弁護士のみが扱う分野とはされておらず、そのためには別の様々な法律関連の専門職が設けられ、それらに委ねられている。これらの「非法曹としての法律専門職」が扱う職業分野には、パラリーガルとしての裁判所における専門職員や刑事・民事事件に関わる様々な専門職員、登記やその他の登録や法律文書の作成などに関わる司法書士、弁理士、行政書士、国家・地方公務員のほか、一般企業やその他の団体において生じる様々な法律問題の処理に携わる者等がおり、極めて多様で多彩となっている。これらの職業に携わる者の多くが、大学における法学教育を受けた者によって占められている。今後も、法学の基本的な教育を受けた上で、法曹以外の多様な法律関係に関わる職業に従事する者に対して、社会的な需要はますます拡大し続けるであろう。

平成２６年９月１０日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準政治学分野』ｐ.11 より抜粋

(3) 獲得すべき能力

政治学を学ぶことを通じて獲得できる能力のうち、最も基礎的なものであり、最も広く共有されるべきものは、よりよい市民として政治に関わるための能力である。民主政治とはいかなる政治体制なのか、そのよって立つ原理を理解し、歴史上いかなる経緯によって確立したのかを知ることを通じて、市民が政治に関わる営みの意義を、その限界を含めて深く納得できるだろう。それは、市民として生きる力の修得ともいうべき過程である。

また、国内政治と国際政治とが現実にどのように動いているのかについて、専門研究にもとづいた知識を得ることで、時々の思い込みや世の風潮に惑わされない、しっかりした判断を現実政治に対して下すことができるようになる。そしてまた、自らが地域や国家の政治に対して、市民参加の回路を通じて積極的に関わる際、個々の場面でいかに行動するかについても、成熟した判断力を発揮できるだろう。実際に権力を運用する政治のプロフェッショナルもまた、その現場を離れて一市民となっているときには、こうした市民としての判断力を用いながら政治に関わるのである。

さらに政治学は、広い意味での権力を運用しながら、多様な個人や集団の共存と統合を目指す営みについて、知識を与えてくれる。このことは、市民が職業生活において、あるいはヴォランティア活動において、何らかの集団・組織に属し、その中で他者と関わりをもつ際に重要な交渉力や決断力を強く支えることになる。自分とは意見の異なる他者をいかに説得して合意を調達するか。組織の中で権力を、いかなるタイミングといかなる範囲で行使するか。集団・組織のあり方を根本的に改める潮時をどう判定するか。そうした、日常生活における「小政治」と言うべき事柄は、かなりの程度、国家の政治や国際政治といった「大政治」で行われている営みと性質を共有している。したがって、「大政治」に関して体系的な知識を、政治学教育を通じて得ることは、そうした「小政治」に関わるための知的能力の涵養のためにも重要なのである。

そして政治に直接関わる営みを専門とする職業人、すなわち政治家・官僚・ＮＰＯ運営者といった政治のプロフェッショナルたちに対しても、政治学はその能力の育成に大きな役割を果たす。

それは、政策を考える際に前提となる問題状況の把握に際して、現代政治に関する講義で聞いた情報が役に立つとか、政策の決定過程をあらかじめ学ぶことで、どういう手順で政策形成を進めればいいかわかるといった、政治学によって得られる情報それ自体の有用性にはとどまらない。学問としての政治学の諸分野を広く学ぶことを通じて、いま直面する課題がいかなる性質のものであるか、そしてその解決のためにはいかなる選択肢があるのかを、広い視野のうちで客観的に見直し、よりよい政策を考え出す能力を培えるだろう。このことは、長期にわたる展望の中で成熟した決断を下し、そのことに責任をとってゆく、政治のプロフェッショナルにとっての職業倫理の養成にもつながってゆく。さらに、国内政治だけに限らず、グローバル化の時代において国際公務員や国際ＮＰＯの運営者として活躍するためにも、こうした能力は不可欠である。

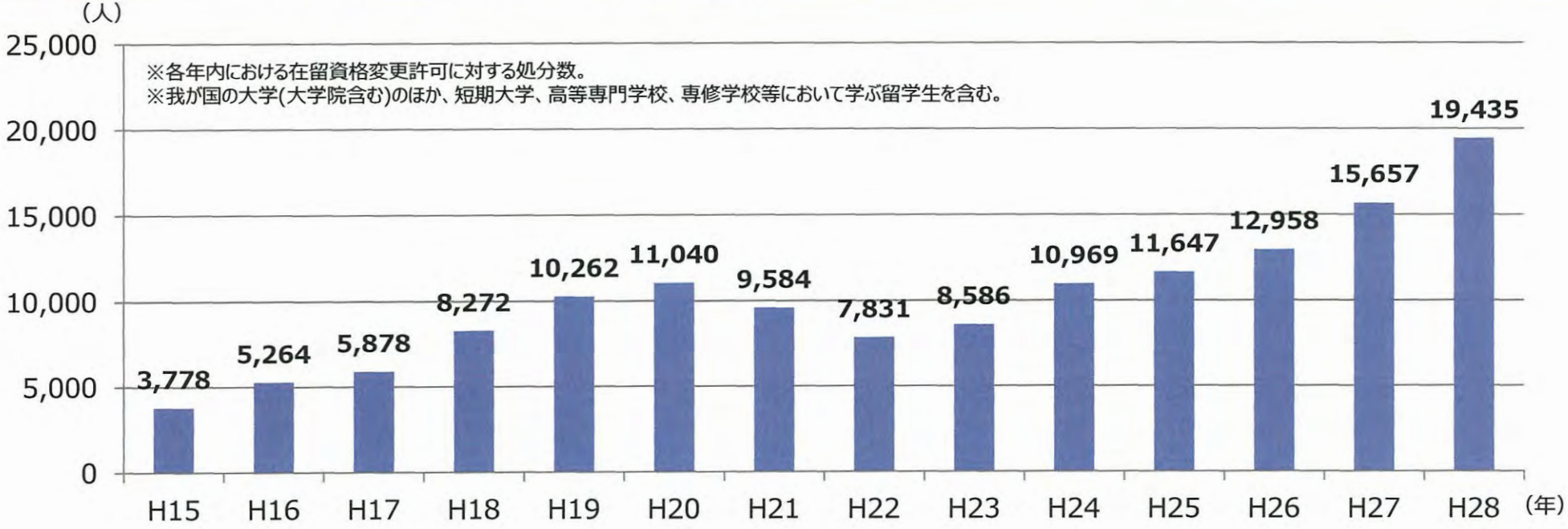
政治に直接関わるわけではない活動も含めて、広く人間活動に関して政治学が涵養できるジェネリック・スキルについては、まず人間関係や組織のあり方に関する論理的思考力を挙げることができるだろう。たとえば集団内のある決定について、それは誰がいかなる権限にもとづいて決めたものか、その決定権はいかなる正当化の根拠をもっているのか、どんな条件を満たせばその決定を覆すことができるのかといった事柄については、まさしく統合作用や権力に関わる政治学を学ぶことを通じて、初めて筋道だった形で考えることができるはずである。

また、社会生活を営むための現実の認識に関しても、政治学の知識は周到な分析力を培う基礎となる。たとえば、感情的な思い込みによって左右されずに統計情報を読み解くリテラシーや、メディアの報道を鵜呑みにせず、自ら検証を試みるメディア・リテラシーを身に付けるなど、いま目の前にある現実を極力客観的に見つめ、問題点を見出すための手法を、政治学はさまざまに提供する。さらに実際に集団や組織を運営するにあたっても、チームワークをいかに維持するか、リーダーシップをいかに振るうかといった事柄について、政治学の知見が大いに役立つだろう。

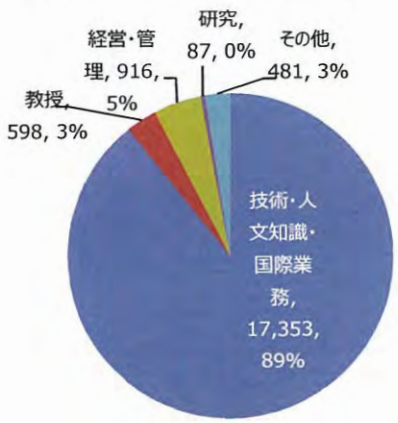
平成３０年６月文部科学省『外国人留学生の就職促進について（外国人留学生の就職に関する課題等）』より抜粋

外国人留学生の就職の現状①

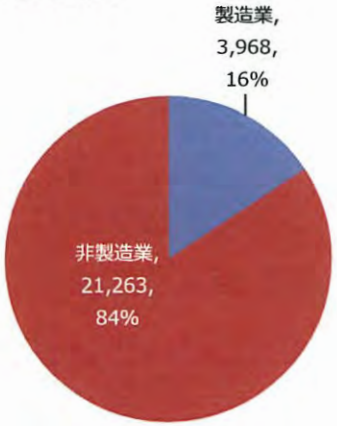
・ 本邦の企業等への就職を目的として在留資格変更許可申請に対して処分した数は増加傾向。
平成２８年は前年比２８．１％増で過去最高を記録。



○変更後の在留資格別



○業種別



○出身国・地域別

① 中国　11,039人（前年比 1,192人，12.1%増）
② ベトナム 2,488人（前年比 1,335人，115.8%増）
③ 韓国　1,422人（前年比 134人，10.4%増）
④ ネパール 1,167人（前年比 664人，132.0%増）
⑤ 台湾　689人（前年比 40人， 6.2%増）

（出典）法務省入国管理局「留学生の日本企業等への就職状況について」

資料１２
本文１４ページ参照

平成２６年８月２９日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　経済学分野』ｐ.ⅱ～ⅲより抜粋

(3) 経済学を学ぶすべての学生が身に付けることを目指すべき基本的な素養

① 経済学の学びを通じて獲得すべき基本的な知識と理解

ほとんどすべての社会人は日常生活において経済活動を行っており、経済活動の仕組みや市場の役割を理解し、経済政策や制度の当否を判断できるようになることが必要である。また職業人として社会で活躍することが期待されることから、自らの業務との関連で経済社会の仕組みや経済制度・経済政策の意義をその歴史的背景を含めて理解していることで、業務上の的確な判断ができるようになることが望ましい。

経済学の基本的な概念には、経済を対象にするだけではなく、日常生活の意思決定や職業人としての活動に役立たせることができるようなより一般性を持つものがある。

② 経済学の学びを通じて獲得すべき基本的な能力

経済学を学ぶことを通じて、抽象的思考、演繹・帰納的思考、数量的スキルなどの経済学に固有な能力や、論理的・批判的思考能力、情報収集能力、数値データの理解・活用、コミュニケーション能力などのより一般的な能力が培われる。

平成２４年８月３１日日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　経営学分野』ｐ.11 より抜粋

４ 経営学を学ぶすべての学生が身に付けることを目指すべき基本的な素養

(1) 経営学の学びを通じて獲得すべき基本的な知識と理解

① 経営学を学ぶことの基本的な意義

経営学を学修した者は、まず営利・非営利のあらゆる継続的事業体がどのような論理で、どのように意思決定を行い、どのように行動しているか、そしてどのような結果になったかを理解し、説明することができるようになる。経営学を学んだ者は、その継続的事業体が直面している諸問題の構造を分析し、その諸問題に対してどのような行動をとることが最適であるかを、定量的・定性的に明らかにすることができる。またその最適な行動から継続的事業体が乖離することがあるとすれば、それは組織内のどのような要素に起因しているかを説明できるようになる。

社会の中で重要な行為主体である営利・非営利のあらゆる継続的事業体の意思決定過程とその行動を理解し、その業績を定量的・定性的に測定し、説明できるということは、現代を生きる市民にとって重要な知的能力である。

また、経営学を現実的な観点から学ぶことで、経営学の学修者は、営利・非営利のあらゆる継続的事業体を実際に管理するための知識を身に付け、同時にそれを実践できる能力を取得することができる。また、適切なやり方で営利・非営利のあらゆる継続的事業体を実際に起業することができるようになる。

ただし、このような実践的力量を身に付けるには、座学で学ぶ知識以外にも、それを応用していく現場での実習と訓練が必要である。したがって、学部レベルにおいて経営学の知識を学んだとしても、それによって直ちに経営者として活躍できることが保証されるわけではない。

経営学、会計学、マーケティング、経営工学、経営情報学などに関する基本的知識を身に付け、実際に営利・非営利の継続的事業体の経営を行う実習を経験し、常に実体験の反省を積み重ねて行くことで、当初身に付けた「知識」が実際の経営を行う上で血肉化された実践的知識へと昇華していく。常に、「自分が経営者だったら、どうするか」という行為主体としての視点を持って学び、実行し、反省していくことで、経営学の知識を深化させることができる。学士課程における経営学の学修はこの実践過程の基礎を確立するものである。

平成２６年９月３０日
日本学術会議
「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準　心理学分野」
P.4より抜粋

③心理学が直面する社会的諸課題に応える視点
家庭内暴力、子どもや高齢者の虐待、いじめやひきこもり、閉じこもり、自殺などに現れた現代社会の諸問題は、急激で極端な少子化や超高齢化によって多様となり深刻さが深まっている。このような中で心理学は、人のための環境作りや社会の改善に専門職業人として社会貢献する役割を担っている。
これらの社会的諸問題は、隣接分野との接続をもちつつ、多様な視点から知恵と工夫を出し合いながら、常に心を生み出す仕組み（機構）に関する新しい心理学的知見や、そこから得られた心理学の諸理論や技術を研究・開発し、教育することにより解決する必要がある。したがって、現代社会が抱える諸問題の解明と解決に向けて、人間学的背景を持ちながら、人間と環境との相互作用を理解し、心のはたらきの実証的研究や科学技術や実践的知識の改善を図ることが、心理学の固有な視点となっている。

就職状況について

【グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科（平成28年度よりグローバル学部3学科に改組）

年度	卒業者	進学者	その他	就職希望者	就職決定者	就職決定者／就職希望者
平成30年度	218	8	45	171	165	96.5%
平成29年度	220	5	33	188	182	96.8%
平成28年度	215	8	21	191	186	97.4%
平成27年度	222	9	22	196	191	97.4%
平成26年度	182	6	24	159	152	95.6%

【法学部法律学科】 （人）

年度	卒業者	進学者	その他	就職希望者	就職決定者	就職決定者／就職希望者
平成30年度	121	4	19	106	98	92.5%
平成29年度	123	8	14	110	101	91.8%
平成28年度	162	2	10	151	150	99.3%
平成27年度	156	1	21	141	134	95.0%
平成26年度	188	5	19	175	164	93.7%

※平成28年度までは改組前の政治経済学部政治経済学科のﾃﾞｰﾀ

【法学部政治学科】 （人）

年度	卒業者	進学者	その他	就職希望者	就職決定者	就職決定者／就職希望者
平成30年度	90	0	10	81	80	98.8%
平成29年度	71	1	11	62	59	95.2%
平成28年度	162	2	10	151	150	99.3%
平成27年度	156	1	21	141	134	95.0%
平成26年度	188	5	19	175	164	93.7%

※平成28年度までは改組前の政治経済学部政治経済学科のﾃﾞｰﾀ

【経済学部経済学科】 （人）

年度	卒業者	進学者	その他	就職希望者	就職決定者	就職決定者／就職希望者
平成30年度	89	1	9	80	79	98.8%
平成29年度	103	2	7	98	94	95.9%
平成28年度	162	2	10	151	150	99.3%
平成27年度	156	1	21	141	134	95.0%
平成26年度	188	5	19	175	164	93.7%

※平成28年度までは改組前の政治経済学部政治経済学科のﾃﾞｰﾀ

【経済学部経営学科（平成30年度に経営学部経営学科に改組）】 （人）

年度	卒業者	進学者	その他	就職希望者	就職決定者	就職決定者／就職希望者
平成30年度	174	4	20	155	150	96.8%
平成29年度	190	3	17	175	170	97.1%
平成28年度	155	2	17	143	136	95.1%
平成27年度	159	9	15	137	135	98.5%
平成26年度						

※平成26年度は完成年度前、平成27、28年度までは改組前の政治経済学部経営学科のﾃﾞｰﾀ、平成29、30年度は経済学部経営学科のデータ

【人間科学部人間科学科】 （人）

年度	卒業者	進学者	その他	就職希望者	就職決定者	就職決定者／就職希望者
平成30年度	181	15	31	143	135	94.4%
平成29年度	197	6	24	175	167	95.4%
平成28年度	194	4	23	173	167	96.5%
平成27年度	201	4	21	176	176	100.0%
平成26年度	175	11	22	149	142	95.3%

・進学者は大学院研究科進学者数を示す。
・平成30年度のデータは暫定値（2019年4月8日時点）。

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　　員　　名　　簿

学　長　の　氏　名　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
－	学長	ニシモト　テルマ 西本　照真 〈平成28年4月〉		博士 （文学）		武蔵野大学 学長 （平成28.4～令和2.3）

（注）　高等専門学校にあっては校長について記入すること。